

# 必修問題

## 目標Ⅰ. 看護の社会的側面及び倫理的側面について基本的な理解を問う。

| 大項目        | 中項目         | 小項目        | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|------------|-------------|------------|--|
| 1 健康に関する指標 | A 人口静態・人口動態 | a 総人口      | 健康と社会・生活 1章6節4項 高齢化 (p.23-24)  |
|            |             | b 年齢別人口    | 高齢者の健康と障害 1章1節3項 人口の高齢化 (p.13-15)  |
|            |             | c 労働人口     | 健康と社会・生活 1章6節4項 高齢化 (p.23-24)  |
|            |             | d 将来推計人口   | 健康と社会・生活 1章6節4項 高齢化 (p.23-24) / 3章4節3項 介護機能 (p.70-73)  |
|            |             | e 世帯数      | 高齢者の健康と障害 2章1節2項 高齢者がいる家族 (p.62-65)<br>地域療養を支えるケア 4章3節1項 地域包括ケアシステム (p.123-126)  |
|            |             | f 婚姻・家族形態  | 健康と社会・生活 3章1節 家族の現在 (p.56-59), 2節 ライフコースの変化と家族 (p.59-63)<br>母性看護実践の基本 2章2節3項 その他の統計 (p.35-36)  |
|            |             | g 出生の動向    | 健康と社会・生活 1章6節4項 高齢化 (p.23-24) / 3章4節2項 育児機能 (p.69-70) / 8章6節1項 世界の人口動態 (p.141-142)<br>公衆衛生 4章6節 統計情報の収集と見方 (p.70-76)<br>小児の発達と看護 1章4節1項 子どもを取り巻く社会環境 (p.34-51)<br>母性看護実践の基本 2章2節1項 出生に関する統計 (p.31-32)  |
|            |             | h 死亡の動向    | 健康と社会・生活 1章6節4項 高齢化 (p.23-24)<br>公衆衛生 4章6節 統計情報の収集と見方 (p.70-76)<br>臨床看護総論 2章3節4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92)<br>高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.15-22)<br>母性看護実践の基本 2章2節2項 死亡に関する統計 (p.33-35) |
|            |             | i 死因の概要    | 病態生理学 1章7節1項 悪性腫瘍の疫学 (p.70)<br>看護学概論 4章2節 小児期から成人期の概念 (p.96-101), 3節1項 老年期 (p.101)<br>成人看護学概論 2章3節 成人各期の健康問題 (p.35-40)<br>高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.15-22)                                    |
|            | B 健康状態と受療状況 | a 平均余命     | 公衆衛生 1章1節2項 どうしてこんなによくなったのか (p.14-15) / 4章6節 統計情報の収集と見方 (p.70-76)<br>高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.15-22)   |
|            |             | b 有訴者の状況   | 成人看護学概論 2章3節 成人各期の健康問題 (p.35-40)<br>高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.15-22)  |
|            |             | c 有病率・罹患率  | 公衆衛生 4章1節 集団の見方と健康指標 (p.56-60)<br>高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.15-22)  |
|            |             | d 受療行動・受療率 | 成人看護学概論 2章3節 成人各期の健康問題 (p.35-40)   |

| 大項目        | 中項目         | 小項目       | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|------------|-------------|-----------|---|
| 1 健康に関する指標 | B 健康状態と受療状況 | e 入院期間    | 看護学概論 10章5節 看護サービスに対する評価 (p.224-229)  |
|            |             | f 外来受診状況  | 高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.15-21)   |
| 2 健康と生活    | A 生活行動・習慣   | a 食事・栄養   | 臨床生化学 2章2節 糖類 (p.21-26), 3節 脂質 (p.26-32), 4節 アミノ酸とタンパク質 (p.33-38), 6節 ビタミン (p.43-49)<br>臨床栄養学 1章1節 臨床栄養学の意義と看護 (p.10-11) / 3章3節2項 学童期 (p.117-119) / 6章 食事指導の実践 (p.196-202)<br>栄養代謝機能障害 序章2項 栄養代謝機能に影響を及ぼす要因 (p.17-18)<br>健康と社会・生活 2章3節1項 生活構造のとりえ方 (p.34-36), 7節3項 ライフスタイルが重視されてきた背景 (p.45-47), 8節7項 生活で一番大切なものとしてのQOL (p.52)<br>基礎看護技術 13章1節 食事・栄養の意義 (p.262-263)<br>小児の発達と看護 2章3節3項 食行動 (p.104-111)<br>母性看護実践の基本 6章5節1項 食生活 (p.132-136) |
|            |             | b 睡眠      | 病態生理学 2章46節2項 病態生理 (p.321-323)<br>健康と社会・生活 2章3節1項 生活構造のとりえ方 (p.34-36), 7節3項 ライフスタイルが重視されてきた背景 (p.45-47)<br>ヘルスアセスメント 6章3節5項 睡眠/休息パターンのアセスメント (p.279-281)<br>基礎看護技術 11章1節2項 睡眠 (p.218-219), 2節3項 睡眠の分類と役割 (p.220-222)<br>小児の発達と看護 2章3節5項 睡眠行動 (p.115-117)  |
|            |             | c 運動      | ヘルスアセスメント 6章3節4項 活動/運動パターンのアセスメント (p.274-279)<br>基礎看護技術 10章 活動・運動を支援する技術 (p.188-215)  |
|            |             | d 代謝障害    | 病態生理学 1章9節 代謝異常 (p.87-94)<br>栄養代謝機能障害 序章2項 栄養代謝機能に影響を及ぼす要因 (p.17-18)  |
|            |             | e 喫煙      | 健康と社会・生活 2章7節3項 ライフスタイルが重視されてきた背景 (p.45-47)<br>公衆衛生 8章4節2項 喫煙 (p.142)<br>成人看護学概論 7章1節2項 生活習慣病のリスクファクター (p.132-136)<br>母性看護実践の基本 6章5節1項 食生活 (p.132-136)  |
|            |             | f ストレス    | 健康と社会・生活 6章1節 さまざまなレベルでの対立・葛藤・紛争: コンフリクト (p.100-101), 2節 なぜ対立や葛藤(コンフリクト)は起きるのか (p.101-103) / 7章4節2項 サポートネットワーク (p.118-119) / 10章3節2項 働きかけ(援助)の理論 (p.171-176)<br>ヘルスアセスメント 6章3節10項 コーピング/ストレス耐性パターンのアセスメント (p.295-299)<br>情緒発達と看護の基本 2章2節3項 ストレスとストレッサー (p.37-39)  |
|            |             | g メンタルヘルス | 健康と社会・生活 10章2節1項 社会的学習理論 (p.163-164)<br>公衆衛生 15章2節7項 健康管理 (p.245-248)   |
|            |             | h ライフスタイル | 健康と社会・生活 2章7節 ライフスタイル・生活様式と保健・医療・看護 (p.41-47) / 3章1節3項 家族の個人化と多様化 (p.58-59)<br>母性看護実践の基本 1章2節5項 ライフスタイルの多様化への理解 (p.16-17)   |
|            |             | i 性行動     | 健康と社会・生活 2章7節3項 ライフスタイルが重視されてきた背景 (p.45-47)<br>ヘルスアセスメント 6章3節9項 セクシュアリティ/生殖パターンのアセスメント (p.293-295)  |

| 大項目       | 中項目         | 小項目  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |   |
|-----------|-------------|--|--|---|
| 2 健康と生活   | A 生活行動・習慣   | i 性行動  | 成人看護学概論 10章1節 セクシュアリティと健康に関連する概念 (p.168-170)<br>母性看護実践の基本 3章6節1項 性行動 (p.61-62) / 5章3節 老年期女性の特徴 (p.105-106)   |   |
|           |             | B 労働   | a 職業と疾病  | 公衆衛生 15章3節 職業性疾病の概要 (p.248-251)   |
|           |             |  | b 労働環境   | 健康と社会・生活 2章7節1項 ライフスタイルと社会経済 (p.41-43)<br>公衆衛生 15章 産業保健 (p.236-254)   |
|           |             |  | c 雇用形態   | 健康と社会・生活 1章6節1項 脱工業化 (p.20-21) / 2章7節1項 ライフスタイルと社会経済 (p.41-43)  |
|           | d 母性保護と両立支援 | 健康と社会・生活 3章2節3項 女性のライフコースの変化 (p.61-63), 4節1項 ケア機能とジェンダー (p.68), 2項 育児機能 (p.69-70) / 序章1項 健康・社会を念頭に置いたしぐみの再構築 (p.11)<br>母性看護実践の基本 2章3節2項 女性の保護および就労に関する法律 (p.38-39), 4節3項 少子化対策 (p.41-42) |  |   |
|           | C 生活環境      | a 水・空気・土壌  | 健康と社会・生活 10章3節2項 働きかけ(援助)の理論 (p.171-176)<br>公衆衛生 16章3節 大気汚染 (p.265-268), 5節 地球環境の問題 (p.270-272), 6節 水道 (p.272-276)   |   |
|           |             | b 食品衛生   | 公衆衛生 16章2節 食品保健 (p.261-265)  |   |
|           |             | c 住環境・社会環境   | 健康と社会・生活 7章6節 コミュニティ形成とその諸課題 (p.122-126)<br>公衆衛生 16章5節 地球環境の問題 (p.270-272), 7節 居住環境 (p.277-281)  |   |
|           | 3 保健医療制度の基本 | A 医療保険制度の基本  | a 医療保険の種類  | 社会福祉と社会保障 7章2節 医療保険制度 (p.171-187)<br>医療関係法規 14章 保険にかんする法規 (p.270-294)<br>高齢者の健康と障害 2章3節3項 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく制度 (p.81-82) |
|           |             |  | b 国民皆保険  | 社会福祉と社会保障 2章2節4項 国民皆保険・皆年金と社会保障制度の発展 (p.36-37)<br>高齢者の健康と障害 2章3節3項 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく制度 (p.81-82)                        |
| c 国民医療費   |             |  | 高齢者の健康と障害 2章3節3項 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく制度 (p.81-82)<br>地域療養を支えるケア 1章1節2項 在宅看護の社会背景 (p.13-19)  |   |
| d 高齢者医療制度 |             |  | 公衆衛生 7章2節 高齢者を支えるシステム・制度 (p.123-125)<br>医療関係法規 14章3節 高齢者の医療の確保に関する法律 (p.276-279)<br>高齢者の健康と障害 2章3節3項 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく制度 (p.81-82)                         |   |
| e 給付の内容   |             |  | 社会福祉と社会保障 7章2節3項 医療保険制度のしくみ (p.173-183)<br>医療関係法規 14章 保険にかんする法規 (p.270-294)<br>高齢者の健康と障害 2章3節3項 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく制度 (p.81-82)                              |   |
| B 介護保険制度  |             | a 保険者  | 社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.188-198)<br>医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)<br>高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86)   |   |
|           |             | b 被保険者   | 社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.188-198)<br>医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章4節2項 介護保険制度 (p.245-248)<br>高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86) |   |

| 大項目         | 中項目        | 小項目             | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-------------|------------|-----------------|---|
| 3 保健医療制度の基本 | B 介護保険制度   | c 給付の内容         | 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)<br>高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86)   |
|             |            | d 要介護認定         | 社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.188-198)<br>医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章4節2項 介護保険制度 (p.245-248)<br>高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86)  |
| 4 看護の倫理     | A 基本的人権の擁護 | a 個人の尊厳         | 看護学概論 6章2節1項 個人の価値 (p.130), 3節 看護倫理とは (p.131-132), 5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識 (看護倫理で活用する判断基準) (p.134-140)<br>臨床看護総論 3章2節2項 急性期 (p.109-111), 6節3項 医療実践における倫理：医療者としての責務と患者の権利 (p.157-158)  |
|             |            | b 患者の権利         | 看護学概論 6章2節1項 個人の価値 (p.130), 3節 看護倫理とは (p.131-132), 5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識 (看護倫理で活用する判断基準) (p.134-140)<br>基礎看護技術 1章4節 看護と人間尊重 (p.27-34)<br>臨床看護総論 3章2節2項 急性期 (p.109-111), 6節3項 医療実践における倫理：医療者としての責務と患者の権利 (p.157-158)<br>リハビリテーション看護 3章2節 障害者の権利 (p.46-49)<br>地域療養を支えるケア 1章3節 在宅看護の倫理と基本理念 (p.23-29)<br>看護管理 3章3節1項 患者の権利擁護 (p.91-93)   |
|             |            | c 自己決定権と患者の意思   | 看護学概論 6章2節1項 個人の価値 (p.130), 5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識 (看護倫理で活用する判断基準) (p.134-140)<br>基礎看護技術 1章4節4項 ベイシエントアドボカシーとしての活動 (p.31-33)<br>臨床看護総論 3章2節2項 急性期 (p.109-111), 6節3項 医療実践における倫理：医療者としての責務と患者の権利 (p.157-158)<br>緩和ケア 6章1節5項 意思決定の自由を実現するために重要なこと (p.201-202)／10章3節 インフォームドコンセント (p.274-275)<br>地域療養を支えるケア 1章3節 在宅看護の倫理と基本理念 (p.23-29)  |
|             |            | d インフォームド・コンセント | 看護学概論 1章3節4項 指針・ガイドライン (p.33-35)／6章5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識 (看護倫理で活用する判断基準) (p.134-140)<br>基礎看護技術 1章4節3項 インフォームドコンセントと看護者の役割 (p.30-31)<br>看護研究 7章3節2項 人権擁護の方法 (p.132)<br>臨床看護総論 3章2節2項 急性期 (p.109-111), 6節3項 医療実践における倫理：医療者としての責務と患者の権利 (p.157-158)<br>周手術期看護 3章1節2項 インフォームドコンセントの支援 (p.47-48)<br>緩和ケア 10章3節 インフォームドコンセント (p.274-275)<br>精神障害と看護の実践 4章1節2項 インフォームドコンセント (p.94)<br>医療安全 1章1節1項 なぜ医療安全を学ぶのか (p.12) |
|             |            | e ノーマライゼーション    | 健康危機状況／セルフケアの再獲得 4章3節1項 依存と自立の概念 (p.194-195)<br>リハビリテーション看護 2章8節 ノーマライゼーション (p.39)  |
|             |            | f 情報管理 (個人情報保護) | 社会福祉と社会保障 3章2節3項 社会資源活用のためのネットワークづくり (p.76-77)<br>医療関係法規 17章4節 個人情報保護に関する法律 (p.332-333)<br>看護学概論 1章3節4項 指針・ガイドライン (p.33-35)   |

| 大項目       | 中項目                  | 小項目   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|-----------|----------------------|---|--|
| 4 看護の倫理   | A 基本的人権の擁護           | f 情報管理（個人情報保護）  | <b>災害看護</b> 1章3節3項 災害時要援護者への対応のあり方 (p.35-38) / 2章2節4項 トリアージと法律上の問題 (p.56-58), 7項 安否確認に対する回答 (p.58-59), 8項 メディアに対する情報開示 (p.59), 3節3項 教訓から生まれた施策 (p.66-67)   |
|           | B 看護倫理               | a 看護職の役割  | <b>看護学概論</b> 6章 看護における倫理と価値 (p.128-148)<br><b>医療安全</b> 1章2節1項 看護倫理と医療安全 (p.19-20)<br><b>災害看護</b> 10章1節2項 災害看護における倫理原則 (p.236-238)  |
| b 看護の倫理綱領 |                      | <b>看護学概論</b> 1章3節3項 看護者の倫理綱領 (p.30-33) / 6章1節1項 法的責任と倫理 (p.128), 6節1項 倫理的意思決定能力の向上 (p.146)<br><b>看護研究</b> 7章2節 看護研究における倫理ガイドラインの開発 (p.127-129)<br><b>看護管理</b> 3章3節2項 看護者の倫理的行動 (p.93-97)<br><b>医療安全</b> 1章2節1項 看護倫理と医療安全 (p.19-20)<br><b>災害看護</b> 10章1節3項 看護実践上の倫理的概念 (p.238-239) |  |
| 5 関係法規    | A 保健師助産師看護師法         | a 保健師助産師看護師の業務  | <b>医療関係法規</b> 3章1節 保健師助産師看護師法 (p.28-33)<br><b>看護学概論</b> 1章3節1項 免許と看護業務 (p.29)<br><b>臨床看護総論</b> 3章6節2項 医療チームにおける各職種の役割 (p.154-157)<br><b>看護管理</b> 7章1節1項 保健師助産師看護師法 (p.166-168)<br><b>医療安全</b> 1章2節1項 看護倫理と医療安全 (p.19-20), 2項 看護師の法的規定 (p.20-22), 3項 看護業務の変遷と安全管理 (p.22-26) |
|           |                      | b 看護師に禁止されている業務   | <b>医療関係法規</b> 3章1節 保健師助産師看護師法 (p.28-33)<br><b>看護学概論</b> 9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.189-193)<br><b>医療安全</b> 1章2節2項 看護師の法的規定 (p.20-22), 3項 看護業務の変遷と安全管理 (p.22-26)  |
|           |                      | c 秘密の保持（守秘義務）   | <b>医療関係法規</b> 3章1節 保健師助産師看護師法 (p.28-33)<br><b>看護学概論</b> 9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.189-193)<br><b>精神障害と看護の実践</b> 4章4節2項 患者の秘密を守る義務：守秘義務 (p.98-99)  |
|           | B 看護師等の人材確保の促進に関する法律 | a 基本方針  | <b>医療関係法規</b> 3章3節 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.34-35)<br><b>看護管理</b> 7章1節2項 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.168-169)   |
|           |                      | b 養成制度  | <b>医療関係法規</b> 3章3節 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.34-35)<br><b>看護学概論</b> 1章2節3項 看護実践のための教育の準備 (p.24-26)   |
|           |                      | c 就業状況  | <b>看護学概論</b> 1章5節2項 看護における人材の確保 (p.52-56)  |

**目標Ⅱ. 看護の対象者及び看護活動の場について基本的な理解を問う。**

| 大項目     | 中項目     | 小項目     | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|---------|---------|---------|---|
| 6 人間の特性 | A 人間と欲求 | a 基本的欲求 | <b>看護学概論</b> 5章3節1項 ニード理論 (p.106-107), 4節2項 ヘンダーソン (p.110-112)<br><b>情緒発達と看護の基本</b> 2章2節1項 欲求 (p.34-36)           |
|         |         | b 社会的欲求 | <b>看護学概論</b> 2章1節3項 動機づけられる存在（ニーズをもつ存在）(p.60-61)  |
|         | B 患者の特性 | a QOL   | <b>成人看護学概論</b> 5章3節6項 Quality of Life (QOL) (p.100-101)<br><b>リハビリテーション看護</b> 2章6節 QOL: quality of life (p.36-37) |

| 大項目        | 中項目        | 小項目        | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|------------|------------|------------|---|
| 6 人間の特性    | B 患者の特性    | a QOL      | 緩和ケア 1章1節2項 全人的苦痛（トータルペイン）とQOL（生活の質）(p.13)<br>災害看護 10章1節3項 看護実践上の倫理的概念（p.238-239）   |
|            |            | b 患者ニーズ    | 看護学概論 5章3節1項 ニード理論（p.106-107）   |
|            |            | c 健康に対する意識 | 看護学概論 3章 健康と病気におけるウエルネス（安寧）の促進（p.80-90）<br>成人看護学概論 5章3節 個人の健康観を理解する方法（p.98-102）／19章 ヘルスプロモーション（p.270-275）<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章1節1項 成人にとっての健康とは（p.14-15）<br>セルフマネジメント 2章3節 健康信念モデル（p.36-37）  |
|            |            | d 疾病に対する意識 | 臨床看護総論 2章2節1項 がんとの直面（p.50-54）<br>成人看護学概論 5章4節 保健行動と健康観（p.102-104）<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章1節3項 成人看護学における健康危機状況（p.19-21）<br>セルフマネジメント 2章1節 本人と病気の位置関係モデル（p.30-32）、2節 コンプライアンスとアドヒアランス、コンコーダンス（p.33-35）   |
|            |            | e 疾病・障害の受容 | 看護学概論 2章4節 ストレスと適応（p.66-77）<br>臨床看護総論 3章2節3項 回復期（p.111-113）、4節12項 リハビリテーション療法（p.140-141）<br>リハビリテーション看護 2章7節 肯定的自己概念：障害受容（p.38-39）／6章4節 肯定的な自己概念：障害受容（p.184-188）<br>緩和ケア 3章1節1項 がんに対する心の反応（p.144-145）   |
| 7 人間の成長と発達 | A 胎児期      | a 形態的発達    | 母性看護実践の基本 6章2節2項 胎盤形成と胎児の発育（p.112-117）  |
|            |            | b 先天異常     | 臨床生化学 7章 先天性代謝異常（p.130-134）<br>病態生理学 1章8節 先天異常（p.79）<br>運動機能障害 5章4節 先天性および幼児・小児に特有の運動機能障害とその疾患・治療（p.75-76）<br>小児の疾患と看護 1章4節 先天性横隔膜ヘルニア（p.20-23）、5節 先天性食道閉鎖症（p.23-25）、14節 先天性内反足（p.47-49）、15節 先天性股関節脱臼（p.49-51）／3章6節 先天性甲状腺機能低下症（p.84-86）／6章1節 心室中隔欠損症（p.150-152）、2節 心房中隔欠損症（p.152-154）、3節 房室中隔欠損症（p.155-157）、5節 ファロー四徴症（p.160-162）、6節 完全大血管転位症（p.162-164）<br>母性看護実践の基本 3章1節5項 性分化疾患（p.49）／6章2節2項 胎盤形成と胎児の発育（p.112-117）／11章6節 妊娠期の感染症（p.268）／14章2節2項 外表奇形（p.342）、3節1項 循環器疾患（p.344-345）、2項 外科的疾患（p.345-346） |
|            |            | c 胎児期の異常   | 運動機能障害 7章3節1項 小児の運動機能障害の特徴と代表的な疾患（p.121-122）<br>小児の疾患と看護 1章2節 胎便吸引症候群（p.15-17）<br>母性看護実践の基本 15章1節3項 胎児治療（p.360-361）   |
|            | B 新生児期・乳児期 | a 発達の原則    | ヘルスアセスメント 4章2節 子どものアセスメント（p.196-211）<br>小児の発達と看護 2章1節1項 成長・発達の一般的原則（p.78-79）  |
|            |            | b 身体の発育    | ヘルスアセスメント 4章2節4項 身体発育に関するアセスメント（p.200-207）<br>小児の発達と看護 2章2節2項 形態的成長・発達の特徴（p.80-82）<br>母性看護実践の基本 9章3節1項 在胎週数の決定と成熟度の評価（p.213-214）  |
|            |            | c 運動能力の発達  | 運動機能障害 7章3節1項 小児の運動機能障害の特徴と代表的な疾患（p.121-122）<br>ヘルスアセスメント 4章2節4項 身体発育に関するアセスメント（p.200-207）、5項 乳幼児の精神・運動機能の発達評価方法（p.207）   |

| 大項目        | 中項目        | 小項目           | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|------------|------------|---------------|---|
| 7 人間の成長と発達 | B 新生児期・乳児期 | c 運動能力の発達     | 小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.82-88)  |
|            |            | d 栄養          | 臨床栄養学 3章3節1項 乳幼児期 (p.112-117)<br>母性看護実践の基本 10章2節1項 母乳育児の恩恵 (p.229-230)  |
|            |            | e 親子関係        | 小児の発達と看護 1章5節4項 親子関係論 (p.67-70)<br>母性看護実践の基本 1章3節2項 母子に関連する理論 (p.20-24)   |
|            |            | f 先天免疫と獲得免疫   | 病態生理学 1章4節1項 免疫とは (p.45)<br>小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.82-88)<br>母性看護実践の基本 9章2節2項 新生児の生理機能 (p.210-213)   |
|            | C 幼児期      | a 身体の発育       | ヘルスアセスメント 4章2節 子どものアセスメント (p.196-211)   |
|            |            | b 運動能力の発達     | 運動機能障害 7章3節1項 小児の運動機能障害の特徴と代表的な疾患 (p.121-122)   |
|            |            | c 排泄の自立       | 小児の発達と看護 2章3節4項 排泄行動 (p.111-115)  |
|            |            | d 言語発達        | 小児の発達と看護 2章3節1項 幼児期とは (p.100-103)   |
|            |            | e 社会性の発達      | 小児の発達と看護 2章3節1項 幼児期とは (p.100-103)   |
|            |            | f 基本的生活習慣の確立  | 小児の発達と看護 2章3節1項 幼児期とは (p.100-103)   |
|            | D 学童期      | a 運動能力・体力の特徴  | 小児の発達と看護 2章4節2項 身体的成長 (p.131-133)   |
|            |            | b 社会性の発達      | 小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.134-141)<br>情緒発達と看護の基本 4章2節2項 学童期 (6~12歳頃) (p.63-65)   |
|            |            | c 学習に基づく行動    | 小児の発達と看護 2章4節 学童期の子どもの成長・発達と看護 (p.131-146)  |
|            | E 思春期      | a 第二性徴        | ヘルスアセスメント 4章1節1項 母性のアセスメント：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.186-189)<br>小児の発達と看護 2章5節 思春期の人々の成長・発達と看護 (p.147-161)<br>母性看護実践の基本 4章1節1項 身体的特徴 (p.66-67)                                    |
|            |            | b アイデンティティの確立 | 小児の発達と看護 2章5節 思春期の人々の成長・発達と看護 (p.147-161) / 4章7節 成人への移行期にある健康障害をもつ子どもと家族への看護 (p.376-388)<br>母性看護実践の基本 4章1節2項 心理社会的特徴 (p.67-68)<br>情緒発達と看護の基本 4章2節3項 思春期 (12~18歳頃) (p.66-67) |
|            |            | c 親からの自立      | 小児の発達と看護 2章5節 思春期の人々の成長・発達と看護 (p.147-161)<br>母性看護実践の基本 4章1節2項 心理社会的特徴 (p.67-68)   |
|            |            | d 異性への関心      | 小児の発達と看護 2章5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.152-158)<br>母性看護実践の基本 4章1節2項 心理社会的特徴 (p.67-68)   |
|            | F 成人期      | a 社会的責任と役割    | 成人看護学概論 2章2節 成人の役割 (p.32-35)<br>母性看護実践の基本 4章2節1項 成熟期女性のライフイベント (p.68)   |
|            |            | b 生殖機能の成熟と衰退  | 母性看護実践の基本 4章2節2項 身体的特徴 (p.68-69) / 5章1節1項 身体的特徴 (p.96-97)   |

| 大項目        | 中項目                | 小項目   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|------------|--------------------|---|--|
| 7 人間の成長と発達 | F 成人期              | c 基礎代謝の変化   | 栄養代謝機能障害 序章2項 栄養代謝機能に影響を及ぼす要因 (p.17-18)<br>ヘルスアセスメント 6章3節2項 栄養/代謝パターンのアセスメント (p.262-269)   |
|            |                    | G 老年期   | a 運動能力・体力の変化   |
|            |                    | b 知覚・感覚の変化  | 高齢者の健康と障害 1章5節1項 身体機能の生理的变化 (p.42-46)  |
|            |                    | c 認知能力の変化   | 成人看護学概論 2章1節2項 成人各期の特徴 (p.22-32)<br>高齢者の健康と障害 1章5節2項 心理・精神機能の変化 (p.49-55)  |
|            |                    | d 心理社会的変化   | 成人看護学概論 2章1節2項 成人各期の特徴 (p.22-32), 3節3項 向老期にある人の健康問題 (p.40)<br>高齢者の健康と障害 1章5節2項 心理・精神機能の変化 (p.49-55)<br>情緒発達と看護の基本 4章2節7項 老年期 (65歳以上) (p.72-74)   |
|            | e 個別性・多様性          | 高齢者の健康と障害 1章2節2項 高齢者の理解 (p.24-25)<br>母性看護実践の基本 5章4節 老年期女性の健康問題と看護 (p.106) |  |
| 8 患者と家族    | A 家族の機能            | a 家族関係  | 健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章5節1項 家族または重要他者との関係性 (p.104-109)<br>緩和ケア 9章1節2項 家族のセルフケア機能と看護援助 (p.256-257)<br>情緒発達と看護の基本 7章1節 家族とは何か (p.102-105), 2節 家族をみる視点 (p.105-110)<br>地域療養を支えるケア 2章4節1項 家族とは (p.53-58)        |
|            |                    | b 家族構成員   | 健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章5節1項 家族または重要他者との関係性 (p.104-109)   |
|            | B 家族形態の変化          | a 家族の多様性  | 健康と社会・生活 3章1節3項 家族の個人化と多様化 (p.58-59)   |
|            |                    | b 構成員の変化  | 健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章5節1項 家族または重要他者との関係性 (p.104-109)   |
|            |                    | c 疾病が患者・家族に与える心理社会的影響   | 基礎看護技術 22章3節 危篤・終末時の心理的变化 (p.456-457)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章5節2項 家族についてのアセスメント方法 (p.109-115)<br>リハビリテーション看護 6章5節 家族 (p.189-194)<br>緩和ケア 4章1節 社会的苦痛とは (p.174-176)/9章2節 緩和ケアを受ける患者の家族が体験する問題 (p.257-259) |
|            | 9 主な看護活動展開の場と看護の機能 | A 医療提供施設  | a 病院   |
| b 診療所      |                    |   | 医療関係法規 12章2節 医療法 (p.247-253)<br>看護管理 1章2節1項 施設ではどのような看護を行うか (p.21-34)  |
| c 助産所      |                    |   | 医療関係法規 12章2節 医療法 (p.247-253)<br>看護管理 1章2節1項 施設ではどのような看護を行うか (p.21-34)<br>医療安全 2章2節2項 日本助産師会 (p.45-52)  |



| 大項目                | 中項目         | 小項目                 | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|--------------------|-------------|---------------------|---|
| 9 主な看護活動展開の場と看護の機能 | A 医療提供施設    | d 介護老人保健施設          | 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)<br>看護管理 1章2節1項 施設ではどのような看護を行うか (p.21-34)   |
|                    |             | B 保健所・市町村における看護活動   | a 保健所の業務  |
|                    | b 市町村の業務    |                     | 看護学概論 10章2節1項 保健サービスの場 (p.212-215)<br>看護管理 1章2節1項 施設ではどのような看護を行うか (p.21-34)   |
|                    | C 地域・在宅での看護 | a 居宅                | 健康危機状況／セルフケアの再獲得 3章4節 訪問看護を利用している患者 (p.139-145)<br>地域療養を支えるケア 1章2節1項 在宅看護とは (p.19-20), 4節 在宅ケアと在宅看護 (p.30-34)<br>看護管理 1章2節1項 施設ではどのような看護を行うか (p.21-34)<br>医療安全 6章 在宅看護における医療事故と安全対策 (p.166-180)   |
|                    |             | b 訪問看護ステーション        | 地域療養を支えるケア 3章2節 在宅ケアを支える訪問看護ステーション (p.74-79)<br>看護管理 1章2節1項 施設ではどのような看護を行うか (p.21-34)<br>医療安全 6章1節1項 在宅看護とは (p.166)   |
|                    |             | c 介護保険施設            | 運動機能障害 8章4節2項 社会資源の活用 (p.163-166)<br>医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)<br>地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-163)<br>看護管理 1章2節1項 施設ではどのような看護を行うか (p.21-34)<br>災害看護 4章5節1項 在宅の定義 (p.104)   |
|                    |             | d 地域包括支援センター        | 公衆衛生 2章5節2項 地域組織活動 (p.36-38) / 5章4節3項 ライフサイクル・対象に基づく健康教育の具体例 (p.89)<br>社会福祉と社会保障 4章4節5項 地域における高齢者保健福祉の課題 (p.127-130)<br>医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)<br>地域療養を支えるケア 4章3節2項 地域包括ケアと保健・医療・福祉の連携 (p.126-129)<br>看護管理 1章2節1項 施設ではどのような看護を行うか (p.21-34)<br>災害看護 4章5節2項 在宅の人々の背景 (p.104-107) |
|                    | D 看護管理      | a 看護体制              | 看護学概論 11章1節 看護のマネジメント (p.232-236)<br>精神障害と看護の実践 5章3節 精神科病棟でのミーティング：事例から考える (p.118-122)<br>看護管理 3章1節1項 看護サービスはどのようにして提供されるのか (p.78-84)   |
|                    |             | b 看護チーム             | 看護学概論 11章1節 看護のマネジメント (p.232-236)<br>臨床看護総論 3章5節4項 病棟を例にした看護師の仕事：チームで行う看護 (p.150-151)<br>リハビリテーション看護 4章2節 多職種によるチームアプローチモデル (p.62-64)<br>看護管理 2章2節6項 チームマネジメント (p.53-55)  |
|                    |             | c 安全管理（セーフティマネジメント） | 医療関係法規 12章3節 医療法施行規則 (p.253-255)<br>看護学概論 11章3節2項 医療事故発生への危機感 (p.240-241)<br>看護管理 3章4節1項 安全って何？ (p.97-99)<br>医療安全 1章 医療安全と看護の理念 (p.12-28) / 3章 事故発生のメカニズムとリスクマネジメント (p.62-98) / 5章 看護における医療事故と安全対策 (p.122-163) / 6章 在宅看護における医療事故と安全対策 (p.166-180) / 7章 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策 (p.182-200)   |

| 大項目                | 中項目  | 小項目          | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|--------------------|--|--------------|---|
| 9 主な看護活動展開の場と看護の機能 | D 看護管理   | d インシデントレポート | <b>看護管理</b> 3章4節3項 リスクを回避する方法 (p.100-104)<br><b>医療安全</b> 2章4節3項 医療事故を報告する目的 (院外と院内) (p.57) / 3章3節3項 リスクマネジメント (p.94-98)   |
|                    | E 関連職種との連携   | a 関連する職種     | <b>健康危機状況／セルフケアの再獲得</b> 5章3節1項 医療・福祉関連職種によるチームアプローチ (p.238-240)<br><b>リハビリテーション看護</b> 4章1節 リハビリテーション関連職種によるチームアプローチ (p.58-62)<br><b>緩和ケア</b> 1章2節4項 チームアプローチ (p.19-22)<br><b>地域療養を支えるケア</b> 4章2節 在宅ケアにおける関連機関・関係職種との連携・協働 (p.118-123)<br><b>看護管理</b> 3章1節2項 チーム医療－他職種との協働 (p.81-84)<br><b>災害看護</b> 3章2節3項 ネットワークを円滑にするための人材育成とは (p.78-79)   |
|                    |  | b チーム医療      | <b>看護学概論</b> 10章3節1項 保健・医療・福祉チームの必要性 (p.216-218) / 11章4節2項 組織における専門職の協働 (p.244)<br><b>ヘルスアセスメント</b> 1章1節1項 チーム医療の中で期待される看護師の役割 (p.12)<br><b>臨床看護総論</b> 3章1節3項 チーム医療の機会 (p.105-108), 6節1項 多職種の連携と協働が必要なこと (p.153-154)<br><b>健康危機状況／セルフケアの再獲得</b> 5章3節1項 医療・福祉関連職種によるチームアプローチ (p.238-240)<br><b>リハビリテーション看護</b> 4章2節 多職種によるチームアプローチモデル (p.62-64)<br><b>緩和ケア</b> 1章2節4項 チームアプローチ (p.19-22), 3節3項 専門的緩和ケア (p.24-29)<br><b>地域療養を支えるケア</b> 1章4節1項 在宅チームケアの意義 (p.30-31)<br><b>看護管理</b> 3章1節2項 チーム医療－他職種との協働 (p.81-84)<br><b>医療安全</b> 1章1節3項 医療安全の対象 (p.15-16)<br><b>災害看護</b> 4章2節4項 地域医療との連携 (p.90-91) |
| c 看護の役割            | <b>看護学概論</b> 1章1節2項 看護の役割 (p.18-22)<br><b>ヘルスアセスメント</b> 1章1節1項 チーム医療の中で期待される看護師の役割 (p.12)<br><b>健康危機状況／セルフケアの再獲得</b> 5章3節1項 医療・福祉関連職種によるチームアプローチ (p.241)<br><b>リハビリテーション看護</b> 4章4節 チームにおける看護師の役割 (p.75-76)<br><b>緩和ケア</b> 1章2節4項 チームアプローチ (p.20-21) |              |   |

**目標Ⅲ. 看護に必要な人体の構造と機能及び健康障害と回復について基本的な理解を問う。**

| 大項目     | 中項目        | 小項目                  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|---------|------------|----------------------|--|
| 10 生命活動 | A 人体の構造と機能 | a 内部環境の恒常性 (ホメオスタシス) | <b>解剖生理学</b> 1章3節 ホメオスタシス (恒常性) (p.25)<br><b>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害</b> 1章1節1項 ホメオスタシスと内分泌系, 腎・泌尿器系 (p.18-19)<br><b>看護学概論</b> 2章4節1項 ホメオスタシス (p.66-67)<br><b>臨床看護総論</b> 3章3節9項 内部環境調節機能障害 (p.127-128)   |
|         |            | b 血液・水・電解質           | <b>解剖生理学</b> 4章1節 血液の機能と成分 (p.84-87) / 8章1節3項 血液成分の調節 (p.202-210)<br><b>病態生理学</b> 1章1節1項 体液の恒常性 (p.17-19)<br><b>呼吸機能障害／循環機能障害</b> 序章1節2項 呼吸と循環との関係 (p.18-19)<br><b>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害</b> 1章2節1項 体液を調節するしくみ (p.23)<br><b>臨床看護総論</b> 3章3節4項 造血機能障害 (p.123) |
|         |            | c 体温                 | <b>解剖生理学</b> 3章3節 体熱産生と体温 (p.76-81)<br><b>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害</b> 1章2節1項 体温調節のしくみ (p.23)   |

| 大項目     | 中項目        | 小項目         | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|---------|------------|-------------|---|
| 10 生命活動 | A 人体の構造と機能 | c 体温        | <p><b>基礎看護技術</b> 3章4節1項 体温調節のメカニズムと影響因子 (p.62), 2項 体温の熱型 (p.62) / 16章2節1項 体温 (body temperature) (p.338), 2項 体温に影響を及ぼす因子 (p.338-339)</p> <p><b>臨床看護総論</b> 3章3節9項 内部環境調節機能障害 (p.127-128)</p>  |
|         |            | d 感染防御と免疫反応 | <p><b>解剖生理学</b> 15章 免疫系 異物を認識, 記憶して排除するしくみ (p.392-393)</p> <p><b>病態生理学</b> 1章4節2項 免疫の働きと調節 (p.45-49), 5節2項 感染に関する用語 (p.55-57)</p> <p><b>臨床微生物・医動物</b> 4章2節 感染防御機構の基礎 (p.188-194)</p> <p><b>造血機能障害 / 免疫機能障害</b> 3章2節1項 アレルギーとはどのような状態か (p.112-118), 4節1項 免疫不全とはどのような状態か (p.148-149)</p> <p><b>ヘルスアセスメント</b> 3章2節1項 皮膚・爪・髪 of 構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.42-46), 3節1項 リンパ系の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.52-53)</p> <p><b>臨床看護総論</b> 3章3節5項 免疫機能障害 (p.124)</p> |
|         |            | e 循環器系      | <p><b>解剖生理学</b> 5章 循環器系 体のすみずみまで血液を送るしくみ (p.102-103)</p> <p><b>病態生理学</b> 1章2節1項 循環とは (p.31)</p> <p><b>呼吸機能障害 / 循環機能障害</b> 6章1節1項 循環器と循環機能 (p.136-138) / 序章1節1項 呼吸・循環の役割 (p.17-19)</p> <p><b>ヘルスアセスメント</b> 3章8節1項 心臓・血管系の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.93-97)</p> <p><b>臨床看護総論</b> 3章3節2項 循環機能障害 (p.120-122)</p> <p><b>リハビリテーション看護</b> 5章3節1項 循環機能のメカニズム (p.95-97)</p>  |
|         |            | f 呼吸器系      | <p><b>解剖生理学</b> 6章 呼吸器系 酸素を取り入れて二酸化炭素を排出するしくみ (p.130-131)</p> <p><b>呼吸機能障害 / 循環機能障害</b> 1章1節1項 呼吸器と呼吸機能 (p.22-25) / 序章 呼吸・循環のしくみ (p.18-19)</p> <p><b>ヘルスアセスメント</b> 3章7節1項 肺 (呼吸器系) の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.84-86)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 3章3節1項 呼吸調節のメカニズムと影響因子 (p.59-60) / 15章1節 呼吸とは (p.318)</p> <p><b>臨床看護総論</b> 3章3節1項 呼吸機能障害 (p.119-120)</p> <p><b>リハビリテーション看護</b> 5章2節1項 呼吸機能のメカニズム (p.88-90)</p>   |
|         |            | g 神経系       | <p><b>解剖生理学</b> 13章 神経系 情報を収集して判断し, 伝達するしくみ (p.324-325)</p> <p><b>脳・神経機能障害 / 感覚機能障害</b> 1章 脳・神経系の構造・機能とその障害 (p.16-40)</p> <p><b>ヘルスアセスメント</b> 3章13節1項 神経系の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.161-163)</p> <p><b>臨床看護総論</b> 3章3節6項 脳・神経機能障害 (p.125), 7項 感覚機能障害 (p.125-126), 8項 運動機能障害 (p.126-127)</p> <p><b>リハビリテーション看護</b> 5章6節1項 高次脳機能のメカニズム (p.121-122)</p>   |
|         |            | h 消化器系      | <p><b>解剖生理学</b> 7章 消化器系 食物を摂取して消化・吸収し排泄するしくみ (p.160-161)</p> <p><b>ヘルスアセスメント</b> 3章10節1項 腹部 (消化器系) の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.120-123)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 13章2節2項 消化・吸収の生理学的メカニズム (p.264-267)</p> <p><b>臨床看護総論</b> 3章3節3項 栄養代謝機能障害 (p.122-123)</p> <p><b>リハビリテーション看護</b> 5章5節1項 摂食・嚥下機能のメカニズム (p.112-114)</p>  |
|         |            | i 泌尿器系      | <p><b>解剖生理学</b> 8章 泌尿器系 尿をつくるしくみ (p.194-195)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 14章2節1項 尿の生成と排尿のメカニズム (p.290-291)</p>   |

| 大項目     | 中項目        | 小項目   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|---------|------------|---|---|
| 10 生命活動 | A 人体の構造と機能 | i 泌尿器系  | 臨床看護総論 3章3節9項 内部環境調節機能障害 (p.127-128)<br>リハビリテーション看護 5章4節1項 排泄のメカニズム (p.103-106)   |
|         |            | j 代謝・内分泌系   | 解剖生理学 9章 内分泌系 内部の環境を整えるしくみ (p.218-219)<br>臨床生化学 1章 代謝総論 (p.12-16) / 5章 エネルギー代謝の統合と制御 (p.104-110)<br>ヘルスアセスメント 3章4節1項 頭部・顔面・頸部の構造と機能：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.58-59)<br>臨床看護総論 3章3節3項 栄養代謝機能障害 (p.122-123)  |
|         |            | k 骨・筋系  | 解剖生理学 11章 骨格系 体を支えるしくみ (p.276-277) / 12章 筋系 体を動かすしくみ (p.302-303)<br>運動機能障害 1章1節 骨の構造・機能と障害 (p.18-20)<br>ヘルスアセスメント 3章4節1項 頭部・顔面・頸部の構造と機能：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.58-59), 12節1項 筋・骨格系の構造と機能：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.143-146)<br>基礎看護技術 10章2節1項 運動の神経支配と骨格筋の収縮 (p.188-190)<br>臨床看護総論 3章3節8項 運動機能障害 (p.126-127)                                 |
|         |            | l 性と生殖器系  | 解剖生理学 10章 生殖器系 子孫を残すしくみ (p.250-251)<br>ヘルスアセスメント 3章9節1項 乳房・腋窩の構造と機能：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.108-110), 11節1項 生殖器 (女性/男性) と肛門：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.133-136)<br>臨床看護総論 3章3節10項 性・生殖機能障害 (p.129)<br>リハビリテーション看護 5章9節1項 性のメカニズム (p.147-149)<br>母性看護実践の基本 3章2節 女性の生殖器 (p.49-53), 3節 男性の生殖器 (p.54-55), 4節 性分化のメカニズム (p.55-57), 5節 性周期 (p.57-61) |
|         |            | m 遺伝  | 臨床生化学 2章5節 核酸とヌクレオチド (p.38-43) / 6章 遺伝情報 (p.112-127)<br>病態生理学 1章8節2項 先天異常の原因 (p.79-80)  |
|         |            | B 正常な妊娠・分娩・産褥   | a 妊娠の成立   |
|         | b 妊娠の経過    | 解剖生理学 10章1節5項 妊娠と出産 (p.263-267)<br>母性看護実践の基本 6章2節3項 妊娠に伴う母体の変化 (p.117-123)  |   |
|         | c 分娩の経過    | 解剖生理学 10章1節5項 妊娠と出産 (p.263-267)<br>母性看護実践の基本 7章3節1項 分娩の経過 (p.161-165)   |   |
|         | d 産褥の経過    | 母性看護実践の基本 8章2節 産褥期における身体的変化 (p.187-193)   |   |
|         | C 人間の死     | a 死の三徴候   | 病態生理学 1章序論3項 人間の死 (p.14-16)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章2節3項 予測性の有無別にみた身体機能悪化への対応方法 (p.81-82)   |
|         | b 死亡判定     | 基礎看護技術 22章5節2項 臨終後の身体的変化 (p.461-462)<br>緩和ケア 8章5節2項 死亡の確認と死亡診断書 (p.250-251)   |   |
|         | c 脳死       | 病態生理学 1章序論3項 人間の死 (p.14-16)   |   |
|         | d 死の受容     | 基礎看護技術 22章3節 危篤・終末時の心理的变化 (p.456-457)<br>成人看護学概論 2章4節 成人と死 (p.40-42)<br>緩和ケア 1章1節3項 終末期がん患者の死への過程 (p.14) / 3章1節1項 がんに対する心の反応 (p.145)<br>災害看護 5章1節6項 遺族の心理的特徴と援助 (p.144-148) |   |

| 大項目      | 中項目  | 小項目       | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|----------|--|-----------|---|
| 11 病態と看護 | A 症状と看護  | a 意識障害    | 病態生理学 2章24節 意識障害 (p.211-218)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 8章2節4項 意識障害・失神 (p.202-203)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節2項 意識障害 (p.142-146)<br>臨床看護総論 2章3節1項 救急搬送から SCU入室 (rt-PA) 施行まで (p.74-79)  |
|          |  | b ショック    | 病態生理学 2章6節 ショック (p.124-131)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 6章10節 末梢性の循環障害—ショック (p.182-186)／8章2節1項 ショック (p.200)<br>造血機能障害／免疫機能障害 3章3節2項 アナフィラキシーショック (p.138-141)<br>臨床看護総論 2章1節4項 心臓リハビリテーション (p.39-45)<br>災害看護 7章3節2項 搬送技術 (p.194-197)  |
|          |  | c 高体温・低体温 | 病態生理学 2章40節 発熱・低体温 (p.287-298)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 5章 体温調節機能の障害 (p.100-120)／9章1節2項 偶発性低体温症の予防 (p.181-183)<br>基礎看護技術 16章1節 はじめに (p.338), 2節5項 体温の異常 (p.340-341)   |
|          |  | d 脱水      | 病態生理学 2章42節 脱水 (p.306-310)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 1章2節2項 水と電解質の異常とはどのような状態か (p.23-26)   |
|          |  | e 黄疸      | 病態生理学 2章18節 黄疸 (p.180-183)<br>栄養代謝機能障害 3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.114-129)<br>小児の疾患と看護 1章13節 新生児黄疸 (p.44-47)   |
|          |  | f 頭痛      | 病態生理学 2章25節 頭痛 (p.219-224)  |
|          |  | g 咳嗽・喀痰   | 病態生理学 2章1節 咳嗽・喀痰・喀血 (p.98-104)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 4章2節5項 咳・痰 (血痰・喀血) (p.93-94)  |
|          |  | h 吐血・喀血   | 病態生理学 2章1節 咳嗽・喀痰・喀血 (p.98-104), 13節 吐血・下血 (p.158-162)<br>栄養代謝機能障害 3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.114-129)  |
|          |  | i チアノーゼ   | 病態生理学 2章5節 チアノーゼ (p.121-123)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 4章2節1項 チアノーゼ (p.89)／6章4節2項 心臓の形態異常による症状とその検査 (p.153-154)／8章2節8項 チアノーゼ (p.205-206)   |
|          |  | j 呼吸困難    | 解剖生理学 6章3節4項 呼吸のさまざまな異常 (p.157-158)<br>病態生理学 2章2節 呼吸困難 (p.105-111)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 4章2節4項 呼吸困難 (p.91-92)／8章2節7項 呼吸困難 (p.205)<br>基礎看護技術 15章3節2項 呼吸困難の観察 (p.320-323), 5節 呼吸を楽にする方法の選択 (p.324-336)<br>セルフマネジメント 9章2節 慢性呼吸不全 (慢性閉塞性肺疾患: COPD) をもつ人への一般的対応 (p.137-142)<br>緩和ケア 2章5節 呼吸困難の治療と看護 (p.96-103)<br>小児の疾患と看護 1章1節 呼吸窮迫症候群 (p.12-14)／4章1節 小児気管支喘息 (p.94-96) |
|          |  | k 胸痛      | 病態生理学 2章3節 胸痛 (p.112-120)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 4章2節3項 胸痛 (p.90)／8章2節6項 胸痛 (p.204-205)<br>臨床看護総論 2章1節2項 病院廊下で心停止 (p.31-34)   |
| l 不整脈    | 病態生理学 2章4節 不整脈 (p.115-120)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 6章7節 刺激伝導系の障害 (p.167-171)<br>ヘルスアセスメント 3章8節4項 心電図によるアセスメント (p.102-106) |           |   |

| 大項目      | 中項目  | 小項目        | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|----------|--|------------|--|
| 11 病態と看護 | A 症状と看護  | l 不整脈      | 臨床看護総論 2章1節3項 CCUでの経過観察 (p.35-37), 4項 心臓リハビリテーション (p.39-45)  |
|          |  | m 腹痛・腹部膨満  | 病態生理学 2章7節 腹痛 (p.132-135), 16節 腹部膨満 (p.172-175)<br>栄養代謝機能障害 3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.114-129)   |
|          |  | n 嘔気・嘔吐    | 病態生理学 2章12節 嘔気・嘔吐 (p.154-157)<br>栄養代謝機能障害 3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.114-129)<br>緩和ケア 2章4節1項 嘔気・嘔吐の治療と看護 (p.81-84)<br>小児の疾患と看護 1章4節 先天性横隔膜ヘルニア (p.20-23), 5節 先天性食道閉鎖症 (p.23-25), 6節 肥厚性幽門狭窄症 (p.25-27), 7節 腸閉鎖症 (p.27-30), 8節 鎖肛 (p.30-32), 10節 髄膜瘤/二分脊椎 (p.35-38), 11節 水頭症 (p.39-41)/8章1節 胃・十二指腸潰瘍 (p.186-188), 2節 急性虫垂炎 (p.189-190), 4節 腸重積症 (p.193-195), 5節 肝炎 (p.195-197), 6節 周期性嘔吐症 (p.198-199)/10章4節 急性脳症/脳炎/インフルエンザ脳症 (p.226-228), 7節 神経性やせ症 (p.234-237) |
|          |  | o 下痢       | 病態生理学 2章15節 下痢 (p.168-171)<br>栄養代謝機能障害 3章3節1項 特徴的な症状とその看護 (p.138-146)<br>基礎看護技術 14章4節3項 自然排便を阻害する要因 (p.297)  |
|          |  | p 便秘       | 病態生理学 2章14節 便秘 (p.163-167)<br>栄養代謝機能障害 3章3節1項 特徴的な症状とその看護 (p.138-146)<br>基礎看護技術 14章4節3項 自然排便を阻害する要因 (p.297)<br>緩和ケア 2章4節4項 便秘の治療と看護 (p.89-91)  |
|          |  | q 下血       | 病態生理学 2章13節 吐血・下血 (p.158-162)<br>栄養代謝機能障害 3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.114-129)   |
|          |  | r 乏尿・無尿・頻尿 | 病態生理学 2章43節1項 頻尿 (p.311), 44節 尿量異常 (p.314-316)<br>基礎看護技術 14章4節2項 自然排尿を阻害する要因 (p.295-297)<br>緩和ケア 2章7節 泌尿器症状の治療と看護 (p.111-117)  |
|          |  | s 浮腫       | 病態生理学 2章41節 浮腫 (p.300-305)<br>呼吸機能障害/循環機能障害 8章2節3項 浮腫 (p.201-202)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章2節2項 水と電解質の異常とはどのような状態か (p.23-26)/3章2節1項 問診・視診・触診 (p.75-78)   |
|          |  | t 貧血       | 病態生理学 2章19節 貧血 (p.184-189)<br>臨床栄養学 3章3節3項 青年期 (p.119-120)<br>造血機能障害/免疫機能障害 2章1節1項 貧血・白血球減少症・血小板減少症および機能異常のある患者の観察とアセスメント (p.66-69)<br>小児の疾患と看護 9章1節 未熟児貧血/鉄欠乏性貧血/溶血性貧血 (p.202-203)  |
|          |  | u 睡眠障害     | 病態生理学 2章46節1項 睡眠障害とは (p.321-329)<br>ヘルスアセスメント 6章3節5項 睡眠/休息パターンのアセスメント (p.279-281)<br>基礎看護技術 11章 休息・睡眠を促す技術 (p.218-231)<br>緩和ケア 3章5節 不眠の治療と看護 (p.162-168)   |
| v 感覚の異常  | 病態生理学 2章31節 めまい (p.245-249), 32節 視力障害 (p.250-255), 33節 難聴 (p.256-260), 34節 耳鳴 (p.261-264), 35節 味覚障害 (p.265-268), 36節 嗅覚障害 (p.269-272), 37節 しびれ (p.273-278) |            |  |

| 大項目      | 中項目       | 小項目            | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|----------|-----------|----------------|--|
| 11 病態と看護 | A 症状と看護   | v 感覚の異常        | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章2節2項 間脳の機能とその障害 (p.21-22), 4節2項 小脳の機能とその障害 (p.26-27), 6節2項 脳神経の機能とその障害 (p.33-34), 8節2項 脳の動脈の機能とその障害 (p.39)／5章4節 皮膚(体性感覚)の障害と患者の看護 (p.246-254)<br>高齢者看護の実践 2章1節1項 認知症の病態と要因 (p.202-204)   |
|          |           | w 運動の異常(麻痺・失調) | 病態生理学 2章27節 運動麻痺 (p.229-233), 28節 運動失調 (p.234-236), 29節 歩行障害 (p.237-239)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章1節2項 大脳の機能とその障害 (p.18-20), 3節2項 脳幹の機能とその障害 (p.24-25), 6節2項 脳神経の機能とその障害 (p.33-34), 8節2項 脳の動脈の機能とその障害 (p.39)／3章2節3項 片麻痺 (p.146-153), 4項 運動失調, 不随意運動 (p.154-158), 12項 顔面神経麻痺 (p.188-190)<br>臨床看護総論 2章3節1項 救急搬送から SCU 入室 (rt-PA) 施行まで (p.74-79)  |
|          |           | x けいれん         | 病態生理学 2章26節 痙攣 (p.225-228)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節9項 てんかん患者 (p.126-129)<br>小児の発達と看護 3章2節3項 痙攣時のアセスメントと看護 (p.195-197)<br>小児の疾患と看護 1章3節 新生児仮死 (p.17-20), 13節 新生児黄疸 (p.44-47)／2章3節 神経線維腫症1型 (p.58-59), 4節 21トリソミー (ダウン症候群) (p.60-62), 6節 13トリソミー (p.65-66)／5章3節 髄膜炎 (p.120-122), 12節 百日咳／ジフテリア／破傷風／ポリオ (p.141-144), 13節 溶連菌感染症 (p.145-147)／10章2節 熱性けいれん (p.222-223)   |
|          | B 主要疾患と看護 | a 生活習慣病        | 臨床生化学 4-2章10節 脂肪細胞と生活習慣病 (p.85)<br>病態生理学 2章8節1項 原因と分類 (p.136)<br>臨床薬理学 2章1節 生活習慣病 (p.36-37), 2節 高血圧 (p.37-42), 8節 糖尿病 (p.54-60), 9節1項 脳血管障害の分類 (p.61)<br>臨床栄養学 1章2節2項 栄養素の分類 (p.12-43)／2章2節1項 日本人の食事摂取基準 (2015年版) (p.66-97)／3章3節4項 成人期 (p.121-122)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 8章3節6項 生活指導 (p.212-214)<br>栄養代謝機能障害 2章1節6項 脂肪肝 (p.77)／4章1節6項 脂肪肝患者の看護 (p.163)<br>臨床看護総論 2章1節 心筋梗塞発症の患者さんへの看護ケア【事例】 (p.25-48)<br>成人看護学概論 7章2節 生活習慣病の発主要因と対応 (p.137-138), 3節 生活習慣病の発症予防と自己効力感 (p.138-143)<br>セルフマネジメント 1章2節 セルフマネジメント支援の構成要素 (p.17-22)／7章1節 糖尿病に関する知識 (p.102-108)<br>小児の発達と看護 2章4節4項 学童によくみられる健康問題 (p.141-144)<br>情緒発達と看護の基本 10章2節3項 主な精神作用物質による精神および行動の障害 (p.165-167)／13章1節 依存のとらえ方 (p.236-237) |
|          |           | b がん           | 病態生理学 1章7節8項 がんの臨床・看護 (p.77-78)<br>造血機能障害／免疫機能障害 2章3節1項 急性白血病患者の観察とアセスメント (p.86-88)<br>臨床看護総論 2章2節 大腸がん発症の患者さんへの看護ケア【事例】 (p.49-72)<br>緩和ケア 2章1節 身体症状概論 (p.46-49), 2節 疼痛の治療と看護 (p.50-75), 8節 がん治療に伴う苦痛の緩和 (p.118-133)   |
|          |           | c 感染症          | 臨床栄養学 3章1節3項 現在の食生活の特徴と問題点 (p.101-103)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 1章6節 呼吸器系におけるその他の障害—呼吸器感染症 (p.54-57)   |

| 大項目          | 中項目           | 小項目         | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|--------------|---------------|-------------|---|
| 11 病態と看護     | B 主要疾患と看護     | c 感染症       | セルフマネジメント 13章 エイズとともに生きるセルフマネジメント支援 (p.200-212)<br>小児の疾患と看護 5章 感染症 (p.116-147)<br>地域療養を支えるケア 2章3節3項 病状・病態の予測と予防 (p.49-50)   |
|              |               | d 外因性障害     | 小児看護技術 8章3節3項 熱傷 (p.203-204), 5項 熱中症 (p.205-206)  |
|              |               | e 精神疾患      | 臨床看護総論 3章4節7項 精神療法 (p.135-136)<br>情緒発達と看護の基本 10章1節 精神疾患総論 (p.158-163)<br>精神障害と看護の実践 3章 精神障害と看護の実践 (p.60-90)   |
|              |               | f 小児疾患      | 臨床薬理学 7章1節 気管支喘息と薬物療法 (p.158-169), 2節 呼吸器疾患に使用する薬 (p.169-173)<br>臨床栄養学 3章3節1項 乳幼児期 (p.112-117)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 6章4節1項 心臓の形態異常とはどのような状態か (p.152-153)<br>運動機能障害 3章2節 関節の運動機能障害を起こす代表疾患 (p.47-51)<br>小児の発達と看護 2章2節6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.92-97)<br>小児の疾患と看護 1章 新生児疾患 (p.12-51)／2章 遺伝性疾患・染色体異常 (p.54-70)／3章 代謝・内分泌疾患 (p.74-92)／4章 免疫・アレルギー・膠原病 (p.94-113)／5章 感染症 (p.116-147)／6章 循環器疾患 (p.150-166)／7章 腎・泌尿器疾患 (p.168-182)／8章 消化器疾患 (p.186-199)／9章 血液・腫瘍疾患 (p.202-218)／10章 神経・筋・精神疾患 (p.220-237) |
|              |               | g 高齢者の疾患    | 高齢者の健康と障害 4章6節1項 高齢者に起こりやすい疾患の特徴 (p.200-203)<br>高齢者看護の実践 1章6節 呼吸・循環機能障害を支える看護 (p.145-174), 7節 その他高齢者に特徴的な症状・疾患を支える看護 (p.174-200)／2章1節1項 認知症の病態と要因 (p.202-204)   |
| 12 薬物治療に伴う反応 | A 主な薬物の作用と副作用 | a 抗菌薬       | 臨床薬理学 5章1節 細菌感染症 (p.124-131)  |
|              |               | b 抗ウイルス薬    | 臨床薬理学 5章2節 ウイルス感染症 (p.132-134)  |
|              |               | c 抗癌薬       | 臨床生化学 4-4章4節 抗がん薬の作用 (p.101-102)<br>臨床薬理学 3章1節 がんに使用する薬 (p.68-88), 2節 がん性疼痛に使用する薬 (p.84-88)<br>造血機能障害／免疫機能障害 2章3節1項 急性白血病患者の観察とアセスメント (p.86-88)<br>緩和ケア 2章8節2項 化学療法に伴う苦痛の緩和 (p.118-124)<br>医療安全 7章4節1項 抗がん薬の曝露 (p.190-193)  |
|              |               | d 強心薬・抗不整脈薬 | 病態生理学 2章4節4項 ケア (p.120), 6節4項 ケア (p.128-130)<br>臨床薬理学 2章5節 不整脈 (p.48-49)／6章2節1項 循環改善のために使用する薬 (p.145-146)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 2章2節2項 呼吸性アシドーシスを伴う代表的疾患と検査・治療 (p.67-69)   |
|              |               | e 狭心症治療薬    | 臨床薬理学 2章3節 狭心症 (p.42-43)  |
|              |               | f 降圧薬・昇圧薬   | 病態生理学 2章6節4項 ケア (p.128-130)<br>臨床薬理学 2章2節 高血圧 (p.37-42)   |
|              |               | g 利尿薬       | 病態生理学 2章17節4項 ケア (p.179)<br>臨床薬理学 2章2節 高血圧 (p.37-42)  |
|              |               | h 副腎皮質ステロイド | 病態生理学 2章19節5項 ケア (p.188), 20節4項 ケア (p.194-196), 23節4項 ケア (p.209-210)<br>臨床薬理学 6章2節 ショックに対して使用する薬 (p.145-147)／7章1節3項 ステロイド (吸入・注射) (p.165-168)   |



| 大項目          | 中項目           | 小項目           | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|--------------|---------------|---------------|---|
| 12 薬物治療に伴う反応 | A 主な薬物の作用と副作用 | h 副腎皮質ステロイド   | 造血機能障害／免疫機能障害 4章1節1項 膠原病患者の観察とアセスメント (p.154-157), 2節2項 関節リウマチ患者の看護【事例】 (p.163-170)<br>運動機能障害 3章4節1項 関節の薬物療法 (p.53-54)   |
|              |               | i 糖尿病治療薬      | 臨床薬理学 2章8節 糖尿病 (p.54-60)<br>セルフマネジメント 7章1節4項 糖尿病の治療 (p.105-107)   |
|              |               | j 中枢神経作用薬     | 病態生理学 2章4節4項 ケア (p.120), 6節4項 ケア (p.128-130)<br>臨床薬理学 4章1節 中枢神経系の働きと薬 (p.90-91), 2節 抗てんかん薬 (p.91-95), 3節 パーキンソン病治療薬 (p.96-102)／7章2節1項 鎮咳薬 (p.169-171)／8章1節3項 制吐薬, 鎮吐薬 (p.191-195) |
|              |               | k 麻薬          | 病態生理学 2章6節4項 ケア (p.128-130)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章1節3項 苦痛緩和の方法 (p.61-62)<br>緩和ケア 2章2節3項 がん疼痛の治療と看護 (p.58-70), 4項 がん疼痛を有する患者の看護 (p.70-72)  |
|              |               | l 消炎鎮痛薬       | 栄養代謝機能障害 1章3節2項 肛門疾患 (p.61-64)／3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.114-129)<br>運動機能障害 3章4節1項 関節の薬物療法 (p.53-54)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章1節3項 苦痛緩和の方法 (p.61-62)<br>緩和ケア 2章2節3項 がん疼痛の治療 (p.61)       |
|              | B 医薬品の安全対策    | a 混合の可否       | 臨床薬理学 1章3節3項 処方から投与まで (p.28-34)   |
|              |               | b 禁忌          | 臨床薬理学 1章3節3項 処方から投与まで (p.28-34)／3章1節3項 がんの薬物療法に使用する薬 (p.68-76)  |
|              |               | c 保存方法        | 臨床薬理学 1章3節3項 処方から投与まで (p.28-34)   |
|              |               | d 薬理効果に影響する要因 | 臨床薬理学 3章1節3項 がんの薬物療法に使用する薬 (p.68-76)<br>基礎看護技術 19章3節5項 薬剤の効果(薬効)に影響を与える要因 (p.397)   |

#### 目標Ⅳ. 看護技術の基本的な理解を問う。

| 大項目     | 中項目         | 小項目             | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|---------|-------------|-----------------|---|
| 13 基本技術 | A コミュニケーション | a 言語的コミュニケーション  | 看護学概論 7章1節4項 コミュニケーションのタイプ (p.154-155)<br>ヘルスアセスメント 2章3節3項 問診技法 (p.23-24)<br>基礎看護技術 1章1節5項 コミュニケーションの種類とその概要 (p.16), 6項 言語的コミュニケーション (p.17), 4節3項 インフォームドコンセントと看護者の役割 (p.30-31)<br>セルフマネジメント 3-4章2節2項 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション (p.74)<br>緩和ケア 6章3節1項 コミュニケーションとは (p.204)<br>精神障害と看護の実践 2章1節「治療的関わり」の考え方 (p.20-26)     |
|         |             | b 非言語的コミュニケーション | 看護学概論 7章1節4項 コミュニケーションのタイプ (p.154-155)<br>ヘルスアセスメント 2章3節3項 問診技法 (p.23-24)<br>基礎看護技術 1章1節5項 コミュニケーションの種類とその概要 (p.16), 7項 非言語的コミュニケーション (p.17-20), 4節3項 インフォームドコンセントと看護者の役割 (p.30-31)<br>セルフマネジメント 3-4章2節2項 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション (p.74)<br>緩和ケア 6章3節1項 コミュニケーションとは (p.204)<br>精神障害と看護の実践 2章1節「治療的関わり」の考え方 (p.20-26) |

| 大項目     | 中項目  | 小項目  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|---------|--|--|--|
| 13 基本技術 | A コミュニケーション                                      | c 面接技法   | <p><b>ヘルスアセスメント</b> 2章3節2項 有効な問診のための心掛け (p.22-23)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 1章1節7項 非言語的コミュニケーション (p.17-20), 2節1項 社会的コミュニケーションと専門的コミュニケーション (p.20-21), 3節2項 ロールプレイ (p.24-26), 4節1項 援助過程とコミュニケーション (p.27-29) / 2章2節 カウンセリング (p.47-56)</p> <p><b>セルフマネジメント</b> 3-4章3節 コミュニケーションの方法 (p.75-78)</p> <p><b>緩和ケア</b> 6章3節3項 基本的なコミュニケーション (p.205), 4節 難しいコミュニケーション (p.210-213), 5節 事例：がん医療における病状説明場面での看護師の役割 (p.214), 6節 事例：対応の難しいコミュニケーション (p.215-216)</p> |
|         |  | B フィジカルアセスメント  |  |
|         | a バイタルサインの測定と評価                                  | <p><b>ヘルスアセスメント</b> 2章5節 バイタルサインの測定 (p.29-36)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 3章2節 バイタルサインとは (p.58), 8節 バイタルサインチェックリスト (p.71-74)</p> <p><b>小児看護技術</b> 9章1節 バイタルサインの測定 (p.210-225)</p>   |  |
|         | b 意識レベルの評価                                       | <p><b>病態生理学</b> 2章24節3項 アセスメント (p.214-216)</p> <p><b>脳・神経機能障害／感覚機能障害</b> 3章2節2項 意識障害 (p.142-144)</p> <p><b>ヘルスアセスメント</b> 2章5節 バイタルサインの測定 (p.29-36) / 5章1節3項 個々の精神現象から (p.228-233)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 3章7節2項 意識状態の評価基準 (p.69-71), 8節 バイタルサインチェックリスト (p.71-74)</p> <p><b>臨床看護総論</b> 2章3節1項 救急搬送から SCU入室 (rt-PA) 施行まで (p.74-79)</p>   |  |
|         | c 呼吸音聴取の方法と評価                                    | <p><b>呼吸機能障害／循環機能障害</b> 4章1節1項 呼吸機能障害のアセスメント (p.80-86)</p> <p><b>ヘルスアセスメント</b> 2章4節4項 聴診：auscultation (p.27-28) / 3章7節2項 肺の問診および視診，触診，打診，聴診 (p.86-90)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 3章3節2項 呼吸の測定部位と測定時のポイント (p.60-61)</p>   |  |
|         | d 腸蠕動音聴取の方法と評価                                   | <p><b>ヘルスアセスメント</b> 2章4節4項 聴診：auscultation (p.27-28) / 3章10節3項 腹部（消化器系）の視診，聴診，打診，触診 (p.125-130)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 3章9節1項 フィジカルアセスメントテクニック (p.74-75), 10節 フィジカルアセスメントチェックリスト (p.76-83)</p>   |  |
|         | e 運動系の観察と評価（日常生活動作〈ADL〉・関節可動域〈ROM〉・徒手筋力テスト〈MMT〉） | <p><b>運動機能障害</b> 2章3節1項 検査とその際の留意点 (p.38-40) / 6章3節1項 関節のアセスメント (p.97-105) / 7章1節2項 日常生活の観察 (p.116-118) / 8章2節1項 基本的動作と日常生活活動の障害 (p.152-156)</p> <p><b>ヘルスアセスメント</b> 3章12節5項 関節可動域 (p.149-155), 6項 上下肢の筋力の測定 (p.156-159)</p> <p><b>リハビリテーション看護</b> 5章1節2項 運動機能障害のアセスメント (p.80-87)</p>  |  |
|         | C 看護過程   |  |  |
|         | a 情報収集   | <p><b>看護学概論</b> 8章1節3項 看護過程：五つのステップの順序と定義 (p.172-174)</p> <p><b>ヘルスアセスメント</b> 6章4節2項 SデータとOデータ (p.303)</p>   |  |
|         | b アセスメント   | <p><b>呼吸機能障害／循環機能障害</b> 9章1節2項 アセスメント (p.223-226), 2節2項 アセスメント (p.231-234)</p> <p><b>看護学概論</b> 2章3節1項 対象理解と看護アセスメントの枠組み（視点）(p.63-64)</p> <p><b>ヘルスアセスメント</b> 1章3節1項 看護におけるアセスメント：ヘルスアセスメントの視点 (p.13), 2項 解剖生理学の知識がベースになるフィジカルアセスメント (p.13-14), 4節4項 対象者の問題や状態をアセスメントする (p.15) / 5章2節4項 居宅等で生活する対象者のヘルスアセスメントの注意点 (p.241-242) / 6章3節1項 健康知覚／健康管理パターンのアセスメント (p.256-262)</p> |  |

| 大項目       | 中項目   | 小項目         | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|-----------|---|-------------|--|
| 13 基本技術   | C 看護過程  | b アセスメント    | 基礎看護技術 8章2節1項 アセスメントとは (p.152-153), 3項 アセスメントの例 (事例紹介) (p.156-169)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章1節2項 アセスメントの視点 (p.202-203), 3項 アセスメントの内容と方法 (p.203-215)                                   |
|           |   | c 計画立案      | ヘルスアセスメント 6章4節5項 問題の優先順位を付ける (p.305), 6項 目標を設定する (短期目標と長期目標) (p.305-306)<br>基礎看護技術 8章4節1項 目標の設定 (p.170-171), 2項 解決策の決定 (p.171-172)   |
|           |   | d 実施        | ヘルスアセスメント 7章2節4項 実施・評価 (p.343)<br>基礎看護技術 8章5節 実施 (p.172)   |
|           |   | e 評価        | ヘルスアセスメント 7章2節4項 実施・評価 (p.343)<br>基礎看護技術 8章6節 評価 (p.172-173)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章1節1項 アセスメントと評価 (p.202)  |
|           |   | f 記録        | 看護学概論 8章2節3項 記録の書き方 (p.177)<br>ヘルスアセスメント 6章4節4項 NANDA 看護診断の記載方法 (p.305)<br>基礎看護技術 8章7節 看護記録の作成と管理 (p.173-174)  |
|           |   | 14 日常生活援助技術 | A 食事   |
| b 食事介助の方法 | 基礎看護技術 13章5節1項 経口栄養 (摂取) 法の援助 (p.278-281), 4項 経口摂取の援助 (p.285-286)<br>地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)   |             |  |
| c 誤嚥の予防   | 病態生理学 2章11節4項 ケア (p.151-152)<br>臨床栄養学 4章4節 嚥下障害のある人のための食事 (p.153-156)<br>栄養代謝機能障害 3章1節1項 特徴的な症状とその看護 (p.96-107)<br>基礎看護技術 6章2節2項 主な医療事故とその予防策 (p.132-138)<br>地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)<br>医療安全 5章2節5項 誤嚥 (p.147-148) |             |  |
| B 排泄      | a 床上排泄  |             | 基礎看護技術 14章5節1項 床上での排尿・排便の援助 (p.297-299), 2項 おむつを用いた援助 (p.300-301)  |
|           | b 導尿  |             | 基礎看護技術 14章5節6項 導尿 (p.303-307)<br>小児看護技術 4章4節 導尿 (CIC) (p.107-108)  |
|           | c 浣腸  |             | 基礎看護技術 14章5節7項 浣腸 (p.307-309)<br>小児看護技術 4章3節 浣腸 (p.104-106)  |
|           | d 摘便  |             | 基礎看護技術 14章5節8項 摘便 (p.309-311)<br>地域療養を支えるケア 6章4節3項 援助の実際と技術 (2) (p.209-211)  |
|           | e 失禁のケア   |             | 病態生理学 2章43節4項 尿失禁 (p.312-313)<br>栄養代謝機能障害 3章3節1項 特徴的な症状とその看護 (p.138-146)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 8章3節2項 腹圧性尿失禁のある女性患者の運動訓練と生活指導 (p.163-167)<br>基礎看護技術 14章5節2項 おむつを用いた援助 (p.300-301) |
| C 清潔      | a 入浴  |             | 基礎看護技術 12章2節2項 入浴と生体の反応 (p.236), 5節1項 入浴の介助 (p.240-242)<br>小児看護技術 5章2節 入浴 (p.117-120)<br>地域療養を支えるケア 6章2節2項 援助の実際と技術 (p.196-198)  |

| 大項目         | 中項目              | 小項目     | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-------------|------------------|---------|---|
| 14 日常生活援助技術 | C 清潔             | b 清拭    | 基礎看護技術 12章2節3項 マッサージと生体の反応 (p.237), 5項 清拭洗浄剤と皮膚の反応 (p.237), 5節4項 全身清拭 (p.246)<br>小児看護技術 5章3節 清拭 (p.120-122)<br>地域療養を支えるケア 6章2節2項 援助の実際と技術 (p.196-198)                     |
|             |                  | c 口腔ケア  | 基礎看護技術 12章5節2項 口腔ケア (p.242-244)<br>小児看護技術 5章5節 口腔ケア (p.124-128)<br>地域療養を支えるケア 6章2節2項 援助の実際と技術 (p.196-198)   |
|             |                  | d 洗髪    | 基礎看護技術 12章2節4項 頭皮のケア (p.237), 5節3項 洗髪 (p.244-245)<br>小児看護技術 5章4節 洗髪 (p.122-124)<br>地域療養を支えるケア 6章2節2項 援助の実際と技術 (p.196-198)   |
|             |                  | e 部分浴   | 基礎看護技術 12章5節6項 手浴・足浴 (p.246-253)<br>地域療養を支えるケア 6章2節2項 援助の実際と技術 (p.196-198)  |
|             |                  | f 陰部洗浄  | 基礎看護技術 12章5節5項 陰部洗浄 (p.246)   |
|             |                  | g 整容    | 基礎看護技術 12章3節4項 身体の清潔・衣生活のニーズを充足させる本人のセルフケアの程度 (p.239)   |
|             |                  | h 寝衣交換  | 基礎看護技術 12章5節7項 寝衣交換 (p.253-255)<br>小児看護技術 5章6節 衣服の交換 (p.128-132)  |
|             |                  | D 活動と休息 | a 睡眠  |
|             | b 体位             |         | 基礎看護技術 7章1節 安楽な体位 (p.140-145)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 5章2節1項 生命維持レベルのセルフケア再獲得への支援 (p.217-219)   |
|             | c 体位変換           |         | 基礎看護技術 10章5節1項 体位変換における留意点 (p.196), 2項 さまざまな場面における体位変換の援助 (p.196-200), 6節 技術の評価 (チェックリストの活用) (p.212-213)  |
|             | d 移動・移送          |         | 基礎看護技術 10章5節5項 移動・移送 (p.208-211), 6節 技術の評価 (チェックリストの活用) (p.214-215)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 5章2節2項 生活基本行動レベルのセルフケア再獲得への支援 (p.221-223)<br>小児看護技術 2章4節3項 転落を防止する環境づくり (p.47-50) |
|             | e ボディメカニクス       |         | 基礎看護技術 7章2節 ボディメカニクス (p.146-149)  |
|             | f 廃用症候群の予防       |         | 臨床看護総論 2章3節2項 病棟における日常生活動作再獲得のためのリハビリテーション (p.80-84)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章2節1項 身体機能悪化の予期 (p.76)/5章2節1項 生命維持レベルのセルフケア再獲得への支援 (p.217-219)                                  |
|             | 15 患者の安全・安楽を守る技術 | A 療養環境  | a 病室環境  |

| 大項目              | 中項目        | 小項目          | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|------------------|------------|--------------|--|
| 15 患者の安全・安楽を守る技術 | A 療養環境     | b 共有スペース     | <b>基礎看護技術</b> 4章2節1項 快適さを保つ構造－プライバシーを保つことができるアメニティ (p.86-88)<br><b>小児看護技術</b> 2章1節 子どもが安心できる病院の環境づくり (p.28-33), 2節 発達段階に応じた環境づくり (p.34-39)   |
|                  |            | c 居住スペース     | <b>基礎看護技術</b> 4章2節1項 快適さを保つ構造－プライバシーを保つことができるアメニティ (p.86-88), 3節 環境のアセスメント (p.94)  |
|                  | B 医療安全対策   | a 転倒・転落の防止   | <b>病態生理学</b> 2章29節4項 ケア (p.239)<br><b>運動機能障害</b> 8章3節2項 転倒の予防 (p.162-163)<br><b>基礎看護技術</b> 6章2節2項 主な医療事故とその予防策 (p.132-138)<br><b>臨床看護総論</b> 2章3節2項 病棟における日常生活動作再獲得のためのリハビリテーション (p.80-84)<br><b>小児看護技術</b> 2章4節1項 子どもと家族への十分な説明 (p.45), 2項 転倒を防止する環境づくり (p.45-46), 3項 転落を防止する環境づくり (p.47-50)<br><b>医療安全</b> 5章2節4項 転倒転落 (p.137-146)/6章2節3項 在宅看護における介護事故とその対応 (p.172-173) |
|                  |            | b 誤薬の防止      | <b>臨床薬理学</b> 1章3節3項 処方から投与まで (p.28-34)<br><b>基礎看護技術</b> 6章2節2項 主な医療事故とその予防策 (p.132-138)/19章4節1項 安全で確実な与薬のための援助の知識・技術・態度 (p.399-400)<br><b>医療安全</b> 5章2節1項 誤薬 (p.123-133)/6章2節2項 在宅看護における医療事故とその対応 (p.168-172)  |
|                  |            | c 患者誤認の防止    | <b>周手術期看護</b> 4章3節1項 患者確認 (p.65)<br><b>医療安全</b> 5章2節2項 患者取り違え (誤認) (p.135-136)   |
|                  |            | d 誤嚥・窒息の防止   | <b>病態生理学</b> 2章12節4項 ケア (p.156-157)<br><b>基礎看護技術</b> 6章2節2項 主な医療事故とその予防策 (p.132-138)<br><b>小児看護技術</b> 2章4節4項 その他の事故防止：誤嚥、外傷、窒息など (p.50-51)<br><b>地域療養を支えるケア</b> 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)<br><b>医療安全</b> 5章2節5項 誤嚥 (p.147-148)   |
|                  |            | e 情報伝達と共有・管理 | <b>基礎看護技術</b> 6章1節2項 安全を確保するための方法 (p.127-131)<br><b>看護管理</b> 2章3節4項 情報を管理する (p.64-66)<br><b>医療安全</b> 5章2節10項 電子カルテ等情報伝達時のトラブル (p.161-163)  |
|                  |            | C 院内感染防止対策   | a スタンダードプリコーション  |
|                  | b 手洗いの方法   |              | <b>基礎看護技術</b> 5章4節2項 微生物を伝播させないための看護技術 (p.107-114)<br><b>医療安全</b> 7章2節2項 標準予防策の内容と実際 (p.184-185)   |
|                  | c 無菌操作     |              | <b>基礎看護技術</b> 5章4節2項 微生物を伝播させないための看護技術 (p.107-114)<br><b>医療安全</b> 9章3節11項 感染予防の技術に伴うリスクと安全 (p.236)   |
|                  | d 滅菌と消毒の方法 |              | <b>臨床薬理学</b> 5章5節 消毒薬 (p.137-140)<br><b>基礎看護技術</b> 5章4節2項 微生物を伝播させないための看護技術 (p.107-114), 3項 感染源を死滅・減弱させるための看護技術 (p.115-117)  |

| 大項目              | 中項目        | 小項目               | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|------------------|------------|-------------------|---|
| 15 患者の安全・安楽を守る技術 | C 院内感染防止対策 | e 針刺し・切創の防止       | 臨床微生物・医動物 2章4節5項 肝炎ウイルスの感染予防 (p.69-70)<br>基礎看護技術 5章4節4項 その他の援助技術 (p.117-118)<br>医療安全 5章2節3項 針刺し (p.136-137) / 7章2節3項 針刺し・切創による感染防護策 (p.185-186)   |
|                  |            | f 感染性廃棄物の取り扱い     | 医療関係法規 16章3節 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (p.317-320)<br>基礎看護技術 5章4節4項 その他の援助技術 (p.117-118) / 19章6節 与薬における安全管理 (p.418-419)<br>医療安全 7章2節5項 使用済み機材の適切な廃棄処理 (p.187)  |
| 16 診療に伴う看護技術     | A 栄養補給     | a 経管栄養法           | 臨床栄養学 4章5節1項 経管栄養法 (p.157-159)<br>基礎看護技術 13章5節2項 経管栄養の援助 (p.281-283)<br>小児看護技術 3章2節1項 経管栄養法 (p.73-79)<br>医療安全 9章3節2項 食事の援助技術に伴うリスクと安全 (p.230)   |
|                  |            | b 経静脈栄養法          | 臨床栄養学 4章5節2項 中心静脈栄養法 (p.159-160)<br>基礎看護技術 13章5節3項 高カロリー輸液, 中心静脈栄養 (p.283-284)<br>小児看護技術 3章2節3項 中心静脈栄養法 (p.83-87)   |
|                  | B 薬物療法     | a 与薬方法            | 臨床薬理学 1章3節3項 処方から投与まで (p.28-34) / 3章1節6項 抗がん薬投与の実際 (p.79), 7項 抗がん薬の有害作用とその対策 (p.79-84), 2節 がん性疼痛に使用する薬 (p.84-88) / 7章1節3項 ステロイド (吸入・注射) (p.165-168)<br>基礎看護技術 19章4節1項 安全で確実な与薬のための援助の知識・技術・態度 (p.399-400), 5節2項 注射の実際 (p.407-418)<br>医療安全 9章3節8項 与薬の技術に伴うリスクと安全 (p.235)   |
|                  |            | b 薬効・副作用(有害事象)の観察 | 病態生理学 2章1節4項 ケア (p.103-104), 3節4項 ケア (p.113-114)<br>臨床薬理学 1章3節3項 処方から投与まで (p.28-34) / 3章1節7項 抗がん薬の有害作用とその対策 (p.79-84) / 7章1節3項 ステロイド (吸入・注射) (p.165-168), 4項 抗アレルギー薬 (p.168-169), 2節 呼吸器疾患に使用する薬 (p.169-173), 3節 関節リウマチと薬物療法 (p.173-181) / 8章1節 消化器系疾患に使用する薬の分類と特徴 (p.184-204) / 9章 その他の症状に使用する薬 (p.206-242)<br>基礎看護技術 19章4節2項 与薬法 (p.400-403)<br>情緒発達と看護の基本 12章2節 薬物療法 (p.212-220)<br>精神障害と看護の実践 2章3節 服薬治療に関わる援助 (p.42-50) |
|                  | C 輸液管理     | a 刺入部位の観察         | 基礎看護技術 19章5節2項 注射の実際 (p.407-418)<br>小児看護技術 7章5節 輸液管理 (p.166-168)  |
|                  |            | b 輸液ポンプの取り扱い      | 基礎看護技術 19章5節2項 注射の実際 (p.407-418)<br>小児看護技術 3章2節3項 中心静脈栄養法 (p.83-87)<br>医療安全 5章2節8項 医療機器のトラブル (p.152-157)  |
|                  |            | c 点滴静脈内注射の管理      | 病態生理学 2章13節4項 ケア (p.160-161), 42節4項 ケア (p.309-310)<br>基礎看護技術 19章5節1項 注射法で使用する物品(滅菌材料) (p.403-407)<br>災害看護 7章3節2項 搬送技術 (p.194-197)   |
|                  | D 採血       | a 穿刺部位            | 基礎看護技術 18章3節7項 採血 (p.378-379)<br>小児看護技術 9章2節1項 採血 (p.226-228)   |
|                  |            | b 採血方法            | 基礎看護技術 18章3節7項 採血 (p.378-379)<br>小児看護技術 9章2節1項 採血 (p.226-228)   |
|                  | E 電法       | a 電法の種類と適応        | 基礎看護技術 16章3節 電法 (p.341-344), 4節 電法の効果 (p.344-349)   |

| 大項目          | 中項目      | 小項目          | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|--------------|----------|--------------|---|
| 16 診療に伴う看護技術 | E 電法     | b 温電法の方法     | 基礎看護技術 16章4節1項 温電法 (p.344-347)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章1節3項 苦痛緩和の方法 (p.63)<br>小児看護技術 6章6節 体温の調整 (温電法・冷電法を含む) (p.150-151)  |
|              |          | c 冷電法の方法     | 基礎看護技術 16章4節2項 冷電法 (p.347-348)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章1節3項 苦痛緩和の方法 (p.63)<br>小児看護技術 6章6節 体温の調整 (温電法・冷電法を含む) (p.150-151)  |
|              | F 呼吸管理   | a 酸素吸入時の原則   | 呼吸機能障害/循環機能障害 4章4節5項 在宅酸素療法 (HOT) (p.110-112)<br>基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-334)<br>小児看護技術 6章1節 酸素療法 (p.136-138)  |
|              |          | b 酸素ポンベの取り扱い | 呼吸機能障害/循環機能障害 4章4節5項 在宅酸素療法 (HOT) (p.110-112)<br>基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-334)  |
|              |          | c 酸素流量計の取り扱い | 基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-335)<br>小児看護技術 6章1節 酸素療法 (p.136-138)   |
|              |          | d 鼻腔カニューラ    | 呼吸機能障害/循環機能障害 5章2節1項 事例紹介 (p.124-125)<br>基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-334)<br>小児看護技術 6章1節 酸素療法 (p.136-138)  |
|              |          | e 酸素マスク      | 呼吸機能障害/循環機能障害 4章4節4項 人工呼吸療法 (p.106-110)<br>基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-334)<br>小児看護技術 6章1節 酸素療法 (p.136-138)  |
|              |          | f ネブライザー     | 呼吸機能障害/循環機能障害 4章4節1項 吸入療法 (p.102-104)<br>基礎看護技術 15章5節3項 吸入療法 (p.329-331)  |
|              | G 吸引     | a 口腔内・鼻腔内吸引  | 基礎看護技術 15章5節3項 吸入療法 (p.329-331)/18章4節3項 吸引 (p.386-389)<br>小児看護技術 6章2節1項 鼻腔・口腔の吸引 (p.138-140)  |
|              |          | b 気管内吸引      | 呼吸機能障害/循環機能障害 4章4節4項 人工呼吸療法 (p.106-110)<br>基礎看護技術 15章5節3項 吸入療法 (p.329-331)/18章4節3項 吸引 (p.386-389)<br>小児看護技術 6章2節2項 気管吸引 (p.140-143)   |
|              |          | c 体位ドレナージ    | 呼吸機能障害/循環機能障害 4章4節4項 人工呼吸療法 (p.106-110)<br>基礎看護技術 15章5節2項 痰を喀出させる方法 (p.326-329)<br>小児看護技術 6章4節 体位ドレナージ (p.147-148)  |
|              | H 救命救急処置 | a 気道の確保      | 病態生理学 2章2節4項 ケア (p.109-110), 5節4項 ケア (p.123), 12節4項 ケア (p.156-157), 24節4項 ケア (p.216-218)<br>基礎看護技術 21章3節1項 心肺蘇生 (p.441-444), 3項 気道異物除去 (p.446-448)<br>災害看護 7章3節1項 心肺蘇生 (p.189-194), 2項 搬送技術 (p.194-197)                         |
|              |          | b 人工呼吸       | 病態生理学 2章2節4項 ケア (p.109-110), 5節4項 ケア (p.123)<br>呼吸機能障害/循環機能障害 4章4節4項 人工呼吸療法 (p.106-110)<br>基礎看護技術 15章5節5項 人工呼吸 (p.334-335)/21章3節1項 心肺蘇生 (p.441-444)<br>小児看護技術 8章2節1項 一次救命処置 (心肺蘇生法) (p.177-187)<br>災害看護 7章3節1項 心肺蘇生 (p.189-194) |

| 大項目          | 中項目        | 小項目               | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|--------------|------------|-------------------|--|
| 16 診療に伴う看護技術 | H 救命救急処置   | c 心マッサージ          | 病態生理学 2章4節4項 ケア (p.120)<br>基礎看護技術 21章3節1項 心肺蘇生 (p.441-444)<br>小児看護技術 8章2節1項 一次救命処置 (心肺蘇生法) (p.177-187)<br>災害看護 7章3節1項 心肺蘇生 (p.189-194)   |
|              |            | d 直流除細動器          | 病態生理学 2章4節4項 ケア (p.120)<br>基礎看護技術 21章3節2項 除細動 (p.445-446)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 3章3節2項 事例で考えるICU・CCU入室患者の看護 (p.136)  |
|              |            | e 自動体外式除細動器 (AED) | 病態生理学 2章4節4項 ケア (p.120)<br>基礎看護技術 21章3節2項 除細動 (p.445-446)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章3節2項 救命救急治療を必要とする状況 (p.39-40)<br>災害看護 7章3節1項 心肺蘇生 (p.189-194)  |
|              |            | f 止血              | 基礎看護技術 21章4節 応急処置 (p.448-449)  |
|              |            | g 体温の保持・冷却        | 基礎看護技術 21章4節 応急処置 (p.448-449)  |
|              | I 皮膚・創傷の管理 | a 包帯法             | 基礎看護技術 20章6節4項 創傷処置 (創傷の保護) (p.429-435)  |
|              |            | b 創傷の管理           | 基礎看護技術 20章6節1項 創傷処置の準備と留意事項 (p.428), 3項 創傷処置に用いられる物品とその取り扱い (p.429)<br>周手術期看護 1章2節2項 創傷治療 (p.22-23)  |
|              |            | c 褥瘡の予防・処置        | 病態生理学 2章9節4項 ケア (p.142-143)<br>臨床薬理学 9章7節 皮膚障害 (p.230-234)<br>運動機能障害 5章2節 生活や行動の制限に由来する運動機能障害 (p.73-74)<br>基礎看護技術 20章4節 褥瘡 (p.424-426)<br>医療安全 5章2節7項 皮膚障害 (p.149-152)   |
|              | J 災害看護     | a トリアージ           | 看護学概論 12章7節 災害看護に必要な知識と技術 (p.254-256)<br>基礎看護技術 21章2節 救急時における看護者の役割 (p.438-439)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章3節2項 救命救急治療を必要とする状況 (p.40-41)<br>小児看護技術 8章1節1項 子どもにおける救急救命看護 (p.176)<br>災害看護 1章1節7項 災害救援活動時に注意すべきこと (p.25-27)／2章2節3項 災害時の医療体制 (p.55-56), 4項 トリアージと法律上の問題 (p.56-58)／4章1節4項 初動時における災害時要援護者へのトリアージ (p.87-88)／7章2節 災害時のトリアージ [T: Triage] (p.183-189) |
|              |            | b 応急処置の原則         | 基礎看護技術 21章4節 応急処置 (p.448-449)<br>小児看護技術 8章1節2項 救急蘇生法 (p.176-177), 2節2項 二次救命処置 (p.188-194)<br>災害看護 7章3節1項 心肺蘇生 (p.189-194)  |
|              |            | c 搬送・移送           | 看護学概論 12章7節 災害看護に必要な知識と技術 (p.254-256)<br>基礎看護技術 21章2節 救急時における看護者の役割 (p.438-439)<br>災害看護 1章2節5項 亜急性期: ~1カ月一避難所の衛生環境を整え不安と混乱の軽減を目指す (p.31-33)／2章2節3項 災害時の医療体制 (p.55-56)／7章3節2項 搬送技術 (p.194-197)  |
|              |            | d こころのケア          | 看護学概論 12章7節 災害看護に必要な知識と技術 (p.254-256)  |



| 大項目          | 中項目    | 小項目      | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|--------------|--------|----------|---|
| 16 診療に伴う看護技術 | J 災害看護 | d こころのケア | <b>災害看護</b> 1章2節5項 亜急性期：～1カ月—避難所の衛生環境を整え不安と混乱の軽減を目指す (p.31-33), 6項 復旧復興期：～3年—心身ともに健康な生活, そして夢と希望を取り戻すための活動 (p.33-34) / 3章1節4項 医療・看護でのネットワーク (p.73) / 4章3節5項 避難所における看護師の役割 (p.95), 6節3項 復興住宅における看護師の役割 (p.109), 4項 心と身体の復興を支援する (p.109) / 5章1節1項 災害が被災者の心に及ぼす影響 (p.118), 2項 成人 (壮年期・中年期)・高齢者の心理的特徴と援助 (p.125), 3項 心身障害者の心理的特徴と援助 (p.130), 4項 親子 (母子・父子および妊産褥婦含む) の心理的特徴と援助 (p.132), 6項 遺族の心理的特徴と援助 (p.144) |



# 人体の構造と機能

目標Ⅰ. 日常生活の営みを支える人体の構造と機能について基本的な理解を問う。  
 目標Ⅱ. 正常な人体の構造と機能について基本的な理解を問う。

| 大項目        | 中項目                   | 小項目           | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |   |
|------------|-----------------------|---------------|--|---|
| 1 細胞・組織    | A 細胞の構造               |               | 臨床生化学 2章1節 細胞 (p.18-20)  |   |
|            |                       | a 細胞膜と細胞質     | 解剖生理学 2章1節 細胞 (p.30-49)  |   |
|            |                       | b 核           | 解剖生理学 2章1節1項 細胞の構造 (p.30-39)   |   |
|            |                       | c 細胞内小器官と細胞骨格 | 解剖生理学 2章1節1項 細胞の構造 (p.30-39)   |   |
|            | B 遺伝子と遺伝情報            | a ゲノムと遺伝子     | 臨床生化学 6章1節1項 DNAの構造 (p.112-113)<br>病態生化学 1章7節4項 悪性腫瘍の発生と自然史 (p.72-74)  |   |
|            |                       | b 染色体の複製と有糸分裂 | 解剖生理学 2章1節2項 細胞の機能 (p.39-49)<br>臨床生化学 6章1節2項 遺伝情報の保存と発現 (p.113-114), 2節 DNAの複製: 遺伝情報のコピー (p.114-116), 4節 RNAからタンパク質への翻訳: 遺伝情報の解読 (p.119-121) |   |
|            |                       | c タンパク合成      | 臨床生化学 6章3節 DNAからRNAへの転写: 遺伝情報の読み取り (p.116-119), 4節 RNAからタンパク質への翻訳: 遺伝情報の解読 (p.119-121)   |   |
|            | C 組織                  | a 上皮組織        | 解剖生理学 1章2節6項 器官と11種の器官系 (p.22-24) / 2章2節1項 上皮組織 (p.52-55)  |   |
|            |                       | b 支持組織        | 解剖生理学 1章2節6項 器官と11種の器官系 (p.22-24) / 2章2節2項 支持組織 (p.55-60)  |   |
|            |                       | c 筋組織         | 解剖生理学 1章2節6項 器官と11種の器官系 (p.22-24) / 2章2節3項 筋組織 (p.60)  |   |
|            |                       | d 神経組織        | 解剖生理学 1章2節6項 器官と11種の器官系 (p.22-24) / 2章2節4項 神経組織 (p.61)   |   |
|            | 2 生体リズムと恒常性 (ホメオスタシス) | A 生体リズム       | a サーカディアンリズム   | 解剖生理学 3章3節1項 体温の分布 (p.76-78) / 13章5節2項 サーカディアンリズム (概日リズム) (p.360)<br>ヘルスアセスメント 6章3節5項 睡眠/休息のパターンのアセスメント (p.279-281)<br>基礎看護技術 11章2節1項 生体リズム (p.219) |
|            |                       |               | b 体内時計   | 解剖生理学 13章5節2項 サーカディアンリズム (概日リズム) (p.360)<br>ヘルスアセスメント 6章3節5項 睡眠/休息のパターンのアセスメント (p.279-281)<br>基礎看護技術 11章2節4項 睡眠の調節 (p.222-223)                      |
| B 内部環境の恒常性 |                       | a 細胞外液        | 解剖生理学 8章1節3項 血液成分の調節 (p.202-210)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章1節 内部環境調節機能 (p.18-22), 2節 体液調節機能の障害 (p.23-27)<br>周手術期看護 1章 用語の解説 サードスペース (p.34)    |   |
|            |                       | b 恒常性維持機構     | 解剖生理学 1章3節 ホメオスタシス (恒常性) (p.25)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章1節1項 ホメオスタシスと内分泌系, 腎・泌尿器系 (p.18-19)   |   |
| 3 運動系      |                       | A 骨格          | a 骨の構造と機能  | 解剖生理学 11章1節 骨と骨格 (p.278-283)<br>運動機能障害 1章1節1項 骨の構造と種類 (p.19-20)   |

| 大項目             | 中項目   | 小項目           | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |   |
|-----------------|-------|---------------|--|---|
| 3 運動系           | A 骨格  | b 軟骨の構造と機能    | 解剖生理学 2章2節2項 支持組織 (p.55-60)  |   |
|                 |       | c 代謝障害        | 解剖生理学 11章1節7項 骨の形成と変化 (p.283), 8項 骨の老化 (p.283)   |   |
|                 |       | d 脊柱          | 解剖生理学 11章2節2項 脊柱 (p.286-289)<br>運動機能障害 2章1節1項 脊椎の構造 (p.33-34)  |   |
|                 |       | e 四肢の骨        | 解剖生理学 11章3節 体肢の骨格 (p.290-296)  |   |
|                 | B 関節  | a 関節の構造と種類    | 解剖生理学 11章4節1項 関節の構造 (p.297-298), 2項 関節の種類 (p.298-299)<br>運動機能障害 3章1節2項 関節の構造 (p.45-46), 3項 関節の機能と種類 (p.46)               |   |
|                 |       | b 関節可動域 (ROM) | 解剖生理学 11章4節3項 関節の運動 (p.299-300)  |   |
|                 | C 骨格筋 | a 骨格筋の構造      | 解剖生理学 12章1節1項 骨格筋 (p.304-305), 3節 身体<br>の運動と骨格筋 (p.311-312)<br>運動機能障害 4章1節1項 骨格筋の構造 (p.59-61)                            |   |
|                 |       | b 筋収縮の機構      | 解剖生理学 12章2節 筋の機能 (p.307-311)<br>運動機能障害 4章1節2項 筋の機能に関連する構造 (p.61)   |   |
|                 |       | c 頭部・頸部の筋     | 解剖生理学 12章4節1項 頭部の筋 (p.312-313), 2項 頸部,<br>背部の筋 (p.313-315)   |   |
|                 |       | d 胸部・腹部の筋     | 解剖生理学 12章4節2項 頸部, 背部の筋 (p.313-315),<br>3項 胸部の筋 (p.316), 4項 横隔膜 (p.316), 5項 腹部の<br>筋 (p.316)                              |   |
|                 |       | e 殿部の筋・骨盤底筋   | 解剖生理学 8章5節3項 骨盤底筋群の役割 (p.215-216)<br>/12章4節7項 下肢の筋 (p.318-320)   |   |
|                 |       | f 四肢の筋        | 解剖生理学 12章4節6項 上肢の筋 (p.316-318), 7項 下<br>肢の筋 (p.318-320)  |   |
|                 | 4 神経系 | A 神経細胞と神経組織   | a 神経細胞と情報伝達  | 解剖生理学 13章2節2項 ニューロン (p.327-333)   |
|                 |       |               | b 神経膠細胞  | 解剖生理学 13章2節1項 神経膠細胞 (p.327)   |
|                 |       | B 中枢神経系       | a 大脳の構造と機能   | 解剖生理学 13章3節1項 大脳 (p.334-339)<br>病態生理学 2章27節2項 病態生理 (p.229-231), 37節<br>2項 病態生理 (p.274-275)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 1章1節 大脳 (p.16-20)<br>リハビリテーション看護 5章6節1項 高次脳機能のメカニ<br>ズム (p.121-122) |
| b 視床と視床下部の構造と機能 |       |               | 解剖生理学 13章3節2項 間脳 (p.339-340)<br>病態生理学 2章37節2項 病態生理 (p.274-275)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 1章2節 間脳 (視床・視<br>床下部・松果体) (p.20-22)    |   |
| c 脳幹の構造と機能      |       |               | 解剖生理学 13章3節3項 脳幹 (p.340-341)<br>病態生理学 2章37節2項 病態生理 (p.274-275)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 1章3節 脳幹 (中脳・橋<br>・延髄, 脳幹網様体) (p.23-25) |   |
| d 小脳の構造と機能      |       |               | 解剖生理学 13章3節4項 小脳 (p.341-342)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 1章4節 小脳 (p.25-27)  |   |
| e 脊髄の構造と機能      |       |               | 解剖生理学 13章3節5項 脊髄 (p.343-344)<br>病態生理学 2章37節2項 病態生理 (p.274-275)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 1章5節 脊髄 (p.28-32)                      |   |
| f 脊髄反射          |       |               | 解剖生理学 12章2節5項 脊髄反射と運動単位 (p.311)/<br>13章2節3項 反射 (p.333-334)<br>ヘルスアセスメント 3章13節5項 神経系の診査 (腱反<br>射, 感覚, 小脳機能) (p.170-177)   |   |
| g 髄膜と脳室         |       |               | 解剖生理学 13章3節6項 中枢神経系を保護する組織<br>(p.344-346)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 1章7節 髄膜・脳室 (p.36-<br>37)                                    |   |

| 大項目        | 中項目     | 小項目         | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |  |
|------------|---------|-------------|---|--|
| 4 神経系      | B 中枢神経系 | h 感覚・運動の伝導路 | 解剖生理学 13章3節7項 伝導路 (p.346-347)<br>病態生理学 2章33節2項 病態生理 (p.256-257), 37節2項 病態生理 (p.274-275)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 1章5節2項 脊髄の機能 (p.30-32)<br>リハビリテーション看護 5章1節1項 運動機能のメカニズム (p.78-80)              |  |
|            |         | i 覚醒と睡眠     | 解剖生理学 13章5節1項 睡眠と覚醒 (p.358-359)<br>病態生理学 2章46節2項 病態生理 (p.321-323)   |  |
|            | C 末梢神経系 | a 脳神経       | 解剖生理学 13章4節3項 脳神経 (p.349-350)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 1章6節 脳神経 (p.33-34)   |  |
|            |         | b 脊髄神経と神経叢  | 解剖生理学 13章4節4項 脊髄神経と神経叢 (p.351-352)<br>病態生理学 2章37節2項 病態生理 (p.274-275)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 1章5節 脊髄 (p.28-32)   |  |
|            |         | c 体性神経系     | 解剖生理学 13章4節5項 体性神経系 (p.353)   |  |
|            |         | d 自律神経系     | 解剖生理学 13章4節6項 自律神経系 (p.353-356)   |  |
|            | 5 感覚器系  | A 体性感覚      | a 刺激と感覚受容   | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章4節1項 皮膚(体性感覚)の機能と障害 (p.246-248)  |
|            |         |             | b 皮膚の感覚受容器  | 解剖生理学 14章5節1項 皮膚感覚と皮膚分節 (p.385-387)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章4節1項 皮膚(体性感覚)の機能と障害 (p.246-248) |
| c 皮膚感覚の種類  |         |             | 解剖生理学 14章5節1項 皮膚感覚と皮膚分節 (p.385-387)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章4節3項 皮膚(体性感覚)の機能の検査と観察・アセスメント (p.250)  |  |
| d 深部感覚の受容器 |         |             | 解剖生理学 14章5節2項 深部感覚 (p.387-388)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章4節3項 皮膚(体性感覚)の機能の検査と観察・アセスメント (p.251)   |  |
| B 視覚       |         | a 眼球の構造     | 解剖生理学 14章2節 視覚 (p.366-375), 1項 眼球の構造と機能 (p.366-369)<br>リハビリテーション看護 5章7節1項 視覚のメカニズム (p.132-134)  |  |
|            |         | b 視力と視野     | 解剖生理学 14章2節1項 眼球の構造と機能 (p.366-369)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章1節1項 視野の機能と障害 (p.216)   |  |
|            |         | c 色覚        | 解剖生理学 14章2節6項 色覚とその異常 (p.375)<br>リハビリテーション看護 5章7節1項 視覚のメカニズム (p.132-134)  |  |
|            |         | d 視覚の伝導路    | 解剖生理学 14章2節4項 視覚の伝導路 (p.373)<br>リハビリテーション看護 5章7節1項 視覚のメカニズム (p.132-134)   |  |
|            |         | e 眼球運動      | 解剖生理学 14章2節3項 眼球の付属器 (p.370-372)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章1節3項 視機能の検査と観察・アセスメント (p.221-222)   |  |
|            |         | f 眼球に関する反射  | 解剖生理学 14章2節5項 視覚の調節系 (p.373-375)  |  |
| C 聴覚       |         | a 耳の構造      | 解剖生理学 14章3節1項 耳の全体構造 (p.376-378)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章2節1項 聴覚・平衡覚の機能と障害 (p.230)<br>ヘルスアセスメント 3章5節1項 鼻・耳・口腔/咽頭の構造と機能:アセスメントの根拠になる復習事項 (p.65-68)<br>リハビリテーション看護 5章8節1項 聴覚のメカニズム (p.140-142) |  |
|            |         | b 聴覚と聴力     | 解剖生理学 14章3節2項 聴覚器の構造と機能 (p.378-380)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章2節1項 聴覚・平衡覚の検査と観察・アセスメント (p.232-235)<br>リハビリテーション看護 5章8節1項 聴覚のメカニズム (p.140-142)  |  |

| 大項目    | 中項目    | 小項目           | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |  |
|--------|--------|---------------|---|--|
| 5 感覚器系 | D 平衡感覚 | a 平衡器官の構造     | 解剖生理学 14章3節3項 平衡覚器の構造と機能 (p.380-381)  |  |
|        |        | b 平衡覚         | 解剖生理学 14章3節3項 平衡覚器の構造と機能 (p.380-381)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章2節 聴覚・平衡覚の障害と患者の看護 (p.230-239)  |  |
|        | E 味覚   | a 味覚受容器       | 解剖生理学 14章4節2項 味覚と味蕾 (p.383-384)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章3節1項 嗅覚・味覚の機能と障害 (p.240-241)   |  |
|        |        | b 味覚          | 解剖生理学 14章4節2項 味覚と味蕾 (p.383-384)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章3節1項 嗅覚・味覚の機能と障害 (p.240-241)   |  |
|        | F 嗅覚   | a 嗅覚受容器       | 解剖生理学 14章4節1項 嗅覚と嗅覚受容器 (p.382-383)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章3節1項 嗅覚・味覚の機能と障害 (p.240-241)  |  |
|        |        | b 嗅覚          | 解剖生理学 14章4節1項 嗅覚と嗅覚受容器 (p.382-383)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章3節1項 嗅覚・味覚の機能と障害 (p.240-241)  |  |
|        | G 内臓感覚 | a 漿膜と粘膜       | 解剖生理学 3章 皮膚と膜 体や臓器を守るしくみ 章扉 (p.62-63), 1節 体内の膜 (p.64-69)  |  |
|        |        | b 内臓感覚の受容器と機能 | 解剖生理学 14章6節 内臓感覚 (p.389)  |  |
|        | 6 循環系  | A 心臓          | a 心臓の構造   | 解剖生理学 5章1節1項 心臓の構造 (p.102-107)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 6章1節1項 循環器と循環機能 (p.136-138)  |
|        |        |               | b 心臓の機能   | 解剖生理学 5章1節2項 心臓の機能 (p.107-110)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 6章1節1項 循環器と循環機能 (p.136-138)<br>リハビリテーション看護 5章3節1項 循環機能のメカニズム (p.95-97) |
|        |        |               | c 刺激伝導系   | 解剖生理学 5章1節2項 心臓の機能 (p.107-110)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 6章7節 刺激伝導系の障害 (p.167-171)<br>リハビリテーション看護 5章3節1項 循環機能のメカニズム (p.95-97)   |
|        |        |               | d 心機能の調節  | 解剖生理学 5章1節2項 心臓の機能 (p.107-110)／13章4節6項 自律神経系 (p.353-356)   |
| B 血管系  |        | a 動脈・静脈・毛細血管  | 解剖生理学 5章2節1項 血管の形態 (p.111-113)  |  |
|        |        | b 門脈系         | 解剖生理学 5章2節3項 主要な静脈と門脈系 (p.118-119)  |  |
|        |        | c 肺循環と体循環     | 解剖生理学 5章1節1項 心臓の構造 (p.102-107)<br>病態生理学 1章2節1項 循環とは (p.31)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 序章 呼吸・循環のしくみ (p.18-19)<br>リハビリテーション看護 5章3節1項 循環機能のメカニズム (p.95-97) |  |
|        |        | d 冠循環         | 解剖生理学 5章1節1項 心臓の構造 (p.102-107)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 6章6節1項 冠血流障害(虚血系心疾患)とはどのような症状か (p.160)  |  |
|        |        | e 脳循環         | 解剖生理学 5章2節2項 主要な動脈 (p.113-118)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章8節 脳の血管 (p.38-39)   |  |
|        |        | f 胎児の血液循環     | 解剖生理学 5章2節4項 胎児循環 (p.119-121)   |  |
|        |        | g 末梢循環の調節     | 解剖生理学 5章2節5項 血管の機能 (p.121-125)  |  |

| 大項目       | 中項目               | 小項目          | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |  |
|-----------|-------------------|--------------|--|--|
| 6 循環系     | C リンパ系            | a リンパ        | 解剖生理学 5章4節 リンパ系 (p.126-128)  |  |
|           |                   | b リンパ管の構造と機能 | 解剖生理学 5章4節1項 リンパ管 (p.126-127)  |  |
| 7 血液      | A 血液の成分と機能        | a 血液の成分      | 解剖生理学 4章1節3項 血液の成分 (p.85-87)   |  |
|           |                   | b 血液の物理化学的特性 | 解剖生理学 4章1節2項 血液の働き (p.84-85)   |  |
|           |                   | c 血液の働き      | 解剖生理学 4章1節2項 血液の働き (p.84-85), 2節 血球とその機能 (p.88-95)<br>呼吸機能障害/循環機能障害 序章1節2項 呼吸と循環との関係 (p.18-19)   |  |
|           |                   | d 造血と造血因子    | 解剖生理学 4章2節 血球とその機能 (p.88-95)   |  |
|           | B 止血機構            | a 血液凝固       | 解剖生理学 4章2節3項 血小板と血液凝固および血栓の溶解 (線維素溶解) (p.93-95)  |  |
|           |                   | b 線維素溶解      | 解剖生理学 4章2節3項 血小板と血液凝固および血栓の溶解 (線維素溶解) (p.93-95)  |  |
|           | C 血液型             | a ABO式       | 解剖生理学 4章3節1項 ABO式血液型 (p.95)  |  |
|           |                   | b Rh式        | 解剖生理学 4章3節2項 Rh式血液型 (p.95-96)  |  |
|           | 8 体液              | A 体液の構成      | a 体液の区分  | 解剖生理学 8章1節3項 血液成分の調節 (p.202-210)<br>病態生理学 1章1節1項 体液の恒常性 (p.17-19)  |
| b 体液の組成   |                   |              | 解剖生理学 8章1節3項 血液成分の調節 (p.202-210)<br>病態生理学 1章1節1項 体液の恒常性 (p.17-19)  |  |
| B 体液の調節   |                   | a 酸塩基平衡      | 解剖生理学 8章1節3項 血液成分の調節 (p.202-210)<br>病態生理学 1章1節3項 酸塩基平衡の異常 (p.27-29)<br>呼吸機能障害/循環機能障害 2章1節1項 酸塩基平衡を保つ機能 (p.62-64)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章2節1項 体液を調節するしくみ (p.23) |  |
|           |                   | b 浸透圧調節      | 解剖生理学 2章1節2項 細胞の機能 (p.39-49)<br>病態生理学 1章1節1項 体液の恒常性 (p.17-19)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章1節2項 体液調節・体温調節とフィードバック (p.20-22)  |  |
| 9 生体の防御機構 |                   | A 非特異的生体防御機構 | a 皮膚の構造と防御機構   | 解剖生理学 3章2節1項 皮膚の構造 (p.69-72), 2項 皮膚の機能 (p.72-73)/15章3節2項 自然免疫系から獲得免疫系の情報伝達 (p.404-405)<br>造血機能障害/免疫機能障害 4章3節1項 アレルギー性疾患患者の観察とアセスメント (p.172-175)<br>ヘルスアセスメント 3章2節1項 皮膚・爪・髪 <small>の</small> 構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.42-46)<br>基礎看護技術 20章1節 皮膚の構造と機能 (p.422-423) |
|           |                   |              | b 粘膜の構造と防御機構   | 解剖生理学 3章1節2項 粘膜 (p.67-69)/15章3節2項 自然免疫系から獲得免疫系の情報伝達 (p.404-405)  |
|           | c 食細胞とサイトカイン      |              | 解剖生理学 15章3節1項 自然免疫系の攻撃のしくみ (p.403-404)<br>病態生理学 1章4節2項 免疫の働きと調節 (p.45-49)  |  |
|           | d 胸腺・脾臓・リンパ組織     |              | 解剖生理学 5章4節5項 リンパ性器官 (p.128)/15章1節 免疫系のおおまかなしくみ (p.394-395)<br>病態生理学 2章21節1項 リンパ節の構造と機能 (p.197-198)<br>ヘルスアセスメント 3章3節1項 リンパ系の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.52-53)    |  |
|           | B 特異的生体防御反応 (免疫系) | a 免疫系の細胞     | 解剖生理学 15章1節 免疫系のおおまかなしくみ (p.394-395)<br>病態生理学 1章4節2項 免疫の働きと調節 (p.45-49)/2章21節1項 リンパ節の構造と機能 (p.197-198)   |  |

| 大項目       | 中項目               | 小項目          | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |  |
|-----------|-------------------|--------------|--|--|
| 9 生体の防御機構 | B 特異的生体防御反応 (免疫系) | a 免疫系の細胞     | 造血機能障害／免疫機能障害 3章4節1項 免疫不全とはどのような状態か (p.148-149)  |  |
|           |                   | b 抗原と抗体      | 解剖生理学 15章2節 獲得免疫系のしくみ (p.395-403)<br>造血機能障害／免疫機能障害 3章4節1項 免疫不全とはどのような状態か (p.148-149)   |  |
|           |                   | c 液性免疫       | 解剖生理学 15章3節3項 液性免疫と細胞性免疫 (p.405)   |  |
|           |                   | d 細胞性免疫      | 解剖生理学 15章3節3項 細胞性免疫 (p.405)  |  |
|           |                   | e アレルギー反応    | 解剖生理学 4章2節2項 白血球 (p.91-93)／15章5節 アレルギーと自己免疫疾患 (p.406-410)<br>造血機能障害／免疫機能障害 3章2節1項 アレルギーとはどのような状態か (p.112-118), 3節 アナフィラキシーショック・食物アレルギー・薬物アレルギー (p.135-146) |  |
| 10 呼吸器系   | A 気道              | a 気道の構造      | 解剖生理学 6章1節1項 呼吸器系の役割 (p.132-133), 2項 鼻と鼻腔 (p.134-135), 3項 咽頭 (p.135-138), 4項 喉頭 (p.138-140), 5項 気管と主気管支 (p.140-141)  |  |
|           |                   | b 気道の機能      | 解剖生理学 6章1節1項 呼吸器系の役割 (p.132-147), 2項 鼻と鼻腔 (p.134-135), 3項 咽頭 (p.135-138), 4項 喉頭 (p.138-140), 5項 気管と主気管支 (p.140-141)  |  |
|           |                   | c 胸膜と縦隔      | 解剖生理学 6章1節6項 肺 (p.141-147)   |  |
|           |                   | d 呼吸筋        | 解剖生理学 6章3節3項 呼吸調節の効果器である呼吸筋 (p.157)  |  |
|           | B 肺               | a 肺の構造       | 解剖生理学 6章1節6項 肺 (p.141-147)   |  |
|           |                   | b 胸膜・縦隔の構造   | 解剖生理学 6章1節6項 肺 (p.141-147)   |  |
|           | C 呼吸              | a 呼吸筋の構造     | 解剖生理学 6章2節1項 換気 (p.147-152)<br>基礎看護技術 15章2節2項 吸気と呼気のメカニズム (p.319)  |  |
|           |                   | b 換気         | 解剖生理学 6章2節1項 換気 (p.147-152)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 1章1節1項 呼吸器と呼吸機能 (p.22-25)   |  |
|           |                   | c 呼吸運動       | 解剖生理学 6章2節 呼吸のプロセス (p.147-155)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 1章1節1項 呼吸器と呼吸機能 (p.22-25)  |  |
|           |                   | d 呼吸調節       | 解剖生理学 6章3節 呼吸の調節 (p.155-158)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 1章1節1項 呼吸器と呼吸機能 (p.22-25), 2項 呼吸機能障害の分類 (p.25-26)  |  |
|           | 11 消化器系           | A 咀嚼・嚥下      | a 歯・口腔の構造と機能   | 解剖生理学 7章2節1項 口腔の構造と機能 (p.163-166), 2項 歯 (p.166-167)<br>ヘルスアセスメント 3章5節1項 鼻・耳・口腔／咽頭の構造と機能：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.65-68) |
|           |                   |              | b 咽頭の構造と機能   | 解剖生理学 7章3節1項 咽頭の構造と機能 (p.168-169)<br>ヘルスアセスメント 3章5節1項 鼻・耳・口腔／咽頭の構造と機能：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.65-68)                   |
|           |                   |              | c 食道の構造と機能   | 解剖生理学 7章3節2項 食道の構造と機能 (p.169-170)  |
| d 咀嚼      |                   |              | 解剖生理学 7章2節3項 咀嚼 (p.167-168)  |  |
| e 嚥下      |                   |              | 解剖生理学 7章3節3項 嚥下 (p.170-171)<br>病態生理学 2章11節1項 嚥下障害とは (p.148)  |  |
| B 消化と吸収   |                   | a 胃の構造と機能    | 解剖生理学 7章4節1項 胃の構造と機能 (p.172-175)<br>臨床生化学 4-3章2節1項 胃での消化 (p.87-88)   |  |
|           |                   | b 十二指腸の構造と機能 | 解剖生理学 7章4節2項 小腸の構造と機能 (p.175-177)<br>臨床生化学 4-1章1節1項 糖質の種類と消化・吸収 (p.61-62)／4-2章2節 脂質の消化・吸収と貯蔵 (p.74-75)／4-3章2節2項 十二指腸, 小腸での消化 (p.88)                        |  |



| 大項目      | 中項目                           | 小項目              | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|----------|-------------------------------|------------------|---|
| 11 消化器系  | B 消化と吸収                       | c 空腸・回腸の構造と機能    | 解剖生理学 7章4節2項 小腸の構造と機能 (p.175-177)<br>臨床生化学 4-1章1節1項 糖質の種類と消化・吸収 (p.61-62) / 4-2章2節 脂質の消化・吸収と貯蔵 (p.74-75) / 4-3章2節2項 十二指腸, 小腸での消化 (p.88)   |
|          |                               | d 結腸・虫垂の構造と機能    | 解剖生理学 7章6節1項 大腸の構造と機能 (p.189-191)   |
|          |                               | e 直腸・肛門の構造と機能    | 解剖生理学 7章6節1項 大腸の構造と機能 (p.189-191), 2項 排便の機序 (p.191-192)<br>病態生理学 2章14節3項 排便のしくみ (メカニズム) (p.163)<br>ヘルスアセスメント 3章11節1項 生殖器 (女性/男性) と肛門: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.133-136)                                  |
|          |                               | f 肝臓と胆嚢・胆道の構造と機能 | 解剖生理学 7章4節3項 肝臓の構造と機能 (p.178-181), 4項 胆嚢の構造と機能 (p.181-182)  |
|          |                               | g 膵臓の構造と機能       | 解剖生理学 7章4節5項 膵臓の構造と機能 (p.183-185)   |
|          |                               | h 消化管運動と反射       | 解剖生理学 7章6節2項 排便の機序 (p.191-192)<br>病態生理学 2章14節3項 排便のしくみ (メカニズム) (p.163-164)  |
| 12 代謝    | A 栄養とエネルギー代謝                  | a 栄養所要量          | 臨床栄養学 2章2節1項 日本人の食事摂取基準 (2015年版) (p.66-97)<br>基礎看護技術 13章3節2項 食事摂取基準 (p.268-274)   |
|          |                               | b 基礎代謝           | 臨床栄養学 2章1節2項 エネルギー消費量 (p.53-59)<br>ヘルスアセスメント 6章3節2項 栄養/代謝パターンのアセスメント (p.262-269)  |
|          | B 物質代謝                        | a 同化作用と異化作用      | 臨床生化学 1章1節2項 異化と同化 (p.13-14), 2節 代謝とその制御 (p.15-16) / 4-1章2節 解糖のしくみ (p.0)<br>臨床栄養学 1章2節1項 栄養と栄養素 (p.12)  |
|          |                               | b 酵素             | 臨床生化学 3章 酵素 (p.52-57)   |
|          |                               | c 炭水化物の代謝        | 臨床生化学 4-1章 糖質代謝 (p.61-72)<br>臨床栄養学 1章2節2項 栄養素の分類 (p.12-43)  |
|          |                               | d 脂肪の代謝          | 臨床生化学 4-2章 脂質代謝 (p.74-85)<br>臨床栄養学 1章2節2項 栄養素の分類 (p.12-43)  |
|          |                               | e 蛋白質の代謝         | 臨床生化学 4-3章1節 タンパク質の消化・吸収 (p.87-88)<br>臨床栄養学 1章2節2項 栄養素の分類 (p.12-43)   |
|          |                               | f 核酸の代謝          | 臨床生化学 4-4章1節 ヌクレオチド代謝の役割と概要 (p.98), 2節 ヌクレオチドの合成 (p.98-99), 3節 ヌクレオチドの分解 (p.99-100)   |
|          |                               | g ビタミン・ミネラルの代謝   | 解剖生理学 7章5節4項 ビタミンの吸収 (p.188)<br>臨床栄養学 1章2節2項 栄養素の分類 (p.12-43) / 3章2節5項 身体機能の調節に関わる栄養素 (p.108)   |
|          |                               | 13 泌尿器系          | A 尿の生成  |
| b 濾過     | 解剖生理学 8章1節2項 尿の生成 (p.200-202) |                  |   |
| c 再吸収と分泌 | 解剖生理学 8章1節2項 尿の生成 (p.200-202) |                  |   |
| B 体液量の調節 | a 抗利尿ホルモンの作用                  |                  | 解剖生理学 8章1節3項 血液成分の調節 (p.202-210)<br>呼吸機能障害/循環機能障害 6章1節1項 循環器と循環機能 (p.136-138)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章2節1項 体液を調節するしくみ (p.23) / 2章2節1項 下垂体の機能とその障害 (p.37-39), 2項 下垂体機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.39-43) |
|          | b レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系       |                  | 解剖生理学 8章1節1項 腎臓の構造と機能 (p.196-200), 3項 血液成分の調節 (p.202-210)<br>呼吸機能障害/循環機能障害 6章1節1項 循環器と循環機能 (p.136-138)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 2章5節1項 副腎機能の障害とはどのような状態か (p.51)                                       |

| 大項目     | 中項目                | 小項目             | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|---------|--------------------|-----------------|--|
| 13 泌尿器系 | C 排尿               | a 尿管の構造と機能      | 解剖生理学 8章2節 尿管 (p.211)  |
|         |                    | b 膀胱の構造と機能      | 解剖生理学 8章3節 膀胱 (p.212-213)<br>リハビリテーション看護 5章4節1項 排泄のメカニズム (p.103-106)   |
|         |                    | c 尿道の構造と機能      | 解剖生理学 8章4節 尿道 (p.213)<br>リハビリテーション看護 5章4節1項 排泄のメカニズム (p.103-106)   |
|         |                    | d 排尿反射          | 解剖生理学 8章5節 排尿の生理 (p.214-216)<br>基礎看護技術 14章2節1項 尿の生成と排尿のメカニズム (p.290-291)   |
|         |                    | e 蓄尿反射          | 解剖生理学 8章5節 排尿の生理 (p.214-216)   |
| 14 体温調節 | A 体温               | a 体温のなりたち       | 解剖生理学 3章3節 体熱産生と体温 (p.76-81)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 5章1節1項 体温異常とはどのような状態か (p.100-101)<br>基礎看護技術 16章2節3項 体温の平衡 (p.338-339)  |
|         |                    | b 核心温度と外殻温度     | 解剖生理学 3章3節1項 体温の分布 (p.76-78)<br>基礎看護技術 16章2節1項 体温 (body temperature) (p.338)   |
|         | B 体温の調節            | a 熱放散と熱産生       | 解剖生理学 3章3節2項 熱の出納 (p.78-79)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 1章3節1項 体温を調節するしくみ (p.28-29)／5章1節1項 体温異常とはどのような状態か (p.100-101)<br>基礎看護技術 16章2節3項 体温の平衡 (p.338-339)                 |
|         |                    | b 体温調節中枢        | 解剖生理学 3章3節3項 体温調節 (p.79-81)<br>病態生理学 2章40節1項 発熱の原因と機序 (p.287-288)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 1章1節2項 体液調節・体温調節とフィードバック (p.20-22)<br>基礎看護技術 16章2節4項 体温調節のメカニズム (p.339-340) |
| 15 内分泌系 | A ホルモンの種類          | a ホルモンの化学的性質    | 解剖生理学 9章1節2項 ホルモンの化学的性質と作用機序 (p.222-223)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章1節1項 内分泌機能の障害とはどのような状態か (p.32-34)  |
|         |                    | b ホルモンの受容体      | 解剖生理学 9章1節1項 内分泌系 (p.220-222)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章1節1項 内分泌機能の障害とはどのような状態か (p.32-34)   |
|         | B ホルモン分泌の調節        | a 調節ホルモン・拮抗ホルモン | 解剖生理学 9章1節1項 内分泌系 (p.220-222)  |
|         |                    | b フィードバック機構     | 解剖生理学 1章4節 フィードバック機構 (p.26-27)／9章1節1項 内分泌系 (p.220-222)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 1章1節2項 体液調節・体温調節とフィードバック (p.20-22)／2章2節1項 下垂体の機能とその障害 (p.37-39)                        |
|         | C 内分泌器官の構造とホルモンの機能 | a 視床下部          | 解剖生理学 9章2節1項 視床下部 (p.223)  |
|         |                    | b 下垂体           | 解剖生理学 9章2節2項 下垂体 (p.224-228)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章2節1項 下垂体の機能とその障害 (p.37-39)   |
|         |                    | c 甲状腺           | 解剖生理学 9章3節 甲状腺 (p.229-232)<br>ヘルスアセスメント 3章4節1項 頭部・顔面・頸部の構造と機能：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.58-59)   |
|         |                    | d 上皮小体〈副甲状腺〉    | 解剖生理学 9章4節 上皮小体 (p.232-233)  |
|         |                    | e 膵島            | 解剖生理学 9章5節1項 膵島の働き (p.233-236)<br>臨床生化学 4-1章6節 血糖の調節とホルモンの作用 (p.71-72)   |

| 大項目      | 中項目                | 小項目             | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|----------|--------------------|-----------------|---|
| 15 内分泌系  | C 内分泌器官の構造とホルモンの機能 | f 副腎皮質          | 解剖生理学 9章6節1項 副腎皮質 (p.236-239)<br>臨床生化学 4-1章6節2項 血糖値を上昇させるホルモン (p.72)  |
|          |                    | g 副腎髄質          | 解剖生理学 9章6節2項 副腎髄質 (p.239-241)<br>臨床生化学 4-1章6節2項 血糖値を上昇させるホルモン (p.72)  |
|          |                    | h 消化管ホルモン       | 解剖生理学 9章8節1項 消化管 (p.244)  |
|          |                    | i 腎臓のホルモン       | 解剖生理学 9章8節2項 腎臓 (p.245)   |
|          |                    | j 性腺ホルモン        | 解剖生理学 9章7節 性腺 (p.241-243)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章1節1項 加齢によるホルモンバランスの障害 (p.186-193)   |
| 16 生殖と老化 | A 女性の生殖系           | a 卵巣の構造と機能      | 解剖生理学 10章1節1項 卵巣 (p.252-254)  |
|          |                    | b 卵管・子宮・膣の構造と機能 | 解剖生理学 10章1節2項 管腔系の構造 (p.254-256)  |
|          |                    | c 外陰部・会陰        | 解剖生理学 10章1節3項 女性外生殖器の構造 (p.257-258)   |
|          |                    | d 性周期           | 解剖生理学 10章1節4項 性周期 (p.258-263)<br>ヘルスアセスメント 4章1節1項 母性のアセスメント：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.186-189)  |
|          |                    | e 妊娠・分娩・産褥      | 解剖生理学 10章1節5項 妊娠と出産 (p.263-267)   |
|          |                    | f 乳房            | 解剖生理学 10章1節6項 乳腺 (p.267-268)<br>ヘルスアセスメント 3章9節1項 乳房・腋窩の構造と機能：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.108-110)   |
|          | B 男性の生殖系           | a 精巣・精巣上体の構造と機能 | 解剖生理学 10章2節1項 男性生殖器の構造 (p.270-272)  |
|          |                    | b 精子の形成         | 解剖生理学 10章2節3項 男性の生殖機能 (p.272-274)   |
|          |                    | c 付属生殖腺の構造と機能   | 解剖生理学 10章2節1項 男性生殖器の構造 (p.270-272)  |
|          | C 受精と発生            | a 受精            | 解剖生理学 10章1節5項 妊娠と出産 (p.263-267)   |
|          |                    | b 胎児の発生         | 解剖生理学 10章1節5項 妊娠と出産 (p.263-267)   |
|          | D 成長と老化            | a 組織および臓器の加齢変化  | 解剖生理学 3章2節4項 皮膚の成長と老化 (p.76)／4章4節 血液の発生 (p.98)／5章3節 心臓、血管の成長と老化 (p.125)／6章4節 呼吸器系の成長と老化 (p.158)／7章7節 消化器系の成長と老化 (p.192-193)／8章6節 泌尿器系の成長と老化 (p.216)／9章9節 内分泌系の成長と老化 (p.247-248)／10章1節7項 女性生殖器の成長と老化 (p.268-269)、2節4項 男性生殖器の成長と老化 (p.274)／11章1節6項 骨の成長 (p.282)、7項 骨の形成と改変 (p.283)、8項 骨の老化 (p.283)、5節 骨格系の成長と老化 (p.301)／12章5節 筋系の成長と老化 (p.322)／13章4節7項 神経系の成長と老化 (p.357)／14章7節 感覚系の成長と老化 (p.390)／15章4節 免疫系と感染症 (p.405-406)<br>病態生理学 1章6節1項 細胞の傷害と適応 (p.62)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 1章2節3項 換気障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.30-38)／6章3節 ポンプ機能の障害一弁機能の障害 (p.144-145)、9節1項 血管の障害とはどのような状態か (p.176)<br>ヘルスアセスメント 3章2節1項 皮膚・爪・髪・毛の構造と機能：アセスメントの根拠になる復習事項 (p.42-46)<br>成人看護学概論 2章1節2項 成人各期の特徴 (p.28-32)／3章3節1項 加齢による影響 (p.53-57) |
|          |                    | b 代謝機能の加齢変化     | 解剖生理学 7章7節 消化器系の成長と老化 (p.192-193)／9章9節2項 老化・加齢 (p.247-248)  |



# 疾病の成り立ちと回復の促進

## 目標Ⅰ. 健康から疾病を経て回復に至る過程について基本的な理解を問う。

| 大項目             | 中項目     | 小項目                  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|-----------------|---------|----------------------|--|
| 1 疾病の成立と疾病からの回復 | A 疾病の原因 | a 疾病を引き起こす内的・外的要因    | 病態生理学 1章 病理病態論 (p.11-94)<br>成人看護学概論 3章3節 身体機能の変化を分析する視点 (p.53-64)  |
|                 |         | b 疾病を引き起こす生活習慣       | 臨床看護総論 2章3節3項 急性期病院退院時の再発予防指導 (p.85-88)<br>成人看護学概論 3章3節3項 生活習慣・生活行動による影響 (p.59-64) / 7章1節 生活習慣と健康障害との関連 (p.130-136)  |
|                 | B 生体の回復 | a 回復過程               | 健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章2節1項 身体機能悪化の予期 (p.69-73)<br>周手術期看護 17章1節 外科的治療による侵襲からの回復を考えるためのツール (p.256-261)  |
|                 |         | b 回復に影響する身体・心理・社会的因子 | 健康危機状況／セルフケアの再獲得 4章2節 セルフケアの低下と再獲得 (p.173-191)<br>周手術期看護 1章2節1項 侵襲に対する生体反応 (p.16-22) / 17章1節 外科的治療による侵襲からの回復を考えるためのツール (p.256-261)<br>リハビリテーション看護 6章6節 社会の態度 (p.195-198) |

## 目標Ⅱ. 疾病による身体内部の変化について基本的な理解を問う。

| 大項目      | 中項目                 | 小項目         | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|----------|---------------------|-------------|--|
| 2 基本的な病変 | A 細胞の障害             | a 萎縮        | 病態生理学 1章6節2項 細胞の傷害・適応の分類 (p.62-69)   |
|          |                     | b 変性        | 病態生理学 1章6節2項 細胞の傷害・適応の分類 (p.62-69)   |
|          |                     | c 壊死とアポトーシス | 病態生理学 1章6節2項 細胞の傷害・適応の分類 (p.62-69), 7節2項 腫瘍とは (p.70-71)  |
|          | B 細胞の障害に対する修復・再生・適応 | a 創傷とその治癒   | 基礎看護技術 20章3節 創傷 (p.424), 5節 創傷治癒の過程と形式 (p.427-428)<br>臨床看護総論 3章4節4項 創傷処置 (p.133-134)<br>周手術期看護 1章2節 侵襲とは (p.16-26) |
|          |                     | b 再生と修復     | 病態生理学 1章3節 炎症と修復 (p.39-44)<br>周手術期看護 1章2節 侵襲とは (p.16-26)   |
|          |                     | c 肥大と過形成    | 病態生理学 1章6節2項 細胞の傷害・適応の分類 (p.62-69), 7節2項 腫瘍とは (p.70-71)  |
|          | C 基本的な病変とその機序       | a 循環障害      | 病態生理学 1章2節2項 血行障害の分類 (p.31-37)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 1章4節1項 肺循環障害とはどのような状態か (p.46-47)<br>小児の疾患と看護 6章 循環器疾患 (p.150-166)  |
|          |                     | b 炎症・壊疽     | 病態生理学 1章3節 炎症と修復 (p.39-44), 6節2項 細胞の傷害・適応の分類 (p.62-69)<br>周手術期看護 1章2節1項 侵襲に対する生体反応 (p.16-22)                       |

| 大項目        | 中項目           | 小項目                  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|------------|---------------|----------------------|---|
| 2 基本的な病変   | C 基本的な病変とその機序 | c 免疫異常（アレルギー，自己免疫疾患） | 病態生理学 1章3節3項 炎症と修復に関わる細胞と体液性因子 (p.40-41)，4節3項 免疫疾患 (p.49-51)<br>造血機能障害／免疫機能障害 3章1節 自己免疫疾患（膠原病を含む）(p.96-110)，1項 自己免疫疾患とはどのような状態か (p.97-98)，2節 アレルギー性疾患 (p.111-134)，1項 アレルギーとはどのような状態か (p.112-118)，3節 アナフィラキシーショック・食物アレルギー・薬物アレルギー (p.135-146)／4章1節1項 膠原病患者の観察とアセスメント (p.154-157)，2節 関節リウマチ患者の看護 (p.162-163)，1項 関節リウマチ患者の観察とアセスメント (p.162-163)，3節 アレルギー性疾患患者の看護 (p.172-181)<br>小児の疾患と看護 4章 免疫・アレルギー・膠原病学 (p.94-113) |
|            |               | d 代謝障害               | 病態生理学 1章9節 代謝異常 (p.87-94)<br>栄養代謝機能障害 4章 代謝機能の障害とその看護 (p.65-94)<br>小児の疾患と看護 3章 代謝・内分泌疾患 (p.74-92)   |
|            |               | e 老年症候群              | 運動機能障害 7章5節1項 運動機能障害のアセスメント (p.126-129)   |
|            |               | f 先天異常（遺伝子異常）        | 臨床生化学 6章5節 遺伝子の変化 (p.124-127)／7章 先天性代謝異常 (p.130-134)<br>病態生理学 1章8節 先天異常 (p.79-86)<br>栄養代謝機能障害 2章3節4項 先天代謝異常と疾患 (p.93-94)<br>小児の疾患と看護 2章 遺伝性疾患・染色体異常 (p.54-70)   |
|            |               | g 腫瘍                 | 病態生理学 1章7節 腫瘍と過形成 (p.70-78)<br>小児の疾患と看護 9章5節 悪性リンパ腫 (p.210-212)，6節 神経芽腫 (p.212-213)，7節 腎芽腫（ウイルムス腫瘍）(p.214-215)，8節 脳腫瘍 (p.216-218)   |
|            | D 健康状態を脅かす微生物 | a 人と微生物のかかわり         | 臨床微生物・医動物 1章2項 身の回りの微生物 (p.28-30)<br>基礎看護技術 5章3節 感染症を成立させる要素と成立過程 (p.101-106)   |
|            |               | b 微生物の種類と特徴          | 病態生理学 1章5節1項 感染の成立とその修復機転のメカニズム (p.53-55)<br>臨床微生物・医動物 1章1項 臨床微生物・医動物の特徴 (p.24-28)／2章 宿主の臓器・組織別にみる感染症と病原体 (p.34-103)／3章 宿主の因子が影響する感染症と病原体 (p.106-178)   |
|            |               | c 微生物の感染経路と潜伏期間      | 臨床微生物・医動物 4章1節3項 感染成立の3要因と感染予防の基本 (p.186-187)<br>災害看護 6章1節2項 感染症対策の実際 (p.160-171)   |
|            |               | d 感染症                | 病態生理学 1章5節 感染 (p.53-61)<br>臨床微生物・医動物 2章 宿主の臓器・組織別にみる感染症と病原体 (p.34-103)／3章 宿主の因子が影響する感染症と病原体 (p.106-178)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 1章6節1項 呼吸器感染症とはどのような状態か (p.54-55)，3項 代表的な呼吸器感染症と治療 (p.56)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章4節1項 男性の性器感染症 (p.214)，2項 女性の性器感染症 (p.215-217)<br>小児の疾患と看護 5章 感染症 (p.116-147)<br>災害看護 1章1節6項 災害関連死 (p.23-25)，7項 災害救援活動時に注意すべきこと (p.25-27)   |
|            |               | e 薬剤耐性菌              | 臨床薬理学 5章1節1項 基本事項 (p.124-125)<br>臨床微生物・医動物 3章10節 薬剤耐性菌 (p.168-178)  |
| 3 疾病に対する医療 | A 疾病の予防       | a 予防接種               | 臨床微生物・医動物 3章3節2項 小児の予防接種 (p.125-127)／5章1節 ワクチン接種と血清療法 (p.196-201)<br>医療関係法規 7章4節 予防接種法 (p.118-121)<br>災害看護 6章1節2項 感染症対策の実際 (p.160-171)  |

| 大項目        | 中項目     | 小項目                         | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|------------|---------|-----------------------------|---|
| 3 疾病に対する医療 | B 疾病の診断 | a 健康な状態からの変化を確認する診断過程       | 病態生理学 2章4節3項 アセスメント (p.119-120)<br>基礎看護技術 3章 生命の徴候を観察する技術 (p.57-84)<br>成人看護学概論 3章3節3項 生活習慣・生活行動による影響 (p.59-64)  |
|            |         | b 全身状態評価のための一般的検査           | 病態生理学 2章1節3項 アセスメント (p.100-103), 2節3項 アセスメント (p.105-109), 3節3項 アセスメント (p.113), 6節3項 アセスメント (p.126-128), 7節3項 アセスメント (p.133-134), 8節3項 アセスメント (p.138-139), 9節4項 ケア (p.142-143), 10節2項 アセスメント (p.146-147), 13節3項 アセスメント (p.159-160), 18節3項 アセスメント (p.182-183), 19節4項 アセスメント (p.186-188), 20節3項 アセスメント (p.193-194), 21節3項 アセスメント (p.199-201), 22節3項 アセスメント (p.204-205)<br>基礎看護技術 18章2節 身体計測 (p.369-372)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章2節2項 身体機能悪化への対応方法 (p.77-80)  |
|            |         | c 特殊な検査(放射線, MRI, 超音波, 内視鏡) | 病態生理学 2章1節3項 アセスメント (p.100-103), 3節3項 アセスメント (p.113), 6節3項 アセスメント (p.126-128), 7節3項 アセスメント (p.133-134), 8節3項 アセスメント (p.138-139), 10節2項 アセスメント (p.146-147), 13節3項 アセスメント (p.159-160), 4項 ケア (p.160-161), 18節3項 アセスメント (p.182-183), 25節3項 アセスメント (p.222-223)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 1章4節2項 肺循環障害に伴う症状とその検査 (p.47-48), 5節2項 胸部外傷に伴う症状とその検査 (p.51-52)<br>運動機能障害 1章3節1項 単純X線検査 (p.25-26), 2項 骨密度検査 (p.26)／7章7節1項 CT, MRI (p.133-134)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 8章1節2項 臨床検査と看護 (p.151-153)<br>基礎看護技術 18章3節1項 X線単純撮影検査 (p.372-373), 2項 超音波検査 (p.373), 3項 CT検査 (p.373-374), 4項 内視鏡検査 (p.374-375) |
|            | C 疾病の治療 | a 手術療法と適応                   | 病態生理学 1章7節5項 がんの治療 (p.75-76)<br>臨床看護総論 3章4節3項 手術療法 (p.132-133)<br>周手術期看護 2章 外科的侵襲の種類 (p.38-43)  |
|            |         | b 麻酔                        | 臨床薬理学 6章5節 麻酔時に使用する薬 (p.150-155)<br>周手術期看護 1章3節 麻酔が及ぼす影響の遷延の可能性を予測する (p.26-32)  |
|            |         | c 放射線による治療                  | 臨床生化学 4-4章4節 抗がん薬の作用 (p.101-102)<br>病態生理学 1章7節5項 がんの治療 (p.75-76)<br>造血機能障害／免疫機能障害 4章6節1項 造血幹細胞移植を受ける患者の看護にあたって (p.201-211)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節2項 脳腫瘍患者 (p.108-109)<br>臨床看護総論 3章4節6項 放射線治療 (p.134-135)<br>緩和ケア 2章8節3項 放射線療法に伴う苦痛の緩和 (p.124-127)  |
|            |         | d 輸液療法・輸血                   | 病態生理学 2章6節4項 ケア (p.128-130), 20節4項 ケア (p.194-196)<br>臨床薬理学 6章6節 輸血製剤 (p.156)<br>基礎看護技術 19章5節2項 注射の実際 (p.407-418)<br>臨床看護総論 3章4節2項 輸液療法 (p.132)  |
|            |         | e リハビリテーション                 | 病態生理学 3章39節4項 ケア (p.284-286)<br>臨床看護総論 2章3節4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92)／3章4節12項 リハビリテーション療法 (p.140-141)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章2節 セルフケア再獲得を支援する方法 (p.217-237)／6章1節2項 脳出血急性期における看護 (p.260-261), 3項 事例で考える脳出血生命維持レベルのセルフケア再獲得支援 (p.261-267), 2節 生活基本行動レベルのセルフケアの再獲得 (p.268-275), 3節 家庭におけるセルフケアの再獲得 (p.276-284), 4節 家庭生活の役割遂行に関わるセルフケアの再獲得 (p.285-295)   |

| 大項目        | 中項目          | 小項目   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|------------|--------------|---|---|
| 3 疾病に対する医療 | C 疾病の治療      | e リハビリテーション   | リハビリテーション看護 7章 事例で学ぶリハビリテーション看護 (p.202-259) / 8章 地域におけるリハビリテーション: 脳血管疾患患者のケアの連携事例 (p.262-279)   |
|            |              | f 臓器移植  | 病態生理学 1章4節4項 移植と免疫 (p.51)<br>内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 7章1節2項 透析療法・腎移植と看護 (p.131-138)<br>臨床看護総論 3章4節5項 人工臓器・臓器移植 (p.134)<br>周手術期看護 16章 臓器移植を必要とする人の手術 (p.248-254)   |
|            |              | g 透析療法  | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 7章1節2項 透析療法・腎移植と看護 (p.131-138)  |
|            | D 疾病に対する薬物療法 | a 与薬  | 臨床薬理学 1章1節 医薬品 (p.12-18)<br>基礎看護技術 19章1節 与薬とは (p.394), 4節1項 安全で確実な与薬のための援助の知識・技術・態度 (p.399-400)   |
|            |              | b 薬物の体内動態, 薬理作用, 副作用 (有害事象)   | 臨床薬理学 1章2節 医薬品の作用原理とその影響 (p.19-21)<br>基礎看護技術 19章3節2項 薬剤の吸収・分布・代謝・排泄 (p.395-396), 3項 薬剤の主作用と副作用 (p.396-397), 4項 薬剤相互作用 (p.397), 4節1項 安全で確実な与薬のための援助の知識・技術・態度 (p.399-400)   |
|            |              | c 血糖降下薬   | 臨床薬理学 2章8節 糖尿病 (p.54-60)  |
|            |              | d 心臓に作用する薬  | 病態生理学 2章2節4項 ケア (p.109-110), 4節4項 ケア (p.120), 6節4項 ケア (p.128-130)<br>臨床薬理学 2章3節 狭心症 (p.42-43), 5節 不整脈 (p.48-49), 6節 心不全 (p.50-51) / 6章2節1項 循環改善のために使用する薬 (p.145-146)<br>呼吸機能障害 / 循環機能障害 6章6節3項 冠血流障害 (虚血性心疾患) を引き起こす主な疾患と看護 (p.162-166) |
|            |              | e 降圧利尿薬   | 臨床薬理学 2章2節 高血圧 (p.37-42)  |
|            |              | f 血液凝固に関係する薬  | 病態生理学 2章4節4項 ケア (p.120)<br>臨床薬理学 2章4節 心筋梗塞 (p.44-47), 9節2項 脳血管障害 (急性期) の薬物療法 (p.62-64)<br>臨床看護総論 2章3節3項 急性期病院退院時の再発予防指導 (p.85-88)   |
|            |              | g 免疫抑制薬   | 病態生理学 2章23節4項 ケア (p.209-210), 39節4項 ケア (p.284-286)<br>臨床薬理学 6章2節2項 ステロイド (p.147) / 7章3節 関節リウマチと薬物療法 (p.173-181), 5節 全身性エリテマトーデスと薬物療法 (p.181)  |
|            |              | h 抗癌薬   | 臨床生化学 4-4章4節 抗がん薬の作用 (p.101-102)<br>病態生理学 1章7節5項 がんの治療 (p.75-76)<br>臨床薬理学 3章1節 がん使用する薬 (p.68-88)<br>臨床看護総論 3章4節1項 薬物療法 (p.131-132)  |
|            |              | i 抗菌薬・抗ウイルス薬  | 臨床薬理学 5章1節 細菌感染症 (p.124-131)  |
|            | E 医療による健康被害  | a 薬害  | 臨床薬理学 1章2節4項 好ましくない副作用 (薬物有害反応) (p.23-24)   |
|            |              | b ウイルス性肝炎   | 臨床微生物・医動物 2章4節 肝炎 (p.62-70)   |
|            |              | c Creutzfeldt-Jakob (クロイツフェルト・ヤコブ) 病                                    | 臨床微生物・医動物 2章9節2項 その他の神経系 (疾患) 症状を呈する感染症 (p.102-103)   |
| d 院内感染     |              | 臨床微生物・医動物 4章1節1項 感染症の主な分類 (p.182-183)<br>看護学概論 9章4節5項 物品の管理 (p.204-205) |   |



目標Ⅲ. 疾病の特性について基本的な理解を問う。

| 大項目       | 中項目        | 小項目  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-----------|------------|--|---|
| 4 神経機能の障害 | A 中枢神経系の疾患 | a 脳血管系の循環障害  | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章1節 脳血管障害 (p.42-50), 11節 小脳の疾患 (p.88-92)<br>疾病と治療 10章2節 高血圧性脳内出血 (p.258-260), 3節 くも膜下出血 (p.261-264), 4節 虚血性脳血管障害 (p.264-269)<br>臨床看護総論 2章3節2項 病棟における日常生活動作再獲得のためのリハビリテーション (p.80-84)<br>周手術期看護 11章2節 くも膜下出血 (p.197-200)                    |
|           |            | b 頭蓋内圧亢進に伴う症状  | 病態生理学 2章10節1項 原因分類, 病態生理 (p.144-146), 12節1項 嘔気・嘔吐とは (p.154), 3項 アセスメント (p.154-156), 24節2項 病態生理 (p.212-213)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章2節2項 脳腫瘍による症状 (p.52-53)／3章2節1項 頭蓋内圧亢進症状 (p.136-142)<br>小児の疾患と看護 1章10節 髄膜瘤／二分脊椎 (p.35-38), 11節 水頭症 (p.39-41)                 |
|           |            | c 神経変性 (Parkinson〈パーキンソン〉病, 筋萎縮性側索硬化症〈ALS〉)          | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章7節 神経変性疾患 (p.71-73)<br>運動機能障害 4章2節4項 神経変性疾患 (p.65)<br>疾病と治療 10章6節 パーキンソン病 (p.272-277)   |
|           |            | d 脱髄性疾患 (多発性硬化症)                                     | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章8節 免疫性神経疾患 (p.74-79)  |
|           |            | e 認知症 (Alzheimer〈アルツハイマー〉病, 血管性認知症, Lewy〈レビー小体〉型認知症) | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章9節 認知症 (p.80-83)<br>疾病と治療 10章8節 アルツハイマー病 (p.280-282)<br>臨床看護総論 2章3節5項 サービスを受けながらの在宅生活 (p.94-98)   |
|           |            | f 中枢神経系の感染症  | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章5節 中枢神経系感染症 (p.64-66)<br>疾病と治療 10章5節 髄膜炎 (p.270-272)  |
|           |            | g 頭部と脊椎の外傷   | 病態生理学 2章37節2項 病態生理 (p.274-275)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章3節 頭部外傷 (p.57-60)   |
|           |            | h 脊椎の外傷と脊髄損傷   | 病態生理学 2章27節2項 病態生理 (p.229-231), 37節2項 病態生理 (p.274-275)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章6節 脊椎・脊髄疾患 (p.67-69)<br>運動機能障害 2章2節1項 脊髄損傷 (p.35)／5章3節1項 事故による運動機能障害 (p.74)<br>疾病と治療 9章7節 脊髄損傷 (p.237-241)<br>小児の疾患と看護 1章10節 髄膜瘤／二分脊椎 (p.35-38)<br>災害看護 7章3節2項 搬送技術 (p.194-197) |
|           |            | i 機能的疾患 (てんかん, 頭痛)                                   | 病態生理学 2章25節 頭痛 (p.219-224), 26節 痙攣 (p.225-228)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章10節 てんかん (p.84-87)<br>疾病と治療 10章9節 てんかん (p.283-285)<br>小児の疾患と看護 10章1節 てんかん (p.220-221)   |
|           |            | j 二次的に意識障害・神経障害を起こす疾患                                | 病態生理学 2章24節1項 原因と分類 (p.211-212), 2項 病態生理 (p.212-213), 27節1項 運動麻痺とは (p.229), 29節1項 歩行障害とは (p.237-238), 2項 病態生理 (p.238)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章13節 二次的に意識障害をきたす疾患 (p.97-100)  |
|           |            | k 腫瘍   | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章2節 脳腫瘍 (p.51-56), 11節 小脳の疾患 (p.88-90)<br>疾病と治療 10章1節 脳腫瘍 (p.252-257)<br>周手術期看護 11章1節 脳腫瘍 (p.192-196)<br>小児の疾患と看護 9章5節 悪性リンパ腫 (p.210-212), 6節 神経芽腫 (p.212-213), 7節 腎芽腫 (ウイルス腫瘍) (p.214-215), 8節 脳腫瘍 (p.216-218)                            |

| 大項目           | 中項目  | 小項目                             | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |   |
|---------------|--|---------------------------------|--|---|
| 4 神経機能の障害     | B 末梢神経系の疾患                                       | a Guillain-Barré (ギラン・バレー) 症候群  | 病態生理学 2章30節2項 病態生理 (p.241-242)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 2章12節3項 ギラン・バレー症候群 (p.96)<br>運動機能障害 4章2節3項 末梢神経障害 (p.64-65)  |   |
|               |  | b 糖尿病性神経障害                      | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 3章1節11項 末梢神経障害患者 (p.132-133)<br>疾病と治療 5章1節 糖尿病 (DM) (p.140-143)  |   |
|               |  | c 圧迫性神経障害                       | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 2章12節2項 末梢神経障害を起こす疾患, 症状, 検査 (p.95)  |   |
|               | C 感覚機能の障害  | a 視覚の障害                         | 病態生理学 2章32節2項 病態生理 (p.252)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章1節 視覚の障害と患者の看護 (p.216-229)<br>疾病と治療 12章1節 白内障 (p.302-303), 2節 緑内障 (p.304-306), 3節 網膜?離 (RD) (p.307-309)<br>周手術期看護 12章1節 白内障 (p.204-206)  |   |
|               |  | b 聴覚・平衡覚の障害                     | 病態生理学 2章31節2項 病態生理 (p.245-247), 33節2項 病態生理 (p.256-257), 34節2項 病態生理 (p.261)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章2節 聴覚・平衡覚の障害と患者の看護 (p.230-239)<br>疾病と治療 12章4節 中耳炎 (p.310-312), 6節 メニエール病 (p.315-318)   |   |
|               |  | c 嗅覚と味覚の障害                      | 病態生理学 2章35節2項 病態生理 (p.265-266), 36節2項 病態生理 (p.269)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章3節 嗅覚・味覚の障害と患者の看護 (p.240-245)<br>疾病と治療 12章5節 副鼻腔炎 (p.313-315)  |   |
|               |  | d 皮膚の障害(湿疹, アトピー性皮膚炎, 帯状疱疹, 疥癬) | 病態生理学 1章5節1項 感染の成立とその修復機転のメカニズム (p.53-55)/2章22節2項 病態生理 (p.202-204)<br>造血機能障害/免疫機能障害 3章2節4項 アトピー性皮膚炎 (p.126-131)<br>疾病と治療 13章1節 水痘, 帯状疱疹 (p.320-321)<br>小児の疾患と看護 4章2節 アトピー性皮膚炎 (p.96-98), 7節 若年性皮膚筋炎/多発筋炎 (p.106-109), 9節 ヘノッホ・シェーンライン紫斑病 (p.111-113)/5章5節 麻疹 (p.125-127), 6節 風疹 (p.128-130), 7節 水痘 (p.131-132) |   |
|               |  | A 気道と肺の疾患                       | a 気道・肺の炎症  | 病態生理学 1章5節1項 感染の成立とその修復機転のメカニズム (p.53-55)<br>呼吸機能障害/循環機能障害 1章6節 呼吸器系におけるその他の障害-呼吸器感染症 (p.54-57)<br>疾病と治療 3章1節 肺炎, 間質性肺炎 (p.52-55)<br>小児の疾患と看護 4章1節 小児気管支喘息 (p.94-96)  |
|               |  |                                 | b 気道の閉塞をきたす疾患(気管支喘息, 慢性閉塞性肺疾患)   | 呼吸機能障害/循環機能障害 1章2節2項 換気障害に伴う症状とその検査 (p.28-34), 3項 換気障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.30-38), 7節 呼吸器系におけるその他の障害-睡眠時無呼吸症候群 (p.58-59)/2章2節2項 呼吸性アシドーシスを伴う代表的疾患と検査・治療 (p.67-69)/5章1節 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者の看護【事例】 (p.114-123)<br>造血機能障害/免疫機能障害 3章2節3項 気管支喘息 (p.122-126)<br>疾病と治療 3章3節 気管支喘息 (p.58-60), 4節 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) (p.61-64)<br>小児の疾患と看護 4章1節 小児気管支喘息 (p.94-96) |
|               |  |                                 | c 肺循環障害(肺梗塞, 肺塞栓症)   | 病態生理学 2章3節2項 病態生理 (p.112), 3項 アセスメント (p.113), 24節4項 ケア (p.216-218)<br>呼吸機能障害/循環機能障害 1章4節 肺循環障害 (p.46-50)<br>災害看護 1章1節2項 災害の種類と疾病構造: 自然災害 (p.13-20), 6項 災害関連死 (p.23-25)  |
| d 肺腫瘍(癌, 中皮腫) | 呼吸機能障害/循環機能障害 1章2節3項 換気障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.30-38) |                                 |  |   |
| 5 呼吸機能の障害     |  |                                 |  |   |

| 大項目       | 中項目       | 小項目                         | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-----------|-----------|-----------------------------|---|
| 5 呼吸機能の障害 | A 気道と肺の疾患 | d 肺腫瘍 (癌, 中皮腫)              | 疾病と治療 3章5節 肺癌 (p.64-65)<br>周手術期看護 7章1節 肺癌 (p.112-116)   |
|           |           | e 呼吸不全                      | 病態生理学 2章2節1項 定義・概念 (p.105), 3節2項 病態生理 (p.112)<br>呼吸機能障害/循環機能障害 1章1節2項 呼吸機能障害の分類 (p.25-26)/2章2節2項 呼吸性アシドーシスを伴う代表的疾患と検査・治療 (p.67-69)  |
|           |           | f 気胸                        | 病態生理学 2章3節 胸痛 (p.112-120)   |
| 6 循環機能の障害 | A 心臓の疾患   | a 先天性心疾患                    | 呼吸機能障害/循環機能障害 6章4節1項 心臓の形態異常とはどのような状態か (p.152-153)<br>疾病と治療 2章7節 ファロー四徴症 (TOF) (p.47-48)<br>周手術期看護 8章3節 心房中隔欠損症 (p.137-141)<br>小児の疾患と看護 6章1節 心室中隔欠損症 (p.150-152), 2節 心房中隔欠損症 (p.152-154), 3節 房室中隔欠損症 (p.155-157), 5節 ファロー四徴症 (p.160-162), 6節 完全大血管転位症 (p.162-164) |
|           |           | b 虚血性心疾患                    | 病態生理学 2章4節1項 不整脈とは (p.115-118)<br>呼吸機能障害/循環機能障害 6章6節1項 冠血流障害 (虚血性心疾患) とはどのような状態か (p.160)<br>疾病と治療 2章1節 狭心症 (p.32-34), 2節 急性心筋梗塞 (AMI) (p.34-38)<br>ヘルスアセスメント 3章8節4項 心電図によるアセスメント (p.102-106)<br>周手術期看護 8章1節 狭心症 (p.124-127)                                       |
|           |           | c 心筋症                       | 呼吸機能障害/循環機能障害 6章2節3項 心筋障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.141-143)<br>疾病と治療 2章4節 心筋症 (p.41-43)  |
|           |           | d 心不全 (右心不全, 左心不全, 心タンポナーデ) | 呼吸機能障害/循環機能障害 6章1節2項 循環機能障害の分類 (p.139), 4節2項 心臓の形態異常による症状とその検査 (p.153-154), 5節1項 心膜の異常とはどのような状態か (p.157-158)<br>疾病と治療 2章5節 心不全 (p.43-45)  |
|           |           | e 不整脈                       | 病態生理学 2章4節 不整脈 (p.115-120)<br>呼吸機能障害/循環機能障害 6章7節1項 刺激伝導系の障害とはどのような状態か (p.167-168), 3項 刺激伝導系の障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.170-171)<br>ヘルスアセスメント 3章8節4項 心電図によるアセスメント (p.102-106)  |
|           |           | f 心内膜炎と弁膜疾患                 | 呼吸機能障害/循環機能障害 6章3節1項 弁機能の障害とはどのような状態か (p.144-145), 3項 弁機能の障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.147-151)<br>疾病と治療 2章3節 心臓弁膜症 (p.38-41)<br>周手術期看護 8章2節 心臓弁膜症 (p.128-136)  |
|           | B 血管系の疾患  | a 動脈硬化症                     | 臨床栄養学 5章3節2項 動脈硬化症 (p.187)<br>呼吸機能障害/循環機能障害 6章1節2項 循環機能障害の分類 (p.139)  |
|           |           | b 高血圧                       | 臨床栄養学 5章3節1項 高血圧症 (p.186-187)<br>呼吸機能障害/循環機能障害 6章8節 肺動脈圧の上昇 (p.172-174)   |
|           |           | c 閉塞性動脈硬化症                  | 呼吸機能障害/循環機能障害 6章9節3項 血管の障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.176-180)/8章2節5項 下肢の痛み (p.203-204)<br>周手術期看護 8章5節 閉塞性動脈硬化症 (p.146-149)  |
|           |           | d 大動脈瘤・大動脈解離                | 呼吸機能障害/循環機能障害 6章9節3項 血管の障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.176-180)<br>疾病と治療 2章6節 大動脈解離 (p.45-47)<br>周手術期看護 8章4節 大動脈解離 (p.142-145)  |
|           |           | e 静脈瘤・静脈血栓症                 | 病態生理学 1章2節2項 血行障害の分類 (p.31-37)<br>呼吸機能障害/循環機能障害 6章9節3項 血管の障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.176-180)   |

| 大項目       | 中項目        | 小項目                            | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-----------|------------|--------------------------------|---|
| 6 循環機能の障害 | B 血管系の疾患   | e 静脈瘤・静脈血栓症                    | <b>災害看護</b> 1章1節2項 災害の種類と疾病構造：自然災害 (p.13-20)  |
| 7 造血機能の障害 | A 造血器の疾患   | a 貧血                           | <b>病態生理学</b> 2章19節 貧血 (p.184-189), 2項 原因による分類 (p.184-186)<br><b>造血機能障害／免疫機能障害</b> 1章1節2項 貧血とはどのような状態か (p.17)／2章1節1項 貧血・白血球減少症・血小板減少症および機能異常のある患者の観察とアセスメント (p.66-69)<br><b>小児の疾患と看護</b> 9章1節 未熟児貧血／鉄欠乏性貧血／溶血性貧血 (p.202-203)   |
|           |            | b 出血傾向と凝固・線溶系の異常               | <b>病態生理学</b> 1章2節2項 血行障害の分類 (p.31-37)／2章20節1項 出血傾向とは (p.190-191), 2項 病態生理 (p.191-193), 3項 アセスメント (p.193-194)<br><b>造血機能障害／免疫機能障害</b> 1章4節1項 凝固・線溶系の異常とはどのような状態か (p.40-42)<br><b>疾病と治療</b> 1章1節 血友病 (p.12-14), 5節 播種性血管内凝固症候群 (DIC) (p.26-29)  |
|           |            | c 白血球減少症                       | <b>造血機能障害／免疫機能障害</b> 1章2節1項 白血球減少とはどのような状態か (p.28-29)／2章1節1項 貧血・白血球減少症・血小板減少症および機能異常のある患者の観察とアセスメント (p.66-69)   |
|           |            | d 造血器の腫瘍 (白血病, 悪性リンパ腫, 多発性骨髄腫) | <b>病態生理学</b> 2章19節2項 原因による分類 (p.184-186), 4項 アセスメント (p.186-188), 21節2項 病態生理 (p.198-199)<br><b>造血機能障害／免疫機能障害</b> 1章5節1項 造血器の腫瘍とはどのような状態か (p.47-63)／2章3節1項 急性白血病患者の観察とアセスメント (p.86-88)<br><b>疾病と治療</b> 1章2節 白血病 (p.14-18), 3節 悪性リンパ腫 (p.19-21), 4節 多発性骨髄腫 (MM) (p.22-26)<br><b>小児の疾患と看護</b> 9章4節 白血病 (p.208-210), 5節 悪性リンパ腫 (p.210-212) |
| 8 免疫機能の障害 | A 膠原病      | a 全身性エリテマトーデス (SLE)            | <b>病態生理学</b> 1章4節3項 免疫疾患 (p.49-51)<br><b>造血機能障害／免疫機能障害</b> 3章1節2項 自己免疫疾患に含まれる主な疾患・症状・検査・治療 (p.98-110), 2節1項 アレルギーとはどのような状態か (p.112-118)／4章1節1項 膠原病患者の観察とアセスメント (p.154-157)<br><b>疾病と治療</b> 11章2節 全身性エリテマトーデス (SLE) (p.290-292)  |
|           |            | b 関節リウマチ                       | <b>病態生理学</b> 1章3節2項 炎症の原因 (p.39-40)／2章39節2項 病態生理 (p.282)<br><b>造血機能障害／免疫機能障害</b> 3章1節2項 自己免疫疾患に含まれる主な疾患・症状・検査・治療 (p.98-110), 2節1項 アレルギーとはどのような状態か (p.112-118)／4章2節1項 関節リウマチ患者の観察とアセスメント (p.162-163)<br><b>運動機能障害</b> 3章2節 関節の運動機能障害を起こす代表的疾患 (p.47-51)<br><b>疾病と治療</b> 11章1節 関節リウマチ (RA) (p.288-290)                                  |
|           |            | c Sjogren (シェーグレン) 症候群         | <b>病態生理学</b> 1章4節3項 免疫疾患 (p.49-51)<br><b>造血機能障害／免疫機能障害</b> 3章1節2項 自己免疫疾患に含まれる主な疾患・症状・検査・治療 (p.98-110)   |
|           | B アレルギー性疾患 | a 花粉症 (アレルギー性鼻炎)               | <b>造血機能障害／免疫機能障害</b> 3章2節2項 花粉症 (アレルギー性鼻炎) (p.118-121)  |
|           |            | b 蕁麻疹                          | <b>病態生理学</b> 2章22節2項 病態生理 (p.202-204)<br><b>造血機能障害／免疫機能障害</b> 3章2節5項 蕁麻疹 (p.131-132)  |
|           |            | c 接触皮膚炎                        | <b>造血機能障害／免疫機能障害</b> 3章2節6項 接触皮膚炎 (p.132-133)   |
|           | C 免疫不全     | a ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症         | <b>病態生理学</b> 1章4節5項 免疫疾患のケア (p.51-52)<br><b>造血機能障害／免疫機能障害</b> 4章5節 免疫不全 (HIV 感染症) 患者の看護 (p.192-200)<br><b>疾病と治療</b> 11章3節 後天性免疫不全症候群 (AIDS) (p.293-296)   |

| 大項目                | 中項目               | 小項目                          | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|--------------------|-------------------|------------------------------|---|
| 8 免疫機能の障害          | C 免疫不全            | a ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症       | セルフマネジメント 13章1節 エイズ (AIDS) の理解 (p.200-202)  |
| 9 栄養の摂取・吸収・代謝機能の障害 | A 栄養バランスの不均衡による疾患 | a メタボリックシンドローム               | 臨床生化学 4-2章10節 脂肪細胞と生活習慣病 (p.85)<br>臨床栄養学 3章3節4項 成人期 (p.121-122)<br>栄養代謝機能障害 2章2節1項 糖尿病 (p.79-84)<br>疾病と治療 5章3節 メタボリックシンドローム (p.146-147)<br>小児の発達と看護 2章4節4項 学童によくみられる健康問題 (p.141-144)  |
|                    |                   | b 肥満                         | 病態生理学 2章8節 肥満 (p.136-140)<br>臨床栄養学 5章2節1項 肥満症 (p.182)<br>栄養代謝機能障害 4章3節1項 (1) 肥満 (p.179-182)   |
|                    |                   | c 糖尿病                        | 臨床生化学 5章2節1項 糖尿病 (p.106-109)<br>病態生理学 1章9節1項 糖質代謝の異常 (p.87-90) / 2章8節1項 原因と分類 (p.136)<br>臨床栄養学 5章2節2項 糖尿病 (p.182-183)<br>栄養代謝機能障害 2章2節1項 糖尿病 (p.79-84)<br>疾病と治療 5章1節 糖尿病 (DM) (p.140-143)   |
|                    |                   | d 脂質異常症 (高脂血症)               | 臨床生化学 4-2章9節 脂質異常症 (高脂血症) (p.84)<br>病態生理学 1章9節2項 脂質代謝の異常 (p.90-91)<br>臨床栄養学 5章2節3項 脂質異常症 (高脂血症) (p.183-185)<br>栄養代謝機能障害 2章3節1項 脂質代謝障害と疾患 (p.87-89)  |
|                    |                   | e 高尿酸血症と痛風                   | 臨床生化学 4-4章3節 ヌクレオチドの分解 (p.99-100)<br>病態生理学 1章9節4項 核酸・ビタミンなどの代謝異常 (p.92-93)<br>臨床栄養学 5章2節4項 高尿酸血症 (痛風) (p.185)<br>栄養代謝機能障害 2章3節3項 尿酸代謝異常と疾患 (p.91-93)<br>疾病と治療 5章2節 痛風 (p.144-145)   |
|                    |                   | f 必須栄養素とエネルギーの不足による疾患        | 病態生理学 2章9節 やせ (p.141-143), 10節 食欲不振 (p.144-147)<br>栄養代謝機能障害 2章3節2項 蛋白代謝障害と疾患 (p.89-91)  |
|                    |                   | g ビタミン欠乏症                    | 病態生理学 1章9節4項 核酸・ビタミンなどの代謝異常 (p.92-93)<br>臨床栄養学 1章2節2項 栄養素の分類 (p.12-43)  |
|                    | B 口腔, 咽頭と食道の疾患    | a 口腔, 咽頭と食道の機能障害 (咀嚼・嚥下機能障害) | 病態生理学 2章11節 嚥下障害 (p.148-153)<br>臨床栄養学 4章4節 嚥下障害のある人のための食事 (p.153-156)<br>栄養代謝機能障害 1章1節1項 口腔疾患 (p.20-21), 3項 頭頸部腫瘍 (p.22-23) / 序章1項 栄養代謝機能とその障害 (p.16-17)  |
|                    |                   | b 口腔, 咽頭と食道の疾患 (逆流性食道炎)      | 栄養代謝機能障害 1章1節4項 食道疾患 (p.23-30)<br>疾病と治療 4章1節 胃食道逆流症 (GERD) (p.74-75)  |
|                    |                   | c う歯・歯周病                     | 栄養代謝機能障害 1章1節2項 歯科疾患 (p.21-22)<br>公衆衛生 9章1節2項 歯科疾患の特徴と現状 (p.149-151), 2節 う蝕予防と歯周疾患予防 (p.155-157)  |
|                    | C 消化管の疾患          | a 消化管の炎症と潰瘍                  | 病態生理学 2章13節1項 原因と分類 (p.158-162), 15節2項 病態生理 (p.168-169)<br>臨床栄養学 5章1節1項 胃・十二指腸潰瘍 (p.164-166), 2項 潰瘍性大腸炎 (p.167-169), 3項 クロウン病 (p.169-171), 4項 過敏性腸症候群 (p.172)<br>栄養代謝機能障害 1章2節1項 胃・十二指腸疾患 (p.31-37), 3節 排便機能障害と疾患 (p.52-64)<br>疾病と治療 4章4節 胃炎 (p.82-84), 5節 胃・十二指腸潰瘍 (p.84-87), 18節 急性虫垂炎 (p.120-122), 20節 潰瘍性大腸炎 (p.127-129), 21節 クロウン病 (p.130-132) |

| 大項目                | 中項目           | 小項目              | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |  |
|--------------------|---------------|------------------|---|--|
| 9 栄養の摂取・吸収・代謝機能の障害 | C 消化管の疾患      | b 消化管の腫瘍         | <p><b>病態生理学</b> 2章13節1項 原因と分類 (p.158), 3項 アセスメント (p.159-160), 16節1項 原因と分類 (p.172-173)</p> <p><b>栄養代謝機能障害</b> 1章2節1項 胃・十二指腸疾患 (p.31-37), 3節 排便機能障害と疾患 (p.52-64)</p> <p><b>疾病と治療</b> 4章2節 食道癌 (p.76-78), 6節 胃癌 (p.87-90), 22節 大腸ポリープ, 大腸ポリポシス (p.132-135), 23節 大腸癌 (p.135-138)</p> <p><b>周手術期看護</b> 9章 消化代謝器官に障害のある人の手術 (p.152-178) / 12章2節 舌癌 (p.207-211)</p> <p><b>小児の疾患と看護</b> 8章1節 胃・十二指腸潰瘍 (p.186-188)</p>       |  |
|                    |               | c イレウス           | <p><b>病態生理学</b> 2章16節1項 原因と分類 (p.172-173)</p> <p><b>栄養代謝機能障害</b> 1章2節2項 腸疾患 (p.37-40)</p> <p><b>疾病と治療</b> 4章19節 イレウス (p.122-127)</p> <p><b>周手術期看護</b> 5章3節 術後腸閉塞 (イレウス) (p.82-85)</p>   |  |
|                    |               | d 腹壁, 腹膜, 横隔膜の疾患 | <p><b>病態生理学</b> 2章7節1項 腹痛とは (p.132), 13節3項 アセスメント (p.159-160), 17節1項 腹水とは (p.176), 2項 病態生理 (p.176-177)</p> <p><b>栄養代謝機能障害</b> 3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.114-129)</p> <p><b>小児の疾患と看護</b> 8章2節 急性虫垂炎 (p.189-190)</p>  |  |
|                    | D 肝臓・胆嚢・膵臓の疾患 | a 肝臓・胆嚢・膵臓の炎症    | <p><b>病態生理学</b> 2章7節1項 腹痛とは (p.132)</p> <p><b>臨床栄養学</b> 5章1節5項 急性膵炎 (p.172-173), 6項 慢性膵炎 (p.174-176), 7項 急性肝炎 (p.176-177), 8項 慢性肝炎 (p.177-178), 10項 脂肪肝 (p.178-179), 12項 胆嚢炎 (p.181)</p> <p><b>栄養代謝機能障害</b> 1章2節3項 胆道疾患 (p.40-46), 4項 膵疾患 (p.46-50) / 2章1節1項 肝炎 (p.66-68)</p> <p><b>疾病と治療</b> 4章7節 ウイルス性肝炎 (p.91-95), 13節 胆嚢炎, 急性胆嚢炎 (p.107-109), 16節 膵炎 (p.115-117)</p> <p><b>小児の疾患と看護</b> 8章5節 肝炎 (p.195-197)</p> |  |
|                    |               | b 肝硬変            | <p><b>臨床栄養学</b> 5章1節9項 肝硬変 (p.178-179)</p> <p><b>栄養代謝機能障害</b> 2章1節2項 肝硬変 (p.68-70)</p> <p><b>疾病と治療</b> 4章11節 肝硬変 (p.102-104)</p> <p><b>セルフマネジメント</b> 10章1節 肝硬変とはどのような状態か (p.152-155)</p>  |  |
|                    |               | c 肝臓・胆嚢・膵臓の腫瘍    | <p><b>栄養代謝機能障害</b> 1章2節3項 胆道疾患 (p.40-46), 4項 膵疾患 (p.46-50) / 2章1節3項 肝癌 (p.70-73), 2節2項 インスリノーマ (p.84-85)</p> <p><b>疾病と治療</b> 4章12節 肝細胞癌 (p.104-107), 15節 胆嚢癌 (p.112-114), 17節 膵癌 (p.118-120)</p> <p><b>周手術期看護</b> 9章5節 肝臓癌 (p.171-177) / 14章1節 膵臓癌 (p.222-227)</p>  |  |
|                    |               | d 肝不全            | <p><b>栄養代謝機能障害</b> 2章1節4項 肝不全 (p.73-74)</p> <p><b>疾病と治療</b> 4章8節 劇症肝炎 (p.96-97)</p>   |  |
|                    |               | e 胆汁代謝・排泄の障害     | <p><b>臨床栄養学</b> 5章1節11項 胆石症 (p.180-181)</p>   |  |
|                    | 10 排泄機能の障害    | A 泌尿器の疾患         | a 腎炎・慢性腎臓病  | <p><b>臨床栄養学</b> 5章4節2項 慢性腎臓病 (CKD) (p.190-193)</p> <p><b>内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害</b> 3章1節2項 腎不全の分類と特徴 (p.69-73) / 7章1節1項 腎機能低下に伴う症状のアセスメントと看護 (p.128-131), 2節1項 要注意段階の人への生活指導 (p.139-143)</p> <p><b>疾病と治療</b> 6章1節 ネフローゼ症候群 (p.150-154), 2節 腎炎 (p.154-159)</p> <p><b>小児の疾患と看護</b> 7章6節 慢性腎障害 (p.178-180)</p> |
|                    |               |                  | b 尿路の炎症   | <p><b>疾病と治療</b> 6章9節 腎盂腎炎 (p.179-181)</p>  |
| c 腎・尿路の腫瘍          |               |                  | <p><b>内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害</b> 4章1節 尿路の機能障害と治療 (p.90-98)</p> <p><b>疾病と治療</b> 6章5節 膀胱癌 (p.169-171)</p> <p><b>周手術期看護</b> 10章1節 膀胱癌 (p.180-185), 2節 腎臓癌 (p.186-189)</p>   |  |

| 大項目               | 中項目            | 小項目        | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-------------------|----------------|------------|---|
| 10 排泄機能の障害        | A 泌尿器の疾患       | d 尿路の通過障害  | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 4章1節1項 尿路の機能障害とはどのような状態か (p.90)／8章2節1項 尿路の機能障害の治療と看護 (p.154-156), 2項 心身・日常生活への影響と看護 (p.156-159)   |
|                   |                | e 排尿障害     | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節11項 排尿障害 (p.184-188)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 4章 尿路の機能障害 (排尿障害・蓄尿障害) (p.90-98)／8章1節1項 問診・視診・触診 (p.150-151), 2節2項 心身・日常生活への影響と看護 (p.156-159), 3節3項 子宮体癌の術後排尿障害のある患者の清潔間欠自己導尿法の指導 (p.168-172)<br>疾病と治療 6章6節 前立腺肥大症 (BPH) (p.171-173)<br>基礎看護技術 14章4節2項 自然排尿を阻害する要因 (p.295-297)<br>リハビリテーション看護 5章4節 排泄 (p.103-112) |
|                   |                | f 腎不全      | 臨床栄養学 5章4節2項 慢性腎臓病 (CKD) (p.190-193)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 3章1節2項 腎不全の分類と特徴 (p.69-73)<br>疾病と治療 6章3節 腎不全 (p.159-165)<br>セルフマネジメント 8章1節1項 腎臓と腎不全 (p.116-117)   |
|                   | B 排便の障害        | a 便秘       | 病態生理学 2章14節1項 便秘とは (p.163), 4項 原因と分類 (p.164-166), 5項 アセスメント (p.166)<br>基礎看護技術 14章4節3項 自然排便を阻害する要因 (p.297)   |
|                   |                | b 下痢       | 基礎看護技術 14章4節3項 自然排便を阻害する要因 (p.297)<br>小児の疾患と看護 7章7節 溶血性尿毒症症候群 (p.180-182)   |
|                   | 11 内部環境調節機能の障害 | A 内分泌系の疾患  | a 下垂体の疾患  |
| b 甲状腺の疾患          |                |            | 造血機能障害／免疫機能障害 3章1節2項 自己免疫疾患に含まれる主な疾患・症状・検査・治療 (p.98-110)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章3節2項 甲状腺機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.44-48), 6節2項 視診と触診 (p.61)<br>疾病と治療 7章1節 バセドウ病 (p.186-189), 2節 橋本病 (p.190-191)<br>周手術期看護 14章2節 甲状腺癌 (p.228-232)<br>小児の疾患と看護 3章5節 甲状腺機能亢進症 (p.82-84)   |
| c 上皮小体 (副甲状腺) の疾患 |                |            | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章4節2項 副甲状腺機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.48-50)  |
| d 副腎の疾患           |                |            | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章5節2項 副腎機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.51-52)<br>疾病と治療 7章3節 アジソン病 (p.192-193), 4節 クッシング症候群 (p.194-197), 5節 アルドステロン症 (p.197-200)<br>小児の疾患と看護 3章1節 新生児 マスクリーニング (p.74-75), 7節 21水酸化酵素欠損症 (p.86-88)   |
| e 多発性内分泌腫瘍        |                |            | 解剖生理学 9章8節6項 その他 (p.247)  |
| B 体液の調節障害         |                | a 水と電解質の異常 | 病態生理学 1章1節2項 電解質の異常 (p.19-26)／2章12節3項 アセスメント (p.154-156)<br>臨床栄養学 1章2節2項 栄養素の分類 (p.12-43)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 1章2節2項 水と電解質の異常とはどのような状態か (p.23-26)  |
|                   |                | b 酸塩基平衡の異常 | 病態生理学 1章1節3項 酸塩基平衡の異常 (p.27-29)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 2章1節2項 酸塩基平衡の障害の分類 (p.64)／4章1節2項 酸塩基平衡の異常のアセスメント (p.87)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 1章2節3項 酸塩基平衡の異常とはどのような状態か (p.26-27)   |

| 大項目            | 中項目                 | 小項目                      | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|----------------|---------------------|--------------------------|---|
| 11 内部環境調節機能の障害 | C 自律神経系の機能障害        | a 自律神経失調に伴う身体変化〈不定愁訴〉    | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 11章4節4項 更年期障害および自律神経失調症患者への看護 (p.274-278)   |
| 12 運動機能の障害     | A 骨・関節・筋肉・神経筋接合部の疾患 | a 骨折・脱臼・捻挫               | 運動機能障害 1章2節2項 骨折(各論)(p.21-23), 4節1項 骨折の治療法 (p.26-28)／5章1節2項 スポーツ障害の疾患と治療 (p.70-72), 3節1項 事故による運動機能障害 (p.74)<br>疾病と治療 9章4節 骨折 (p.230-232), 5節 捻挫, 脱臼 (p.232-234)<br>周手術期看護 13章1節 大腿骨頸部／転子部骨折 (p.214-216) |
|                |                     | b 骨粗鬆症                   | 病態生理学 1章6節2項 細胞の傷害・適応の分類 (p.62-69)<br>臨床薬理学 9章5節 運動機能障害 (p.218-220)<br>運動機能障害 1章1節2項 骨の障害で起こる疾患 (p.20)<br>疾病と治療 9章1節 骨粗鬆症 (p.222-224), 2節 大腿骨近位部骨折 (p.224-227), 3節 腰椎圧迫骨折(脊椎圧迫骨折) (p.227-230)           |
|                |                     | c 骨の腫瘍                   | 運動機能障害 1章4節3項 骨腫瘍の治療法 (p.28-29)   |
|                |                     | d 変形性関節症                 | 病態生理学 2章39節1項 関節痛をきたす疾患 (p.282)<br>運動機能障害 3章2節 関節の運動機能障害を起こす代表的疾患 (p.47-51)   |
|                |                     | e 腰痛症(椎間板ヘルニア, 腰部脊柱管狭窄症) | 病態生理学 2章38節1項 腰痛とは (p.279)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章6節 脊椎・脊髄疾患 (p.67-69)<br>運動機能障害 2章2節2項 脊椎変性疾患 (p.35-38)<br>疾病と治療 9章8節 腰部脊柱管狭窄症 (p.241-243)<br>周手術期看護 13章2節 腰椎椎間板ヘルニア (p.217-219)                         |
|                |                     | f 筋ジストロフィー               | 運動機能障害 4章2節1項 筋疾患 (p.64)  |
|                |                     | g 重症筋無力症                 | 造血機能障害／免疫機能障害 3章1節2項 自己免疫疾患に含まれる主な疾患・症状・検査・治療 (p.98-110)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 2章8節 免疫性神経疾患 (p.74-79)<br>運動機能障害 4章2節2項 神経筋接合部の疾患 (p.64)<br>疾病と治療 10章7節 重症筋無力症 (MG) (p.277-279)                             |
|                | B 活動や行動の制限による疾患     | a 廃用症候群                  | 疾病と治療 9章11節 廃用症候群 (p.248-249)   |
| 13 生殖機能の障害     | A 性・生殖器の疾患          | a 女性生殖器の疾患               | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章2節2項 女性生殖器の障害を引き起こす主な疾患 (p.200-210)<br>疾病と治療 8章1節 子宮腫瘍 (p.202-206), 2節 子宮内膜症 (p.207-210), 3節 卵巣腫瘍 (p.210-215)<br>周手術期看護 15章2節 子宮体癌 (p.238-241)                                   |
|                |                     | b 乳腺の疾患                  | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章6節1項 乳腺の疾患は性・生殖機能にどのように影響するか (p.222)<br>疾病と治療 8章4節 乳癌 (p.216-219)<br>周手術期看護 15章3節 乳癌 (p.243-246)   |
|                |                     | c 男性生殖器の疾患(前立腺腫瘍, 精巣腫瘍)  | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 8章3節4項 前立腺肥大症のために経尿道的前立腺摘出術を受けた患者の看護 (p.172-176)／10章3節2項 男性生殖器の障害を引き起こす主な疾患 (p.212-213)／11章2節2項 治療と看護 (p.248-256)<br>疾病と治療 6章7節 前立腺癌 (p.174-176)<br>周手術期看護 15章1節 前立腺癌 (p.234-237)   |
|                |                     | d 性機能障害                  | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章性・生殖機能の障害 (p.186-233)<br>リハビリテーション看護 5章9節1項 性のメカニズム (p.147-149)  |



# 健康支援と社会保障制度

## 目標 I. 人間の社会的側面について基本的な理解を問う。

| 大項目    | 中項目         | 小項目                    | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|--------|-------------|------------------------|---|
| 1 生活基盤 | A 生活単位      | a 人口動向 (少子高齢化, 総人口の減少) | 健康と社会・生活 1章6節4項 高齢化 (p.23-24) / 3章2節2項 少子高齢化社会とライフコース (p.60-61)<br>公衆衛生 2章5節1項 公衆衛生の構造改革 (p.35-36) / 7章1節2項 日本の高齢化の動向 (p.122)<br>社会福祉と社会保障 4章1節4項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.86-91)<br>地域療養を支えるケア 1章1節2項 在宅看護の社会背景 (p.13-19)<br>医療安全 6章1節2項 在宅看護をとりまく現状 (p.166-168) |
|        |             | b 家族 (世帯)              | 健康と社会・生活 3章1節1項 いま, 家族に生じていること (p.56-57), 2項 近代家族の成立と終焉 (p.57-58), 3項 家族の個人化と多様化 (p.58-59)  |
|        |             | c ライフサイクル              | 健康と社会・生活 3章2節2項 少子高齢化社会とライフコース (p.60-61), 3節1項 ライフステージの設定 (p.64) / 4章2節1項 社会的に良好な状態 (p.79)<br>公衆衛生 5章4節3項 ライフサイクル・対象に基づく健康教育の具体例 (p.89)<br>社会福祉と社会保障 4章 ライフサイクルと社会福祉 (p.80-133)<br>成人看護学概論 1章3節2項 成長発達と成人の区分 (p.16-17)  |
|        | B 家庭生活の基本機能 | a 生産・労働                | 健康と社会・生活 2章1節2項 日常生活を構成するもの (p.31-34)   |
|        |             | b 教育・養育                | 健康と社会・生活 1章3節 人間は社会の中で人間になる (p.15-16), 5節1項 伝統社会 (p.19), 2項 近代社会 (p.19-20) / 3章3節2項 ライフステージと家族の課題 (p.64-67)   |
|        |             | c 保健・福祉                | 健康と社会・生活 7章3節2項 自治体としての地域社会 (p.116-117)<br>社会福祉と社会保障 1章 現代社会と社会福祉・社会保障 (p.12-19)  |
|        |             | d 生殖                   | 健康と社会・生活 3章1節1項 いま, 家族に生じていること (p.56-57), 3節2項 ライフステージと家族の課題 (p.64-67) / 10章3節1項 アセスメント (対象理解) の理論 (p.167-170)  |
|        |             | e 慰安・交流                | 健康と社会・生活 10章7節2項 地域での健康づくり (p.183-187)  |
|        | C 生活の場と健康   | a 都市と農・漁村 (人口集中と過疎化)   | 健康と社会・生活 1章6節3項 都市化 (p.22-23)   |
|        |             | b 住居                   | 公衆衛生 16章7節 居住環境 (p.277-281)<br>社会福祉と社会保障 8章1節3項 住まい (p.214-216)<br>成人看護学概論 4章3節 成人の生活のアセスメントガイド (p.90-91)<br>健康と社会・生活 2章1節2項 日常生活を構成するもの (p.31-34)  |
|        | D 労働と健康     | a 就業構造                 | 健康と社会・生活 7章6節1項 コミュニティ形成の課題化 (p.122)<br>健康と社会・生活 1章6節1項 脱工業化 (p.20-21)  |

| 大項目       | 中項目          | 小項目          | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|-----------|--------------|--------------|--|
| 1 生活基盤    | D 労働と健康      | b 労働時間       | 健康と社会・生活 3章4節3項 介護機能 (p.70-73)<br>公衆衛生 15章3節5項 心理社会的要因による健康障害 (p.250-251)  |
|           |              | c 仕事と余暇      | 健康と社会・生活 2章3節1項 生活構造のとらえ方 (p.34-36), 8節5項 QOLの展開の基礎となる五つのアプローチ (p.50-52)<br>成人看護学概論 4章2節2項 生活の場 (p.77-84) / 11章 余暇活動に伴う健康障害 (p.182-190)  |
|           |              | d 所得         | 健康と社会・生活 2章3節1項 生活構造のとらえ方 (p.34-36), 6節3項 生活の水準・関係・空間・時間・様式 (p.40-41), 7節2項 ライフチャンスとライフチョイス (p.43-44)  |
| 2 ライフスタイル | A 家族の機能と役割   | a 夫婦の役割機能の変化 | 健康と社会・生活 3章1節1項 いま, 家族に生じていること (p.56-57), 2項 近代家族の成立と終焉 (p.57-58), 3項 家族の個人化と多様化 (p.58-59), 2節1項 ライフサイクルとライフコース (p.59-60), 2項 少子高齢化社会とライフコース (p.60-61), 3項 女性のライフコースの変化 (p.61-63), 4節1項 ケア機能とジェンダー (p.68), 2項 育児機能 (p.69-70) |
|           |              | b 家族内介護者の変化  | 健康と社会・生活 3章4節3項 介護機能 (p.70-73)   |
|           |              | c 育児と介護の社会化  | 健康と社会・生活 3章4節4項 ケアの社会化 (p.73-74)   |
|           |              | d 家事機能の変化    | 健康と社会・生活 3章4節1項 ケア機能とジェンダー (p.68), 2項 育児機能 (p.69-70)<br>成人看護学概論 4章2節2項 生活の場 (p.77-84)  |
|           | B ライフスタイルの変化 | a 雇用労働者化の進行  | 健康と社会・生活 2章7節1項 ライフスタイルと社会経済 (p.41-43)   |
|           |              | b 女性労働の変化    | 健康と社会・生活 3章2節3項 女性のライフコースの変化 (p.61-63), 4節1項 ケア機能とジェンダー (p.68), 2項 育児機能 (p.69-70), 3項 介護機能 (p.70-73)   |
|           |              | c 少子化        | 健康と社会・生活 1章6節4項 高齢化 (p.23-24) / 3章4節2項 育児機能 (p.69-70)<br>社会福祉と社会保障 2章2節6項 少子高齢社会に対応した制度構築 (p.38-39) / 4章1節4項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.86-91)   |
|           |              | d 健康寿命の延長    | 健康と社会・生活 2章8節1項 Lifeとは生命・生活・人生 (p.47)  |
|           |              | e 余暇時間       | 健康と社会・生活 2章3節1項 生活構造のとらえ方 (p.34-36) / 4章4節 安全・安寧が保障される社会 (p.81-82)   |
|           |              | f 生涯学習       | 健康と社会・生活 1章3節 人間は社会の中で人間になる (p.15-16)  |
|           |              | g 地域活動への参加   | 健康と社会・生活 7章3節1項 地域性の再生産 (p.115-116), 6節5項 まちづくり運動論への展開 (p.124-126) / 10章6節1項 ファシリテーション (p.182)   |
|           |              | h 家族観の多様化    | 健康と社会・生活 3章1節1項 いま, 家族に生じていること (p.56-57)   |
|           | C 生活習慣の確立    | a 生活習慣病の概念   | 病態生理学 2章8節1項 原因と分類 (p.136)<br>健康と社会・生活 2章7節3項 ライフスタイルが重視されてきた背景 (p.45-47) / 4章1節 健康とは: WHOの健康の定義 (p.78)<br>公衆衛生 8章2節1項 生活習慣病 (p.128-129)   |
|           |              | b 発達課題別生活習慣  | 健康と社会・生活 3章3節2項 ライフステージと家族の課題 (p.64-67)<br>成人看護学概論 2章 成長発達の特徴 (p.20-43)  |
|           |              | c セルフケアの確立   | 健康と社会・生活 2章8節5項 QOLの展開の基礎となる五つのアプローチ (p.50-52) / 10章3節1項 アセスメント (対象理解)の理論 (p.167-170)<br>臨床看護総論 3章2節4項 慢性期 (p.113-114)   |

| 大項目           | 中項目          | 小項目                  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|---------------|--------------|----------------------|--|
| 2 ライフスタイル     | C 生活習慣の確立    | c セルフケアの確立           | 成人看護学概論 14章 セルフケア (p.216-224)  |
| 3 人間の集団としての働き | A 集団の形成・発達   | a 集団の凝集性             | 健康と社会・生活 5章1節1項 人間と集団 (p.86), 2項 集団の定義と分類 (p.86), 3項 集団の形成過程 (p.86-87), 4項 小集団 (p.87) / 10章5節 集団の中での人の行動特性 (p.180-182)   |
|               |              | b 集団の意思決定            | 健康と社会・生活 5章4節3項 組織の目的と専門職の志向性 (p.94-96), 4項 問題発見・問題形成能力の開発 (p.96)<br>医療安全 3章1節2項 人間特性 (p.67-72)  |
|               |              | c グループダイナミクス         | 基礎看護技術 2章1節4項 看護における指導技術 (p.45-47)   |
|               | B 地域における人間関係 | a 親族, 近隣, 交際のネットワーク  | 健康と社会・生活 7章4節1項 パーソナルネットワーク (p.117-118)  |
|               |              | b 地域のソーシャルサポートネットワーク | 健康と社会・生活 7章4節2項 サポートネットワーク (p.118-119), 3項 ソーシャルキャピタル (p.119)<br>看護学概論 2章4節4項 ストレスを軽減させる看護活動 (p.72-77)   |
|               |              | c 学校における人間関係         | 健康と社会・生活 1章3節 人間は社会の中で人間になる (p.15-16)<br>小児の発達と看護 2章4節5項 学童期の子どものセルフケアの発達と看護 (p.144-146)   |
|               | C 職場における人間関係 | a 組織の中での役割           | 健康と社会・生活 5章4節3項 組織の目的と専門職の志向性 (p.94-96) / 10章7節1項 集団の発展過程とは (p.183)  |
|               |              | b 上司との関係             | 健康と社会・生活 1章4節1項 個人間の社会関係 (p.17) / 5章2節4項 官僚組織の課題 (p.89) / 6章2節5項 力の差による抑圧や構造的暴力 (p.102-103), 4節1項 職場でのコンフリクト (p.105)<br>医療安全 3章1節2項 人間特性 (p.67-72)                   |
|               |              | c 同僚との関係             | 健康と社会・生活 6章3節1項 対立の裏にある当事者のニーズを聞こう (p.103-105)<br>社会福祉と社会保障 3章2節2項 社会資源の活用方法を理解する (p.68-76)<br>医療安全 7章6節1項 物理的暴力, 精神的暴力 (p.198-199) / 9章2節4項 現場での対応に困ったら (p.226-228) |

## 目標Ⅱ. 社会保障の理念と制度及び法律に基づく社会福祉の方法と課題について基本的な理解を問う。

| 大項目       | 中項目                | 小項目                  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-----------|--------------------|----------------------|---|
| 4 社会保障の理念 | A 日本の保健医療福祉活動の基本方向 | a 概念, 目的, 機能, 体系, 内容 | 健康と社会・生活 序章1項 健康・社会を念頭に置いたしくみの再構築 (p.11-12)<br>社会福祉と社会保障 2章1節 社会福祉・社会保障とは何か (p.22-33)<br>リハビリテーション看護 3章3節 障害者を支える法律 (p.50-51)   |
|           |                    | b 人権, 日本国憲法第25条      | 健康と社会・生活 2章6節2項 生活の諸相とその理論化の試み (p.39-40)<br>社会福祉と社会保障 2章1節5項 社会保障の法体系 (p.25-27)<br>医療関係法規 2章1節 日本国憲法 (p.16-17)<br>看護学概論 9章1節4項 法の形からの分類 (p.183-186) / 10章1節1項 保健の概念 (p.209) |
|           |                    | c 倫理                 | 健康と社会・生活 2章6節3項 生活の水準・関係・空間・時間・様式 (p.40-41), 8節9項 QOLと専門家の倫理的な責任 (p.53)<br>社会福祉と社会保障 2章1節 社会福祉・社会保障とは何か (p.22-33)<br>災害看護 10章1節1項 倫理と価値 (p.236)                             |

| 大項目       | 中項目                | 小項目                     | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-----------|--------------------|-------------------------|---|
| 4 社会保障の理念 | A 日本の保健医療福祉活動の基本方向 | d ノーマライゼーション            | 健康と社会・生活 7章5節2項 個別課題に取り組みボランティアグループの活動 (p.120-121)<br>社会福祉と社会保障 2章1節3項 社会保障を支えるもの (p.24) / 4章2節 障害児・者と福祉 (p.98-110)<br>リハビリテーション看護 2章8節1項 ノーマライゼーション (p.39)   |
|           |                    | e 情報公開, 地方分権, 参加        | 健康と社会・生活 7章3節2項 自治体としての地域社会 (p.116-117)   |
|           |                    | f 社会保障給付費               | 社会福祉と社会保障 2章1節9項 社会保障の規模 (p.31-32), 10項 社会保障給付費の特徴 (p.32-33)  |
|           |                    | g 社会保障制度改革              | 健康と社会・生活 序章1項 健康・社会を念頭に置いたしくみの再構築 (p.11-12)<br>社会福祉と社会保障 2章1節10項 社会保障給付費の特徴 (p.32-33) / 4章3節2項 これまでの難病対策の取り組み (p.111-113) / 7章1節6項 公的年金制度の課題 (p.169-170), 2節5項 医療保険制度の課題 (p.185-187)<br>看護学概論 10章1節 保健, 医療, 福祉の概念 (p.207-229)   |
| 5 社会保険制度  | A 社会保険の変遷          | a 歴史, 意義                | 社会福祉と社会保障 2章2節 社会福祉・社会保障の歴史 (p.33-43)   |
|           |                    | b 国民皆保険・皆年金             | 社会福祉と社会保障 2章2節4項 国民皆保険・皆年金と社会保障制度の発展 (p.36-37) / 7章1節2項 公的年金制度の沿革 (p.164-166)   |
|           | B 医療保険制度           | a 健康保険, 国民健康保険と高齢者の医療制度 | 公衆衛生 8章3節2項 生活習慣病対策 (p.136-138)<br>社会福祉と社会保障 2章1節7項 ライフサイクルからみた社会保障 (p.28-30), 2節5項 社会保障制度の見直し期 (p.37-38) / 7章2節2項 医療保険制度の沿革 (p.172-173), 3項 医療保険制度のしくみ (p.173-183), 4項 高齢者医療制度 (p.183-185)<br>医療関係法規 14章1節 健康保険法 (p.270-274), 2節 国民健康保険法 (p.274-276), 3節 高齢者の医療の確保に関する法律 (p.276-279)<br>地域療養を支えるケア 5章2節1項 医療保険制度 (p.144)   |
|           |                    | b 保険給付と利用者負担            | 社会福祉と社会保障 2章1節6項 社会保険と社会福祉 (p.28), 2節10項 社会保障の国際比較 (p.42-43) / 7章2節3項 医療保険制度のしくみ (p.173-183)<br>医療関係法規 14章1節 健康保険法 (p.270-274), 2節 国民健康保険法 (p.274-276), 3節 高齢者の医療の確保に関する法律 (p.276-279), 6節 国家公務員共済組合法 (p.283-286), 7節 地方公務員等共済組合法 (p.286-289), 8節 船員保険法 (p.289-291)<br>健康危機状況 / セルフケアの再獲得 5章4節1項 医療保険制度 (p.245)<br>地域療養を支えるケア 5章2節2項 医療給付 (p.144-145), 3項 健康保険法で定められている金銭給付 (p.145-146) |
|           |                    | c 医療保険の財政               | 公衆衛生 2章6節1項 医療制度の国際比較 (p.38-40)<br>看護学概論 10章4節 保健・医療・福祉におけるケア提供の経済 (p.222-224)  |
|           |                    | d 保険診療の仕組み              | 社会福祉と社会保障 7章2節 医療保険制度 (p.171-187)<br>看護学概論 10章5節 看護サービスに対する評価 (p.224-229)   |
|           |                    | e 公費負担医療                | 社会福祉と社会保障 4章2節5項 自立支援医療 (p.103-105)<br>地域療養を支えるケア 5章5節2項 難病療養者に対する制度 (p.175-178)  |
|           |                    | f 国民医療費                 | 社会福祉と社会保障 7章2節5項 医療保険制度の課題 (p.185-187)  |
|           |                    | g 診療報酬制度                | 社会福祉と社会保障 7章2節1項 医療保険制度と医療提供体制 (p.171-172), 3項 医療保険制度のしくみ (p.173-183)<br>看護学概論 10章5節1項 看護サービスの評価の方法 (p.224), 2項 診療報酬による評価 (p.224-228)   |

| 大項目      | 中項目          | 小項目          | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|----------|--------------|--------------|---|
| 5 社会保険制度 | B 医療保険制度     | g 診療報酬制度     | 医療安全 2章1節3項 診療報酬における医療安全対策の評価 (p.37-38)   |
|          |              | C 介護保険制度     | a 制度の基本理念   |
|          | b 保険者・被保険者   |              | 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 5章4節2項 介護保険制度 (p.245-248)<br>高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86)<br>地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-162)   |
|          | c 要介護・要支援の認定 |              | 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)<br>臨床看護総論 2章3節5項 サービスを受けながらの在宅生活 (p.94-98)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 5章4節2項 介護保険制度 (p.245-248)<br>高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86)<br>地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-162)  |
|          | d 保険給付と利用者負担 |              | 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 5章4節2項 介護保険制度 (p.245-248)<br>高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86)<br>地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-162)   |
|          | e ケアマネジメント   |              | 健康と社会・生活 7章4節2項 サポートネットワーク (p.118-119)<br>公衆衛生 7章2節1項 高齢者の保健医療に関わる法律とその内容 (p.123-124)<br>社会福祉と社会保障 3章1節5項 実践方法の中の諸技術 (p.62-65)/4章4節5項 地域における高齢者保健福祉の課題 (p.127-130)/7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.188-198)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 5章4節2項 介護保険制度 (p.245-248)<br>地域療養を支えるケア 4章1節2項 ケアマネジメントの展開 (p.101-114) |
|          | f 介護保険の財政    |              | 看護学概論 10章4節 保健・医療・福祉におけるケア提供の経済 (p.222-224)<br>高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86)<br>地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-162)  |
|          | g 介護保険事業計画   |              | 社会福祉と社会保障 4章4節3項 高齢者保健福祉施策の経緯 (p.122-125)<br>高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86)  |
|          | D 年金制度       | a 制度の体系      | 社会福祉と社会保障 7章1節1項 公的年金制度の意義としくみ (p.164), 3項 公的年金制度の概要 (p.166-167)<br>高齢者の健康と障害 2章3節5項 公的年金制度 (p.86-88)   |
|          |              | b 給付と費用負担    | 社会福祉と社会保障 2章1節7項 ライフサイクルからみた社会保障 (p.28-30)/7章1節 年金制度 (p.164-170)<br>医療関係法規 14章4節 国民年金法 (p.279-281), 5節 厚生年金保険法 (p.282-283)  |
|          | E その他の社会保険制度 | a 雇用保険法      | 社会福祉と社会保障 7章4節 雇用保険 (p.200-208)<br>医療関係法規 14章10節 雇用保険法 (p.293-294)  |
|          |              | b 労働者災害補償保険法 | 公衆衛生 15章2節2項 労働災害や公務災害 (p.240)<br>医療関係法規 14章9節 労働者災害補償保険法 (p.291-293)   |

| 大項目                | 中項目               | 小項目  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|--------------------|-------------------|--|---|
| 6 社会福祉に関する法律の理念と施策 | A 社会福祉の理念と変遷      | a 措置制度から選択, 利用制度へ                          | 社会福祉と社会保障 1章3項 社会福祉サービスの拡がり, 地域自立生活支援と社会福祉基礎構造改革 (p.15-19) / 2章2節7項 介護保険と社会福祉基礎構造改革 (p.39-40) / 4章2節4項 相談支援 (p.102-103)   |
|                    |                   | b 利用者保護の制度                                 | 社会福祉と社会保障 2章2節7項 介護保険と社会福祉基礎構造改革 (p.39-40) / 6章1節3項 地域福祉の基本理念 (p.154-157)   |
|                    | B 生活保護法と施策        | a 生活保護の基本原則と実施の原則                          | 医療関係法規 13章1節 生活保護法 (p.262-267)  |
|                    |                   | b 実施機関                                     | 医療関係法規 13章1節 生活保護法 (p.262-267)  |
|                    |                   | c 扶助の種類と内容                                 | 社会福祉と社会保障 5章2節1項 生活保護の種類・範囲・方法 (p.136-140)<br>医療関係法規 13章1節 生活保護法 (p.262-267)  |
|                    | C 障害者(児)にかかわる法と施策 | a 障害者基本法                                   | 社会福祉と社会保障 4章2節2項 障害者総合支援法の概要 (p.98-101)<br>医療関係法規 11章1節 障害者基本法 (p.202-204)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 資料: 障害者基本法 (p.320-323)<br>リハビリテーション看護 3章1節2項 障害者の定義 (p.44-45)  |
|                    |                   | b 障害者総合支援法(旧障害者自立支援法)                      | 社会福祉と社会保障 4章2節 障害児・者と福祉 (p.98-110)<br>医療関係法規 11章2節 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (p.205-214)<br>リハビリテーション看護 3章4節2項 障害者自立支援法から障害者総合支援法へ (p.52-55)<br>情緒発達と看護の基本 9章1節8項 「障害者自立支援法」から「障害者総合支援法」へ (p.150-152)<br>精神障害と看護の実践 6章1節 精神科リハビリテーションの考え方 (p.124-134), 2節2項 障害者総合支援法に伴うサービス (p.136-138)<br>地域療養を支えるケア 5章4節1項 障害者に対する施策の歴史 (p.163-164), 4項 障害者総合支援法 (p.167-172) |
|                    |                   | c 身体障害者福祉法                                 | 社会福祉と社会保障 4章2節5項 自立支援医療 (p.103-105)<br>医療関係法規 11章3節 身体障害者福祉法 (p.214-218)  |
|                    |                   | d 知的障害者福祉法                                 | 医療関係法規 11章4節 知的障害者福祉法 (p.218-219)   |
|                    |                   | e 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律                      | 社会福祉と社会保障 4章2節5項 自立支援医療 (p.103-105)<br>医療関係法規 11章5節 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (p.219-231)<br>情緒発達と看護の基本 9章2節1項 法律改正の背景 (p.152)  |
|                    |                   | f 発達障害者支援法                                 | 医療関係法規 11章7節 発達障害者支援法 (p.236-238)   |
|                    |                   | g 障害者虐待の防止, 障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法) | 医療関係法規 11章8節 障害者虐待の防止, 障害者の養護者に対する支援等に関する法律 (p.238-242)   |
|                    |                   | D 児童にかかわる法と施策                              | a 児童福祉法   |
|                    | b 児童虐待の防止等に関する法律  |  | 公衆衛生 6章5節2項 児童虐待の防止対策 (p.112)<br>社会福祉と社会保障 4章1節5項 児童虐待に関する施策 (p.91-95)<br>医療関係法規 9章4節 児童虐待の防止に関する法律 (p.159-162)<br>小児の発達と看護 1章4節3項 小児に関する法律 (p.53-57)   |

| 大項目                | 中項目                 | 小項目  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|--------------------|---------------------|--|--|
| 6 社会福祉に関する法律の理念と施策 | D 児童にかかわる法と施策       | c 母子及び寡婦福祉法  | <b>医療関係法規</b> 8章3節 母子及び父子並びに寡婦福祉法 (p.131-132)  |
|                    |                     | E 高齢者にかかわる法と施策   | a 老人福祉法<br><b>社会福祉と社会保障</b> 4章4節2項 高齢者保健福祉施策の目的と理念 (p.120-122), 3項 高齢者保健福祉施策の経緯 (p.122-125), 4項 現在の老人福祉法による高齢者支援 (p.125-127)<br><b>医療関係法規</b> 10章1節 老人福祉法 (p.168-172)<br><b>高齢者の健康と障害</b> 3章4節1項 在宅看護に関する法的整備 (p.130-131)  |
|                    | F その他の施策            | a 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律 (DV法)  | <b>医療関係法規</b> 8章4節 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (p.132-136)<br><b>成人看護学概論</b> 10章3節2項 二次介入：問題の明確化・発見 (p.175-178)   |
|                    |                     | b 少子化対策  | <b>医療関係法規</b> 9章6節 少子化社会対策基本法 (p.163-164)  |
|                    | A 保健福祉計画            | a 子ども・子育て支援プラン   | <b>社会福祉と社会保障</b> 4章1節4項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.86-91)  |
|                    |                     | b 障害者基本計画と障害者プラン   | <b>公衆衛生</b> 10章1節2項 精神保健福祉の歴史 (p.161-167)<br><b>社会福祉と社会保障</b> 2章2節1項 社会保障の歴史を学ぶ (p.33-34), 6項 少子高齢化社会に対応した制度構築 (p.38-39)<br><b>地域療養を支えるケア</b> 5章4節1項 障害者に対する施策の歴史 (p.163-164)  |
| B 社会福祉の民間活動        | a 民生委員、児童委員         | <b>公衆衛生</b> 2章5節 民間や住民組織の役割 (p.35-38)<br><b>健康と社会・生活</b> 7章4節2項 サポートネットワーク (p.118-119), 5節1項 地域包括的集団の活動 (p.119-120)<br><b>社会福祉と社会保障</b> 4章1節3項 子ども・家庭福祉の実施体制 (p.84-86)<br><b>医療関係法規</b> 9章1節 児童福祉法 (p.142-155) / 13章2節 民生委員法 (p.267)<br><b>災害看護</b> 3章2節2項 地域社会における連携の実際 (p.75-77)                                       |  |
|                    | b 社会福祉協議会           | <b>健康と社会・生活</b> 7章4節2項 サポートネットワーク (p.118-119), 5節1項 地域包括的集団の活動 (p.119-120)<br><b>社会福祉と社会保障</b> 2章3節1項 社会福祉サービスの体系と提供組織 (p.43-45)<br><b>医療関係法規</b> 10章4節 社会福祉法 (p.192-195)<br><b>災害看護</b> 1章3節3項 災害時要援護者への対応のあり方 (p.35-38)  |  |
|                    | c ボランティア活動          | <b>健康と社会・生活</b> 5章3節2項 ボランティアグループ (p.90), 3項 セルフヘルプグループ (p.90-91), 4項 NPOとNGO (p.91)<br><b>健康危機状況／セルフケアの再獲得</b> 5章3節3項 ボランティア活動の活用 (p.243-244)<br><b>災害看護</b> 1章2節5項 亜急性期：～1カ月一避難所の衛生環境を整え不安と混乱の軽減を目指す (p.31-33) / 3章1節1項 連携協働の必要性 (p.72), 2項 連携協働の形態 (p.72), 3項 ネットワークとパートナーシップ (p.72-73), 2節2項 地域社会における連携の実際 (p.75-77) |  |
|                    | d 特定非営利活動促進法 (NPO法) | <b>健康と社会・生活</b> 5章3節4項 NPOとNGO (p.91) / 8章3節2項 グローバリゼーションと市民社会 (p.134-136)<br><b>社会福祉と社会保障</b> 2章3節2項 社会福祉の担い手が活躍している領域 (p.45-46)<br><b>災害看護</b> 9章1節5項 国際的に活動している代表的な組織とそのシステム (p.222-224)  |  |
|                    |                     |  |  |
| 7 社会福祉行政           | A 保健福祉計画            | a 子ども・子育て支援プラン   | <b>社会福祉と社会保障</b> 4章1節4項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.86-91)  |
|                    |                     | b 障害者基本計画と障害者プラン   | <b>公衆衛生</b> 10章1節2項 精神保健福祉の歴史 (p.161-167)<br><b>社会福祉と社会保障</b> 2章2節1項 社会保障の歴史を学ぶ (p.33-34), 6項 少子高齢化社会に対応した制度構築 (p.38-39)<br><b>地域療養を支えるケア</b> 5章4節1項 障害者に対する施策の歴史 (p.163-164)  |
|                    | B 社会福祉の民間活動         | a 民生委員、児童委員  | <b>公衆衛生</b> 2章5節 民間や住民組織の役割 (p.35-38)<br><b>健康と社会・生活</b> 7章4節2項 サポートネットワーク (p.118-119), 5節1項 地域包括的集団の活動 (p.119-120)<br><b>社会福祉と社会保障</b> 4章1節3項 子ども・家庭福祉の実施体制 (p.84-86)<br><b>医療関係法規</b> 9章1節 児童福祉法 (p.142-155) / 13章2節 民生委員法 (p.267)<br><b>災害看護</b> 3章2節2項 地域社会における連携の実際 (p.75-77)                                       |
|                    |                     | b 社会福祉協議会  | <b>健康と社会・生活</b> 7章4節2項 サポートネットワーク (p.118-119), 5節1項 地域包括的集団の活動 (p.119-120)<br><b>社会福祉と社会保障</b> 2章3節1項 社会福祉サービスの体系と提供組織 (p.43-45)<br><b>医療関係法規</b> 10章4節 社会福祉法 (p.192-195)<br><b>災害看護</b> 1章3節3項 災害時要援護者への対応のあり方 (p.35-38)  |
|                    |                     | c ボランティア活動   | <b>健康と社会・生活</b> 5章3節2項 ボランティアグループ (p.90), 3項 セルフヘルプグループ (p.90-91), 4項 NPOとNGO (p.91)<br><b>健康危機状況／セルフケアの再獲得</b> 5章3節3項 ボランティア活動の活用 (p.243-244)<br><b>災害看護</b> 1章2節5項 亜急性期：～1カ月一避難所の衛生環境を整え不安と混乱の軽減を目指す (p.31-33) / 3章1節1項 連携協働の必要性 (p.72), 2項 連携協働の形態 (p.72), 3項 ネットワークとパートナーシップ (p.72-73), 2節2項 地域社会における連携の実際 (p.75-77) |
|                    |                     | d 特定非営利活動促進法 (NPO法)  | <b>健康と社会・生活</b> 5章3節4項 NPOとNGO (p.91) / 8章3節2項 グローバリゼーションと市民社会 (p.134-136)<br><b>社会福祉と社会保障</b> 2章3節2項 社会福祉の担い手が活躍している領域 (p.45-46)<br><b>災害看護</b> 9章1節5項 国際的に活動している代表的な組織とそのシステム (p.222-224)  |

| 大項目      | 中項目           | 小項目  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|----------|---------------|--|---|
| 7 社会福祉行政 | C 福祉の行政機関と施設  |  | 公衆衛生 2章1節 日本の公衆衛生システムの特徴および国と地方自治体の役割 (p.22-25)   |
|          |               | a 福祉事務所  | 社会福祉と社会保障 4章1節3項 子ども・家庭福祉の実施体制 (p.84-86)<br>医療関係法規 10章4節 社会福祉法 (p.192-195)<br>看護学概論 10章2節3項 福祉サービスの場 (p.215-216)    |
|          |               | b 児童相談所  | 社会福祉と社会保障 4章1節3項 子ども・家庭福祉の実施体制 (p.84-86)<br>医療関係法規 9章1節 児童福祉法 (p.142-155)   |
|          |               | c 社会福祉施設   | 社会福祉と社会保障 2章3節4項 社会福祉と保健の連動の場と重要性 (p.51-56) / 4章1節5項 児童虐待に関する施策 (p.91-95)   |
|          | d 在宅サービス機関    | 地域療養を支えるケア 3章2節 在宅ケアを支える訪問看護ステーション (p.74-79)<br>医療安全 6章1節1項 在宅看護とは (p.166) |   |
|          | D 老人保健福祉行政の展開 | a 老人福祉計画   | 公衆衛生 1章3節2項 日本の公衆衛生の歴史 (p.17-18)<br>高齢者の健康と障害 5章1節1項 高齢者の健康増進を支える法律・制度・組織 (p.228)                                   |
|          |               | b 高齢者の生きがい対策   | 高齢者の健康と障害 5章1節3項 高齢者を対象とする健康増進プログラムの要点 (p.232-234)  |
|          |               | c 介護予防   | 社会福祉と社会保障 4章4節5項 地域における高齢者保健福祉の課題 (p.127-130)<br>高齢者の健康と障害 5章1節1項 高齢者の健康増進を支える法律・制度・組織 (p.228), 2項 介護予防 (p.228-232) |

### 目標Ⅲ. 公衆衛生及び保健活動の進め方について基本的な理解を問う。

| 大項目       | 中項目       | 小項目             | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-----------|-----------|-----------------|---|
| 8 健康と公衆衛生 | A 公衆衛生の概念 | a 公衆衛生の領域、活動の特徴 | 公衆衛生 1章2節 公衆衛生とは何か (p.15-16)<br>地域療養を支えるケア 1章2節3項 集団を対象とする公衆衛生看護 (p.21-22)  |
|           |           | b プライマリヘルスケア    | 健康と社会・生活 10章4節3項 ヘルスプロモーションの位置付け (p.177-179)<br>地域療養を支えるケア 1章3節7項 ヘルスプロモーション (p.28-29)  |
|           |           | c ヘルスプロモーション    | 健康と社会・生活 10章2節1項 社会的学習理論 (p.163-164), 3節2項 働きかけ(援助)の理論 (p.171-176), 4節3項 ヘルスプロモーションの位置付け (p.177-179)<br>公衆衛生 3章1節 ヘルスプロモーションの考え方で、住民・患者支援の方法が変わる (p.46-48)<br>看護学概論 3章2節4項 健康の増進と病気の予防 (p.88-90)<br>臨床看護総論 3章2節1項 健康期 (p.109)<br>成人看護学概論 19章 ヘルスプロモーション (p.270-275)<br>地域療養を支えるケア 1章3節7項 ヘルスプロモーション (p.28-29) |
|           |           | d 健康の概念         | 健康と社会・生活 4章1節 健康とは: WHOの健康の定義 (p.78), 2節 社会的健康とは (p.78-79) / 10章4節1項 健康の定義は人それぞれである (p.176-177)<br>公衆衛生 1章4節1項 人生の質の向上 (p.19)<br>看護学概論 3章1節 健康, 病気, ウエルネス(安寧)の定義 (p.80-83)<br>臨床看護総論 3章2節1項 健康期 (p.109)<br>地域療養を支えるケア 1章4節2項 在宅ケアの目的 (p.31-33)  |



| 大項目               | 中項目             | 小項目                   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |  |
|-------------------|-----------------|-----------------------|---|--|
| 8 健康と公衆衛生         | A 公衆衛生の概念       | e 世界保健機関 (WHO) 加盟国の役割 | 健康と社会・生活 4章5節1項 基本的考え方と提唱の経緯 (p.82), 2項 包括的保健システムとしてのUHC (p.82-83), 3項 世界のUHC構築における日本の貢献 (p.83), 4項 世界のUHC構築における看護の役割 (p.83)<br>公衆衛生 3章1節3項 ヘルスプロモーションとは (p.46-48)<br>看護学概論 13章3節 国際機関の動き (p.265-266)   |  |
|                   |                 | B 健康と環境               | a 生態学的環境  | 公衆衛生 16章5節 地球環境の問題 (p.270-272)                                 |
|                   |                 |                       | b 物理化学的環境   | 公衆衛生 15章3節2項 物理的要因による健康障害 (p.249-250), 3項 化学的要因による健康障害 (p.250) |
|                   | c 社会的環境         |                       | 公衆衛生 3章1節3項 ヘルスプロモーションとは (p.46-48) / 15章3節5項 心理社会的要因による健康障害 (p.250-251)   |  |
|                   | C 疫学的方法による健康の理解 | a 健康被害と母集団            | 公衆衛生 4章1節 集団の見方と健康指標 (p.56-60)  |  |
|                   |                 | b 疫学的因果関係の推定          | 公衆衛生 4章3節 リスクファクター (p.63-66)  |  |
|                   |                 | c 臨床疫学とエビデンス          | 公衆衛生 4章1節 集団の見方と健康指標 (p.56-60)  |  |
|                   | 9 健康指標と予防       | A 健康に関連した指標           | a 国勢調査  | 公衆衛生 4章6節 統計情報の収集と見方 (p.70-76)                                 |
|                   |                 |                       | b 人口静態  | 公衆衛生 4章6節 統計情報の収集と見方 (p.70-76)                                 |
|                   |                 |                       | c 出生  | 公衆衛生 4章6節 統計情報の収集と見方 (p.70-76)                                 |
| d 死亡・死因           |                 |                       | 公衆衛生 4章6節 統計情報の収集と見方 (p.70-76)<br>看護学概論 4章2節 小児期から成人期の概念 (p.96-101), 3節1項 老年期 (p.101)   |  |
| e 死産, 周産期死亡, 乳児死亡 |                 |                       | 公衆衛生 1章1節1項 昔の日本はどんな国だったのか (p.14) / 4章6節 統計情報の収集と見方 (p.70-76)   |  |
| f 平均余命, 平均寿命      |                 |                       | 公衆衛生 1章1節2項 どうしてこんなによくなったのか (p.14-15) / 4章6節 統計情報の収集と見方 (p.70-76)   |  |
| g 健康寿命            |                 |                       | 公衆衛生 8章3節1項 健康づくり対策 (p.132-136)   |  |
| h 有病率・罹患率         |                 |                       | 公衆衛生 4章1節2項 集団の特徴を表す方法 (健康指標) と使い方 (p.56-58)  |  |
| B 感染症とその予防        |                 | a 感染症の成立要因            | 臨床微生物・医動物 4章1節3項 感染成立の3要因と感染予防の基本 (p.186-187)<br>公衆衛生 13章1節 感染症に関する基本的な知識 (p.206-209)<br>医療安全 7章1節1項 血液・体液を介する感染 (p.182)<br>災害看護 6章1節2項 感染症対策の実際 (p.160-171)  |  |
|                   |                 | b 感染症の流行現象            | 公衆衛生 1章3節2項 日本の公衆衛生の歴史 (p.17-18) / 13章1節 感染症に関する基本的な知識 (p.206-209), 3節 主な感染症の特徴と最近の動向 (p.214-219)<br>災害看護 6章1節2項 感染症対策の実際 (p.160-171)   |  |
|                   |                 | c 感染症予防の基本            | 病態生理学 1章5節3項 交叉感染を防ぐ基礎理論 (p.57-60)<br>臨床微生物・医動物 4章1節3項 感染成立の3要因と感染予防の基本 (p.186-187)<br>公衆衛生 13章1節3項 感染症成立の3要件 (p.206-208)<br>医療安全 7章2節1項 標準予防策 (スタンダードプリコーション) とは (p.184), 2項 標準予防策の内容と実際 (p.184-185), 4項 感染経路別予防策 (p.186-187), 5項 使用済み機材の適切な廃棄処理 (p.187)<br>災害看護 6章1節2項 感染症対策の実際 (p.160-171) |  |
|                   |                 |                       |   |  |
|                   |                 |                       |   |  |

| 大項目        | 中項目           | 小項目                                   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|------------|---------------|---------------------------------------|--|
| 9 健康指標と予防  | B 感染症とその予防    | d 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律〈感染症法〉    | 臨床微生物・医動物 4章1節2項 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）(p.183-186)<br>公衆衛生 13章2節1項 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）(p.209-211)<br>医療関係法規 7章1節 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（p.100-113）<br>基礎看護技術 5章2節 わが国の感染症に関する法律（p.98-100）   |
|            |               | e 院内感染とその予防                           | 公衆衛生 13章1節3項 感染症成立の3要件（p.206-208）<br>基礎看護技術 5章7節 感染症予防のための組織と援助技術に対する評価（p.122）<br>医療安全 7章2節1項 標準予防策（スタンダードプリコーション）とは（p.184）、2項 標準予防策の内容と実際（p.184-185）、3項 針刺し・切創による感染防護策（p.185-186）、4項 感染経路別予防策（p.186-187）              |
|            |               | f 予防接種                                | 臨床微生物・医動物 3章3節2項 小児の予防接種（p.125-127）／5章1節 ワクチン接種と血清療法（p.196-201）<br>公衆衛生 13章2節5項 予防接種（p.212-213）<br>医療関係法規 7章4節 予防接種法（p.118-121）<br>小児の発達と看護 2章2節7項 乳児のいる家族への看護（p.97-99）<br>災害看護 6章1節2項 感染症対策の実際（p.160-171）             |
|            |               | g 結核予防                                | 臨床微生物・医動物 2章2節3項 結核の予防内服と治療（p.49-50）<br>公衆衛生 13章3節1項 結核（p.214-216）／14章2節4項 保健管理（健康診断・事後措置・健康相談・保健指導・感染予防）(p.227-231)<br>医療関係法規 7章1節 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（p.100-113）  |
|            |               | h ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉感染症、後天性免疫不全症候群〈AIDS〉 | 病態生理学 1章4節5項 免疫疾患のケア（p.51-52）<br>臨床微生物・医動物 2章6節 性感染症（p.78-86）<br>公衆衛生 13章3節4項 エイズ・HIV感染症（p.217）／14章2節4項 保健管理（健康診断・事後措置・健康相談・保健指導・感染予防）(p.227-231)<br>成人看護学概論 10章2節3項 性感染症（p.171-172）<br>医療安全 7章1節1項 血液・体液を介する感染（p.182） |
|            |               | i 新型インフルエンザ                           | 公衆衛生 13章3節3項 新型インフルエンザ（p.216-217）<br>医療関係法規 7章3節 新型インフルエンザ等対策特別措置法（p.116-118）  |
| 10 生活環境の保全 | A 地球環境        | a 地球温暖化                               | 健康と社会・生活 1章6節6項 リスク社会化（p.25-26）<br>公衆衛生 16章5節1項 地球温暖化（p.270-271）<br>医療関係法規 16章14節 地球温暖化対策の推進に関する法律（p.323-324）  |
|            |               | b オゾン層の破壊                             | 公衆衛生 16章5節3項 オゾン層破壊（p.271-272）   |
|            |               | c アスベスト、放射性物質                         | 公衆衛生 15章3節3項 化学的要因による健康障害（p.250）／16章8節 放射線・放射能（p.282-285）<br>医療関係法規 15章8節 石綿による健康被害の救済に関する法律（p.311-312）<br>成人看護学概論 8章2節2項 化学的要因によるもの（p.148-149）  |
|            |               | d 水質汚染                                | 公衆衛生 16章6節1項 水道の歴史（p.272-273）<br>医療関係法規 16章5節 水質汚濁防止法（p.321）   |
|            |               | e 大気汚染                                | 公衆衛生 16章3節 大気汚染（p.265-268）<br>医療関係法規 16章4節 大気汚染防止法（p.320）  |
|            |               | f 土壌汚染                                | 医療関係法規 16章6節 土壌汚染対策法（p.321）  |
|            | B 食品管理および家庭用品 | a 食品安全確保対策                            | 医療関係法規 16章2節 食品衛生法（p.315-316）  |
|            |               | b 食品衛生管理制度                            | 公衆衛生 16章2節 食品保健（p.261-265）<br>医療関係法規 16章2節 食品衛生法（p.315-316）  |

| 大項目        | 中項目           | 小項目           | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |  |
|------------|---------------|---------------|--|--|
| 10 生活環境の保全 | B 食品管理および家庭用品 | c 家庭用品の安全対策   | 公衆衛生 16章7節3項 家庭内事故と住環境 (p.280-281)   |  |
|            |               | C ごみ・廃棄物      | a 一般廃棄物と産業廃棄物  | 公衆衛生 16章4節1項 廃棄物処理の歴史 (p.268-269)<br>医療関係法規 16章3節 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (p.317-320)<br>医療安全 7章2節5項 使用済み機材の適切な廃棄処理 (p.187)                       |
|            |               |               | b 市町村と企業の責任  | 医療関係法規 16章3節 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (p.317-320)  |
|            | c 生活廃水処理      |               | 公衆衛生 16章6節2項 水道とその役割 (p.273-274)<br>医療関係法規 16章5節 水質汚濁防止法 (p.321)   |  |
|            | D 住環境         | a バリアフリー      | 社会福祉と社会保障 8章1節3項 住まい (p.214-216)<br>リハビリテーション看護 2章8節2項 バリアフリーとユニバーサルデザイン (p.39-41)   |  |
|            |               | b 室内空気汚染と健康問題 | 公衆衛生 16章7節1項 室内空気質問題 (p.277-279)   |  |
| 11 保健活動    | A 地域保健        | a 地域保健法の理念と指針 | 公衆衛生 2章3節1項 保健所の歴史 (p.27-28)<br>医療関係法規 12章1節 地域保健法 (p.246)<br>看護学概論 10章2節1項 保健サービスの場 (p.212-215)   |  |
|            |               | b 健康日本 21     | 臨床栄養学 2章1節2項 エネルギー消費量 (p.53-59) / 3章3節6項 高齢期 (p.126-133)<br>健康と社会・生活 2章8節1項 Lifeとは生命・生活・人生 (p.47) / 10章4節3項 ヘルスプロモーションの位置付け (p.177-179)<br>公衆衛生 1章3節2項 日本の公衆衛生の歴史 (p.17-18) / 2章3節4項 健康増進法 (p.32-33) / 3章3節3項 健康日本21とソーシャルキャピタル (p.52) / 8章3節1項 健康づくり対策 (p.132-136), 4節7項 健康格差 (p.145)<br>看護学概論 3章2節4項 健康の増進と病気の予防 (p.88-90)<br>成人看護学概論 7章1節 生活習慣と健康障害との関連 (p.130-136) |  |
|            |               | c 健康増進法       | 公衆衛生 2章3節4項 健康増進法 (p.32-33), 5節1項 公衆衛生の構造改革 (p.35-36), 2項 地域組織活動 (p.36-38) / 7章2節1項 高齢者の保健医療に関わる法律とその内容 (p.123-124) / 8章3節1項 健康づくり対策 (p.132-136)<br>医療関係法規 12章4節 健康増進法 (p.256-258)   |  |
|            |               | d 市町村保健センター   | 公衆衛生 2章2節 保健所・市町村保健センターは何を行うところか (p.26-27)<br>医療関係法規 12章1節 地域保健法 (p.246)<br>看護学概論 10章2節1項 保健サービスの場 (p.212-215)   |  |
|            |               | e 保健所         | 公衆衛生 2章2節 保健所・市町村保健センターは何を行うところか (p.25-27), 3節 保健所の役割とその変化 (p.27-33), 4節 公衆衛生専門職の役割とその変化 (p.33-35) / 12章1節 健康危機管理 (p.198-200) / 13章2節2項 保健所の役割 (p.211)<br>医療関係法規 12章1節 地域保健法 (p.246)<br>看護学概論 10章2節1項 保健サービスの場 (p.212-215)   |  |
|            |               | B 母子保健        | a 母子保健法  | 公衆衛生 2章3節2項 保健所機能の変遷 (p.28-30) / 6章1節 子どもを対象にした活動の目的・意義 (p.102-104)<br>医療関係法規 8章1節 母子保健法 (p.124-129)<br>小児の発達と看護 1章4節3項 小児に関する法律 (p.53-57) |
|            | b 母子健康手帳      |               | 公衆衛生 6章3節2項 保健指導など (p.107-108)<br>医療関係法規 8章1節 母子保健法 (p.124-129)<br>小児の発達と看護 1章4節2項 母子保健施策 (p.52-53)  |  |
|            | c 保健指導・訪問指導   |               | 公衆衛生 5章3節2項 家庭訪問の利点 (p.86-87) / 6章3節2項 保健指導など (p.107-108), 4節1項 各種の方法を駆使した活動 (p.109-110)   |  |
|            |               |               |  |  |

| 大項目     | 中項目        | 小項目            | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|---------|------------|----------------|--|
| 11 保健活動 | B 母子保健     | c 保健指導・訪問指導    | 医療関係法規 8章1節 母子保健法 (p.124-129)<br>小児の発達と看護 1章4節2項 母子保健施策 (p.52-53)  |
|         |            | d 健康診査・健康教育    | 公衆衛生 5章3節3項 家庭訪問の対象 (p.87-88)／6章3節1項 健康診査など (p.105-107), 4節1項 各種の方法を駆使した活動 (p.109-110)<br>医療関係法規 8章1節 母子保健法 (p.124-129)<br>小児の発達と看護 1章4節2項 母子保健施策 (p.52-53)                                  |
|         |            | e 児童虐待防止       | 公衆衛生 6章5節 児童虐待に対する主な活動 (p.112-115)<br>医療関係法規 9章4節 児童虐待の防止に関する法律 (p.159-162)<br>小児の発達と看護 1章4節3項 小児に関する法律 (p.53-57)  |
|         |            | f 母体保護法        | 公衆衛生 6章1節2項 法律にみる目的 (p.102-103)<br>医療関係法規 8章2節 母体保護法 (p.130-131)   |
|         | C 精神保健     | a 精神保健対策の制度の変遷 | 公衆衛生 10章1節 精神保健福祉の目的・意義 (p.160-167)  |
|         |            | b 精神障害者(児)の医療  | 公衆衛生 10章2節2項 関係機関の役割 (p.168-173), 3節 主な対象の特徴と活動 (p.178-181)<br>情緒発達と看護の基本 8章2節4項 現代(昭和・戦後～平成) (p.135-138)  |
|         |            | c 精神障害者(児)福祉   | 公衆衛生 10章1節1項 精神疾患の現状と精神保健福祉の対象 (p.160-161), 2節4項 精神障害者に対する生活支援制度 (p.175-176)<br>社会福祉と社会保障 4章2節 障害児・者と福祉 (p.98-110)／8章1節5項 生活を支える (p.220-223)<br>医療関係法規 11章5節 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (p.219-231) |
|         |            | d こころの健康と自殺対策  | 公衆衛生 8章2節2項 自殺 (p.129-131), 3節4項 自殺対策 (p.139), 4節4項 自殺予防 (p.143)／10章1節2項 精神保健福祉の歴史 (p.161-167)<br>医療関係法規 12章6節 自殺対策基本法 (p.259)   |
|         |            | e 発達障害         | 公衆衛生 10章1節1項 精神疾患の現状と精神保健福祉の対象 (p.160-161), 3節3項 広汎性発達障害 (p.180-181)<br>医療関係法規 11章7節 発達障害者支援法 (p.236-238)  |
|         | D 学校保健     | a 学校保健安全法      | 公衆衛生 14章2節4項 保健管理(健康診断・事後措置・健康相談・保健指導・感染予防) (p.227-231)<br>医療関係法規 9章2節 学校保健安全法 (p.155-157)<br>小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.134-141)  |
|         |            | b 健康診断・健康相談    | 公衆衛生 14章2節8項 健康相談 (p.233)<br>医療関係法規 9章2節 学校保健安全法 (p.155-157), 3節 学校保健安全法施行規則 (p.157-159)<br>小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.134-141)  |
|         |            | c 感染予防         | 公衆衛生 14章2節4項 保健管理(健康診断・事後措置・健康相談・保健指導・感染予防) (p.227-231)<br>医療関係法規 9章2節 学校保健安全法 (p.155-157), 3節 学校保健安全法施行規則 (p.157-159)   |
|         |            | d 学校環境衛生       | 公衆衛生 14章2節5項 学校環境衛生と安全 (p.231)<br>医療関係法規 9章2節 学校保健安全法 (p.155-157)<br>小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.134-141)   |
|         | E 生活習慣病の予防 | a 主な生活習慣病の現状   | 公衆衛生 1章3節2項 日本の公衆衛生の歴史 (p.16-18)<br>成人看護学概論 7章1節1項 生活習慣病の種類と発症状況 (p.131)   |
|         |            | b 栄養・運動・休養     | 臨床栄養学 3章3節4項 成人期 (p.121-122)<br>公衆衛生 8章4節1項 栄養・運動・休養 (p.139-142)<br>臨床看護総論 3章4節11項 運動療法 (p.138-139)  |
|         |            | c 喫煙・飲酒対策      | 公衆衛生 8章4節2項 喫煙 (p.142), 6項 アルコール (p.144-145)   |

| 大項目     | 中項目        | 小項目               | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|---------|------------|-------------------|---|
| 11 保健活動 | E 生活習慣病の予防 | d 健康教育と早期発見       | 臨床栄養学 6章 食事指導の実際 (p.196-202)<br>公衆衛生 5章4節1項 健康教育の目的 (p.88)  |
|         |            | e 循環器疾患の予防        | 病態生理学 1章2節3項 血行障害の看護 (p.37-38)<br>公衆衛生 8章3節2項 生活習慣病対策 (p.136-138)   |
|         |            | f 糖尿病の予防          | 公衆衛生 8章4節5項 糖尿病 (p.143-144)   |
|         |            | g 特定健康診査, 特定保健指導  | 臨床栄養学 3章3節4項 成人期 (p.121-122)<br>公衆衛生 8章3節2項 生活習慣病対策 (p.136-138)<br>社会福祉と社会保障 7章2節5項 医療保険制度の課題 (p.185-187)<br>医療関係法規 14章3節 高齢者の医療の確保に関する法律 (p.276-279)<br>成人看護学概論 3章3節1項 加齢による影響 (p.53-57), 3項 生活習慣・生活行動による影響 (p.59-64)            |
|         | F がん対策     | a がん対策基本法         | 公衆衛生 8章3節3項 がん対策 (p.138-139)<br>医療関係法規 17章2節 がん対策基本法 (p.330-331)  |
|         | G 難病対策     | a 特定疾患治療研究事業      | 公衆衛生 11章1節 難病対策のあゆみ (p.184-186), 2節2項 特定疾患の対象拡大 (p.187), 3項 医療費助成のありかた (p.188), 6項 疾病登録 (p.189-191)<br>社会福祉と社会保障 4章3節 難病対策 (p.111-119)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章4節4項 難病対策要綱 (p.250-252)<br>地域療養を支えるケア 5章5節2項 難病療養者に対する制度 (p.175-178) |
|         | H 職場の健康管理  | a 労働安全衛生法         | 公衆衛生 15章1節 産業保健の目的と特徴 (p.236), 2節1項 労働衛生行政の歴史と現状 (p.239-240), 7項 健康管理 (p.245-248)<br>医療関係法規 15章4節 労働安全衛生法 (p.302-305)<br>看護学概論 9章4節2項 看護師が働く場としての安全・健康 (p.202)  |
|         |            | b 健康管理・職業病の予防     | 公衆衛生 15章2節7項 健康管理 (p.245-248)<br>成人看護学概論 8章2節 職業性疾患の予防と対応 (p.147-151)   |
|         |            | c トータル・ヘルスプロモーション | 公衆衛生 15章2節7項 健康管理 (p.245-248)   |
|         |            | d 作業環境・作業環境管理     | 公衆衛生 15章2節3項 労働衛生管理とリスクアセスメント, リスクマネジメント (p.241), 6項 作業環境管理と作業の管理 (p.243-245)   |
|         |            | e ワーク・ライフ・バランス    | 公衆衛生 15章4節4項 産業看護活動の特徴 (p.253-254)<br>社会福祉と社会保障 4章1節4項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.86-91)<br>成人看護学概論 4章2節2項 生活の場 (p.77-84)   |

**目標Ⅳ. 人々の健康を守るためのサービス提供機関及び従事者の役割・機能に関する法律について基本的な理解を問う。**

| 大項目                    | 中項目          | 小項目      | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|------------------------|--------------|----------|---|
| 12 医療機関と医療従事者の職務の機能と役割 | A 保健師助産師看護師法 | a 目的, 定義 | 医療関係法規 3章1節 保健師助産師看護師法 (p.28-33)<br>看護学概論 9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.189-193)<br>医療安全 1章2節1項 看護倫理と医療安全 (p.19-20), 2項 看護師の法的規定 (p.20-22) |
|                        |              | b 免許     | 医療関係法規 3章1節 保健師助産師看護師法 (p.28-33)<br>看護学概論 9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.189-193)<br>医療安全 1章2節2項 看護師の法的規定 (p.20-22)                         |
|                        |              | c 業務     | 医療関係法規 3章1節 保健師助産師看護師法 (p.28-33)  |

| 大項目                    | 中項目           | 小項目                        | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|------------------------|---------------|----------------------------|---|
| 12 医療機関と医療従事者の職務の機能と役割 | A 保健師助産師看護師法  | c 業務                       | 看護学概論 1章3節1項 免許と看護業務 (p.29)／9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.189-193)<br>臨床看護総論 3章5節1項 看護師の業務とは：法的側面から (p.145-147), 6節2項 医療チームにおける各職種役割 (p.154-157)<br>医療安全 1章2節1項 看護倫理と医療安全 (p.19-20), 2項 看護師の法的規定 (p.20-22)   |
|                        |               | d 守秘義務                     | 医療関係法規 3章1節 保健師助産師看護師法 (p.28-33)<br>看護学概論 9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.189-193)   |
|                        |               | e 業務従事者届                   | 医療関係法規 3章1節 保健師助産師看護師法 (p.28-33)<br>看護学概論 9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.189-193)   |
|                        | B 医療関係法規      | a 医療法                      | 公衆衛生 2章3節3項 医療制度改革と健康政策 (p.30-32)<br>医療関係法規 12章2節 医療法 (p.247-253)<br>看護学概論 9章1節1項 看護と法 (p.180-181), 2節2項 主な関連法規 (p.193-194)／10章1節2項 医療の概念 (p.209-210)<br>臨床看護総論 3章6節3項 医療実践における倫理：医療者としての責務と患者の権利 (p.157-158)<br>医療安全 1章2節2項 看護師の法的規定 (p.20-22)<br>災害看護 2章2節1項 医療従事者と患者の法律関係 (p.53-55), 4項 トリアージと法律上の問題 (p.56-58), 6項 転医義務 (p.58), 3節1項 法制度と災害医療 (p.64-65), 2項 防災計画と医療計画 (p.66) |
|                        |               | b 医師法                      | 公衆衛生 2章4節2項 医師 (根拠法：医師法) (p.34)<br>医療関係法規 4章1節 医師法 (p.38-41)<br>看護学概論 9章1節1項 看護と法 (p.180-181), 2節2項 主な関連法規 (p.193-194)<br>災害看護 2章2節1項 医療従事者と患者の法律関係 (p.53-55), 4項 トリアージと法律上の問題 (p.56-58), 5項 説明義務 (p.58), 9項 遺体への対応 (p.59-60)   |
|                        |               | c 歯科医師法                    | 医療関係法規 4章2節 歯科医師法 (p.42-49)   |
|                        |               | d 薬剤師法                     | 公衆衛生 2章4節3項 そのほかの職種 (p.34-35)<br>医療関係法規 5章7節 薬剤師法 (p.60-62)   |
|                        |               | e 診療放射線技師法                 | 医療関係法規 5章3節 診療放射線技師法 (p.54-56)  |
|                        |               | f 臨床検査技師等に関する法律            | 医療関係法規 5章5節 臨床検査技師等に関する法律 (p.58-59)   |
|                        |               | g 理学療法士及び作業療法士法, 言語聴覚士法    | 医療関係法規 5章8節 理学療法士及び作業療法士法 (p.62-63), 15節 言語聴覚士法 (p.79-80)   |
|                        |               | h 社会福祉士法及び介護福祉士法, 精神保健福祉士法 | 社会福祉と社会保障 2章3節3項 社会福祉分野の資格制度と実践分野 (p.46-51)／8章2節3項 社会を変えるという実践 (p.229-231)<br>医療関係法規 5章10節 社会福祉士及び介護福祉士法 (p.65-69), 14節 精神保健福祉士法 (p.77-78)  |
|                        | C 医療サービスの供給体制 | a 医療計画                     | 医療関係法規 12章2節 医療法 (p.247-253)  |
|                        |               | b 医療施設の機能                  | 医療関係法規 12章2節 医療法 (p.247-253)<br>看護学概論 10章2節2項 医療サービスの場 (p.215)  |
|                        |               | c 救急医療の充実                  | 医療関係法規 12章2節 医療法 (p.247-253)<br>基礎看護技術 21章1節 救急時における迅速な介入の必要性 (p.438), 2節 救急時における看護師の役割 (p.438)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章3節2項 救命救急治療を必要とする状況 (p.38-42)<br>災害看護 1章1節2項 災害の種類と疾病構造：自然災害 (p.13-20)  |
|                        |               | d 診療記録, 情報公開               | 看護学概論 1章3節4項 指針・ガイドライン (p.33-35)<br>医療安全 1章1節2項 医療安全に関わる動向 (p.12-15)／8章1節2項 初期対応の要点 (p.202-207)   |

| 大項目                    | 中項目               | 小項目  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|------------------------|-------------------|--|--|
| 12 医療機関と医療従事者の職務の機能と役割 | C 医療サービスの供給体制     | e 在宅医療   | 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)<br>地域療養を支えるケア 1章4節2項 在宅ケアの目的 (p.31-33) / 5章 在宅ケアを支える制度と社会資源 (p.142-183)<br>医療安全 6章1節1項 在宅看護とは (p.166), 2項 在宅看護をとりまく現状 (p.166-168)   |
|                        |                   | f 訪問看護ステーション                                   | 公衆衛生 5章7節2項 高齢者, 子どもに関連する機関 (p.95-96) / 7章2節2項 高齢者の保健・医療に関わる制度や施策(事業) (p.124-125)<br>医療安全 6章1節2項 在宅看護をとりまく現状 (p.166-168)   |
|                        |                   | g 助産所  | 医療関係法規 12章2節 医療法 (p.247-253)<br>医療安全 2章2節2項 日本助産師会 (p.45-52)   |
|                        |                   | h 医薬品と医療用具の取り扱い                                | 臨床薬理学 1章3節1項 医薬品使用時に注意しなければならないこと (p.24-26), 2項 医薬品添付文書の読み方 (p.26-28)<br>医療関係法規 6章1節 医薬品, 医療機器等の品質, 有効性及び安全性の確保等に関する法律 (p.82-89)<br>基礎看護技術 19章3節1項 薬剤の表記 (p.395), 4節1項 安全で確実な与薬のための援助の知識・技術・態度 (p.399-400)<br>医療安全 5章2節1項 誤薬 (p.123-133)             |
|                        |                   | i 毒薬・劇薬の取り扱い                                   | 臨床薬理学 1章1節3項 医薬品の分類 (p.12-16)<br>医療関係法規 6章1節 医薬品, 医療機器等の品質, 有効性及び安全性の確保等に関する法律 (p.82-89)<br>基礎看護技術 19章2節 与薬における法的根拠 (p.394-395)  |
|                        |                   | j 安全管理(セーフティマネジメント)                            | 医療関係法規 12章3節 医療法施行規則 (p.253-255)<br>看護学概論 11章3節2項 医療事故発生への危機感 (p.240-241)<br>医療安全 1章 医療安全と看護の理念 (p.12-28) / 3章 事故発生メカニズムとリスクマネジメント (p.62-98) / 5章 看護における医療事故と安全対策 (p.122-163) / 6章 在宅看護における医療事故と安全対策 (p.166-180) / 7章 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策 (p.182-200) |
|                        | D 看護職員の確保・労働と関係法規 | a 労働基準法  | 医療関係法規 15章1節 労働基準法 (p.296-298)<br>看護学概論 9章4節2項 看護師が働く場としての安全・健康 (p.202)  |
|                        |                   | b 育児休業, 介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律(育児・介護休業法) | 医療関係法規 15章2節 育児休業, 介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律 (p.298-301)  |
|                        |                   | c 看護師等の人材確保の促進に関する法律                           | 医療関係法規 3章3節 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.34-35)<br>看護学概論 1章5節2項 看護における人材の確保 (p.52-56) / 9章2節2項 主な関連法規 (p.193-194)   |





# 基礎看護学

## 目標Ⅰ. 看護の基礎となる概念について基本的な理解を問う。

| 大項目          | 中項目           | 小項目                  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|--------------|---------------|----------------------|--|
| 1 看護の基本となる概念 | A 看護の本質 (概念)  | a 看護の定義              | 看護学概論 1章1節1項 看護とは (p.16-18)<br>臨床看護総論 1章2節2項 看護の定義 (p.12)<br>医療安全 1章2節2項 看護師の法的規定 (p.20-22)  |
|              |               | b 役割と機能              | 看護学概論 7章2節1項 看護ケアの教育的側面 (p.156),<br>2項 教育者としての役割 (p.156-157)<br>看護管理 1章1節 看護の役割 (p.14-19)<br>医療安全 1章2節2項 看護師の法的規定 (p.20-22)  |
|              |               | c 職業としての看護           | 看護学概論 1章3節1項 免許と看護業務 (p.29)<br>看護管理 2章3節1項 看護師の仕事 (p.57-60)  |
|              |               | d 学問としての看護 (主要な看護理論) | 看護学概論 1章2節2項 理論, 研究, 実践 (p.23-24) / 5章 看護実践のための理論的根拠 (p.104-126)<br>ヘルスアセスメント 6章1節 マズローの基本的欲求の階層図 (p.244-245), 2節 ヘンダーソンの基本的ニーズに基づく14の構成要素 (p.246-255), 3節 ゴードンの11の機能的健康パターン (p.256-300) / 7章2節2項 ゴードンの11の機能的健康パターンを用いた情報の整理 (p.326-337), 3項 ヘンダーソンの14の構成要素を用いた情報の整理 (p.337-343), 3節 アセスメントツールの特徴と留意点 (p.343-344)<br>臨床看護総論 3章7節1項 臨床看護を学ぶための理論 (p.160-163)<br>災害看護 10章2節3項 災害看護研究の考え方 (p.244-245) |
|              |               | e 看護の変遷              | 看護学概論 1章4節 看護の変遷 (p.36-48)   |
|              | B 看護の対象としての人間 | a 全体としての人間           | 看護学概論 2章1節 統合体としての人間 (p.58-62)   |
|              |               | b 成長発達する存在           | 看護学概論 2章1節4項 成長・発達する存在 (p.62) / 4章1節1項 人間の成長・発達の特質 (p.92)  |
|              |               | c ライフサイクルと発達課題       | 看護学概論 2章1節4項 成長・発達する存在 (p.62), 2節 個人, 家族, コミュニティ, 地域社会 (p.62-63) / 4章1節2項 発達理論の概観 (p.92-96)<br>情緒発達と看護の基本 2章2節2項 心理的成熟 (p.36-37)   |
|              |               | d ニーズをもつ存在           | 看護学概論 2章1節3項 動機づけられる存在 (ニーズをもつ存在) (p.60-61)<br>臨床看護総論 1章3節6項 対象者の生活機能 (p.17)   |
|              |               | e 生活者としての存在          | 地域療養を支えるケア 1章4節2項 在宅ケアの目的 (p.31-33)  |
|              |               | f 適応する存在             | 看護学概論 2章1節 統合体としての人間 (p.58-62)   |
|              |               | g 社会・文化的存在           | 看護学概論 2章1節 統合体としての人間 (p.58-62)   |
|              | C 人間と健康       | a 健康のとらえ方            | 看護学概論 3章1節1項 健康 (p.80-82)<br>臨床看護総論 1章2節3項 健康の意味を正しくとらえる (p.12-14), 3節3項 健康レベル (p.15-16) / 3章2節1項 健康期 (p.109)<br>成人看護学概論 5章1節 主要な健康観 (p.94-97)   |
|              |               | b 健康の諸相              | 看護学概論 3章2節 健康と病気 (p.84-90)<br>臨床看護総論 1章3節3項 健康レベル (p.15-16) / 3章2節1項 健康期 (p.109)   |

| 大項目          | 中項目        | 小項目                    | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |  |
|--------------|------------|------------------------|--|--|
| 1 看護の基本となる概念 | C 人間と健康    | c 健康への影響要因             | 看護学概論 3章2節3項 健康と病気に影響する要因 (p.86-88)<br>成人看護学概論 5章2節 個人の健康観に影響を及ぼす要因 (p.97)   |  |
|              |            | d 生活習慣とセルフケア           | 臨床看護総論 3章2節4項 慢性期 (p.113-114)  |  |
|              |            | e QOL                  | 成人看護学概論 5章3節6項 Quality of Life (QOL) (p.100-101)<br>セルフマネジメント 1章2節5項 QOL (Quality of Life) 向上への援助 (p.22)<br>リハビリテーション看護 2章6節 QOL: quality of life (p.36-37)<br>災害看護 10章1節3項 看護実践上の倫理的概念 (p.238-239)  |  |
|              | D 看護における倫理 | a 基本的人権, 世界人権宣言, 個人の尊厳 | 臨床看護総論 3章6節3項 医療実践における倫理: 医療者としての責務と患者の権利 (p.157-158)<br>リハビリテーション看護 3章2節4項 リハビリテーションにおける障害者の倫理 (p.49)   |  |
|              |            | b 医療の倫理原則              | 看護学概論 6章5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識 (看護倫理で活用する判断基準) (p.134-140), 6節2項 倫理的看護実践を支援する組織のシステム (p.146-147)<br>臨床看護総論 3章5節3項 看護師の業務とは: 組織で働く (p.150), 6節3項 医療実践における倫理: 医療者としての責務と患者の権利 (p.157-158)   |  |
|              |            | c 患者の権利と擁護             | 看護学概論 6章3節 看護倫理とは (p.131-132), 5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識 (看護倫理で活用する判断基準) (p.134-140) / 7章2節4項 支援者, 代弁者としての役割 (p.158-159)<br>基礎看護技術 1章4節4項 ペイシエントアドボカシーとしての活動 (p.31-33)<br>臨床看護総論 3章2節2項 急性期 (p.109-111), 5項 終末期 (p.114-117), 6節3項 医療実践における倫理: 医療者としての責務と患者の権利 (p.157-158)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 5章5節 セルフケアを再獲得するプロセスにある人の人権擁護 (p.253-256)<br>リハビリテーション看護 3章2節 障害者の権利 (p.46-49)<br>緩和ケア 8章4節4項 鎮静の実際 (p.218-220)<br>看護管理 3章3節1項 患者の権利擁護 (p.91-93) |  |
|              |            | d 看護職者の倫理綱領            | 看護学概論 1章3節3項 看護者の倫理綱領 (p.30-33) / 6章1節1項 法的責任と倫理 (p.128), 5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識 (看護倫理で活用する判断基準) (p.134-140), 3項 倫理的看護実践のための枠組み (モデル) (p.140-141), 6節1項 倫理的意思決定能力の向上 (p.146)<br>看護研究 7章2節 看護研究における倫理ガイドラインの開発 (p.127-129)<br>臨床看護総論 3章5節2項 看護師の業務とは: 職能団体の社会的声明から (p.147-150)<br>看護管理 3章3節2項 看護者の倫理的行動 (p.93-97)<br>医療安全 1章2節1項 看護倫理と医療安全 (p.19-20)<br>災害看護 10章1節3項 看護実践上の倫理的概念 (p.238-239)   |  |
|              |            | e 倫理的葛藤と対応             | 看護学概論 6章4節1項 日常のケア場面における倫理的課題 (p.132-133), 5節1項 倫理的意思決定能力と行動力 (p.134)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 1章4節1項 健康危機状況における看護者の苦悩 (p.50-51)<br>災害看護 10章1節1項 倫理と価値 (p.236)  |  |
|              | 2 看護の展開    | A 援助的関係の形成             | a 信頼関係の構築  | 看護学概論 7章2節 教育者およびカウンセラーとしての役割 (p.156-159)<br>基礎看護技術 1章 人間関係を成立・発展させるための技術 (p.14-34)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章4節2項 健康危機状況にある人の心理的・精神的状態のアセスメント (p.101) |

| 大項目     | 中項目         | 小項目                 | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|---------|-------------|---------------------|--|
| 2 看護の展開 | A 援助的関係の形成  | a 信頼関係の構築           | <b>セルフマネジメント</b> 4章1節 援助者としての役割の明確化 (p.80)   |
|         |             | b 看護の対象との協働         | <b>基礎看護技術</b> 1章3節 対人関係の振り返り (p.23-26)<br><b>医療安全</b> 4章1節 患者・家族との協同 (p.100-110)   |
|         | B 根拠に基づいた実践 | a 根拠に基づいた看護〈EBN〉の概念 | <b>看護学概論</b> 1章2節5項 エビデンスに基づく看護 (p.27-28)／7章3節1項 EBM, 根拠に基づいてケアを行う (p.159-163)<br><b>看護研究</b> 1章5節 EBN:根拠に基づく看護 (p.22)<br><b>臨床看護総論</b> 1章4節4項 臨床判断の学び方 (p.21)／3章7節1項 臨床看護を学ぶための理論 (p.160-163)   |
|         |             | b クリティカルシンキング       | <b>看護学概論</b> 8章2節1項 看護過程の五つの要素を正確に理解する (p.175-176)<br><b>ヘルスアセスメント</b> 4章3節3項 ヘルスアセスメントとクリティカルシンキング (p.212-213)<br><b>基礎看護技術</b> 2章1節1項 看護における教育的支援 (p.36), 2項 クライアントと家族のセルフケアを支援する活動 (p.36-43)<br><b>看護研究</b> 6章2節 クリティックするために必要な能力 (p.118-119)   |
|         |             | c 問題解決過程            | <b>看護学概論</b> 8章2節1項 看護過程の五つの要素を正確に理解する (p.175-176)<br><b>基礎看護技術</b> 8章4節2項 解決策の決定 (p.171-172)<br><b>臨床看護総論</b> 1章4節1項 臨床判断プロセスの詳細 (p.18-19)  |
|         |             | d 標準看護計画の活用         | <b>健康危機状況／セルフケアの再獲得</b> 1章3節1項 手術等の侵襲的治療を予定して受ける状況 (p.35-37)   |
|         | C チームアプローチ  |                     | <b>リハビリテーション看護</b> 4章3節1項 組織と職種による情報共有 (p.64-71)   |
|         |             | a チームカンファレンス        | <b>臨床看護総論</b> 3章5節4項 病棟を例にした看護師の仕事: チームで行う看護 (p.150-151)<br><b>地域療養を支えるケア</b> 4章1節3項 カンファレンス (p.115-117)   |
|         |             | b 看護の継続性            | <b>基礎看護技術</b> 9章1節 継続して看護を提供する必要性 (p.176), 2節 看護の継続の形-バトンを受け渡す相手 (p.178-179), 3節 バトンを受け取りやすい形で渡すために (p.180-181)<br><b>臨床看護総論</b> 3章5節4項 病棟を例にした看護師の仕事: チームで行う看護 (p.150-151)<br><b>災害看護</b> 4章6節3項 復興住宅における看護師の役割 (p.109)   |
|         |             | c 他職種との連携・協働        | <b>看護学概論</b> 10章3節 保健・医療・福祉チーム (p.216-222)<br><b>臨床看護総論</b> 3章6節1項 多職種の連携と協働で必要なこと (p.153-154), 2項 医療チームにおける各職種の役割 (p.154-157)<br><b>健康危機状況／セルフケアの再獲得</b> 5章3節1項 医療・福祉関連職種によるチームアプローチ (p.238-241)<br><b>看護管理</b> 3章1節2項 チーム医療-他職種との協働 (p.81-84)<br><b>医療安全</b> 1章1節2項 医療安全に関わる動向 (p.12-15)／6章3節2項 他職種との協働と今後の課題 (p.179-180)<br><b>災害看護</b> 4章2節4項 地域医療との連携 (p.90-91) |
|         |             |                     |  |

目標Ⅱ. 基礎的な看護技術について基本的な理解を問う。

| 大項目      | 中項目         | 小項目                     | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|----------|-------------|-------------------------|--|
| 3 共通基本技術 | A コミュニケーション | a コミュニケーションの構造とプロセス     | 看護学概論 7章1節2項 コミュニケーション過程の構成要素 (p.151-152)<br>基礎看護技術 1章1節1項 コミュニケーションの概念 (p.14), 2項 看護学でコミュニケーションを学ぶ意義 (p.14-15), 3項 コミュニケーションの基本原則 (p.15), 4項 コミュニケーションを成立させる要素 (p.16), 5項 コミュニケーションの種類とその概要 (p.16)  |
|          |             | b コミュニケーション技法           | 看護学概論 7章1節3項 コミュニケーション過程に必要な看護師の能力 (p.152-153), 5項 看護理論家たちにみるコミュニケーション (p.155-156)<br>ヘルスアセスメント 2章3節3項 問診技法 (p.23-24)<br>基礎看護技術 1章1節6項 言語的コミュニケーション (p.17), 7項 非言語的コミュニケーション (p.17-20), 2節 看護場面での効果的なコミュニケーション技術 (p.20-23), 4節1項 援助過程とコミュニケーション (p.27-29), 3項 インフォームドコンセントと看護者の役割 (p.30-31) / 2章2節1項 カウンセリングとは何か (p.47-48) |
|          |             | c コミュニケーションに障害のある人々への対応 | 看護学概論 7章1節 コミュニケーターとしての役割 (p.151-156)<br>基礎看護技術 1章1節6項 言語的コミュニケーション (p.17)<br>地域療養を支えるケア 7章3節 在宅での生活に不安を抱きつつ退院する ALS 療養者 (p.251-254)   |
|          | B 学習支援      | a 学習にかかわる諸理論            | セルフマネジメント 1章1節3項「指導型」の教育から「学習援助型」の教育へ (p.15-16) / 3-1章1節 成人教育学の基本的な考え方 (p.40)  |
|          |             | b 対象者に合わせた目標設定          | 基礎看護技術 2章1節1項 看護における教育的支援 (p.36), 2項 クライアントと家族のセルフケアを支援する活動 (p.36-43)<br>セルフマネジメント 3-1章2節4項 段階的学習プログラム (p.42) / 3-2章3節 エンパワメントのアプローチ (p.48-52)   |
|          |             | c 対象者に合わせた支援方法と媒体の工夫    | 基礎看護技術 2章1節4項 看護における指導技術 (p.45-47), 2節1項 カウンセリングとは何か (p.47-48), 3節2項 主なカウンセリングと特徴 (p.48-50)<br>セルフマネジメント 3-1章2節3項 レディネスに応じた教育方法・内容の選定 (p.41-42) / 3-2章3節2項 エンパワメントアプローチにおけるステップと支援者の役割 (p.51-52)   |
|          |             | d 個別指導・集団指導の特性と適用       | 基礎看護技術 2章1節4項 看護における指導技術 (p.45-47)   |
|          | C 看護過程      | a 情報の種類, 収集方法と分析・解釈の統合  | ヘルスアセスメント 6章4節2項 SデータとOデータ (p.303) / 7章2節1項 事例紹介 (p.323-326)<br>基礎看護技術 8章2節2項 アセスメントの技術 (p.153-155), 3項 アセスメントの例 (事例紹介) (p.156-159)<br>セルフマネジメント 4章2節3項 セルフマネジメント支援に必要な情報とは何か (p.85-87)<br>医療安全 3章2節2項 事故分析に重要なこと (p.80-82), 3項 具体的な分析手法の特徴 (p.82-86)  |
|          |             | b 看護問題の明確化と優先順位決定       | 看護学概論 8章2節2項 優先順位の付け方 (p.176-177)<br>ヘルスアセスメント 6章4節5項 問題の優先順位を付ける (p.305)<br>基礎看護技術 8章3節 看護診断 (p.169)<br>セルフマネジメント 4章2節2項 クライアントをエンパワーする聴き方 (p.82-84) / 5章1節 クライアントの困っていること, 気になっていることを明確にする (p.90)  |
|          |             | c 看護目標の設定と計画            | ヘルスアセスメント 6章4節6項 目標を設定する (短期目標と長期目標) (p.305-306)<br>基礎看護技術 8章4節 看護計画 (p.170-172), 1項 目標の設定 (p.170-171), 2項 解決策の決定 (p.171-172)<br>セルフマネジメント 5章2節 共同目標の設定 (p.91)   |

| 大項目      | 中項目           | 小項目                       | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|----------|---------------|---------------------------|---|
| 3 共通基本技術 | C 看護過程        | d 実施・評価                   | ヘルスアセスメント 7章2節4項 実施・評価 (p.343)<br>基礎看護技術 8章5節 実施 (p.172), 6節 評価 (p.172-173)<br>セルフマネジメント 6章 評価のしかた (p.98-99)  |
|          |               | e 看護記録の意義, 必要性と種類         | 看護学概論 8章2節3項 記録の書き方 (p.177)<br>ヘルスアセスメント 6章4節4項 NANDA 看護診断の記載方法 (p.305)<br>基礎看護技術 8章7節 看護記録の作成と管理 (p.173-174)   |
|          |               | f 報告の必要性と方法               | 基礎看護技術 8章2節2項 アセスメントの技術 (p.153-155)<br>医療安全 2章4節3項 医療事故を報告する目的 (院外と院内) (p.57) / 3章3節3項 リスクマネジメント (p.94-98) / 8章1節2項 初期対応の要点 (p.202-207) / 9章2節3項 安全に実習を進めるために (p.224-226)   |
|          |               | g 医療計画とクリニカルパス            | 看護学概論 11章2節4項 クリニカルパス (p.239)<br>基礎看護技術 8章7節 看護記録の作成と管理 (p.173-174)   |
|          | D フィジカルアセスメント | a 看護におけるフィジカルアセスメントの意義    | ヘルスアセスメント 1章3節1項 看護におけるアセスメント:ヘルスアセスメントの視点 (p.13), 5節 身体理解と判断力の日常的鍛錬:自分の身体を使ってやってみよう (p.16) / 3章1節 アセスメントの視点を身につける (p.40-41) / 7章1節 フィジカルアセスメントの生かし方 (p.322)<br>基礎看護技術 8章2節1項 アセスメントとは (p.152-153)  |
|          |               | b 問診, 視診, 触診, 聴診, 打診の基本技術 | 病態生理学 2章1節3項 アセスメント (p.100-103), 2節3項 アセスメント (p.105-109), 7節3項 アセスメント (p.133-134), 9節3項 アセスメント (p.141-142), 14節5項 アセスメント (p.166), 16節3項 アセスメント (p.174), 17節3項 アセスメント (p.177-178), 18節3項 アセスメント (p.182-183), 25節3項 アセスメント (p.222-223)<br>ヘルスアセスメント 2章1節2項 対象者の準備 (p.18), 2節 フィジカルアセスメントの必要物品 (p.20-21), 3節 問診 (p.22-24), 4節 視診, 触診, 打診, 聴診 (p.25-28) / 3章2節2項 皮膚・爪・髪の間診および視診, 触診 (p.46-47), 3節2項 リンパ系の間診および視診, 触診 (p.53-57), 4節2項 頭部・顔面・頸部の間診および視診, 触診, 打診, 聴診 (p.59-63), 5節2項 鼻・耳・口腔 / 咽頭の間診および視診, 触診 (p.68-72), 6節2項 眼の間診および視診, 触診 (p.77-82), 7節2項 肺の間診および視診, 触診, 打診, 聴診 (p.86-90), 8節2項 心臓・血管系の間診および視診, 触診, 打診, 聴診 (p.97-102), 9節2項 乳房・腋窩の間診および視診, 触診 (p.110-117), 10節2項 腹部 (消化器系) の間診 (p.123-124), 3項 腹部 (消化器系) の視診, 聴診, 打診, 触診 (p.125-130), 11節2項 女性生殖器に関する問診 (p.136), 3項 女性生殖器の視診および触診 (p.137), 5項 男性生殖器に関する問診 (p.138), 6項 男性生殖器の視診および触診 (p.139-140), 8項 肛門に関する問診 (p.140), 9項 直腸・肛門部の視診, 触診 (p.141), 12節2項 筋・骨格系の間診 (p.146-147), 3項 筋・骨格系の視診 (p.147-148), 4項 筋・骨格系の触診 (p.149), 13節4項 神経系の間診 (p.168-170) / 4章1節2項 性成熟過程 (思春期女子) の問診および視診 (p.189-191), 3項 成熟女性の月経のアセスメントに関する問診 (p.191-192), 4項 更年期・老 (高) 年期女性への問診 (p.192-194), 3節4項 フィジカルアセスメントの四つの基本技術 (p.213-214), 7項 高齢者を対象としたフィジカルアセスメント (p.217-223)<br>基礎看護技術 3章9節1項 フィジカルアセスメントテクニック (p.74-75) |

| 大項目      | 中項目           | 小項目                  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|----------|---------------|----------------------|---|
| 3 共通基本技術 | D フィジカルアセスメント | c 系統別のアセスメント         | <p><b>ヘルスアセスメント</b> 1章3節2項 解剖生理学の知識がベースになるフィジカルアセスメント (p.13-14) / 3章2節3項 さらに、どのようにアセスメントを進めていくか (p.47-51), 3節3項 さらに、どのようにアセスメントを進めていくか (p.57), 4節3項 さらに、どのようにアセスメントを進めていくか (p.63-64), 5節3項 さらに、どのようにアセスメントを進めていくか (p.72-73), 6節3項 さらに、どのようにアセスメントを進めていくか (p.82-83), 7節3項 さらに、どのようにアセスメントを進めていくか (p.90-91), 8節3項 さらに、どのようにアセスメントを進めていくか (p.102), 9節3項 さらに、どのようにアセスメントを進めていくか (p.117-119), 10節4項 さらに、どのようにアセスメントを進めていくか (p.130-132), 11節4項 さらに、どのようにアセスメントを進めていくか (p.138), 7項 さらに、どのようにアセスメントを進めていくか (p.140), 10項 さらに、どのようにアセスメントを進めていくか (p.142), 12節7項 さらに、どのようにアセスメントを進めていくか (p.159-160), 13節6項 さらに、どのようにアセスメントを進めていくか (p.177-178), 14節 系統別アセスメントと頭尾法を統合してみよう (p.180-184)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 3章9節2項 系統別のアセスメント (p.76), 10節 フィジカルアセスメントチェックリスト (p.76-83)</p> |
|          | E 感染予防        | a 感染の成立と予防           | <p><b>病態生理学</b> 1章5節3項 交叉感染を防ぐ基礎理論 (p.57-60)</p> <p><b>臨床微生物・医動物</b> 4章1節3項 感染成立の3要因と感染予防の基本 (p.186-187)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 5章1節 感染予防の意義 (p.98), 3節 感染症を成立させる要素と成立過程 (p.101-106), 4節1項 宿主の抵抗力を増強させるための看護技術 (p.107)</p> <p><b>周手術期看護</b> 5章4節 術後感染 (p.85-88)</p> <p><b>地域療養を支えるケア</b> 6章6節 感染予防のための援助 (p.222-223)</p> <p><b>医療安全</b> 7章1節1項 血液・体液を介する感染 (p.182)</p>  |
|          |               | b 標準予防策と感染経路別予防策     | <p><b>病態生理学</b> 1章5節3項 交叉感染を防ぐ基礎理論 (p.57-60)</p> <p><b>臨床微生物・医動物</b> 4章1節3項 感染成立の3要因と感染予防の基本 (p.186-187)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 5章6節 感染予防のための援助方法の選択 (p.118-121)</p> <p><b>周手術期看護</b> 5章4節 術後感染 (p.85-88)</p> <p><b>地域療養を支えるケア</b> 6章6節2項 感染症への対応 (p.222-223)</p> <p><b>医療安全</b> 7章2節1項 標準予防策 (スタンダードプリコーション) とは (p.184)</p> <p><b>災害看護</b> 6章1節2項 感染症対策の実際 (p.160-171) / 7章3節1項 心肺蘇生 (p.189-194)</p>   |
|          |               | c 手洗い, 消毒, 滅菌法, 無菌操作 | <p><b>基礎看護技術</b> 5章4節2項 微生物を伝播させないための看護技術 (p.107-114), 3項 感染源を死滅・減弱させるための看護技術 (p.115-117)</p> <p><b>地域療養を支えるケア</b> 6章6節2項 感染症への対応 (p.222-223)</p> <p><b>医療安全</b> 7章2節2項 標準予防策の内容と実際 (p.184-185)</p>   |
|          |               | d 感染性廃棄物の取り扱い        | <p><b>看護学概論</b> 9章4節5項 物品の管理 (p.204-205)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 5章4節4項 その他の援助技術 (p.117-118) / 19章6節 与薬における安全管理 (p.418-419)</p> <p><b>地域療養を支えるケア</b> 6章6節2項 感染症への対応 (p.222-223)</p> <p><b>医療安全</b> 7章2節5項 使用済み機材の適切な廃棄処理 (p.187)</p>   |
|          |               | e 感染拡大の防止の対応         | <p><b>病態生理学</b> 1章5節3項 交叉感染を防ぐ基礎理論 (p.57-60)</p> <p><b>基礎看護技術</b> 5章8節1項 感染症発症時の対応策 (p.122-123)</p> <p><b>医療安全</b> 7章2節2項 標準予防策の内容と実際 (p.184-185)</p>   |

| 大項目      | 中項目                 | 小項目                        | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |   |
|----------|---------------------|----------------------------|--|---|
| 3 共通基本技術 | F 安全管理〈セーフティマネジメント〉 | a 医療安全の概念と安全管理対策           | 臨床薬理学 1章3節1項 医薬品使用時に注意しなければならないこと (p.24-26)<br>看護学概論 11章3節 医療安全への取り組み (p.239-243)<br>基礎看護技術 6章1節 安全の意義と確保 (p.126-131)／19章6節 与薬における安全管理 (p.418-419)<br>医療安全 1章 医療安全と看護の理念 (p.12-28)／3章 事故発生のメカニズムとリスクマネジメント (p.62-98)／5章 看護における医療事故と安全対策 (p.122-163)／6章 在宅看護における医療事故と安全対策 (p.166-180)／7章 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策 (p.182-200) |   |
|          |                     | b 誤薬の起こりやすい状況と対策           | 基礎看護技術 6章2節2項 主な医療事故とその予防策 (p.136-137)<br>医療安全 5章2節1項 誤薬 (p.123-133)／6章2節2項 在宅看護における医療事故とその対応 (p.168-172)  |   |
|          |                     | c 転倒・転落の起こりやすい状況と対策        | 病態生理学 2章29節3項 アセスメント (p.239)<br>運動機能障害 8章3節 転倒の予防 (p.159-163)<br>基礎看護技術 6章2節2項 主な医療事故とその予防策 (p.132-134)<br>臨床看護総論 2章3節2項 病棟における日常生活動作再獲得のためのリハビリテーション (p.80-84)<br>小児看護技術 2章4節 事故を防止する環境づくり (p.45-51)<br>医療安全 5章2節4項 転倒転落 (p.137-146)／6章2節3項 在宅看護における介護事故とその対応 (p.172-173)   |   |
|          |                     | d チューブ・ライントラブルの起こりやすい状況と対策 | 基礎看護技術 6章2節2項 主な医療事故とその予防策 (p.134-135)<br>医療安全 5章2節9項 チューブ類のトラブル (p.157-161)／6章2節2項 在宅看護における医療事故とその対応 (p.168-172)  |   |
|          |                     | e 針刺し事故の起こりやすい状況と対策        | 基礎看護技術 5章4節4項 その他の援助技術 (p.117-118)<br>医療安全 5章2節3項 針刺し (p.136-137)／7章2節3項 針刺し・切創による感染防護策 (p.185-186)  |   |
|          | G 安楽確保              | a ケアを通じてもたらされる安楽           | 基礎看護技術 7章1節1項 安楽の定義 (p.140)／17章1節 安楽の意義 (p.352-353), 2節 基礎看護技術における安楽を確保するための援助 (p.353-354), 3節 安楽を確保する方法 (p.354-364)   |   |
|          |                     | b 安楽な姿勢・体位の特徴              | 基礎看護技術 7章1節2項 安楽な体位とは (p.140), 6項 安楽な体位の保持 (p.143-146)／17章3節1項 リラクゼーションを促す技術 (p.354-359)   |   |
|          |                     | c ボディメカニクスの原理と看護実践への活用     | 基礎看護技術 7章2節 ボディメカニクス (p.146-149)<br>医療安全 7章5節2項 腰痛 (p.196-197)   |   |
|          |                     | d 安楽を保つための医療環境の調整          | 基礎看護技術 4章2節 環境を整える技術 (p.86-94)／17章1節 安楽の意義 (p.352-353)   |   |
|          | H 終末時のケア            | a 死の兆候とケア                  | 基礎看護技術 22章4節1項 心理的ケア (p.458), 2項 身体的ケア (p.458-461), 5節1項 臨終前の身体的変化 (p.461), 2項 臨終後の身体的変化 (p.461-462)   |   |
|          |                     | b 死亡後のケア                   | 基礎看護技術 22章6節1項 死後の処置 (p.462-464), 3項 死亡後に必要な諸手続き (p.465-466)<br>緩和ケア 8章5節 臨終後のケア (p.220-222)   |   |
|          |                     | c 遺族へのかかわり(グリーフケア)         | 基礎看護技術 22章6節2項 遺族への関わり (p.464-465)   |   |
|          | 4 基本的日常生活援助技術       | A 環境の調整                    | a 環境の調整  | ヘルスアセスメント 2章1節1項 環境の調整 (p.18)<br>基礎看護技術 4章2節 環境を整える技術 (p.86-94), 3節 環境のアセスメント (p.94)<br>医療安全 9章3節1項 環境調整技術に伴うリスクと安全 (p.229-230) |
|          |                     |                            | b 病床の整備  | 基礎看護技術 4章2節2項 病室の環境と病床の整備 (p.88-90), 3項 病床を整える援助技術 (p.90)<br>医療安全 9章3節1項 環境調整技術に伴うリスクと安全 (p.229-230)                            |

| 大項目           | 中項目        | 小項目                      | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|---------------|------------|--------------------------|---|
| 4 基本的日常生活援助技術 | B 食事・栄養の援助 | a 食事・栄養の意義               | 臨床生化学 2章2節 糖類 (p.21-26), 3節 脂質 (p.26-32), 4節 アミノ酸とタンパク質 (p.33-38), 6節 ビタミン (p.43-49)<br>臨床栄養学 1章1節 臨床栄養学の意義と看護 (p.10-11)<br>基礎看護技術 13章1節 食事・栄養の意義 (p.262-263)   |
|               |            | b 健康な食生活と食事摂取基準, 治療食・療養食 | 病態生理学 2章8節4項 ケア (p.139), 9節4項 ケア (p.142-143)<br>臨床栄養学 2章2節1項 日本人の食事摂取基準 (2015年版) (p.66-97)/3章3節 人生各期における健康生活と栄養 (p.112-133)/4章 療養生活と栄養 (p.138-160)/5章 疾患別の食事療法 (p.164-193)<br>基礎看護技術 13章3節 食事と栄養に関する基礎知識 (p.267-275)<br>臨床看護総論 2章3節3項 急性期病院退院時の再発予防指導 (p.85-88)/3章4節10項 食事療法 (p.138)  |
|               |            | c 食事・栄養摂取に影響する要因         | 病態生理学 2章11節4項 ケア (p.151-152), 12節1項 嘔気・嘔吐とは (p.154)<br>栄養代謝機能障害 3章1節1項 特徴的な症状とその看護 (p.96-107)<br>基礎看護技術 13章2節1項 食欲に影響を及ぼす因子 (p.263-264), 2項 消化・吸収の生理学的メカニズム (p.264-267), 4節2項 食事を阻害する要因 (p.276-277)   |
|               |            | d 食事・栄養状態のアセスメント         | 臨床栄養学 1章3節 栄養アセスメント (p.44-50)<br>栄養代謝機能障害 3章1節1項 特徴的な症状とその看護 (p.96-107)<br>ヘルスアセスメント 6章3節2項 栄養/代謝パターンのアセスメント (p.262-268), 5節 アセスメントに活用できる資料 (p.308-320)<br>基礎看護技術 13章4節1項 客観的指標 (p.276)<br>臨床看護総論 2章3節3項 急性期病院退院時の再発予防指導 (p.85-88)/3章4節10項 食事療法 (p.138)   |
|               |            | e 食事摂取の自立困難な患者の援助        | 栄養代謝機能障害 3章1節1項 特徴的な症状とその看護 (p.96-107)<br>基礎看護技術 13章5節1項 経口栄養(摂取)法の援助 (p.278-281), 4項 経口摂取の援助 (p.285-286)<br>医療安全 9章3節2項 食事の援助技術に伴うリスクと安全 (p.230)   |
|               |            | f 嚥下障害のある患者の援助           | 病態生理学 2章11節4項 ケア (p.151-152)<br>臨床栄養学 4章4節 嚥下障害のある人のための食事 (p.153-156)<br>栄養代謝機能障害 3章1節1項 特徴的な症状とその看護 (p.96-107)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 3章2節10項 嚥下障害 (p.179-184)<br>基礎看護技術 13章5節1項 経口栄養(摂取)法の援助 (p.278-281), 2項 経管栄養の援助 (p.281-283), 3項 高カロリー輸液, 中心静脈栄養 (p.283-284), 4項 経口摂取の援助 (p.285-286)<br>臨床看護総論 2章3節4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92) |
|               |            | g 経管栄養法                  | 病態生理学 2章9節4項 ケア (p.142-143)<br>臨床栄養学 4章5節1項 経管栄養法 (p.157-159)<br>基礎看護技術 13章5節2項 経管栄養の援助 (p.281-283), 5項 経管栄養の援助(経鼻胃カテーテル法の場合) (p.286-287)<br>医療安全 9章3節2項 食事の援助技術に伴うリスクと安全 (p.230)   |
|               |            | h 経静脈栄養法                 | 病態生理学 2章9節4項 ケア (p.142-143)<br>臨床栄養学 4章5節2項 中心静脈栄養法 (p.159-160)<br>基礎看護技術 13章5節3項 高カロリー輸液, 中心静脈栄養 (p.283-284)   |
|               |            | C 排泄の援助                  | a 排泄の意義   |



| 大項目           | 中項目        | 小項目                       | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|---------------|------------|---------------------------|---|
| 4 基本的日常生活援助技術 | C 排泄の援助    | b 排泄に影響する要因               | <b>基礎看護技術</b> 14章1節 排尿・排便の意義 (p.290), 2節 排尿・排便の解剖生理学的メカニズム (p.290-292), 4節1項 排泄行動を阻害する活動・運動上の要因 (p.295), 2項 自然排尿を阻害する要因 (p.295-297), 3項 自然排便を阻害する要因 (p.297)   |
|               |            | c 排泄のアセスメント               | <b>ヘルスアセスメント</b> 6章3節3項 排泄パターンのアセスメント (p.269-274), 5節 アセスメントに活用できる資料 (p.308-320)<br><b>基礎看護技術</b> 14章3節 排尿・排便のニーズのアセスメント (p.292-294), 5節 排尿・排便の援助方法の選択 (p.297-311)  |
|               |            | d 自然な排便・排尿を促す援助           | <b>基礎看護技術</b> 14章5節1項 床上での排尿・排便の援助 (p.297-299), 5項 自然排尿・排便を促す方法 (p.303)   |
|               |            | e トイレ歩行・ポータブルトイレでの排泄の援助方法 | <b>基礎看護技術</b> 14章5節3項 ポータブルトイレ, トイレでの援助 (p.301)<br><b>医療安全</b> 9章3節3項 排泄援助技術に伴うリスクと安全 (p.231)   |
|               |            | f 床上での排泄の援助               | <b>基礎看護技術</b> 14章5節1項 床上での排尿・排便の援助 (p.297-299), 2項 おむつを用いた援助 (p.300-301), 6節 技術の評価 (チェックリストの活用) (p.311-315)   |
|               |            | g 浣腸・摘便                   | <b>基礎看護技術</b> 14章5節7項 浣腸 (p.307-309), 8項 摘便 (p.309-311), 6節 技術の評価 (チェックリストの活用) (p.314-315)  |
|               |            | h 膀胱留置カテーテルの挿入と管理         | <b>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害</b> 8章3節1項 脳血管障害による排尿障害のある患者の膀胱留置カテーテルの管理 (p.160-163)<br><b>基礎看護技術</b> 14章5節6項 導尿 (p.303-307), 6節 技術の評価 (チェックリストの活用) (p.313-314)   |
|               |            | i 尿失禁・便失禁のある患者の援助         | <b>病態生理学</b> 2章43節4項 尿失禁 (p.312-313)<br><b>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害</b> 8章3節2項 腹圧性尿失禁のある女性患者の運動訓練と生活指導 (p.163-167)<br><b>基礎看護技術</b> 14章5節2項 おむつを用いた援助 (p.300-301), 6節 技術の評価 (チェックリストの活用) (p.311-315)   |
|               | D 活動と休息の援助 | a 活動・運動の意義                | <b>基礎看護技術</b> 10章1節 活動・運動の意義 (p.188)<br><b>臨床看護総論</b> 2章3節3項 急性期病院退院時の再発予防指導 (p.85-88)／3章4節11項 運動療法 (p.138-139)   |
|               |            | b 活動・運動に影響する要因            | <b>基礎看護技術</b> 10章2節 活動・運動の生理学的メカニズム (p.188-191), 3節1項 活動・運動の内容 (p.192-193), 2項 活動・運動の客観的指標 (p.192), 3項 活動・運動を阻害する要因 (p.192-193)<br><b>臨床看護総論</b> 3章4節11項 運動療法 (p.138-139)   |
|               |            | c 活動・運動のアセスメント            | <b>ヘルスアセスメント</b> 6章3節4項 活動／運動パターンのアセスメント (p.274-279), 5節 アセスメントに活用できる資料 (p.308-320)<br><b>基礎看護技術</b> 10章3節 活動・運動のニーズのアセスメント (p.191-194), 4項 活動・運動のニーズを充足させるためのフローチャート (p.193-194)<br><b>臨床看護総論</b> 2章3節3項 急性期病院退院時の再発予防指導 (p.85-88)／3章4節11項 運動療法 (p.138-139)<br><b>医療安全</b> 9章3節4項 活動・休息援助技術に伴うリスクと安全 (p.231-232) |
|               |            | d 体位変換                    | <b>基礎看護技術</b> 10章5節1項 体位変換における留意点 (p.196), 2項 ささまざまな場面における体位変換の援助 (p.196-200), 6節 技術の評価 (チェックリストの活用) (p.212-213)<br><b>医療安全</b> 9章3節4項 活動・休息援助技術に伴うリスクと安全 (p.231-232)   |
|               |            | e 床上運動・活動の援助              | <b>基礎看護技術</b> 10章5節3項 床上運動 (p.201-204)<br><b>医療安全</b> 9章3節4項 活動・休息援助技術に伴うリスクと安全 (p.231-232)   |

| 大項目           | 中項目         | 小項目                        | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|---------------|-------------|----------------------------|--|
| 4 基本的日常生活援助技術 | D 活動と休息の援助  | f 歩行時の援助                   | 基礎看護技術 10章5節4項 立位と歩行 (p.205-207), 6節 技術の評価 (チェックリストの活用) (p.213)<br>医療安全 9章3節4項 活動・休息援助技術に伴うリスクと安全 (p.231-232)  |
|               |             | g 車椅子への移乗, 車椅子での移動・移送      | 基礎看護技術 10章5節5項 移動・移送 (p.208-211), 6節 技術の評価 (チェックリストの活用) (p.214-215)<br>臨床看護総論 2章3節2項 病棟における日常生活動作再獲得のためのリハビリテーション (p.80-84)<br>医療安全 9章3節4項 活動・休息援助技術に伴うリスクと安全 (p.231-232)  |
|               |             | h ストレッチャーへの移動, ストレッチャーでの移送 | 基礎看護技術 10章5節5項 移動・移送 (p.208-211), 6節 技術の評価 (チェックリストの活用) (p.214-215)  |
|               |             | i 療養生活におけるレクリエーション         | 基礎看護技術 11章5節1項 休息の援助技術 (p.228-229)   |
|               |             | j 休息・睡眠の意義                 | 病態生理学 2章46節1項 睡眠障害とは (p.321)<br>基礎看護技術 11章1節 休息・睡眠の意義 (p.218-219), 2節2項 休息と疲労 (p.220), 3項 睡眠の分類と役割 (p.220-222)   |
|               |             | k 休息・睡眠に影響する要因             | 病態生理学 2章46節2項 病態生理 (p.321-323)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 1章7節 呼吸器系におけるその障害—睡眠時無呼吸症候群 (p.58-59)<br>基礎看護技術 11章2節 休息・睡眠の生理学的メカニズム (p.219-224), 4項 睡眠の調節 (p.222-223), 5項 睡眠の多様性 (p.224), 4節1項 休息 (p.226), 2項 睡眠 (p.226-227)                                   |
|               |             | l 休息・睡眠のアセスメント             | 病態生理学 2章46節3項 アセスメント (p.323-326)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 1章7節 呼吸器系におけるその障害—睡眠時無呼吸症候群 (p.58-59)<br>ヘルスアセスメント 6章3節5項 睡眠／休息パターンのアセスメント (p.279-281), 5節 アセスメントに活用できる資料 (p.308-320)<br>基礎看護技術 11章3節 休息・睡眠のニーズに関するアセスメント (p.225), 4節 障害の種類 (看護診断) (p.226-227) |
|               |             | m 休息・睡眠を促す援助               | 病態生理学 2章46節4項 ケア (p.326-328)<br>基礎看護技術 11章5節 休息・睡眠を促す方法の選択 (p.228-232)<br>医療安全 9章3節4項 活動・休息援助技術に伴うリスクと安全 (p.231-232)   |
|               | E 清潔・衣生活の援助 | a 清潔・衣生活の意義                | 基礎看護技術 12章1節 清潔の意義 (p.234)   |
|               |             | b 清潔・衣生活に影響する要因            | 基礎看護技術 12章2節1項 皮膚・粘膜の機能 (p.234-235), 3節3項 清潔のニーズを阻害する要因 (p.239)  |
|               |             | c 清潔・衣生活のアセスメント            | 基礎看護技術 12章3節 清潔のニーズのアセスメント (p.238-239), 4節 障害の種類 (看護診断) (p.240), 5節 援助方法の選択 (p.240-255)<br>医療安全 9章3節5項 清潔・衣生活援助技術に伴うリスクと安全 (p.233-234)   |
|               |             | d 清潔行動・衣生活の自立度に応じた援助       | 基礎看護技術 12章3節4項 身体の清潔・衣生活のニーズを充足させる本人のセルフケアの程度 (p.239), 5節 援助方法の選択 (p.240-255)<br>医療安全 9章3節5項 清潔・衣生活援助技術に伴うリスクと安全 (p.233-234)   |
|               |             | e 身体各部の清潔の援助               | 基礎看護技術 12章5節 援助方法の選択 (p.240-255), 6節 技術の評価 (チェックリストの活用) (p.256-259)<br>小児看護技術 5章 清潔・衣生活の援助技術 (p.114-132)   |
|               | 5 診療に伴う技術   | A 呼吸・循環・体温調整               | a 呼吸・循環・体温調整のアセスメント  |

| 大項目       | 中項目           | 小項目                 | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-----------|---------------|---------------------|---|
| 5 診療に伴う技術 | A 呼吸・循環・体温調整  | a 呼吸・循環・体温調整のアセスメント | 基礎看護技術 3章3節2項 呼吸の測定部位と測定時のポイント (p.60-61), 4章3節3項 体温の測定方法と測定時のポイント (p.62-63) / 15章3節 呼吸のニーズに関するアセスメント (p.320-323), 4節 障害の種類 (看護診断) (p.323-324), 5節1項 効率的な呼吸方法 (p.324-326), 2項 痰を喀出させる方法 (p.326-329)  |
|           |               | b 呼吸を楽にする姿勢・呼吸法     | 病態生理学 2章1節4項 ケア (p.103-104)<br>呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章4節3項 呼吸困難・排痰困難時の呼吸理学療法 (p.105-106)<br>看護学概論 7章5節3項 生命活動を支える援助技術 (p.167)<br>基礎看護技術 15章5節1項 効率的な呼吸方法 (p.324-326) / 17章3節1項 リラクゼーションを促す技術 (p.354-359)<br>セルフマネジメント 9章2節3項 パニック時の安楽な体位と呼吸法 (p.138-139) |
|           |               | c 血圧・血流を保持する姿勢      | 病態生理学 2章6節4項 ケア (p.128-130)<br>基礎看護技術 7章1節4項 体位と生理学的要素との関係 (p.140-142) / 10章2節2項 体位変化とバイタルサイン (p.190)   |
|           |               | d 酸素吸入の適応と方法        | 病態生理学 2章6節4項 ケア (p.128-130)<br>呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章2節4項 呼吸困難 (p.91-92)<br>基礎看護技術 15章5節3項 吸入療法 (p.329-331), 4項 酸素療法 (p.331-334), 5項 人工呼吸 (p.334-335)   |
|           |               | e 口腔内・鼻腔内・気管内吸引     | 呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章4節4項 人工呼吸療法 (p.106-110)<br>基礎看護技術 15章5節3項 吸入療法 (p.329-331) / 18章4節3項 吸引 (p.386-389)   |
|           |               | f 胸腔ドレナージの管理        | 呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章3節1項 胸腔鏡下手術 (p.96-99)<br>基礎看護技術 18章4節3項 吸引 (p.388)<br>周手術期看護 7章2節3項 気胸の手術を受ける人の看護 (p.118-121)   |
|           |               | g 排痰法               | 病態生理学 2章1節4項 ケア (p.103-104)<br>呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章4節3項 呼吸困難・排痰困難時の呼吸理学療法 (p.105-106)<br>基礎看護技術 15章5節2項 痰を喀出させる方法 (p.326-329)<br>セルフマネジメント 9章2節2項 気道感染の予防: 痰を効果的に喀出するためのマネジメント (p.138)  |
|           |               | h 温罨法・冷罨法           | 基礎看護技術 16章4節 罨法の効果 (p.344-349)  |
|           |               | i 保温・体温管理           | 病態生理学 2章40節4項 ケア (p.292-293, 297-298)<br>看護学概論 7章5節3項 生命活動を支える援助技術 (p.167)<br>基礎看護技術 16章2節 体温の恒常性 (p.338-341), 4節1項 温罨法 (p.344-347), 2項 冷罨法 (p.347-348)   |
|           |               | B 創傷管理              | a 創傷の治癒過程   |
|           | b 創傷のアセスメント   |                     | 基礎看護技術 20章5節 創傷治癒の過程と形式 (p.427-428), 6節1項 創傷処置の準備と留意事項 (p.428), 2項 皮膚・創傷の観察 (p.428-429)<br>臨床看護総論 3章4節4項 創傷処置 (p.133-134)   |
|           | c 褥瘡の予防と治癒の促進 |                     | 病態生理学 2章9節4項 ケア (p.142-143)<br>運動機能障害 5章2節 生活や行動の制限に由来する運動機能障害 (p.73-74)<br>基礎看護技術 20章4節 褥瘡 (p.424)<br>医療安全 5章2節7項 皮膚障害 (p.149-152)   |
|           | d ドレッシング・包帯法  |                     | 基礎看護技術 20章6節3項 創傷処置に用いられる物品とその取り扱い (p.429), 4項 創傷処置 (創傷の保護) (p.429-435)<br>臨床看護総論 3章4節4項 創傷処置 (p.133-134)   |

| 大項目       | 中項目           | 小項目   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-----------|---------------|---|---|
| 5 診療に伴う技術 | C 与薬          | a 与薬における看護師の役割                              | 基礎看護技術 19章1節 与薬とは (p.394), 2節 与薬における法的根拠 (p.394-395), 4節1項 安全で確実な与薬のための援助の知識・技術・態度 (p.399-400)  |
|           |               | b 薬物療法の基本                                   | 臨床薬理学 2章9節 生活習慣病に伴う脳血管障害(急性期)(p.61-65)/6章1節 医薬品投与に関連する緊急状態(p.144-145)/7章1節2項 気管拡張薬 (p.161-165), 3項ステロイド(吸入・注射)(p.165-168), 4項 抗アレルギー薬 (p.168-169), 3節 関節リウマチと薬物療法 (p.173-181)<br>基礎看護技術 19章1節 与薬とは (p.394), 2節 与薬における法的根拠 (p.394-395), 3節 与薬のための基礎知識 (p.395-399)  |
|           |               | c 薬剤の種類と取り扱い方法                              | 臨床薬理学 1章1節3項 医薬品の分類 (p.12-16), 3節1項 医薬品使用時に注意しなければならないこと (p.24-26), 2項 医薬品添付文書の読み方 (p.26-28)/6章5節 麻酔時に使用する薬 (p.150-155)/7章1節1項 気管支喘息に使用する薬の分類 (p.158-161)<br>医療関係法規 6章1節 医薬品, 医療機器等の品質, 有効性及び安全性の確保等に関する法律 (p.82-89)<br>基礎看護技術 19章3節6項 薬剤の種類 (p.397-399)  |
|           |               | d 与薬方法と効果の観察                                | 基礎看護技術 19章4節2項 与薬法 (p.400-403), 5節2項 注射の実際 (p.407-418)  |
|           | D 救命救急処置      | a 生命の危機的状況のアセスメント                           | 病態生理学 2章13節2項 病態生理 (p.158-159), 3項 アセスメント (p.159-160)<br>基礎看護技術 21章1節 救急時における迅速な介入の必要性 (p.438), 2節 救急時における看護師の役割 (p.438), 3節1項 心肺蘇生 (p.441-444), 2項 除細動 (p.445-446)<br>臨床看護総論 3章2節2項 急性期 (p.109-111), 4節8項 救急蘇生法 (p.136-137)<br>災害看護 7章3節1項 心肺蘇生 (p.189-194)  |
|           |               | b 一次救命処置                                    | 基礎看護技術 21章3節 一次救命処置 (p.439-448)<br>臨床看護総論 3章4節8項 救急蘇生法 (p.136-137)<br>災害看護 7章3節1項 心肺蘇生 (p.189-194)  |
|           |               | c 止血法                                       | 基礎看護技術 21章4節 応急処置 (p.448-449)<br>災害看護 7章3節2項 搬送技術 (p.194-198)   |
|           |               | d 胃洗浄                                       | 基礎看護技術 18章4節2項 洗浄 (p.386)/21章3節4項 胃洗浄 (p.448)   |
|           | E 生体機能のモニタリング | a 診察・検査時の看護師の役割                             | 基礎看護技術 18章1節2項 検査における看護師の役割 (p.368), 3項 検査の種類と実施時の注意点 (p.368-369), 4節1項 治療・処置時の対象者の理解と看護師の役割と責任 (p.385-386)<br>臨床看護総論 2章3節1項 救急搬送から SCU入室 (rt-PA) 施行まで (p.74-79)  |
|           |               | b 検体検査(尿, 便, 喀痰, 血液, 胸水, 腹水, 髄液)            | 病態生理学 2章1節3項 アセスメント (p.100-103), 45節 尿所見異常 (p.317-320)<br>呼吸機能障害/循環機能障害 4章2節2項 胸水 (p.89-90)<br>基礎看護技術 18章1節3項 検査の種類と実施時の注意点 (p.368-369), 3節6項 尿・便・喀痰検査 (p.376-378), 7項 採血 (p.378-379), 8項 穿刺法 (p.379-383)   |
|           |               | c 生体検査                                      | 病態生理学 2章1節3項 アセスメント (p.100-103)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 8章1節2項 臨床検査と看護 (p.151-153)<br>基礎看護技術 18章1節3項 検査の種類と実施時の注意点 (p.368-369), 3節1項 X線単純撮影検査 (p.372-373), 2項 超音波検査 (p.373), 3項 CT検査 (p.373-374), 4項 内視鏡検査 (p.374-375), 5項 心電図検査 (p.375-376), 9項 核医学検査 (p.383-384), 10項 基礎代謝検査 (p.384), 11項 呼吸機能検査 (p.384-385) |
|           |               | d 経皮的動脈血酸素飽和度 (SpO <sub>2</sub> ) の測定, 血糖測定 | 病態生理学 2章5節3項 アセスメント (p.123)<br>呼吸機能障害/循環機能障害 4章1節1項 呼吸機能障害のアセスメント (p.80-86)<br>基礎看護技術 18章4節4項 ME機器の取り扱いとモニタリング (p.389-390)  |

| 大項目       | 中項目           | 小項目                 | ナーシング・グラフィカ 該当箇所                                    |
|-----------|---------------|---------------------|---|
| 5 診療に伴う技術 | E 生体機能のモニタリング | e ME 機器の取り扱いとモニタリング | <b>基礎看護技術</b> 18章4節4項 ME 機器の取り扱いとモニタリング (p.389-390) |

**目標Ⅲ. 保健・医療・福祉の中で看護の果たす役割について基本的な理解を問う。**

| 大項目               | 中項目               | 小項目                             | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-------------------|-------------------|---------------------------------|---|
| 6 看護の役割と機能を支える仕組み | A 看護の場に応じた活動と専門分化 | a 在宅における看護活動                    | <b>基礎看護技術</b> 9章4節1項 ある医療機関から在宅療養へ移行する場合の看護の継続 (p.181-182), 4項 在宅ケアチーム内での看護の継続 (p.184-185)<br><b>臨床看護総論</b> 3章1節1項 看護活動の場 (p.102-104)<br><b>地域療養を支えるケア</b> 3章1節3項 訪問看護における看護職 (p.70-73)<br><b>看護管理</b> 1章2節1項 施設ではどのような看護を行うか (p.21-34)<br><b>医療安全</b> 6章 在宅看護における医療事故と安全対策 (p.166-180) |
|                   |                   | b 医療施設における看護活動                  | <b>臨床看護総論</b> 1章3節1項 看護師が活動する領域と場 (p.14-15) / 3章1節1項 看護活動の場 (p.102-104)<br><b>看護管理</b> 1章2節1項 施設ではどのような看護を行うか (p.21-34)   |
|                   |                   | c 保健福祉施設における看護活動                | <b>臨床看護総論</b> 1章3節1項 看護師が活動する領域と場 (p.14-15) / 3章1節1項 看護活動の場 (p.102-104)<br><b>看護管理</b> 1章2節1項 施設ではどのような看護を行うか (p.21-34)   |
|                   |                   | d 看護職の各種資格と活動 (認定看護師, 専門看護師の活動) | <b>看護学概論</b> 14章2節 専門職としての看護組織 (p.271-273)<br><b>臨床看護総論</b> 2章3節2項 病棟における日常生活動作再獲得のためのリハビリテーション (p.80-84) / 3章1節3項 チーム医療の機会 (p.105-108)<br><b>看護管理</b> 6章1節3項 継続教育 (p.154-156)<br><b>災害看護</b> 10章2節1項 災害看護を学ぶ意味 (p.242-243)   |
|                   | B 継続看護            | a 施設内における継続                     | <b>リハビリテーション看護</b> 4章3節1項 組織と職種による情報共有 (p.64-71)  |
|                   |                   | b 施設間における継続                     | <b>基礎看護技術</b> 9章4節2項 ある医療機関から別の医療機関へと転院する場合の看護の継続 (p.182-183)<br><b>臨床看護総論</b> 2章3節2項 病棟における日常生活動作再獲得のためのリハビリテーション (p.80-84) / 3章1節1項 看護活動の場 (p.102-104)<br><b>リハビリテーション看護</b> 4章3節2項 地域医療連携における情報共有 (p.71-74)  |
|                   |                   | c 退院調整                          | <b>基礎看護技術</b> 9章5節1項 退院時看護要約 (看護サマリー) (p.185)<br><b>臨床看護総論</b> 2章2節2項 周術期:術前・術後の看護 (p.55-58), 3節3項 急性期病院退院時の再発予防指導 (p.85-88)<br><b>周手術期看護</b> 6章2節2項 療養生活の場の調整 (退院調整活動) (p.102-105)<br><b>地域療養を支えるケア</b> 4章1節1項 継続看護と退院調整 (p.94-101)  |
|                   | C 保健・医療・福祉の連携     | a 保健・医療・福祉のチームにおける看護職の役割・活動     | <b>看護学概論</b> 10章3節2項 チームの中における看護者のコーディネート機能 (p.218)<br><b>臨床看護総論</b> 3章6節1項 多職種との連携と協働が必要なこと (p.153-154)<br><b>医療安全</b> 6章3節2項 他職種との協働と今後の課題 (p.179-180)<br><b>災害看護</b> 4章2節4項 地域医療との連携 (p.90-91)   |
|                   |                   | b 他職種との連携                       | <b>公衆衛生</b> 5章7節 ネットワークの意義と活用 (p.94-98)<br><b>地域療養を支えるケア</b> 4章2節 在宅ケアにおける関連機関・関係職種との連携・協働 (p.118-123)<br><b>医療安全</b> 6章3節2項 他職種との協働と今後の課題 (p.179-180)<br><b>災害看護</b> 1章2節6項 復旧復興期:~3年一心身ともに健康な生活, そして夢と希望を取り戻すための活動 (p.33-34)  |

| 大項目               | 中項目                 | 小項目                  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-------------------|---------------------|----------------------|---|
| 6 看護の役割と機能を支える仕組み | C 保健・医療・福祉の連携       | c 保健・医療・福祉の連携を支えるしくみ | 公衆衛生 5章7節 ネットワークの意義と活用 (p.94-98)  |
|                   |                     | D 看護管理               | a 看護管理の概念   |
|                   | b 看護組織と職務           |                      | 看護学概論 11章1節2項 マネジメントの対象となる資源 (p.232-234)<br>臨床看護総論 3章5節3項 看護師の業務とは：組織で働く (p.150)<br>看護管理 2章2節4項 組織とその構造 (p.50-52), 5項 マネジャーの仕事とその役割 (p.52-53), 3節5項 組織の目標を達成する (p.66-69)/5章1節2項 看護部門の組織はどうなっているか (p.136-139)                              |
|                   | c 看護業務管理と看護基準       |                      | 看護学概論 1章3節2項 看護業務基準 (p.30)/11章1節3項 看護のマネジメント・プロセス (p.234-236)<br>臨床看護総論 3章5節2項 看護師の業務とは：職能団体の社会的声明から (p.147-150), 7節1項 臨床看護を学ぶための理論 (p.160-163)<br>看護管理 2章3節2項 看護業務の管理 (p.60-62)  |
|                   | d 安全管理<セーフティマネジメント> |                      | 看護学概論 11章3節2項 医療事故発生への危機感 (p.240-241)<br>看護管理 3章4節1項 安全って何? (p.97-99)<br>医療安全 1章 医療安全と看護の理念 (p.12-28)/3章 事故発生のメカニズムとリスクマネジメント (p.62-98)/5章 看護における医療事故と安全対策 (p.122-163)/6章 在宅看護における医療事故と安全対策 (p.166-180)/7章 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策 (p.182-200) |
|                   | e 看護提供システム          |                      | 看護学概論 11章1節3項 看護のマネジメント・プロセス (p.234-236)<br>看護管理 3章1節1項 看護サービスはどのようにして提供されるのか (p.78-81)   |
|                   | f 継続教育, キャリア開発      |                      | 看護学概論 14章1節 看護に求められる教育 (p.270-271), 2節 専門職としての看護組織 (p.271-273)<br>看護管理 6章1節3項 継続教育 (p.154-156), 3節1項 生涯学習とリカレント教育 (p.157-162)<br>医療安全 4章2節1項 医療安全管理者 (p.110-113)  |
|                   | g 看護職員の労働安全衛生       |                      | 医療安全 7章5節1項 シフトワークに伴う生体リズムの乱れ (p.195-196)<br>災害看護 5章2節1項 支援者の心理過程 (p.148-151), 2項 被災地における医療者の心理—医師と看護師を中心に (p.151-154)  |
|                   | E 看護制度, 看護行政        | a 看護制度の変遷            | 看護学概論 1章4節 看護の変遷 (p.36-48)  |
|                   |                     | b 看護教育制度の変遷          | 看護学概論 1章2節3項 看護実践のための教育の準備 (p.24-26)<br>看護管理 6章1節1項 看護基礎教育 (p.152-153)  |
|                   |                     | c 看護行政の組織            | 看護管理 7章2節1項 厚生労働省 (p.170-171)   |
|                   |                     | d 看護にかかわる診療報酬        | 看護学概論 10章5節2項 診療報酬による評価 (p.224-228)<br>看護管理 5章2節3項 経営活動と看護管理はどう関係しているか (p.145-147)  |
|                   |                     | e 看護職員の確保            | 医療関係法規 3章3節 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.34-35)<br>看護学概論 1章5節2項 看護における人材の確保 (p.52-56)<br>看護管理 7章1節2項 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.168-169)  |

| 大項目               | 中項目          | 小項目         | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-------------------|--------------|-------------|---|
| 6 看護の役割と機能を支える仕組み | E 看護制度, 看護行政 | f 看護職員の労働環境 | <p><b>看護学概論</b> 9章4節2項 看護師が働く場としての安全・健康 (p.202)</p> <p><b>災害看護</b> 5章2節1項 支援者の心理過程 (p.148-151), 2項 被災地における医療者の心理—医師と看護師を中心に (p.151-154)</p> |





# 成人看護学

## 目標Ⅰ. 成人各期の健康保持や疾病予防について基本的な理解を問う。

| 大項目                    | 中項目               | 小項目                    | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|------------------------|-------------------|------------------------|--|
| 1 成人の特徴と生活             | A 成人の生涯発達の特徴      | a 青年期・壮年期・向老期の身体の特徴    | 成人看護学概論 2章 成長発達の特徴 (p.20-43)   |
|                        |                   | b 青年期・壮年期・向老期の心理社会的な特徴 | 成人看護学概論 1章3節1項 人間の成長発達と成人期 (p.14-17) / 2章 成長発達の特徴 (p.20-43)  |
|                        | B 成人と生活           | a 家族形態と機能              | 成人看護学概論 2章2節1項 家族における役割 (p.32-35) / 4章2節3項 成人各期における生活の特徴 (p.84-89)<br>情緒発達と看護の基本 7章1節3項 家族の変遷 (p.103-105)  |
|                        |                   | b 社会状況の変化と成人の生活        | 成人看護学概論 2章2節2項 社会における役割 (p.34-35) / 4章2節 成人の生活の理解 (p.75-89) / 11章1節 余暇とは何か (p.182-183), 2節 成人期の余暇活動の特徴 (p.183-184)<br>健康危機状況 / セルフケアの再獲得 2章3節1項 生活行動とは (p.84-85)     |
| 2 成人における健康の保持・増進・疾病の予防 | A 生活習慣に関連する健康問題   | a 生活習慣病の発症因子と予防        | 臨床薬理学 2章1節 生活習慣病 (p.36-37)<br>臨床栄養学 3章3節4項 成人期 (p.121-122)<br>成人看護学概論 2章3節2項 壮年期にある人の健康問題 (p.38-39) / 3章3節3項 生活習慣・生活行動による影響 (p.59-64) / 7章 生活習慣に関連する健康障害 (p.130-143) |
|                        |                   | b 生活習慣病の発生状況           | 成人看護学概論 7章1節1項 生活習慣病の種類と発症状況 (p.131)   |
|                        | B 職業に関連する健康問題     | a 就労条件・環境と病気           | 成人看護学概論 4章2節2項 生活の場 (p.77-84) / 8章2節 職業性疾病の予防と対応 (p.147-151)   |
|                        |                   | b 職業性疾患の発生状況と予防        | 成人看護学概論 8章 職業に関連する健康障害 (p.146-154)   |
|                        | C 生活ストレスに関連する健康問題 | a 生活ストレスと健康問題          | 病態生理学 2章8節1項 原因と分類 (p.136)<br>成人看護学概論 3章3節3項 生活習慣・生活行動による影響 (p.59-64) / 9章 生活ストレスに関連する健康障害 (p.156-165) / 15章1節 ストレスとは (p.226-230)                                    |
|                        |                   | b ストレス関連疾患の発生状況        | ヘルスアセスメント 6章3節10項 コーピング / ストレス耐性パターンのアセスメント (p.295-299)  |
|                        |                   | c ストレス対処方法             | 看護学概論 2章4節4項 ストレスを軽減させる看護活動 (p.72-77)<br>成人看護学概論 9章3節 ストレス関連疾患の予防と対応 (p.160-165) / 15章3節 ストレスマネジメント (p.233-234), 4節 事例で考えるストレスマネジメント (p.234-236)                     |

目標Ⅱ. 成人の健康問題に応じた看護について基本的な理解を問う。

| 大項目       | 中項目             | 小項目  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-----------|-----------------|--|---|
| 3 急性・重症看護 | A 急性・重症患者と家族の特徴 | a 急性・重症患者の特徴   | 呼吸機能障害／循環機能障害 8章1節2項 心身・日常生活への栄養影響 (p.198-199)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章4節1項 健康危機状況にある人の心理的・精神的状態 (p.95-98)／3章2節1項 緊急入院患者の健康危機状況 (p.127), 3節1項 ICU・CCU入室患者の健康危機状況 (p.133)<br>災害看護 1章1節6項 災害関連死 (p.23-25)   |
|           |                 | b 急性・重症患者の家族の特徴  | 臨床看護総論 2章1節3項 CCUでの経過観察 (p.35-37)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章2節6項 家族および重要他者の不安や負担への支援 (p.30-31)／2章5節2項 家族についてのアセスメント方法 (p.109-115)／3章1節2項 事例で考える病棟入院患者の看護 (p.123-124)  |
|           | B 急性・重症患者の看護    | a 緊急性と重症度のアセスメント(意識レベル, バイタルサイン, 神経学的所見, 動脈血酸素飽和度 (SpO <sub>2</sub> )) | 病態生理学 2章13節3項 アセスメント (p.159-160), 4項 ケア (p.160-161), 24節3項 アセスメント (p.214-216)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 4章1節1項 呼吸機能障害のアセスメント (p.80-86)／8章1節1項 循環機能障害のアセスメント (p.194-198), 2項 心身・日常生活への栄養影響 (p.198-199)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節2項 意識障害 (p.142-146)<br>基礎看護技術 21章3節1項 心肺蘇生 (p.441-444)<br>臨床看護総論 2章1節2項 病院廊下で心停止 (p.31-34), 5項 外出先にて再発作を起こし急逝 (p.46-48), 3節1項 救急搬送からSCU入室 (rt-PA) 施行まで (p.74-79)／3章4節8項 救急蘇生法 (p.136-137)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章3節2項 救命救急治療を必要とする状況 (p.36-42)／2章2節2項 身体機能悪化への対応方法 (p.77-81)<br>災害看護 7章3節1項 心肺蘇生 (p.189-194) |
|           |                 | b 心肺停止状態への対応(応援要請の方法, 気道確保の方法, 胸骨圧迫法, AEDの使用法)                         | 病態生理学 2章3節3項 アセスメント (p.113)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 8章2節1項 ショック (p.200)<br>基礎看護技術 21章3節2項 除細動 (p.445-446)<br>臨床看護総論 2章1節2項 病院廊下で心停止 (p.31-34)／3章4節8項 救急蘇生法 (p.136-137)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章3節2項 救命救急治療を必要とする状況 (p.36-42)<br>災害看護 7章3節1項 心肺蘇生 (p.189-194), 2項 搬送技術 (p.194-197)  |
|           |                 | c 気管内挿管時の援助(気道確保の方法, 気管内挿管法)   | 病態生理学 2章24節4項 ケア (p.216-218)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 4章4節4項 人工呼吸療法 (p.106-109)<br>基礎看護技術 21章3節1項 心肺蘇生 (p.441-444)<br>災害看護 7章3節2項 搬送技術 (p.194-197)  |
|           |                 | d 急性中毒への対処(化学物質・薬物)  | 臨床薬理学 6章3節 医薬品に関連した中毒の治療に使用する薬 (p.147-148)  |
|           |                 | e 外傷・熱傷・凍傷・骨折の応急処置   | 呼吸機能障害／循環機能障害 1章5節3項 代表的な胸部外傷と治療 (p.52-53)  |
|           |                 | f 熱中症への対処  | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 5章2節1項 高体温のアセスメントと対応 (p.114-117)／9章1節1項 熱中症の予防 (p.180-181)  |
|           |                 | g 感染症への対処  | 呼吸機能障害／循環機能障害 1章6節3項 代表的な呼吸器感染症と治療 (p.56)<br>基礎看護技術 5章8節2項 対象感染症別の施設内での対応 (p.123)<br>災害看護 6章1節2項 感染症対策の実際 (p.160-171)   |
|           |                 | h 食中毒への対処  | 臨床微生物・医動物 2章3節2項 食中毒の予防・治療 (p.59-61)<br>災害看護 6章1節2項 感染症対策の実際 (p.160-171)  |

| 大項目       | 中項目          | 小項目   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|-----------|--------------|---|--|
| 3 急性・重症看護 | B 急性・重症患者の看護 | i 危機的状態への精神的支援                                  | 臨床看護総論 3章4節8項 救急蘇生法 (p.136-137)<br>成人看護学概論 16章 危機 (p.238-245)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章2節5項 心理的・精神的混乱への支援 (p.28-30)／2章4節3項 健康危機状況にある人の心理的・精神的安定を図るための看護方法 (p.102-103)／3章2節2項 事例で考える緊急入院患者の看護 (p.127-132)  |
|           | C 周術期の看護     | a 手術療法の理解を促す援助                                  | 健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章3節1項 手術等の侵襲的治療を予定して受ける状況 (p.32-36)  |
|           |              | b 手術の意思決定への援助                                   | 健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章3節1項 手術等の侵襲的治療を予定して受ける状況 (p.32-36)<br>周手術期看護 3章1節 主体的な治療参加への支援 (p.46-50)  |
|           |              | c 術後合併症のリスクアセスメント(呼吸器合併症, 血栓塞栓症, 術後イレウス, 術後せん妄) | 呼吸機能障害／循環機能障害 4章3節1項 胸腔鏡下手術 (p.96-99)<br>臨床看護総論 2章2節2項 周術期:術前・術後の看護 (p.55-58)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章2節1項 身体機能悪化の予期 (p.73-76)<br>周手術期看護 1章3節 麻酔が及ぼす影響の遷延の可能性を予測する (p.26-32)／3章2節1項 全身状態のアセスメント (p.51-52)／4章2節1項 術前の情報収集と患者・家族への情報提供 (p.63-65)／5章 術後合併症予防と発症時の援助 (p.76-93)／17章2節 既往疾患を抱えながら手術を受ける患者への周手術期の看護 (p.262-264)       |
|           |              | d 術前指導(抗凝固薬の内服指導, 禁煙・呼吸訓練指導, 足関節の底屈・背屈訓練)       | 呼吸機能障害／循環機能障害 4章3節1項 胸腔鏡下手術 (p.96-99)<br>臨床看護総論 2章2節2項 周術期:術前・術後の看護 (p.55-58)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 3章1節2項 事例で考える病棟入院患者の看護 (p.122-123)<br>周手術期看護 3章2節2項 全身状態を整える (p.52-53)／5章 術後合併症予防と発症時の援助 (p.76-93)   |
|           |              | e 不安のアセスメントと援助                                  | 臨床看護総論 2章2節2項 周術期:術前・術後の看護 (p.55-58)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章3節1項 手術等の侵襲的治療を予定して受ける状況 (p.35)／2章4節2項 健康危機状況にある人の心理的・精神的状態のアセスメント (p.98-101), 3項 健康危機状況にある人の心理的・精神的安定を図るための看護方法 (p.102-103)／3章1節2項 事例で考える病棟入院患者の看護 (p.121)<br>周手術期看護 3章1節3項 不安・変化したボディイメージの受容に向けての援助 (p.48-50), 3節2項 手術室入室までの援助(当日)(p.55)／4章3節2項 不安の緩和 (p.65-66) |
|           |              | f ボディイメージ(身体像)の受容への援助(ストーマ造設, 乳房切除, ペースメーカー装着)  | 臨床看護総論 2章2節2項 周術期:術前・術後の看護 (p.55-58)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 3章1節2項 事例で考える病棟入院患者の看護 (p.122-123)<br>周手術期看護 3章1節3項 不安・変化したボディイメージの受容に向けての援助 (p.48-50)  |
|           |              | g 手術体位とその影響                                     | 周手術期看護 4章4節 手術体位の介助 (p.67-69)  |
|           |              | h 手術方法(開腹・開胸・開頭・内視鏡・日帰り手術など)による影響と援助            | 呼吸機能障害／循環機能障害 4章3節1項 胸腔鏡下手術 (p.96-99)<br>周手術期看護 3章3節1項 身体の準備(前日)(p.54)／6章4節 日帰り手術における継続看護 (p.107-108)  |
|           |              | i 麻酔方法による影響と援助                                  | 病態生理学 2章40節2項 病態生理 (p.294-296)<br>周手術期看護 1章3節 麻酔が及ぼす影響の遷延の可能性を予測する (p.26-32)／4章5節 術中の管理 (p.70-72), 6節 麻酔覚醒時の支援 (p.73)  |
|           |              | j 術中の安全管理                                       | 周手術期看護 4章5節 術中の管理 (p.70-72)  |
|           |              | k 術後の疼痛管理                                       | 臨床看護総論 2章2節2項 周術期:術前・術後の看護 (p.55-58)   |

| 大項目       | 中項目            | 小項目   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-----------|----------------|---|---|
| 3 急性・重症看護 | C 周術期の看護       | k 術後の疼痛管理   | 周手術期看護 1章2節3項 疼痛と主な治療法 (p.23-24)<br>緩和ケア 2章8節5項 手術に伴う苦痛の緩和 (p.132-133)  |
|           |                | l 術後合併症の予防<br>(弾性ストッキングの着用, 早期離床)                       | 呼吸機能障害/循環機能障害 4章3節1項 胸腔鏡下手術 (p.96-99)<br>臨床看護総論 2章2節2項 周術期:術前・術後の看護 (p.55-58)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 3章1節2項 事例で考える病棟入院患者の看護 (p.125-126)<br>周手術期看護 5章6節2項 予防のための援助 (p.90-91)  |
|           |                | m 早期回復促進への援助  | 臨床看護総論 2章2節2項 周術期:術前・術後の看護 (p.55-58)<br>周手術期看護 6章2節 術後の継続看護の実際 (p.98-105)   |
|           |                | n 術後の機能障害と生活制限への援助<br>(抗凝固療法, ストーマ造設, ペースメーカー装着, リンパ浮腫) | 呼吸機能障害/循環機能障害 8章4節1項 ペースメーカー (p.216-218)<br>基礎看護技術 14章5節4項 ストーマ造設者への援助 (p.301-303)<br>臨床看護総論 2章2節2項 周術期:術前・術後の看護 (p.55-58)<br>周手術期看護 5章6節2項 予防のための援助 (p.90-91)<br>緩和ケア 2章6節 リンパ浮腫の治療と看護 (p.104-110)   |
| 4 慢性疾患看護  | A 慢性疾患の特徴とその看護 | a 慢性疾患の変遷   | 成人看護学概論 7章1節 生活習慣と健康障害との関連 (p.130-136)  |
|           |                | b 慢性疾患の特徴   | 成人看護学概論 3章4節3項 健康レベル・経過別看護 (p.67-68)/13章1節 病みの軌跡とは-慢性の病いと人間 (p.202)   |
|           |                | c 慢性疾患の経過プロセス   | 成人看護学概論 13章2節 病みの軌跡という考え方 (p.202-205), 4節2項 事例における病みの軌跡 (p.208-210)   |
|           |                | d 機能障害の理解に基づいたケアの工夫と応用                                  | 成人看護学概論 3章5節 個人の身体機能を理解する方法 (p.69-71)<br>セルフマネジメント 5章 援助方法 (p.90-96)  |
|           | B セルフケア・自己管理支援 | a 疾病認識と自己管理状況のアセスメント                                    | 臨床看護総論 2章1節1項 クリニックでの食事指導 (p.26-30), 5項 外出先にて再発作を起こし急逝 (p.46-48)<br>成人看護学概論 14章 セルフケア (p.216-224)/17章3節 事例で考えるロイ適応看護モデル (p.253-258)<br>周手術期看護 6章2節1項 セルフケア技術の習得を促す援助 (p.98-102)   |
|           |                | b セルフケア行動形成への影響要因                                       | 臨床看護総論 2章1節1項 クリニックでの食事指導 (p.26-30), 5項 外出先にて再発作を起こし急逝 (p.46-48), 3節3項 急性期病院退院時の再発予防指導 (p.85-88)<br>成人看護学概論 14章3節 セルフケアと成人看護 (p.220-221)<br>リハビリテーション看護 2章5節 セルフケア (p.33-36)<br>/6章3節4項 生活再構築への学習支援:セルフケアの確立 (p.178-182)  |
|           |                | c 自己管理支援 (内発的動機付け, 自己効力感, ストレスコーピング, エンパワメント, 成人学習理論)   | 社会福祉と社会保障 3章2節1項 社会資源を利用する意義 (p.68)<br>臨床看護総論 2章1節1項 クリニックでの食事指導 (p.26-30), 5項 外出先にて再発作を起こし急逝 (p.46-48), 3節3項 急性期病院退院時の再発予防指導 (p.85-88)<br>成人看護学概論 6章3節 おとなの学びの目標 (p.116-121), 4節3項 慢性病と学習 (p.124)/7章3節 生活習慣病の発症予防と自己効力感 (p.138-143)/14章4節 事例で考えるオレムの看護理論 (p.221-224)/15章2節 ストレス・コーピングプロセスに関連する主要な概念 (p.230-233)/17章3節 事例で考えるロイ適応看護モデル (p.253-258)/18章 自己効力 (p.260-268)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 4章1節 成人にとってのセルフケア再獲得 (p.166-172)/6章4節3項 事例で考える関節リウマチをもつ人の役割遂行に関わるセルフケア再獲得支援 (p.287-295) |

| 大項目               | 中項目            | 小項目   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |   |
|-------------------|----------------|---|--|---|
| 4 慢性疾患看護          | B セルフケア・自己管理支援 | c 自己管理支援 (内発的動機付け, 自己効力感, ストレスコーピング, エンパワメント, 成人学習理論) | セルフマネジメント 1章 セルフマネジメントとは (p.14-28) / 3-1章 成人教育学 (p.40-43) / 3-2章 エンパワメントモデル (p.46-52) / 3-3章 自己効力理論 (p.54-70)<br>周手術期看護 6章 2節 1項 セルフケア技術の習得を促す援助 (p.98-102)<br>リハビリテーション看護 6章 3節 1項 主体性回復への支援 (p.173-175)  |   |
|                   |                | d 生活と自己管理の調整 (自己モニタリング, 心理的葛藤への対応)                    | 臨床看護総論 2章 1節 1項 クリニックでの食事指導 (p.26-30), 5項 外出先にて再発作を起こし急逝 (p.46-48), 3節 3項 急性期病院退院時の再発予防指導 (p.85-88)<br>成人看護学概論 7章 3節 生活習慣病の発症予防と自己効力感 (p.138-143) / 13章 2節 2項 軌跡モデルの概念 (p.203-205)<br>健康危機状況 / セルフケアの再獲得 4章 1節 成人にとってのセルフケア再獲得 (p.166-172)<br>セルフマネジメント 5章 3節 アクションプラン設定の援助 (p.92-93) / 8章 1節 6項 自分のセルフケアについてのアクションプランを立てる (p.125-127)<br>リハビリテーション看護 6章 3節 生活の再構築のための支援 (p.173-184) |   |
|                   |                | e 患者会の活用と支援   | 健康危機状況 / セルフケアの再獲得 4章 2節 4項 セルフケア再獲得プロセスにおける心理・精神的変化 (p.186-191)   |   |
|                   | C 社会的支援の獲得への援助 | a 患者と家族の相互作用と関係性のアセスメント                               | 臨床看護総論 2章 3節 3項 急性期病院退院時の再発予防指導 (p.85-88)<br>リハビリテーション看護 6章 5節 家族 (p.189-194)  |   |
|                   |                | b 家族の抱える問題の理解と援助                                      | リハビリテーション看護 6章 5節 家族 (p.189-194)   |   |
|                   |                | c 退院調整とチーム連携  | 周手術期看護 6章 2節 2項 療養生活の場の調整 (退院調整活動) (p.102-105)   |   |
|                   |                | d 医療費助成制度   | 健康危機状況 / セルフケアの再獲得 5章 4節 3項 障害者総合支援法とその活用 (p.248-250), 4項 難病対策要綱 (p.250-252)   |   |
|                   | 5 リハビリテーション看護  | A リハビリテーションの特徴とその看護                                   | a リハビリテーションの特徴   | 運動機能障害 7章 8節 1項 理学療法, 作業療法 (p.136-137)<br>臨床看護総論 2章 1節 4項 心臓リハビリテーション (p.39-45), 3節 2項 病棟における日常生活動作再獲得のためのリハビリテーション (p.80-84) / 3章 4節 12項 リハビリテーション療法 (p.140-141)<br>リハビリテーション看護 1章 リハビリテーションとは (p.12-21) |
|                   |                |   | b 生活機能障害と日常生活活動 (ADL)  | 運動機能障害 7章 8節 1項 理学療法, 作業療法 (p.136-137) / 8章 2節 1項 基本的動作と日常生活活動の障害 (p.152-156)<br>リハビリテーション看護 2章 4節 ADL : activities of daily living (p.33)  |
|                   |                |   | c 国際生活機能分類 (ICF) の概念   | 基礎看護技術 2章 1節 3項 障害者の「参加」を支援する看護活動 (p.44-45)<br>リハビリテーション看護 2章 1節 国際的な障害分類の確立 (p.24-25)<br>地域療養を支えるケア 5章 4節 2項 障害の分類 (p.164-165)   |
| B 障害に対する受容と適応への援助 |                | a 機能障害と日常生活動作のアセスメント                                  | 運動機能障害 8章 2節 1項 基本的動作と日常生活活動の障害 (p.152-156)<br>基礎看護技術 10章 3節 活動・運動のニーズのアセスメント (p.191-194)<br>臨床看護総論 2章 3節 2項 病棟における日常生活動作再獲得のためのリハビリテーション (p.80-84), 4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92)  |   |

| 大項目           | 中項目               | 小項目                              | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|---------------|-------------------|----------------------------------|---|
| 5 リハビリテーション看護 | B 障害に対する受容と適応への援助 | a 機能障害と日常生活動作のアセスメント             | 健康危機状況／セルフケアの再獲得 4章2節2項 生活基本行動レベルのセルフケアの低下と再獲得 (p.177-182)／5章1節3項 アセスメントの内容と方法 (p.203-215), 2節2項 生活基本行動レベルのセルフケア再獲得への支援 (p.219-233)／6章3節3項 事例で考える脳出血患者の家庭復帰にむけたセルフケア再獲得支援 (p.279-281), 4節3項 事例で考える関節リウマチをもつ人の役割遂行に関わるセルフケア再獲得支援 (p.288-291), 5節3項 事例で考える脊髄損傷者の職業生活とセクシュアリティに関わるセルフケア再獲得支援 (p.302-304), 6節3項 事例で考える中途視覚障害者のコミュニケーションに関わるセルフケア再獲得支援 (p.313-314)<br>リハビリテーション看護 5章1節2項 運動機能障害のアセスメント (p.80-87)／6章3節4項 生活再構築への学習支援：セルフケアの確立 (p.178-182) |
|               |                   | b 廃用症候群の予防                       | 臨床看護総論 2章3節2項 病棟における日常生活動作再獲得のためのリハビリテーション (p.80-84)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章2節1項 生命維持レベルのセルフケア再獲得への支援 (p.217-219)<br>リハビリテーション看護 1章5節1項 急性期リハビリテーション (p.20)  |
|               |                   | c 代償機能の獲得(活動促進に向けたADL支援, 補助具の活用) | 運動機能障害 7章8節5項 装具を使った療法 (p.140-142)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 6章2節2項 事例で考える脳出血回復期の生活基本行動レベルのセルフケア再獲得支援 (p.273-275), 4節3項 事例で考える関節リウマチをもつ人の役割遂行に関わるセルフケア再獲得支援 (p.291-295)<br>リハビリテーション看護 6章3節3項 代償機能の活用 (p.176-178)   |
|               |                   | d チーム連携                          | 臨床看護総論 2章1節4項 心臓リハビリテーション (p.39-45), 3節2項 病棟における日常生活動作再獲得のためのリハビリテーション (p.80-84), 4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92)／3章6節1項 多職種の連携と協働が必要なこと (p.153-154)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章3節1項 医療・福祉関連職種によるチームアプローチ (p.238-240)<br>リハビリテーション看護 4章 チームアプローチと看護の役割 (p.58-76)  |
|               |                   | e 居住環境のアセスメント                    | 健康危機状況／セルフケアの再獲得 6章3節3項 事例で考える脳出血患者の家庭復帰にむけたセルフケア再獲得支援 (p.279-281)  |
|               |                   | f 身体障害者福祉法に基づく社会資源の活用            | 運動機能障害 8章4節2項 社会資源の活用 (p.163-166)<br>医療関係法規 11章3節 身体障害者福祉法 (p.214-218)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章2節3項 社会生活レベルのセルフケア再獲得への支援 (p.234-235)  |
|               |                   | g 心理的葛藤への対応                      | 臨床看護総論 2章1節4項 心臓リハビリテーション (p.39-45)<br>リハビリテーション看護 6章4節 肯定的な自己概念：障害受容 (p.184-188)   |
|               | C 社会参加への援助        | a 職場調整                           | 健康危機状況／セルフケアの再獲得 6章3節3項 事例で考える脳出血患者の家庭復帰にむけたセルフケア再獲得支援 (p.281-282), 5節2項 脊髄損傷者の看護 (p.300-301)   |
|               |                   | b 社会参加を促す要素と影響因子                 | 成人看護学概論 11章5節 障害のある人の余暇活動 (p.189-190)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 4章3節3項 依存による自立 (p.197-199)／5章2節3項 社会生活レベルのセルフケア再獲得への支援 (p.233-237)  |
|               | 6 がん看護            | A 手術療法の看護                        | a 手術療法の理解を促す援助  |
| b 手術の意思決定への援助 |                   |                                  | 健康危機状況／セルフケアの再獲得 1章3節1項 手術等の侵襲的治療を予定して受ける状況 (p.35)<br>周手術期看護 3章1節 主体的な治療参加への支援 (p.46-50)  |

| 大項目    | 中項目          | 小項目                | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|--------|--------------|--------------------|--|
| 6 がん看護 | B 化学療法の看護    | a 化学療法の理解を促す援助     | 緩和ケア 2章8節2項 化学療法に伴う苦痛の緩和 (p.118-124)   |
|        |              | b 心身状態のアセスメント      | 造血機能障害／免疫機能障害 2章2節1項 造血器の腫瘍(白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫) 患者の観察とアセスメント (p.75-78), 3節2項 急性白血病患者の看護【事例】(p.88-92)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 11章2節2項 治療と看護 (p.248-256)   |
|        |              | c 抗癌薬投与時の観察と援助     | 臨床薬理学 3章1節7項 抗がん薬の有害作用とその対策 (p.79-84), 2節 がん性疼痛に使用する薬 (p.84-88)<br>臨床栄養学 4章2節2項 化学療法時, 放射線療法時 (p.144-146)<br>造血機能障害／免疫機能障害 2章2節2項 看護の実際 (p.78-84), 3節2項 急性白血病患者の看護【事例】(p.88-92)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 11章2節2項 治療と看護 (p.248-256)<br>緩和ケア 2章8節2項 化学療法に伴う苦痛の緩和 (p.118-124), 12節 事例4: 化学放射線療法の副作用による苦痛の緩和 (p.139-140) |
|        |              | d 有害事象に対する症状マネジメント | 臨床薬理学 3章1節7項 抗がん薬の有害作用とその対策 (p.79-84)<br>造血機能障害／免疫機能障害 2章2節2項 看護の実際 (p.78-84), 3節2項 急性白血病患者の看護【事例】(p.88-92)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章1節2項 女性性腺機能障害 (p.193-199)／11章2節2項 治療と看護 (p.248-256)<br>緩和ケア 2章8節2項 化学療法に伴う苦痛の緩和 (p.118-124)  |
|        |              | e 長期合併症のアセスメントと援助  | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章1節2項 女性性腺機能障害 (p.193-199)<br>緩和ケア 2章8節2項 化学療法に伴う苦痛の緩和 (p.123)   |
|        |              | f 外来化学療法を受ける患者への援助 | 健康危機状況／セルフケアの再獲得 3章4節2項 事例で考える訪問看護 (p.143-145)<br>セルフマネジメント 11章3節1項 化学療法時の看護 (p.171-172)   |
|        | C 放射線療法時の看護  | a 放射線療法の理解を促す援助    | 緩和ケア 2章8節3項 放射線療法に伴う苦痛の緩和 (p.124-127)  |
|        |              | b 心身状態のアセスメント      | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 11章2節2項 治療と看護 (p.248-256)<br>緩和ケア 2章8節3項 放射線療法に伴う苦痛の緩和 (p.124-127)   |
|        |              | c 放射線照射時の観察と援助     | 臨床栄養学 4章2節2項 化学療法時, 放射線療法時 (p.144-146)<br>セルフマネジメント 11章3節2項 放射線療法時の看護 (p.172-174)<br>緩和ケア 2章8節3項 放射線療法に伴う苦痛の緩和 (p.124-127), 12節 事例4: 化学放射線療法の副作用による苦痛の緩和 (p.139-141)   |
|        |              | d 有害事象に対する症状マネジメント | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章1節2項 女性性腺機能障害 (p.193-199)<br>緩和ケア 2章8節3項 放射線療法に伴う苦痛の緩和 (p.124-127)  |
|        |              | e 晩期合併症のアセスメントと援助  | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章1節2項 女性性腺機能障害 (p.193-199)<br>緩和ケア 2章8節3項 放射線療法に伴う苦痛の緩和 (p.126)  |
|        |              | f 被曝防御             | 医療安全 7章3節1項 電離放射線の被曝 (p.188)   |
|        | D 造血幹細胞移植の看護 | a 造血幹細胞移植の理解を促す援助  | 造血機能障害／免疫機能障害 4章6節1項 造血幹細胞移植を受ける患者の看護にあたって (p.201-211)<br>緩和ケア 2章8節4項 造血幹細胞移植の看護 (p.127-132)   |

| 大項目                | 中項目  | 小項目                   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|--------------------|--|-----------------------|--|
| 6 がん看護             | D 造血幹細胞移植の看護   | b 心身状態のアセスメント         | 造血機能障害／免疫機能障害 4章6節1項 造血幹細胞移植を受ける患者の看護にあたって (p.201-211)<br>臨床看護総論 3章4節5項 人工臓器・臓器移植 (p.134)<br>緩和ケア 2章8節4項 造血幹細胞移植の看護 (p.127-132)  |
|                    |  | c ドナーの健康状態のアセスメント     | 造血機能障害／免疫機能障害 4章6節1項 造血幹細胞移植を受ける患者の看護にあたって (p.201-211)   |
|                    |  | d 移植病室在室中の患者の援助       | 造血機能障害／免疫機能障害 4章6節1項 造血幹細胞移植を受ける患者の看護にあたって (p.201-211)   |
|                    |  | e 移植片対宿主病(GVHD)の観察と援助 | 緩和ケア 2章8節4項 造血幹細胞移植の看護 (p.129-132)   |
|                    | E 緩和ケア   | a 患者ニーズのアセスメント        | 臨床看護総論 2章2節5項 在宅療養と在宅での看取り (p.68-72)<br>セルフマネジメント 15章3節 スピリチュアルペイン (spiritual pain) (p.229-230)<br>緩和ケア 2章2節4項 がん疼痛を有する患者の看護 (p.70-75)   |
|                    |  | b 症状マネジメント            | 臨床看護総論 2章2節3項 術後化学療法：外来化学療法中の看護 (p.59-63), 5項 在宅療養と在宅での看取り (p.68-72)<br>セルフマネジメント 11章2節3項 痛みを緩和する, 痛みを増強させないマネジメント (p.170), 4節5項 シンブトン・マネジメントとサイン・マネジメント (p.178)<br>緩和ケア 2章1節 身体症状概論 (p.46-49)／3章1節 精神症状概論 (p.144-146) |
|                    |  | c 全人的ケアと予期的悲嘆に対するケア   | 臨床看護総論 2章2節3項 術後化学療法：外来化学療法中の看護 (p.59-63), 5項 在宅療養と在宅での看取り (p.68-72)<br>緩和ケア 1章1節2項 全人的苦痛(トータルペイン)とQOL(生活の質) (p.13)  |
|                    |  | d 家族ケア                | 臨床看護総論 2章2節5項 在宅療養と在宅での看取り (p.68-72)<br>緩和ケア 9章 家族ケア (p.256-267)   |
|                    |  | e 緩和ケアチームアプローチ        | 臨床看護総論 3章1節3項 チーム医療の機会 (p.105-108), 6節1項 多職種連携と協働が必要なこと (p.153-154)<br>緩和ケア 1章2節4項 チームアプローチ (p.19-22), 3節3項 専門的緩和ケア (p.26-28)  |
|                    |  | 7 終末期看護               | A 終末期にある患者への看護   |
| b 死の受容過程とアセスメントと援助 | 成人看護学概論 2章4節 成人と死 (p.40-42)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 3章5節2項 事例で考える終末期患者の看護 (p.146-150)<br>セルフマネジメント 15章 死が近づいた人のセルフマネジメント支援 (p.228-240)<br>緩和ケア 1章1節3項 終末期がん患者の死への過程 (p.14)／3章1節1項 がんに対する心の反応 (p.144-145)／8章2節 臨死期のケア (p.240-245) |                       |  |
| c 疼痛アセスメントと援助      | 臨床薬理学 3章2節 がん性疼痛に使用する薬 (p.84-88)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 3章5節2項 事例で考える終末期患者の看護 (p.146-150)<br>セルフマネジメント 11章 がんとともに生きるセルフマネジメント支援 (p.166-180)   |                       |  |



| 大項目     | 中項目            | 小項目                                       | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|---------|----------------|---|--|
| 7 終末期看護 | A 終末期にある患者への看護 | c 疼痛アセスメントと援助                             | 緩和ケア 2章2節2項 疼痛のアセスメント (p.53-58), 3項 がん疼痛の治療と看護 (p.58-70), 4項 がん疼痛を有する患者の看護 (p.70-75), 9節 事例1: 大腸癌が骨転移した患者の疼痛緩和 (p.133-135)/8章2節3項 臨死期の治療とケアのポイント (p.242), 4節 症状緩和のための鎮静 (p.247-250), 6節 事例: 進行期大腸癌患者の臨死期のケア (p.252-253)  |
|         |                | d 症状マネジメント (呼吸困難, 下肢浮腫, 排便異常, 食欲不振, 睡眠障害) | 健康危機状況/セルフケアの再獲得 3章5節2項 事例で考える終末期患者の看護 (p.146-150)<br>緩和ケア 2章4節2項 食欲不振の治療と看護 (p.84-86), 4項 便秘の治療と看護 (p.89-91), 5節4項 呼吸困難の治療と看護 (p.98-103)/3章5節4項 不眠の治療と看護 (p.163-168)/8章2節3項 臨死期の治療とケアのポイント (p.241-245), 3節 臨死期における輸液療法 (p.245-247), 4節 症状緩和のための鎮静 (p.247-250) |
|         |                | e 家族ケア                                    | 臨床看護総論 2章1節5項 外出先にて再発作を起こし急逝 (p.46-48)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 3章5節2項 事例で考える終末期患者の看護 (p.146-150)<br>緩和ケア 8章2節3項 臨死期の治療とケアのポイント (p.243-245)/9章3節2項 家族へのケア (p.260-261), 5節 事例: 終末期患者の家族へのケア (p.265)  |

目標Ⅲ. 機能障害のある成人への看護について基本的な理解を問う。

| 大項目              | 中項目           | 小項目                 | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|------------------|---------------|---------------------|--|
| 8 呼吸機能障害のある患者の看護 | A 機能障害のアセスメント | a 酸素化障害の原因と程度       | 呼吸機能障害/循環機能障害 1章3節1項 拡散障害とはどのような状態か (p.40)   |
|                  |               | b 換気障害の原因と程度        | 呼吸機能障害/循環機能障害 1章2節 換気障害 (p.28-38)/2章2節1項 呼吸性アシドーシスとはどのような状態か (p.66-67), 3節1項 呼吸性アルカローシスとはどのような状態か (p.70), 2項 呼吸性アルカローシスを伴う代表的疾患と検査・治療 (p.70-71)  |
|                  |               | c 呼吸運動障害の原因と関連要因    | 呼吸機能障害/循環機能障害 1章7節2項 睡眠時無呼吸症候群に伴う症状とその検査 (p.58-59)/2章2節2項 呼吸性アシドーシスを伴う代表的疾患と検査・治療 (p.67-69)  |
|                  |               | d 呼吸機能障害がもたらす生活への影響 | 呼吸機能障害/循環機能障害 4章1節3項 心身・日常生活への影響と看護 (p.87-88)<br>セルフマネジメント 9章2節5項 息切れの少ない生活のためのマネジメント (p.139-142)<br>リハビリテーション看護 5章2節3項 日常生活への影響 (p.93-94)<br>緩和ケア 2章10節 事例2: 肺癌患者の呼吸困難の緩和 (p.135-137) |
|                  | B 症状とその看護     | a 酸素化障害の症状          | 呼吸機能障害/循環機能障害 1章3節2項 拡散障害に伴う症状とその検査 (p.41)   |
|                  |               | b 換気障害の症状           | 呼吸機能障害/循環機能障害 1章2節1項 換気障害とはどのような状態か (p.28)/2章2節1項 呼吸性アシドーシスとはどのような状態か (p.66-67), 3節 酸塩基平衡の障害—呼吸性アルカローシス (p.70-72)/4章2節6項 呼吸性アシドーシス (p.94), 7項 呼吸性アルカローシス (p.94-95)                     |
|                  |               | c 呼吸運動障害の症状         | 呼吸機能障害/循環機能障害 1章7節2項 睡眠時無呼吸症候群に伴う症状とその検査 (p.58)  |
|                  | C 検査を受ける患者の看護 | a 気管支鏡検査            | 呼吸機能障害/循環機能障害 3章1節3項 検査時の看護 (p.75)   |
|                  |               | b 胸腔穿刺              | 呼吸機能障害/循環機能障害 3章2節4項 検査時の看護 (p.76)<br>基礎看護技術 18章3節8項 穿刺法 (p.379-383)   |

| 大項目              | 中項目                  | 小項目                               | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |  |
|------------------|----------------------|-----------------------------------|---|--|
| 8 呼吸機能障害のある患者の看護 | C 検査を受ける患者の看護        | c 肺生検                             | 呼吸機能障害／循環機能障害 3章3節3項 検査時の看護 (p.77)  |  |
|                  |                      | d 呼吸機能検査                          | 呼吸機能障害／循環機能障害 4章1節1項 呼吸機能障害のアセスメント (p.80-86)<br>基礎看護技術 18章3節11項 呼吸機能検査 (p.384-385)  |  |
|                  |                      | e 動脈血液ガス分析                        | 呼吸機能障害／循環機能障害 1章4節2項 肺循環障害に伴う症状とその検査 (p.47-48)<br>造血機能障害／免疫機能障害 3章2節3項 気管支喘息 (p.122-126)  |  |
|                  | D 治療を受ける患者の看護        | a 肺切除術                            | 呼吸機能障害／循環機能障害 4章3節2項 肺切除術 (p.99)<br>周手術期看護 7章1節3項 肺癌の手術を受ける人の看護 (p.114-116)   |  |
|                  |                      | b 酸素療法                            | 呼吸機能障害／循環機能障害 4章4節5項 在宅酸素療法 (HOT) (p.110-112)<br>基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-334)  |  |
|                  |                      | c 非侵襲的陽圧換気                        | 呼吸機能障害／循環機能障害 4章2節6項 呼吸性アシドーシス (p.94), 4節4項 人工呼吸療法 (p.106-110)  |  |
|                  |                      | d 侵襲的陽圧換気                         | 呼吸機能障害／循環機能障害 1章3節3項 拡散障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.41-45)  |  |
|                  |                      | e 抗アレルギー薬, 気管支拡張薬, 副腎皮質ステロイドによる治療 | 臨床薬理学 7章1節 気管支喘息と薬物療法 (p.158-169)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 4章3節3項 呼吸器関連の服薬指導 (p.99-100)   |  |
|                  | E 機能障害をもちながら生活する人の看護 | a 肺癌患者の病期に応じた援助                   | 呼吸機能障害／循環機能障害 1章2節3項 換気障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.30-38)  |  |
|                  |                      | b 肺炎の病期に応じた援助                     | 呼吸機能障害／循環機能障害 1章2節3項 換気障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.30-38), 3節3項 拡散障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.41-45), 6節3項 代表的な呼吸器感染症と治療 (p.56)／5章2節 間質性肺炎患者の看護【事例】 (p.124-133) |  |
|                  |                      | c 慢性閉塞性肺疾患の病期に応じた援助               | 呼吸機能障害／循環機能障害 5章1節 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者の看護【事例】 (p.114-123)<br>セルフマネジメント 9章3節 呼吸不全のクライアントのセルフマネジメント事例 (p.143-149)                                |  |
|                  |                      | d 気管支喘息の病期に応じた援助                  | 呼吸機能障害／循環機能障害 1章2節3項 換気障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.30-38)／2章2節2項 呼吸性アシドーシスを伴う代表的疾患と検査・治療 (p.67-69)<br>造血機能障害／免疫機能障害 4章4節 気管支喘息患児の看護 (p.182-191)        |  |
|                  | 9 循環機能障害のある患者の看護     | A 機能障害のアセスメント                     | a ポンプ機能障害の原因と程度   | 呼吸機能障害／循環機能障害 6章2節 ポンプ機能の障害—心筋障害 (p.140-143)<br>リハビリテーション看護 5章3節1項 循環機能のメカニズム (p.95-97)        |
|                  |                      |                                   | b 輸送還流障害の原因と程度  | リハビリテーション看護 5章3節1項 循環機能のメカニズム (p.95-97)  |
|                  |                      |                                   | c 刺激伝導障害の原因と程度  | 呼吸機能障害／循環機能障害 6章7節1項 刺激伝導系の障害とはどのような状態か (p.167)<br>リハビリテーション看護 5章3節2項 循環機能障害のアセスメント (p.98-102) |
|                  |                      |                                   | d 循環機能障害がもたらす生活への影響   | リハビリテーション看護 5章3節3項 日常生活への影響 (p.102-103)  |
| B 症状とその看護        |                      | a ポンプ機能障害の症状                      | 呼吸機能障害／循環機能障害 6章2節2項 心筋障害に伴う症状とその検査 (p.140-141), 3節2項 弁機能の障害に伴う症状とその検査 (p.145-147)<br>リハビリテーション看護 5章3節2項 循環機能障害のアセスメント (p.98-102)             |  |

| 大項目              | 中項目                  | 小項目                    | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|------------------|----------------------|------------------------|--|
| 9 循環機能障害のある患者の看護 | B 症状とその看護            | b 輸送還流障害の症状            | リハビリテーション看護 5章3節2項 循環機能障害のアセスメント (p.98-102)  |
|                  |                      | c 刺激伝導障害の症状            | 呼吸機能障害／循環機能障害 6章7節2項 刺激伝導系の障害に伴う症状とその検査 (p.168-169)  |
|                  | C 検査を受ける患者の看護        | a 心臓カテーテル検査            | 呼吸機能障害／循環機能障害 7章1節3項 検査時の看護 (p.189)<br>周手術期看護 8章3節3項 心房中隔欠損症の術前検査 (p.138)  |
|                  |                      | b 心血管造影検査              | 呼吸機能障害／循環機能障害 7章2節3項 検査時の看護 (p.190-191)  |
|                  |                      | c 心電図・心エコー検査           | 病態生理学 2章6節3項 アセスメント (p.126-128)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 6章7節2項 刺激伝導系の障害に伴う症状とその検査 (p.168-169)<br>ヘルスアセスメント 3章8節4項 心電図によるアセスメント (p.102-106)<br>基礎看護技術 18章3節5項 心電図検査 (p.375-376)  |
|                  | D 治療を受ける患者の看護        | a 経皮的冠動脈形成術〈PCI〉       | 呼吸機能障害／循環機能障害 8章3節1項 経皮的冠動脈インターベンション (PCI) (p.207-208)<br>臨床看護総論 2章1節3項 CCUでの経過観察 (p.35-37)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 3章3節2項 事例で考えるICU・CCU入室患者の看護 (p.133-138)  |
|                  |                      | b 冠動脈バイパス術〈CABG〉       | 呼吸機能障害／循環機能障害 8章3節2項 開心術 (p.208-210)   |
|                  |                      | c 弁置換術                 | 呼吸機能障害／循環機能障害 8章3節2項 開心術 (p.208-210)<br>周手術期看護 8章2節3項 心臓弁膜症の手術を受ける人の看護 (p.133-136)   |
|                  |                      | d 大動脈内バルーンパンピング (IABP) | 呼吸機能障害／循環機能障害 8章3節3項 補助循環装置 (p.210-211)  |
|                  |                      | e ペースメーカー装着            | 呼吸機能障害／循環機能障害 8章4節1項 ペースメーカー (p.216-218)<br>セルフマネジメント 12章2節5項 ペースメーカーを挿入したときのマネジメント (p.189-190)  |
|                  |                      | f 植込み型除細動器             | 呼吸機能障害／循環機能障害 8章4節2項 植込み型除細動器 (ICD) (p.218-219)  |
|                  |                      | g 血栓溶解療法・血栓除去術         | 臨床薬理学 2章4節 心筋梗塞 (p.44-47)<br>呼吸機能障害／循環機能障害 8章3節4項 血栓溶解療法・血栓除去術 (p.211-212)<br>臨床看護総論 2章3節1項 救急搬送からSCU入室 (rt-PA) 施行まで (p.74-79)   |
|                  | E 機能障害をもちながら生活する人の看護 | a 心不全患者の病期に応じた援助       | 呼吸機能障害／循環機能障害 9章2節 心不全患者の看護【事例】 (p.230-236)<br>セルフマネジメント 12章2節 慢性心不全をもつ人に必要とされるマネジメント (p.185-190), 3節 慢性心不全のクライアントのセルフマネジメント事例 (p.191-196)   |
|                  |                      | b 虚血性心疾患患者の病期に応じた援助    | 呼吸機能障害／循環機能障害 6章6節3項 冠血流障害 (虚血性心疾患) を引き起こす主な疾患と治療 (p.162-165)<br>臨床看護総論 2章1節 心筋梗塞発症の患者さんへの看護ケア【事例】 (p.25-48)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 3章3節2項 事例で考えるICU・CCU入室患者の看護 (p.133-138)<br>リハビリテーション看護 7章3節 急性心筋梗塞患者の看護 (p.218-226) |
|                  |                      | c 不整脈のある患者への援助         | 呼吸機能障害／循環機能障害 6章7節3項 刺激伝導系の障害を引き起こす主な疾患と治療 (p.170-171)   |
|                  |                      | d 下肢動脈閉塞症の患者への看護       | 周手術期看護 8章5節3項 下肢切断術を受ける患者の看護 (p.147-149)   |

| 大項目                   | 中項目           | 小項目                    | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|-----------------------|---------------|------------------------|--|
| 10 消化・吸収機能障害のある患者への看護 | A 機能障害のアセスメント | a 咀嚼・嚥下機能障害の原因と程度      | 病態生理学 2章11節 嚥下障害 (p.148-153)<br>栄養代謝機能障害 3章1節1項 特徴的な症状とその看護 (p.96-106)<br>臨床看護総論 2章3節4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92)<br>周手術期看護 12章2節2項 舌癌の治療方法 (p.207-208)<br>リハビリテーション看護 5章5節2項 摂食・嚥下障害のアセスメント (p.114-118)                           |
|                       |               | b 消化管機能障害の原因と程度        | 病態生理学 2章14節5項 アセスメント (p.166), 15節3項 アセスメント (p.169-170)<br>栄養代謝機能障害 5章2節 消化吸収機能障害のある患者の看護 (1): 十二指腸潰瘍 (p.195-200), 4節 排便障害のある患者の看護: 大腸癌 (p.208-213)<br>緩和ケア 2章4節5項 消化管閉塞の治療と看護 (p.92-93)  |
|                       |               | c 膵液分泌障害の原因と程度         | 栄養代謝機能障害 1章2節4項 膵疾患 (p.46-50)  |
|                       |               | d 胆汁分泌障害の原因と程度の把握      | 栄養代謝機能障害 5章3節 消化吸収機能障害のある患者の看護 (2): 閉塞性黄疸 (p.203-207)  |
|                       |               | e 消化・吸収機能障害がもたらす生活への影響 | 栄養代謝機能障害 3章1節1項 特徴的な症状とその看護 (p.96-107)<br>リハビリテーション看護 5章5節3項 日常生活への影響 (p.118-120)<br>緩和ケア 2章4節2項 食欲不振の治療と看護 (p.84-88)  |
|                       | B 症状とその看護     | a 咀嚼・嚥下機能障害による症状       | 病態生理学 2章11節4項 ケア (p.151-152)<br>栄養代謝機能障害 3章1節1項 特徴的な症状とその看護 (p.96-106)/5章1節 摂食障害のある患者の看護: 食道癌 (p.188-194)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 3章2節10項 嚥下障害 (p.179-184)<br>リハビリテーション看護 5章5節2項 摂食・嚥下障害のアセスメント (p.114-118)<br>緩和ケア 2章4節3項 嚥下困難の治療と看護 (p.86-88) |
|                       |               | b 消化管機能障害による症状         | 病態生理学 2章13節4項 ケア (p.160-161), 14節6項 ケア (p.166-167), 15節4項 ケア (p.170)<br>栄養代謝機能障害 3章2節3項 腸疾患患者の看護 (p.131-132), 3節1項 特徴的な症状とその看護 (p.138-146)/5章2節 消化吸収機能障害のある患者の看護 (1): 十二指腸潰瘍 (p.195-200), 4節 排便障害のある患者の看護: 大腸癌 (p.208-213)                 |
|                       |               | c 膵液分泌障害による症状          | 栄養代謝機能障害 3章2節5項 膵疾患患者の看護 (p.133-134)   |
|                       |               | d 胆汁分泌障害による症状          | 栄養代謝機能障害 5章3節 消化吸収機能障害のある患者の看護 (2): 閉塞性黄疸 (p.203-207)  |
|                       | C 検査を受ける患者の看護 | a 上部消化管内視鏡検査           | 病態生理学 2章13節4項 ケア (p.160-161)<br>栄養代謝機能障害 1章1節4項 食道疾患 (p.23-30)<br>基礎看護技術 18章3節4項 内視鏡検査 (p.374-375)   |
|                       |               | b 大腸内視鏡検査              | 臨床看護総論 2章2節1項 がんとの直面 (p.50-54)   |
|                       |               | c 内視鏡的逆行性胆管膵管造影        | 栄養代謝機能障害 1章2節3項 胆道疾患 (p.40-46), 4項 膵疾患 (p.46-50)   |
|                       |               | d 上部消化管造影              | 栄養代謝機能障害 1章1節4項 食道疾患 (p.23-30)<br>基礎看護技術 18章3節4項 内視鏡検査 (p.374-375)   |
|                       |               | e 下部消化管造影              | 基礎看護技術 18章3節4項 内視鏡検査 (p.374-375)   |
|                       |               | f 直腸診                  | 栄養代謝機能障害 1章3節2項 肛門疾患 (p.61-64)   |
|                       |               | g 消化・吸収機能検査            | 臨床栄養学 4章1節1項 低残渣食 (p.138)  |

| 大項目                   | 中項目                  | 小項目              | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |  |
|-----------------------|----------------------|------------------|--|--|
| 10 消化・吸収機能障害のある患者への看護 | C 検査を受ける患者の看護        | g 消化・吸収機能検査      | 栄養代謝機能障害 1章1節4項 食道疾患 (p.22-30), 2節 消化吸収機能障害と疾患 (p.31-51) / 5章2節 消化吸収機能障害のある患者の看護 (1); 十二指腸潰瘍 (p.195-202), 3節 消化吸収機能障害のある患者の看護 (2); 閉塞性黄疸 (p.203-207) |  |
|                       |                      | D 治療を受ける患者の看護    | a 咽頭・喉頭摘出術   | 栄養代謝機能障害 3章1節4項 頭頸部腫瘍患者の看護 (p.108-109)   |
|                       |                      |                  | b 食道切除術  | 栄養代謝機能障害 3章1節5項 食道疾患患者の看護 (p.109-111)<br>周手術期看護 9章1節2項 食道癌の治療方法 (p.153-155), 3項 食道癌の手術を受ける人の看護 (p.155-158)             |
|                       |                      |                  | c 胃切除術   | 臨床栄養学 4章2節1項 手術療法時 (p.140-144)<br>栄養代謝機能障害 3章2節2項 胃・十二指腸疾患患者の看護 (p.129-131)<br>周手術期看護 9章2節3項 胃癌の手術を受ける人の看護 (p.161-163) |
|                       |                      |                  | d 大腸切除術  | 栄養代謝機能障害 3章3節2項 大腸疾患患者の看護 (p.146-150) / 5章4節 排便障害のある患者の看護: 大腸癌 (p.208-213)<br>周手術期看護 9章3節 大腸癌 (p.164-166)              |
|                       |                      |                  | e 腹腔鏡視下手術  | 呼吸機能障害 / 循環機能障害 4章3節1項 胸腔鏡下手術 (p.96-99)<br>栄養代謝機能障害 3章2節4項 胆道疾患患者の看護 (p.132-133)                                       |
|                       |                      |                  | f 人工肛門造設術  | 栄養代謝機能障害 3章3節2項 大腸疾患患者の看護 (p.146-150), 3項 肛門疾患患者の看護 (p.150-151)<br>周手術期看護 9章4節 直腸癌 (p.167-170)                         |
|                       |                      |                  | g 消化管手術後ドレーン挿入   | 栄養代謝機能障害 3章2節4項 胆道疾患患者の看護 (p.132-133)<br>周手術期看護 9章1節3項 食道癌の手術を受ける人の看護 (p.155-158)                                      |
|                       |                      |                  | h 胆道・胆のうドレーン挿入   | 栄養代謝機能障害 3章2節4項 胆道疾患患者の看護 (p.132-133) / 5章3節 消化吸収機能障害のある患者の看護 (2): 閉塞性黄疸 (p.203-207)                                   |
|                       |                      |                  | i 急性膵炎の治療  | 栄養代謝機能障害 3章2節5項 膵疾患患者の看護 (p.133-134)   |
|                       | j 中心静脈栄養法            |                  | 臨床薬理学 9章10節2項 輸液の種類 (p.239-242)<br>臨床栄養学 4章5節2項 中心静脈栄養法 (p.159-160)  |  |
|                       | E 機能障害をもちながら生活する人の看護 | a 咽頭・喉頭摘出後の生活の援助 | 栄養代謝機能障害 3章1節4項 頭頸部腫瘍患者の看護 (p.108-109)   |  |
|                       |                      | b 食道切除術後の生活の援助   | 栄養代謝機能障害 3章1節5項 食道疾患患者の看護 (p.109-111) / 5章1節 摂食障害のある患者の看護: 食道癌 (p.188-194)<br>周手術期看護 9章1節3項 食道癌の手術を受ける人の看護 (p.155-158)                               |  |
|                       |                      | c 胃切除術後の生活の援助    | 臨床栄養学 4章2節1項 手術療法時 (p.140-144)<br>栄養代謝機能障害 3章2節2項 胃・十二指腸疾患患者の看護 (p.129-131)<br>周手術期看護 9章2節3項 胃癌の手術を受ける人の看護 (p.161-163)                               |  |
|                       |                      | d 大腸切除術後の援助      | 栄養代謝機能障害 3章3節2項 大腸疾患患者の看護 (p.146-150) / 5章4節 排便障害のある患者の看護: 大腸癌 (p.208-213)<br>周手術期看護 9章3節3項 大腸癌の手術を受ける人の看護 (p.165-166)                               |  |
|                       |                      | e 人工肛門造設後の生活の援助  | 栄養代謝機能障害 3章3節2項 大腸疾患患者の看護 (p.146-150), 3項 肛門疾患患者の看護 (p.150-151)  |  |

| 大項目                   | 中項目                  | 小項目   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-----------------------|----------------------|---|---|
| 10 消化・吸収機能障害のある患者への看護 | E 機能障害をもちながら生活する人の看護 | e 人工肛門造設後の生活の援助   | 基礎看護技術 14章5節4項 ストーマ造設者への援助 (p.301-303)<br>臨床看護総論 2章2節 大腸がん発症の患者さんへの看護ケア【事例】(p.49-72), 2項 周術期:術前・術後の看護 (p.55-58)<br>周手術期看護 9章4節3項 直腸癌の手術を受ける人の看護 (p.167-170) |
|                       |                      | f 潰瘍性大腸炎・Crohn (クローン) 病の生活指導  | 臨床栄養学 5章1節2項 潰瘍性大腸炎 (p.167-169), 3項 クローン病 (p.169-171)<br>栄養代謝機能障害 3章3節2項 大腸疾患患者の看護 (p.146-150)  |
|                       |                      | g 胃・十二指腸潰瘍の治療を受ける患者の援助  | 臨床栄養学 5章1節1項 胃・十二指腸潰瘍 (p.164-166)<br>栄養代謝機能障害 3章2節2項 胃・十二指腸疾患患者の看護 (p.129-131)/5章2節 消化吸収機能障害のある患者の看護 (1):十二指腸潰瘍 (p.195-200)                                 |
| 11 栄養代謝機能障害のある患者の看護   | A 機能障害のアセスメント        | a 肝機能障害の原因と程度   | 栄養代謝機能障害 5章5節 代謝障害のある患者の看護 (1):肝炎 (p.215-220)<br>セルフマネジメント 10章1節2項 肝硬変の分類 (p.153-155)   |
|                       |                      | b 代謝機能障害 (エネルギー, 脂質, 尿酸) の原因と程度   | 病態生理学 1章9節 代謝異常 (p.87-94)/2章8節3項 アセスメント (p.138-139)<br>栄養代謝機能障害 4章3節1項 脂質代謝障害のある患者の看護 (p.179-182)   |
|                       |                      | c 栄養代謝機能障害がもたらす生命・生活への影響  | 栄養代謝機能障害 序章3項 栄養代謝機能の障害による影響 (p.18)   |
|                       | B 症状とその看護            | a 肝機能障害による症状の把握と援助 (肝性脳症, 食道静脈瘤, 浮腫・腹水, 倦怠感, 黄疸, 出血傾向)  | 病態生理学 2章13節4項 ケア (p.160-161)<br>栄養代謝機能障害 4章1節1項 特徴的な症状とその看護 (p.156-160), 5項 門脈圧亢進症患者の看護 (p.162-163)/5章5節 代謝障害のある患者の看護 (1):肝炎 (p.215-220)                    |
|                       |                      | b 代謝機能障害による症状の把握と援助 (肥満, るい瘦, 痛風発作)   | 病態生理学 2章8節4項 ケア (p.139)<br>栄養代謝機能障害 4章3節1項 脂質代謝障害のある患者の看護 (p.179-182)   |
|                       | C 検査を受ける患者の看護        | a 肝生検   | 栄養代謝機能障害 2章1節1項 肝炎 (p.66-68)  |
|                       |                      | b 内視鏡的逆行性胆管膵管造影法  | 栄養代謝機能障害 1章2節3項 胆道疾患 (p.40-46)  |
|                       | D 治療を受ける患者の看護        | a 肝庇護療法   | 栄養代謝機能障害 2章1節1項 肝炎 (p.66-68)  |
|                       |                      | b インターフェロン療法  | 臨床薬理学 3章1節3項 がんの薬物療法に使用する薬 (p.68-76)/8章1節8項 肝臓・胆嚢・膵臓の疾患に使用する薬 (p.204)   |
|                       |                      | c 食道静脈瘤硬化療法   | 栄養代謝機能障害 4章1節5項 門脈圧亢進症患者の看護 (p.162-163)   |
|                       |                      | d 胆道・胆のうドレーン挿入  | 栄養代謝機能障害 5章3節 消化吸収機能障害のある患者の看護 (2):閉塞性黄疸 (p.203-207)  |
|                       |                      | e 肝動脈塞栓術  | 栄養代謝機能障害 4章1節4項 肝癌患者の看護 (p.162)   |
| f 肝切除術を受ける患者の援助       |                      | 栄養代謝機能障害 4章1節4項 肝癌患者の看護 (p.162)<br>周手術期看護 9章5節3項 肝臓癌の手術 (肝切除) を受ける人の看護 (p.174-177)  |   |
| E 機能障害をもちながら生活する人の看護  | a 肝炎・肝硬変の病期に応じた援助    | 臨床栄養学 5章1節7項 急性肝炎 (p.176-177), 8項 慢性肝炎 (p.177-178), 9項 肝硬変 (p.178-179)<br>栄養代謝機能障害 4章1節2項 肝炎患者の看護 (p.160-161), 3項 肝硬変・肝不全患者の看護 (p.161-162)/5章5節 代謝障害のある患者の看護 (1):肝炎 (p.215-220) |   |

| 大項目  | 中項目                  | 小項目                        | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|--|----------------------|----------------------------|---|
| 11 栄養代謝機能障害のある患者の看護                              | E 機能障害をもちながら生活する人の看護 | a 肝炎・肝硬変の病期に応じた援助          | セルフマネジメント 10章2節 肝硬変をもつ人の一般的なマネジメント (p.156-158), 3節 肝硬変のクライアントのセルフマネジメント事例 (p.158-164)   |
|  |                      | b 肝癌の病期に応じた援助              | 栄養代謝機能障害 4章1節4項 肝癌患者の看護 (p.162)   |
|  |                      | c 高尿酸血症, 高脂血症, 肥満の人の援助     | 病態生理学 2章8節4項 ケア (p.139)<br>栄養代謝機能障害 4章3節3項 尿酸代謝異常のある患者の看護 (p.183-184)   |
| 12 内部環境 (体温, 血糖, 体液量, 電解質, 酸塩基平衡) 調節機能障害のある患者の看護 | A 機能障害のアセスメント        | a 体温調節機能障害の原因と程度           | 病態生理学 2章40節3項 アセスメント (p.291-292, 296)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 5章1節2項 高体温の主な原因と影響 (p.101-109), 3項 低体温の主な原因と影響 (p.109-113)   |
|  |                      | b 血糖調節機能障害の原因と程度           | 栄養代謝機能障害 4章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.165-175), 3項 インスリノーム患者の看護 (p.176-177) / 5章6節 代謝障害のある患者の看護 (2): 糖尿病 (p.221-229)<br>セルフマネジメント 7章1節1項 糖尿病とは (p.102-104)   |
|  |                      | c 体液量調節機能障害の原因と程度          | 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章2節 体液調節機能の障害 (p.23-27)  |
|  |                      | d 電解質調節機能障害の原因と程度          | 病態生理学 1章1節2項 電解質の異常 (p.19-26)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章2節2項 水と電解質の異常とはどのような状態か (p.23-26)  |
|  |                      | e 酸塩基平衡調節機能障害の原因と程度        | 病態生理学 1章1節3項 酸塩基平衡の異常 (p.27-29)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章2節3項 酸塩基平衡の異常とはどのような状態か (p.26-27)  |
|  |                      | f 内部環境調節機能障害がもたらす生命・生活への影響 | 呼吸機能障害/循環機能障害 4章1節3項 心身・日常生活への影響 (p.87-88)<br>栄養代謝機能障害 2章2節 糖代謝障害と疾患 (p.79-84)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 2章 内分泌機能の障害 (p.32-66) / 3章 腎機能の障害 (p.68-88) / 4章 尿路の機能障害 (p.90-98) / 5章 体温調節機能の障害 (p.100-120) |
|  | B 症状とその看護            | a 体温調節機能障害による症状            | 病態生理学 2章40節4項 ケア (p.292-293, 297-298)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 5章1節2項 高体温の主な原因と影響 (p.101-109), 3項 低体温の主な原因と影響 (p.109-113) / 9章1節1項 熱中症の予防 (p.180-181)   |
|  |                      | b 血糖調節機能障害による症状の把握と援助      | 栄養代謝機能障害 4章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.165-175), 3項 インスリノーム患者の看護 (p.176-177) / 5章6節 代謝障害のある患者の看護 (2): 糖尿病 (p.221-229)   |
|  |                      | c 体液量調節機能障害による症状           | 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章2節 体液調節機能の障害 (p.23-27)<br>セルフマネジメント 8章1節2項 自分の身体変化の徴候や症状について知り, 対処できるようにする (p.118)  |
|  |                      | d 電解質調節機能障害による症状           | 病態生理学 1章1節2項 電解質の異常 (p.19-26)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章2節 体液調節機能の障害 (p.23-27)   |
|  |                      | e 酸塩基平衡調節機能障害による症状         | 病態生理学 1章1節3項 酸塩基平衡の異常 (p.27-29)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章2節 体液調節機能の障害 (p.23-27)   |
|  | C 検査を受ける患者の看護        | a 糖負荷試験 (OGTT)             | 栄養代謝機能障害 2章2節 糖代謝障害と疾患 (p.79-84)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 3章2節2項 臨床検査と看護 (p.78-87)<br>セルフマネジメント 7章1節1項 糖尿病とは (p.102-104), 2項 糖尿病の診断基準 (p.104-105)   |

| 大項目  | 中項目                  | 小項目  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|--|----------------------|--|--|
| 12 内部環境（体温、血糖、体液量、電解質、酸塩基平衡）調節機能障害のある患者の看護 | C 検査を受ける患者の看護        | b 血糖自己測定（SMBG）を行う患者の援助                               | 栄養代謝機能障害 2章2節1項 糖尿病（p.79-84）   |
|  |                      | c 腎生検  | 疾病と治療 6章1節2項 診断と治療（p.152-154）  |
|  |                      | d 静脈性尿路造影を受ける患者の援助                                   | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 4章2節 尿路の機能障害の主な原因・疾患と治療（p.90-98）   |
|  |                      | e 腎機能検査（PSP試験, Fishuberg〈フィッシュバーグ〉濃縮試験, 糸球体濾過量〈GFR〉） | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 3章2節2項 臨床検査と看護（p.78-87）  |
|  | D 治療を受ける患者の看護        | a インスリン補充療法  | 臨床薬理学 2章8節 糖尿病（p.54-60）<br>栄養代謝機能障害 2章2節 糖代謝障害と疾患（p.79-84）<br>セルフマネジメント 7章1節4項 糖尿病の治療（p.105-107）   |
|  |                      | b インクレチン関連薬による治療                                     | 臨床薬理学 2章8節 糖尿病（p.54-60）  |
|  |                      | c 糖尿病治療内服薬による治療                                      | 臨床薬理学 2章8節 糖尿病（p.54-60）<br>栄養代謝機能障害 4章2節2項 糖尿病患者の看護（p.175-176）／5章6節 代謝障害のある患者の看護（2）：糖尿病（p.221-229）<br>セルフマネジメント 7章1節4項 糖尿病の治療（p.105-107）   |
|  |                      | d 食事・運動療法  | 臨床栄養学 4章3節 栄養成分別のコントロール食（p.146-168）<br>栄養代謝機能障害 4章2節2項 糖尿病患者の看護（p.175-176）<br>臨床看護総論 3章4節10項 食事療法（p.138）、11項 運動療法（p.138-139）<br>セルフマネジメント 7章1節4項 糖尿病の治療（p.105-107）、2節5項 アクションプラン設定の援助（p.111） |
|  |                      | e 急性期持続血液濾過透析  | セルフマネジメント 8章1節4項 透析療法、腎移植の知識を深め、治療選択ができるようにする（p.119-120）   |
|  |                      | f 維持透析   | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 7章1節2項 透析療法・腎移植と看護（p.131-138）<br>セルフマネジメント 8章2節 腎不全のクライアントのセルフマネジメント事例（p.127-132）  |
|  |                      | g 腹膜透析（CAPD）   | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 7章1節2項 透析療法・腎移植と看護（p.131-138）<br>セルフマネジメント 8章1節4項 透析療法、腎移植の知識を深め、治療選択ができるようにする（p.119-120）<br>地域療養を支えるケア 6章9節2項 腹膜透析（CAPD）の援助（p.233-235）                                  |
|  |                      | h 腎移植  | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 7章1節2項 透析療法・腎移植と看護（p.131-138）<br>臨床看護総論 3章4節5項 人工臓器・臓器移植（p.134）<br>セルフマネジメント 8章1節4項 透析療法、腎移植の知識を深め、治療選択ができるようにする（p.119-120）<br>周手術期看護 16章1節2項 腎移植の治療方法（p.248-249）        |
|  | E 機能障害をもちながら生活する人の看護 | a 低体温症の予防と援助   | 病態生理学 2章40節4項 ケア（p.297-298）<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 5章2節2項 低体温のアセスメントと対応（p.117-119）／9章1節2項 偶発性低体温症の予防（p.181-183）  |
|  |                      | b 1型糖尿病の病期に応じた援助                                     | 栄養代謝機能障害 2章2節1項 糖尿病（p.79-84）   |
|  |                      | c 2型糖尿病の病期に応じた援助                                     | 栄養代謝機能障害 4章2節2項 糖尿病患者の看護（p.175-176）／5章6節 代謝障害のある患者の看護（2）：糖尿病（p.221-229）  |



| 大項目  | 中項目                  | 小項目                  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|--|----------------------|----------------------|--|
| 12 内部環境（体温、血糖、体液量、電解質、酸塩基平衡）調節機能障害のある患者の看護 | E 機能障害をもちながら生活する人の看護 | c 2型糖尿病の病期に応じた援助     | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 7章2節2項 糖尿病腎症予防における生活指導 (p.143-146)<br>セルフマネジメント 7章1節4項 糖尿病の治療 (p.105-108), 2節 糖尿病をもつクライアントのセルフマネジメント事例 (p.109-113)                         |
|  |                      | d 急性腎不全の病期に応じた援助     | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 3章1節2項 腎不全の分類と特徴 (p.69-73)   |
|  |                      | e 慢性腎不全の病期に応じた援助     | 臨床栄養学 5章4節2項 慢性腎臓病 (CKD) (p.190-193)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 3章1節2項 腎不全の分類と特徴 (p.69-73)<br>セルフマネジメント 8章1節5項 食事や活動に関する知識を深め、セルフケアできるようにする (p.120-125)            |
|  |                      | f 慢性腎臓病の病期に応じた援助     | 臨床栄養学 5章4節2項 慢性腎臓病 (CKD) (p.190-193)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 3章1節2項 腎不全の分類と特徴 (p.69-73)／7章1節1項 腎機能低下に伴う症状のアセスメントと看護 (p.128-131), 2節1項 要注意段階の人への生活指導 (p.139-143) |
|  |                      | g ネフローゼ症候群の病期に応じた援助  | 臨床栄養学 5章4節2項 慢性腎臓病 (CKD) (p.190-193)   |
|  |                      | h 腎移植術後の患者への援助       | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 7章1節2項 透析療法・腎移植と看護 (p.131-138)<br>周手術期看護 16章1節3項 腎移植手術を受ける人の看護 (p.249-251)   |
| 13 内分泌機能障害のある患者の看護                         | A 機能障害のアセスメント        | a 甲状腺機能障害の原因と程度      | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章3節1項 甲状腺機能の障害とはどのような状態か (p.43-44)  |
|  |                      | b 副腎機能障害の原因の程度       | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章5節2項 副腎機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.51-52)   |
|  |                      | c 下垂体機能障害の原因の程度      | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章2節2項 下垂体機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.39-43)  |
|  |                      | d 内分泌機能障害をもたらす生活への影響 | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 6章1節2項 心身・日常生活への影響と看護 (p.122-125)  |
|  | B 症状とその看護            | a 甲状腺機能障害による症状       | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章3節2項 甲状腺機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.44-48)<br>ヘルスアセスメント 3章4節2項 頭部・顔面・頸部の問診および視診、触診、打診、聴診 (p.59-63), 3項 さらに、どのようにアセスメントを進めていくか (p.63-64)     |
|  |                      | b 副腎機能障害による症状        | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章5節2項 副腎機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.51-52)   |
|  |                      | c 下垂体機能障害による症状       | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 2章2節2項 下垂体機能の障害を引き起こす主な疾患・症状と治療 (p.39-43)  |
|  | C 検査を受ける患者の看護        | a ホルモン負荷試験           | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章1節 性ホルモンの障害 (p.186-199)   |
|  | D 治療を受ける患者の看護        | a 甲状腺ホルモン療法          | 臨床薬理学 9章2節 内分泌機能障害 (p.209-212)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 6章1節2項 心身・日常生活への影響と看護 (p.122-125)  |
|  |                      | b 甲状腺切除術             | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 6章1節2項 心身・日常生活への影響と看護 (p.122-125)<br>周手術期看護 14章2節2項 甲状腺癌の治療方法 (p.229)  |
|  | E 機能障害をもちながら生活する人の看護 | a 甲状腺機能障害をもつ患者の援助    | 周手術期看護 14章2節3項 甲状腺癌の手術を受ける人の看護 (p.229-232)   |

| 大項目                  | 中項目                  | 小項目                                | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|----------------------|----------------------|------------------------------------|---|
| 13 内分泌機能障害のある患者の看護   | E 機能障害をもちながら生活する人の看護 | b 甲状腺癌の病期に応じた援助                    | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 6章1節2項 心身・日常生活への影響と看護 (p.122-125)   |
| 14 身体防御機能の障害のある患者の看護 | A 機能障害のアセスメント        | a 皮膚粘膜障害の原因と程度                     | 病態生理学 2章22節 皮膚瘙痒 (p.202-206)<br>造血機能障害／免疫機能障害 3章2節4項 アトピー性皮膚炎 (p.126-131)   |
|                      |                      | b 免疫機能障害の原因と程度                     | 造血機能障害／免疫機能障害 4章2節1項 関節リウマチ患者の観察とアセスメント (p.162-163), 5節2項 HIV 感染症患者の観察とアセスメント (p.193-195)   |
|                      |                      | c 身体防御機能障害がもたらす生命・生活への影響           | 造血機能障害／免疫機能障害 4章1節1項 膠原病患者の観察とアセスメント (p.154-157), 2節1項 関節リウマチ患者の観察とアセスメント (p.162-163), 3節1項 アレルギー性疾患患者の観察とアセスメント (p.172-175), 4節2項 気管支喘息のある患者の看護【事例】 (p.182-191), 5節2項 HIV 感染症患者の観察とアセスメント (p.193-195)  |
|                      | B 症状とその看護            | a 皮膚粘膜障害による症状 (発疹, びらん, 潰瘍)        | 病態生理学 2章22節4項 ケア (p.205-206)  |
|                      |                      | b 免疫機能障害による症状 (易感染, 出血傾向, アレルギー反応) | 病態生理学 2章20節2項 病態生理 (p.191-193)<br>造血機能障害／免疫機能障害 4章2節2項 関節リウマチ患者の看護【事例】 (p.163-170)  |
|                      | C 検査を受ける患者の看護        | a 骨髄穿刺                             | 造血機能障害／免疫機能障害 2章2節2項 看護の実際 (p.78-84)<br>基礎看護技術 18章3節8項 穿刺法 (p.379-383)  |
|                      |                      | b 生検 (粘膜, 皮膚, 筋)                   | 造血機能障害／免疫機能障害 4章1節2項 膠原病患者の急性期の看護 (p.157-158)<br>基礎看護技術 18章3節4項 内視鏡検査 (p.374-375)   |
|                      |                      | c スキンテスト                           | 造血機能障害／免疫機能障害 3章2節2項 花粉症 (アレルギー性鼻炎) (p.118-121)   |
|                      | D 治療を受ける患者の看護        | a 抗 HIV 療法                         | 造血機能障害／免疫機能障害 4章5節 免疫不全 (HIV 感染症) 患者の看護 (p.192-200)<br>セルフマネジメント 13章2節 HIV 感染症ならびにエイズとともに生きる人々の看護とセルフマネジメント (p.202-206)   |
|                      |                      | b 減感作療法                            | 造血機能障害／免疫機能障害 3章2節2項 花粉症 (アレルギー性鼻炎) (p.118-121)   |
|                      |                      | c 免疫抑制薬, ステロイド療法                   | 病態生理学 2章23節4項 ケア (p.209-210)／3章39節4項 ケア (p.284-286)<br>臨床薬理学 6章2節2項 ステロイド (p.147)／7章3節1項 抗リウマチ薬 (DMARDs) (p.174-177), 5節 全身性エリテマトーデスと薬物療法 (p.181)<br>造血機能障害／免疫機能障害 4章1節1項 膠原病患者の観察とアセスメント (p.154-157), 2節2項 関節リウマチ患者の看護【事例】 (p.163-170), 3節2項 看護の実際 (p.175-181) |
|                      | E 機能障害をもちながら生活する人の看護 | a ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症の病期に応じた援助    | 造血機能障害／免疫機能障害 4章5節1項 HIV 感染者, AIDS 患者の看護にあたって (p.192)<br>セルフマネジメント 13章3節 エイズのクライアントのセルフマネジメント事例 (p.206-212)   |
|                      |                      | b アレルギー性疾患をもつ人の援助                  | 臨床薬理学 7章1節4項 抗アレルギー薬 (p.168-169)<br>造血機能障害／免疫機能障害 4章3節2項 看護の実際 (p.175-181)  |
|                      |                      | c 自己免疫疾患をもつ人の援助                    | 病態生理学 1章4節5項 免疫疾患のケア (p.51-52)<br>造血機能障害／免疫機能障害 4章1節2項 膠原病患者の急性期の看護 (p.157-158), 3項 膠原病患者の慢性 (寛解) 期の看護 (p.158-161), 2節2項 関節リウマチ患者の看護【事例】 (p.163-170), 3節2項 看護の実際 (p.175-181)  |

| 大項目                  | 中項目                  | 小項目   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|----------------------|----------------------|---|--|
| 14 身体防御機能の障害のある患者の看護 | E 機能障害をもちながら生活する人の看護 | d 血液悪性疾患の病期に応じた援助(悪性リンパ腫,白血病)               | 病態生理学 2章21節4項 ケア (p.201)   |
| 15 感覚機能障害のある患者の看護    | A 機能障害のアセスメント        | a 視覚障害の原因と程度                                | 病態生理学 2章32節3項 アセスメント (p.252-254)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章1節3項 視機能の検査と観察・アセスメント (p.218-222)<br>ヘルスアセスメント 3章6節 眼(視覚)のアセスメント (p.75-83)   |
|                      |                      | b 聴覚障害の原因と程度                                | 病態生理学 2章34節3項 アセスメント (p.262-263)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章2節3項 聴覚・平衡覚の検査と観察・アセスメント (p.232-235)<br>リハビリテーション看護 5章8節 聴覚 (p.140-146)  |
|                      |                      | c 嗅覚障害の原因と程度                                | 病態生理学 2章36節3項 アセスメント (p.270-271)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章3節3項 嗅覚・味覚の検査 (p.242-243)  |
|                      |                      | d 味覚障害の原因と程度                                | 病態生理学 2章35節3項 アセスメント (p.266-267)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章3節3項 嗅覚・味覚の検査 (p.242-243)<br>ヘルスアセスメント 3章5節2項 鼻・耳・口腔/咽頭の間診および視診, 触診 (p.68-72)/6章3節2項 栄養/代謝パターンのアセスメント (p.262-268)  |
|                      |                      | e 触覚障害の原因と程度                                | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章4節3項 皮膚(体性感覚)機能の検査と観察・アセスメント (p.249-253)   |
|                      |                      | f 感覚機能障害がもたらす生命・生活への影響                      | 病態生理学 2章37節3項 アセスメント (p.276-277)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章1節2項 視覚障害の症状と心身・日常生活への影響 (p.216-218), 2節2項 聴覚・平衡覚障害の症状と心身・日常生活への影響 (p.230-232)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 6章6節1項 中途視覚障害者の置かれている状況 (p.308-309)<br>リハビリテーション看護 5章7節3項 日常生活への影響 (p.138-139), 8節3項 日常生活への影響 (p.145-146) |
|                      | B 症状とその看護            | a 視覚障害による症状                                 | 病態生理学 2章32節4項 ケア (p.254-255)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章1節2項 視覚障害の症状と心身・日常生活への影響 (p.216-218)   |
|                      |                      | b 聴覚障害による症状                                 | 病態生理学 2章33節4項 ケア (p.259), 34節4項 ケア (p.263-264)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章2節2項 聴覚・平衡覚障害の症状と心身・日常生活への影響 (p.230-232)   |
|                      |                      | c 嗅覚障害による症状                                 | 病態生理学 2章36節4項 ケア (p.271-272)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章3節2項 嗅覚・味覚障害の症状 (p.241)  |
|                      |                      | d 味覚障害による症状                                 | 病態生理学 2章35節4項 ケア (p.268)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章3節2項 嗅覚・味覚障害の症状 (p.241)  |
|                      |                      | e 触覚障害による症状                                 | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章4節2項 皮膚(体性感覚)の機能障害の症状 (p.248-249)  |
|                      | C 検査を受ける患者の看護        | a 眼底検査                                      | ヘルスアセスメント 3章6節2項 眼の間診および視診, 触診 (p.77-82)   |
|                      |                      | b オーディオメータ検査                                | 病態生理学 2章33節3項 アセスメント (p.257-259)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章2節3項 聴覚・平衡覚の検査と観察・アセスメント (p.232-235)   |
|                      |                      | c 鼻腔内視鏡検査                                   | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章3節3項 嗅覚・味覚の検査 (p.242-243)  |
| d ろ紙ディスク法            |                      | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 5章3節3項 嗅覚・味覚の検査 (p.242-243) |  |

| 大項目                 | 中項目                  | 小項目                       | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|---------------------|----------------------|---------------------------|--|
| 15 感覚機能障害のある患者の看護   | D 治療を受ける患者の看護        | a 眼底光凝固療法                 | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章1節4項 視覚障害を起こす主な疾患 (p.222-227)  |
|                     |                      | b 網膜はく離治療                 | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章1節4項 視覚障害を起こす主な疾患 (p.222-227)  |
|                     |                      | c 人工眼内レンズ挿入術              | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章1節4項 視覚障害を起こす主な疾患 (p.222-227)<br>周手術期看護 12章1節 白内障 (p.204-206)  |
|                     |                      | d 鼓室形成術                   | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章2節4項 聴覚・平衡覚障害を起こす主な疾患 (p.236)  |
|                     |                      | e 鼻腔内手術                   | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章3節4項 嗅覚・味覚障害を起こす主な疾患 (p.243-245)   |
|                     |                      | f 舌癌治療(切除術・放射線療法)         | 周手術期看護 12章2節 舌癌 (p.207-211)  |
|                     | E 機能障害をもちながら生活する人の看護 | a 中途視覚障害者への援助             | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章1節5項 視覚障害患者の看護 (p.227-229)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 6章6節 地域生活や余暇生活に関わるセルフケアの再獲得 (p.308-316)   |
|                     |                      | b 突発性難聴患者の援助              | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章2節5項 聴覚・平衡覚障害患者の看護 (p.236-239)   |
|                     |                      | c Ménière(メニエール)病をもつ患者の援助 | 病態生理学 2章31節4項 ケア (p.248)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章2節5項 聴覚・平衡覚障害患者の看護 (p.236-239)   |
|                     |                      | d 副鼻腔炎の病期に応じた援助           | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章3節4項 嗅覚・味覚障害を起こす主な疾患 (p.243)   |
|                     |                      | e 末梢神経障害をもつ患者の援助          | 病態生理学 2章37節4項 ケア (p.277)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節11項 末梢神経障害患者 (p.132-133)   |
| 16 脳・神経機能障害のある患者の看護 | A 機能障害のアセスメント        | a 生命維持活動調節機能障害の原因と程度      | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章 脳・神経系の構造・機能とその障害 (p.16-40)<br>臨床看護総論 2章3節1項 救急搬送から SCU入室 (rt-PA) 施行まで (p.74-79)   |
|                     |                      | b 運動・感覚機能障害の原因と程度         | 病態生理学 2章30節3項 アセスメント (p.242-243), 31節3項 アセスメント (p.247-248), 37節3項 アセスメント (p.276-277)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章 脳・神経系の構造・機能とその障害 (p.16-40)／3章2節3項 片麻痺 (p.146-153), 4項 運動失調, 不随意運動 (p.154-158), 5項 筋萎縮・筋力低下 (p.158-162)／5章 感覚機能障害とその看護 (p.216-254)<br>臨床看護総論 2章3節1項 救急搬送から SCU入室 (rt-PA) 施行まで (p.74-79)<br>リハビリテーション看護 5章1節 運動 (p.78-88) |
|                     |                      | c 言語機能障害の原因と程度            | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節6項 失語症 (p.162-166), 7項 構音障害 (p.166-168)<br>臨床看護総論 2章3節1項 救急搬送から SCU入室 (rt-PA) 施行まで (p.74-79)<br>リハビリテーション看護 5章6節 高次脳機能 (p.121-131)   |
|                     |                      | d 高次脳機能障害の原因と程度           | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節6項 失語症 (p.162-166), 8項 失行・失認 (p.169-173), 9項 記憶障害 (p.174-179)<br>リハビリテーション看護 5章6節 高次脳機能 (p.121-131)  |
|                     |                      | e 脳・神経機能障害がもたらす生命・生活への影響  | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章 脳・神経系の構造・機能とその障害 (p.16-40)<br>ヘルスアセスメント 2章13節 神経系のアセスメント (p.161-179)<br>臨床看護総論 2章3節1項 救急搬送から SCU入室 (rt-PA) 施行まで (p.74-79)   |

| 大項目                 | 中項目            | 小項目                              | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|---------------------|----------------|----------------------------------|--|
| 16 脳・神経機能障害のある患者の看護 | A 機能障害のアセスメント  | e 脳・神経機能障害がもたらす生命・生活への影響         | リハビリテーション看護 5章1節3項 日常生活への影響 (p.87-88), 6節3項 日常生活への影響 (p.129-131)   |
|                     |                | B 症状とその看護                        | a 生命維持活動調節機能障害の症状  |
|                     | b 運動・感覚機能障害の症状 |                                  | 病態生理学 2章31節4項 ケア (p.248), 37節4項 ケア (p.277)<br>脳・神経機能障害/感覚機能障害 3章2節3項 片麻痺 (p.146-153), 4項 運動失調, 不随意運動 (p.154-158), 5項 筋萎縮・筋力低下 (p.158-162), 6項 失語症 (p.162-166), 7項 構音障害 (p.166-168), 10項 嚥下障害 (p.179-184), 12項 顔面神経麻痺 (p.188-190)<br>臨床看護総論 2章3節1項 救急搬送から SCU入室 (rt-PA) 施行まで (p.74-79)<br>リハビリテーション看護 5章1節 運動 (p.78-88) |
|                     | c 言語機能障害の症状    |                                  | 臨床看護総論 2章3節1項 救急搬送から SCU入室 (rt-PA) 施行まで (p.74-79)<br>リハビリテーション看護 5章6節 高次脳機能 (p.121-131)  |
|                     | d 高次脳機能障害の症状   |                                  | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 3章2節6項 失語症 (p.162-166), 8項 失行・失認 (p.169-173), 9項 記憶障害 (p.174-179)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 5章2節2項 生活基本行動レベルのセルフケア再獲得への支援 (p.225-232)<br>リハビリテーション看護 5章6節 高次脳機能 (p.121-131)  |
|                     | C 検査を受ける患者の看護  | a 髄液検査                           | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 3章1節1項 脳血管障害患者 (p.102-106), 5項 中枢神経系の感染症患者 (p.115-118)   |
|                     |                | b 脳血管造影                          | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 2章1節2項 脳血管障害の主な疾患と検査・治療 (p.43-50)  |
|                     |                | c 脳波検査                           | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 3章9節1項 脳波検査時の看護 (p.126-129)<br>情緒発達と看護の基本 11章1節2項 検査を知る (p.200-205)  |
|                     | D 治療を受ける患者の看護  | a 開頭術                            | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 3章1節1項 脳血管障害患者 (p.102-106), 2項 脳腫瘍患者 (p.106-110)   |
|                     |                | b 穿頭術                            | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 2章1節2項 脳血管障害の主な疾患と検査・治療 (p.43)   |
|                     |                | c 血管バイパス術                        | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 2章1節2項 脳血管障害の主な疾患と検査・治療 (p.43-50)  |
|                     |                | d 血管内治療(血栓溶解療法, 動脈瘤塞栓術)を受ける患者の援助 | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 2章1節2項 脳血管障害の主な疾患と検査・治療 (p.46)<br>臨床看護総論 2章3節1項 救急搬送から SCU入室 (rt-PA) 施行まで (p.74-79)  |
|                     |                | e 脳室ドレナージ術中                      | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 3章1節4項 水頭症患者 (p.112-115)   |
|                     |                | f 脳室-腹腔(V-P)シャント術                | 脳・神経機能障害/感覚機能障害 2章4節2項 水頭症の種類 (p.62)   |
|                     |                | g 低体温療法中の患者の援助                   | 病態生理学 2章40節2項 病態生理 (p.294-296)   |

| 大項目                 | 中項目                  | 小項目                  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|---------------------|----------------------|----------------------|--|
| 16 脳・神経機能障害のある患者の看護 | E 機能障害をもちながら生活する人の看護 | a 脳血管障害患者の病期に応じた援助   | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節1項 脳血管障害患者 (p.102-106)／4章2節 くも膜下出血患者の看護【事例】 (p.203-208)<br>周手術期看護 11章2節3項 くも膜下出血の手術を受ける人の看護 (p.198-200)<br>リハビリテーション看護 8章 地域におけるリハビリテーション：脳血管疾患患者のケアの連携事例 (p.262-279)  |
|                     |                      | b 脳腫瘍患者の病期に応じた援助     | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節2項 脳腫瘍患者 (p.106-110)<br>周手術期看護 11章1節4項 脳腫瘍の手術を受ける人の看護 (p.193-196)  |
|                     |                      | c 脳梗塞患者の病期に応じた援助     | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 4章1節 脳梗塞患者の看護【事例】 (p.196-202)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 11章3節3項 その他の疾患による性行動・性生活への影響と看護 (p.260-265)<br>臨床看護総論 2章3節 脳梗塞発症の患者さんへの看護ケア【事例】 (p.73-98), 1項 救急搬送から SCU入室 (rt-PA) 施行まで (p.74-79)   |
|                     |                      | d 小脳疾患患者の病期に応じた援助    | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節10項 小脳疾患患者 (p.129-131)   |
|                     |                      | e 頭部外傷患者の援助          | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節3項 頭部外傷患者 (p.110-112)／4章3節 頭部外傷患者の看護【事例】 (p.209-213)   |
|                     |                      | f 脊髄損傷患者の援助          | 脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節6項 脊椎・脊髄疾患患者 (p.118-120)<br>運動機能障害 6章2節2項 脊椎の運動機能障害がある患者の看護 (p.92-95)<br>内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 11章3節3項 その他の疾患による性行動・性生活への影響と看護 (p.260-265)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 6章5節 職業生活とセクシュアリティに関わるセルフケアの再獲得 脊髄を損傷した人の看護 (p.296-307)<br>リハビリテーション看護 7章4節 脊髄損傷患者の看護 (p.227-233) |
|                     |                      | g 脳死状態にある人の援助        | 病態生理学 1章序論3項 人間の死 (p.14-16)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 4章 脳・神経機能障害患者の看護の実際 (p.214)   |
| 17 運動機能障害のある患者の看護   | A 機能障害のアセスメント        |                      | リハビリテーション看護 5章1節 運動 (p.78-88)  |
|                     |                      | a 姿勢機能障害の原因と程度       | 運動機能障害 6章 骨格系・脊椎・関節・筋肉等の運動機能障害がある患者への看護 (p.84-114)<br>ヘルスアセスメント 3章12節 筋・骨格系のアセスメント (p.143-160)   |
|                     |                      | b 移動機能障害の原因と程度       | 運動機能障害 6章 骨格系・脊椎・関節・筋肉等の運動機能障害がある患者への看護 (p.84-114)<br>ヘルスアセスメント 3章12節 筋・骨格系のアセスメント (p.143-160)   |
|                     |                      | c 作業機能障害の原因と程度       | 運動機能障害 6章 骨格系・脊椎・関節・筋肉等の運動機能障害がある患者への看護 (p.84-114)／8章2節1項 基本的動作と日常生活活動の障害 (p.152-156)  |
|                     |                      | d 関節可動域障害・筋力低下の原因と程度 | 造血機能障害／免疫機能障害 4章2節1項 関節リウマチ患者の観察とアセスメント (p.162-163)<br>脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章2節5項 筋萎縮・筋力低下 (p.158-162)<br>運動機能障害 3章1節4項 関節の障害 (p.46-47)  |
|                     | B 症状とその看護            | a 姿勢機能障害による症状        | 運動機能障害 6章1節 骨格系の運動機能障害がある患者への看護 (p.84-114)   |
|                     |                      | b 移動機能障害による症状        | 運動機能障害 6章1節 骨格系の運動機能障害がある患者への看護 (p.84-114)   |

| 大項目               | 中項目                  | 小項目                                  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |   |
|-------------------|----------------------|--------------------------------------|--|---|
| 17 運動機能障害のある患者の看護 | B 症状とその看護            | c 作業機能障害による症状                        | 運動機能障害 8章2節 日常生活活動の障害に関わる看護 (p.152-158)  |   |
|                   |                      | d 疼痛(関節痛, 筋肉痛, 腰痛, 坐骨神経痛)            | 病態生理学 2章38節3項 アセスメント (p.280-281)<br>造血機能障害/免疫機能障害 4章2節2項 関節リウマチ患者の看護 (p.163-170)<br>運動機能障害 8章1節 疼痛の緩和 (p.146-152)  |   |
|                   | C 検査を受ける患者の看護        | a 筋生検                                | 運動機能障害 4章3節 筋肉の腫瘍・変性や神経の検査 (p.66)/7章7節5項 核医学検査 (p.135-136)   |   |
|                   |                      | b 脊髄造影・椎間板造影                         | 運動機能障害 2章3節1項 検査とその際の留意点 (p.38-40)/7章7節4項 脊髄造影(ミエログラフィ)(p.134-135)   |   |
|                   |                      | c 膝関節鏡検査・膝関節液検査                      | 運動機能障害 3章3節1項 検査とその際の留意点 (p.52-53)/7章7節2項 関節穿刺 (p.134)   |   |
|                   | D 治療を受ける患者の看護        | a ギプス固定                              | 運動機能障害 6章1節2項 骨格系の運動機能障害の看護 (p.86-89)/7章8節3項 ギプス, シーネによる固定術 (p.137-139)  |   |
|                   |                      | b 牽引法                                | 運動機能障害 6章1節2項 骨格系の運動機能障害の看護 (p.86-89), 2節2項 脊椎の運動機能障害がある患者の看護 (p.92-95)/7章8節4項 牽引療法 (p.139-140)  |   |
|                   |                      | c 人工関節置換術                            | 運動機能障害 3章4節2項 関節の手術療法 (p.54-55)/9章3節 変形性股関節置換術【事例】(p.181-184)  |   |
|                   |                      | d ポジショニングの援助                         | 運動機能障害 6章2節2項 脊椎の運動機能障害がある患者の看護 (p.92-95), 4節2項 筋肉の運動機能障害がある患者の看護 (p.111-114)  |   |
|                   | E 機能障害をもちながら生活する人の看護 | a 関節リウマチの病期に応じた援助                    | 病態生理学 2章39節4項 ケア (p.284-286)<br>臨床薬理学 7章3節 関節リウマチと薬物療法 (p.173-181)<br>造血機能障害/免疫機能障害 4章2節2項 関節リウマチ患者の看護【事例】(p.163-170)<br>運動機能障害 9章2節 関節リウマチ【事例】(p.174-181)<br>健康危機状況/セルフケアの再獲得 6章4節 家庭生活の役割遂行に関わるセルフケアの再獲得 関節リウマチをもつ人の看護 (p.285-295)<br>リハビリテーション看護 7章7節 関節リウマチ患者の看護 (p.252-259) |   |
|                   |                      | b 椎間板ヘルニアの病期に応じた援助                   | 運動機能障害 9章1節 腰椎椎間板ヘルニア【事例】(p.170-174)<br>周手術期看護 13章2節 腰椎椎間板ヘルニア (p.217-219)   |   |
|                   |                      | c 重症筋無力症患者の援助                        | 疾病と治療 10章7節 重症筋無力症(MG) (p.277-279)   |   |
|                   |                      | d Guillain-Barré(ギラン・バレー)症候群をもつ患者の援助 | 運動機能障害 4章4節2項 その他の治療 (p.67)  |   |
|                   |                      | e 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の援助                | セルフマネジメント 14章3節 筋萎縮性側索硬化症のクライアントのセルフマネジメント事例 (p.221-226)<br>リハビリテーション看護 7章5節 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の看護 (p.234-243)   |   |
|                   |                      | f 四肢切断後                              | 運動機能障害 5章3節 事故による運動機能障害とその疾患および治療 (p.74-75)<br>リハビリテーション看護 7章1節 四肢切断患者の看護 (p.202-209)  |   |
|                   | 18 排泄機能障害のある患者の看護    | A 機能障害のアセスメント                        | a 蓄尿・排尿機能障害の原因と程度の把握   | 病態生理学 2章43節2項 排尿痛 (p.311), 3項 排出困難(排尿困難) (p.311-312)<br>内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 4章1節1項 尿路の機能障害とはどのような状態か (p.90)/8章2節2項 心身・日常生活への影響と看護 (p.156-159)<br>基礎看護技術 14章3節 排尿・排便のニーズのアセスメント (p.292-294), 4節 排尿・排便障害の種類(看護診断) (p.295-297) |

| 大項目                 | 中項目                  | 小項目                       | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|---------------------|----------------------|---------------------------|---|
| 18 排泄機能障害のある患者の看護   | A 機能障害のアセスメント        | a 蓄尿・排尿機能障害の原因と程度の把握      | リハビリテーション看護 5章4節 排泄 (p.103-112)   |
|                     |                      | b 排泄機能障害がもたらす生命・生活への影響の把握 | 栄養代謝機能障害 3章3節 排便機能障害のある患者の看護 (p.138-153) / 5章4節 排便障害のある患者の看護: 大腸癌 (p.208-214)<br>内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 8章2節2項 心身・日常生活への影響と看護 (p.156-159)<br>リハビリテーション看護 5章4節3項 日常生活への影響 (p.111-112) |
|                     | B 症状とその看護            | a 蓄尿・排尿機能障害による症状の把握と援助    | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 8章 尿路の機能障害のある患者の看護 (p.150-176)<br>リハビリテーション看護 5章4節2項 排泄障害のアセスメント (p.106-111)  |
|                     | C 検査を受ける患者の看護        | a 尿流動態検査                  | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 8章1節2項 臨床検査と看護 (p.151-153)<br>リハビリテーション看護 5章4節2項 排泄障害のアセスメント (p.106-111)  |
|                     |                      | b 膀胱鏡検査                   | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 8章1節2項 臨床検査と看護 (p.151-153)  |
|                     | D 治療を受ける患者の看護        | a 膀胱切除術                   | 周手術期看護 10章1節3項 膀胱癌の手術を受ける人の看護 (p.183-185)   |
|                     |                      | b 前立腺切除術                  | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 8章3節4項 前立腺肥大症のために経尿道的前立腺摘出術を受けた患者の看護 (p.172-176)<br>周手術期看護 15章1節3項 前立腺癌の手術を受ける人の看護 (p.235-237)  |
|                     |                      | c ホルモン療法                  | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 6章 内分泌機能障害のある患者の看護 (p.122-125)  |
|                     | E 機能障害をもちながら生活する人の看護 | a 排尿機能障害                  | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 4章 尿路の機能障害 (排尿障害・蓄尿障害) (p.90-98)<br>地域療養を支えるケア 6章4節 排泄の援助 (p.204-211) / 7章5節 事故により中途障害となった成人男性 (p.259-262)  |
|                     |                      | b 尿管ストーマ造設後               | 基礎看護技術 14章5節4項 ストーマ造設者への援助 (p.301-303)  |
| 19 性・生殖機能障害のある患者の看護 | A 機能障害のアセスメント        | a 性欲の減退の原因と程度             | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 10章7節 性行動・性生活の障害 (p.228-232)<br>リハビリテーション看護 5章9節 性 (セクシュアリティ) (p.147-152)   |
|                     |                      | b 性交障害の原因と程度              | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 10章7節 性行動・性生活の障害 (p.228-232)  |
|                     |                      | c 不妊の原因と程度                | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 10章5節 不妊症治療 (p.218-221)   |
|                     |                      | d 性感染症の原因と程度              | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 10章4節 性器感染症 (p.214-217)   |
|                     |                      | e 乳腺・子宮・卵巣腫瘍の程度の把握        | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 10章2節2項 女性生殖器の障害を引き起こす主な疾患 (p.200-210), 6節2項 乳腺の主な疾患 (p.222-227)<br>ヘルスアセスメント 3章9節 乳房・腋窩のアセスメント (p.108-119), 11節3項 女性生殖器の視診および触診 (p.137)                      |
|                     |                      | f 精巣腫瘍の程度の把握              | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 10章3節2項 男性生殖器の障害を引き起こす主な疾患 (p.212-213)<br>ヘルスアセスメント 3章11節6項 男性生殖器の視診および触診 (p.139-140)   |



| 大項目                 | 中項目           | 小項目                      | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|---------------------|---------------|--------------------------|--|
| 19 性・生殖機能障害のある患者の看護 | A 機能障害のアセスメント | g 性・生殖機能障害がもたらす生命・生活への影響 | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章 性・生殖機能の障害 (p.186-233)／11章 性・生殖機能障害のある患者の看護 (p.236-280)<br>リハビリテーション看護 5章9節3項 日常生活への影響 (p.152)              |
|                     |               | B 症状とその看護                | a 勃起障害症状   |
|                     | b 性交障害症状      |                          | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章7節 性行動・性生活の障害 (p.228-232)<br>リハビリテーション看護 5章9節1項 性のメカニズム (p.147-149)   |
|                     | c 性感染症 (STD)  |                          | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章4節1項 男性の性器感染症 (p.214), 2項 女性の性器感染症 (p.215-217)  |
|                     | C 検査を受ける患者の看護 | a 男性生殖器の触診               | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章3節2項 男性生殖器の障害を引き起こす主な疾患 (p.212-213)／11章2節1項 診察・検査と看護 (p.246-248)<br>ヘルスアセスメント 3章11節6項 男性生殖器の視診および触診 (p.139) |
|                     |               | b 女性生殖器の触診               | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 11章2節1項 診察・検査と看護 (p.246-248)<br>ヘルスアセスメント 3章11節3項 女性生殖器の視診および触診 (p.137)  |
|                     |               | c 基礎体温測定法                | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章5節3項 女性不妊 (p.219-221)<br>ヘルスアセスメント 4章1節1項 母性のアセスメント:アセスメントの根拠になる復習事項 (p.186-189)                            |
|                     |               | d 頸管粘液検査                 | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章2節 女性生殖器の疾患と性・生殖機能障害 (p.200-210)  |
|                     |               | e 卵管疎通性検査                | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章2節 女性生殖器の疾患と性・生殖機能障害 (p.200-210)  |
|                     |               | f 乳房腫瘍穿刺吸引細胞診            | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章6節2項 乳腺の主な疾患 (p.222-227)  |
|                     |               | g 腹部超音波検査                | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章2節 女性生殖器の疾患と性・生殖機能障害 (p.200-210)  |
|                     |               | h 乳房超音波検査                | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章6節2項 乳腺の主な疾患 (p.222-227)  |
|                     |               | i マンモグラフィー               | 疾病と治療 8章4節2項 診断と治療 (p.216-219)   |
|                     | D 治療を受ける患者の看護 | a 勃起障害治療                 | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章7節1項 性行動・性生活の障害 (p.228-232)／11章3節1項 ED患者への働きかけと支援 (p.257-258), 4節5項 勃起障害患者に対する薬物療法時の援助 (p.278-280)          |
|                     |               | b 性交障害治療                 | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章7節1項 性行動・性生活の障害 (p.228-232)   |
|                     |               | c 不妊治療                   | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章5節 不妊症治療 (p.218-221)  |
|                     |               | d 性感染症治療                 | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章4節1項 男性の性器感染症 (p.214), 2項 女性の性器感染症 (p.215-217)  |
|                     |               | e 乳房切除術                  | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章6節2項 乳腺の主な疾患 (p.222-227)／11章4節3項 乳房切除術後の患者の看護 (p.271-273)<br>周手術期看護 15章3節3項 乳癌の手術を受ける人の看護 (p.245-246)       |

| 大項目                 | 中項目                  | 小項目           | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|---------------------|----------------------|---------------|---|
| 19 性・生殖機能障害のある患者の看護 | D 治療を受ける患者の看護        | f 女性生殖器切除術    | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章2節2項 女性生殖器の障害を引き起こす主な疾患 (p.200-210)／11章4節2項 卵巣摘出術後の患者の看護 (p.269-271)<br>周手術期看護 15章2節3項 子宮体癌の手術を受ける人の看護 (p.240-241)           |
|                     |                      | g 男性生殖器切除術    | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 11章4節1項 前立腺摘出術後の患者の看護 (p.266-269)   |
|                     |                      | h 乳癌内分泌療法     | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章6節2項 乳腺の主な疾患 (p.222-227)   |
|                     | E 機能障害をもちながら生活する人の看護 | a 性機能障害       | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章2節 女性生殖器の疾患と性・生殖機能障害 (p.200-210), 3節 男性生殖器の障害と疾患 (p.210-213)<br>健康危機状況／セルフケアの再獲得 6章5節 職業生活とセクシュアリティに関わるセルフケアの再獲得 (p.296-307) |
|                     |                      | b ホルモン欠落症状    | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 10章1節 性ホルモンの障害 (p.186-199)  |
|                     |                      | c 乳癌術後慢性リンパ浮腫 | 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 11章4節3項 乳房切除術後の患者の看護 (p.271-273)  |

# 老年看護学

## 目標Ⅰ. 高齢者、家族の生活及び健康について基本的な理解を問う。

| 大項目      | 中項目         | 小項目                  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|----------|-------------|----------------------|---|
| 1 老年期の理解 | A ライフサイクル   | a 老年期の定義・意義          | 高齢者の健康と障害 1章1節1項 ライフサイクルからみた高齢者の理解 (p.12)   |
|          |             | b 加齢と老化              | 病態生理学 1章6節2項 細胞の傷害・適応の分類 (p.62-69), 3項 細胞傷害・老化に対する看護 (p.69)<br>高齢者の健康と障害 1章1節2項 加齢と老化 (p.12)    |
|          | B 生活の変化     | a 生活の場               | 公衆衛生 7章1節3項 高齢者保健の意義と看護職の役割 (p.123)<br>高齢者の健康と障害 2章2節1項 ライフサイクルに応じた生活の場 (p.77-78)               |
|          |             | b 生活のリズムと生活習慣        | 高齢者の健康と障害 3章4節3項 在宅医療を支える看護活動 (p.133-138)   |
|          |             | c 役割と社会活動・余暇活動       | 高齢者の健康と障害 1章5節3項 社会的機能の変化 (p.55-60) / 6章6節1項 アクティブエイジングの時代 (p.282-283)                          |
|          |             | d 家族構成 (周期)          | 高齢者の健康と障害 2章1節1項 高齢者と家族のライフサイクル (p.62)  |
|          |             | e 住宅環境               | 高齢者の健康と障害 6章4節1項 自宅における住環境 (p.260-267)  |
|          |             | f 就労・雇用              | 高齢者の健康と障害 1章5節3項 社会的機能の変化 (p.55-60)   |
|          |             | g 収入・生計              | 高齢者の健康と障害 1章5節3項 社会的機能の変化 (p.55-60) / 6章5節1項 経済状態のアセスメント (p.277)                                |
|          | C 老年期の発達と成熟 | a 老年期における発達と成熟の意味    | 高齢者の健康と障害 1章2節1項 老年期の特徴 (p.23-24), 4節2項 高齢者のQOLに影響を与えるもの (p.36-37) / 2章1節3項 高齢者と家族の関係 (p.65-68) |
|          |             | b 老年期の発達課題           | 高齢者の健康と障害 1章2節1項 老年期の特徴 (p.23-24)   |
|          |             | c 人格と尊厳              | 高齢者の健康と障害 1章4節2項 高齢者のQOLに影響を与えるもの (p.36-37)   |
|          |             | d 喪失体験と適応            | 看護学概論 4章3節2項 喪失, 悲嘆と死 (p.101-102)<br>高齢者の健康と障害 1章2節1項 老年期の特徴 (p.23-24)                          |
|          |             | e スピリチュアリティ          | 高齢者の健康と障害 1章4節2項 高齢者のQOLに影響を与えるもの (p.36-37)   |
|          | D 高齢者の多様性   | a 時代背景に関連する人生と経験の多様性 | 高齢者の健康と障害 1章2節2項 高齢者の理解 (p.24-25)   |
|          |             | b 生活史                | 高齢者の健康と障害 1章2節2項 高齢者の理解 (p.24-25)   |
|          |             | c 価値観                | 高齢者の健康と障害 4章2節3項 高齢者看護に適用する理論・概念 (p.152-159)  |
|          |             | d 生活習慣・生活様式          | 高齢者の健康と障害 1章2節2項 高齢者の理解 (p.24-25)   |

| 大項目      | 中項目           | 小項目               | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|----------|---------------|-------------------|--|
| 2 高齢者の健康 | A 加齢に伴う変化     | a 身体的機能           | 運動機能障害 5章5節1項 加齢による運動機能障害 (p.77) / 7章5節1項 運動機能障害のアセスメント (p.126-129)<br>高齢者の健康と障害 1章5節1項 身体機能の生理的变化 (p.42-46) |
|          |               | b 精神的機能           | 高齢者の健康と障害 1章5節2項 心理・精神機能の変化 (p.49-55)  |
|          |               | c 社会的機能           | 高齢者の健康と障害 1章5節3項 社会的機能の変化 (p.55-60)  |
|          | B 身体・精神・生活の連動 | a 老年期の健康のとりえ方     | 高齢者の健康と障害 1章3節1項 高齢者にとっての健康維持・増進の意義 (p.25-26)  |
|          |               | b 高齢者の健康の特徴       | 高齢者の健康と障害 1章3節2項 老年期の健康とは (p.26-27)  |
|          |               | c 生きがいと生活の満足感     | 高齢者の健康と障害 1章4節1項 高齢者にとってのQOL (p.34-35)   |
| 3 高齢者と家族 | A 高齢者と家族の機能   | a 高齢者と家族のライフサイクル  | 高齢者の健康と障害 2章1節1項 高齢者と家族のライフサイクル (p.62), 2項 高齢者がいる家族 (p.62-65)  |
|          |               | b 要介護高齢者と家族介護     | 高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.68-77)  |
|          | B 介護家族の課題     | a 高齢者の単独世帯の介護     | 高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.68-77)  |
|          |               | b 高齢者の夫婦のみの世帯の介護  | 高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.68-77)  |
|          |               | c 高齢者と未婚子のみの世帯の介護 | 高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.68-77)  |

## 目標Ⅱ. 健康レベルや療養形態に応じた高齢者と家族に対する看護について基本的な理解を問う。

| 大項目       | 中項目           | 小項目                   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-----------|---------------|-----------------------|---|
| 4 老年看護の特徴 | A 高齢者の人生の質の保証 | a ノーマライゼーション          | 高齢者の健康と障害 1章4節2項 高齢者のQOLに影響を与えるもの (p.36-37)   |
|           |               | b 自立支援とエンパワメント        | 高齢者の健康と障害 2章3節8項 日常生活自立支援事業 (p.91-92) / 4章2節3項 高齢者看護に適用する理論・概念 (p.152-159)  |
|           | B 老年看護の基本     | a 安全・安楽な生活への看護        | 臨床看護総論 2章3節4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92)<br>高齢者の健康と障害 4章1節2項 高齢者の特性からみた看護 (p.141-147)  |
|           |               | b 健康の保持増進と廃用症候群の予防    | 高齢者の健康と障害 1章3節5項 高齢者の自立を妨げる要因 (p.31-32) / 4章1節2項 高齢者の特性からみた看護 (p.141-147) / 5章1節3項 高齢者を対象とする健康増進プログラムの要点 (p.232-234), 2節 生活習慣病予防 (p.234-235), 5節 健康増進プログラム参加者の事例 (p.239-244)<br>高齢者看護の実践 1章5節2項 廃用症候群 (p.123-128) |
|           |               | c 疾病の治癒・回復の特徴をふまえた看護  | 高齢者の健康と障害 4章1節2項 高齢者の特性からみた看護 (p.141-147)   |
|           |               | d 個別の日常生活能力、目標に合わせた看護 | 高齢者の健康と障害 4章1節2項 高齢者の特性からみた看護 (p.141-147)   |
|           |               | e 人生の統合をはかる看護         | 高齢者の健康と障害 1章2節1項 老年期の特徴 (p.23-24) / 4章1節2項 高齢者の特性からみた看護 (p.141-147)   |

| 大項目            | 中項目            | 小項目                     | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |  |
|----------------|----------------|-------------------------|---|--|
| 4 老年看護の特徴      | B 老年看護の基本      | f 家族との協働                | 臨床看護総論 2章3節4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92)<br>高齢者の健康と障害 4章1節2項 高齢者の特性からみた看護 (p.141-147)  |  |
|                |                | g 安全管理〈セーフティマネジメント〉     | 高齢者の健康と障害 4章1節2項 高齢者の特性からみた看護 (p.141-147), 8節 高齢者のリスクマネジメント (p.221-226)   |  |
|                |                | h チームアプローチ (他職種との連携)    | 臨床看護総論 2章3節4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92) / 3章6節1項 多職種の連携と協働で必要なこと (p.153-154)<br>高齢者の健康と障害 4章1節2項 高齢者の特性からみた看護 (p.141-147), 7節1項 チームアプローチとは (p.214-216)  |  |
|                |                | i 在宅・施設につなげる看護 (地域連携部門) | 臨床看護総論 2章3節4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92)<br>リハビリテーション看護 4章3節2項 地域医療連携における情報共有 (p.71-74)<br>高齢者の健康と障害 3章1節1項 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) (p.108-111), 2節1項 グループホーム (p.114-120), 3節1項 デイサービス・デイケアの位置づけ (p.125-126), 4節1項 在宅看護に関する法的整備 (p.130-131) |  |
|                | C 老年看護の倫理      | a 高齢者差別                 | 高齢者の健康と障害 1章4節2項 高齢者のQOLに影響を与えるもの (p.36-37), 5節2項 心理・精神機能の変化 (p.49-55) / 4章2節2項 心理社会面に関する理論 (p.149-152)   |  |
|                |                | b 高齢者虐待                 | 医療関係法規 10章5節 高齢者虐待の防止, 高齢者の養護者に対する支援等に関する法律 (p.196-198)<br>高齢者の健康と障害 4章3節2項 高齢者虐待と身体拘束 (p.162-166)  |  |
|                |                | c 安全確保と身体拘束             | 臨床看護総論 2章3節4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92)<br>高齢者の健康と障害 4章3節2項 高齢者虐待と身体拘束 (p.162-166)<br>高齢者看護の実践 3章7節2項 行動制限が必要な場合 (p.280-282), 3項 認知症高齢者の行動制限 (p.282-283)  |  |
|                |                | d 高齢者の権利擁護〈アドボカシー〉      | 高齢者の健康と障害 4章2節3項 高齢者看護に適用する理論・概念 (p.152-159)<br>高齢者看護の実践 3章7節4項 行動制限をしないために (p.283) / 5章4節6項 学生に学んでほしいポイント (p.326-328)  |  |
|                |                | A 高齢者の生活アセスメント          | a 総合機能評価 (CGA)  | 高齢者の健康と障害 4章4節2項 包括的な機能のアセスメント (p.181-190)   |
|                |                |                         | b 基本的日常生活動作 (BADL) と手段的日常生活動作 (IADL)  | 運動機能障害 7章1節2項 日常生活の観察 (p.116-118), 6節2項 日常生活の援助 (p.131-132) / 8章4節1項 APDL / IADL の障害 (p.163)<br>高齢者の健康と障害 4章4節2項 包括的な機能のアセスメント (p.181-190) |
| 5 高齢者の生活を支える看護 | A 高齢者の生活アセスメント | c 心理・情緒機能               | 高齢者の健康と障害 4章4節2項 包括的な機能のアセスメント (p.181-190)  |  |
|                |                | d 生活環境                  | 運動機能障害 7章5節2項 日常生活の観察 (p.129-130), 6節1項 看護のポイント (p.130-131)<br>高齢者の健康と障害 4章4節2項 包括的な機能のアセスメント (p.181-190) / 6章4節2項 住環境のアセスメントと調整 (p.269-275)  |  |
|                |                | B コミュニケーション             | a コミュニケーション能力のアセスメント  | 高齢者の健康と障害 1章5節2項 心理・精神機能の変化 (p.49-55) / 6章1節 コミュニケーション (p.246-307)   |
|                |                |                         | b コミュニケーションを阻害する影響要因のアセスメント   | 高齢者の健康と障害 1章5節2項 心理・精神機能の変化 (p.49-55) / 6章1節4項 高齢者のコミュニケーションを困難にするその他の要因 (p.249-250)   |

| 大項目            | 中項目              | 小項目                           | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|----------------|------------------|-------------------------------|---|
| 5 高齢者の生活を支える看護 | B コミュニケーション      | c 高齢者とのコミュニケーションの方法           | 高齢者の健康と障害 1章5節2項 心理・精神機能の変化 (p.49-55)   |
|                |                  | C 歩行・移動                       | a 歩行・移動動作の<br>アセスメント  |
|                | b 歩行・移動動作の<br>援助 |                               | 運動機能障害 7章6節3項 生活指導 (p.132)<br>高齢者の健康と障害 5章3節 転倒予防/運動器の機能向上 (p.235-238)<br>高齢者看護の実践 1章5節1項 歩行・移動 (p.116-123)                                     |
|                | c 高齢者の転倒の影響      |                               | 高齢者の健康と障害 5章3節 転倒予防/運動器の機能向上 (p.235-238)  |
|                | d 転倒発生の要因        |                               | 運動機能障害 8章3節1項 転倒の要因 (p.159-162)<br>基礎看護技術 6章2節2項 主な医療事故とその予防策 (p.132-138)<br>高齢者の健康と障害 5章3節 転倒予防/運動器の機能向上 (p.235-238)                           |
|                | e 転倒予防           |                               | 高齢者の健康と障害 5章3節 転倒予防/運動器の機能向上 (p.235-238), 5節2項 転倒予防プログラムに参加した高齢者の事例 (p.241-243)   |
|                | D 食生活            | a 食生活のアセスメント                  | 臨床栄養学 3章3節6項 高齢期 (p.143-168)<br>ヘルスアセスメント 4章3節6項 高齢者への健康歴聴取時のポイント (p.215-217)<br>高齢者の健康と障害 6章2節 食生活 (p.252-255)<br>高齢者看護の実践 1章1節1項 食事 (p.12-19) |
|                |                  | b 嚥下能力, 嗜好性,<br>環境をふまえた食生活の援助 | 臨床栄養学 3章3節6項 高齢期 (p.126-133)<br>高齢者の健康と障害 6章2節3項 嗜好 (p.253-254)<br>高齢者看護の実践 1章1節3項 摂食嚥下障害 (p.23-31), 4項 低栄養 (p.31-37)                           |
|                | E 排泄             | a 排泄のアセスメント                   | ヘルスアセスメント 4章3節6項 高齢者への健康歴聴取時のポイント (p.215-217)<br>高齢者看護の実践 1章2節1項 排泄 (p.37-44)   |
|                |                  | b 排泄能力の変化に応じたケア用具を用いた援助       | 高齢者看護の実践 1章2節1項 排泄 (p.37-44)  |
|                | F 清潔・衣生活         | a 清潔行為のアセスメント                 | ヘルスアセスメント 4章3節6項 高齢者への健康歴聴取時のポイント (p.215-217)<br>高齢者看護の実践 1章3節1項 清潔・衣生活 (p.57-69)   |
|                |                  | b 更衣動作のアセスメント                 | 高齢者看護の実践 1章3節1項 清潔・衣生活 (p.57-69)  |
|                |                  | c 入浴行動に伴う危険性、負担をふまえた清潔・衣生活の援助 | 高齢者看護の実践 1章3節1項 清潔・衣生活 (p.57-69)  |
|                | G 活動と休息          | a 活動と休息のアセスメント                | ヘルスアセスメント 4章3節6項 高齢者への健康歴聴取時のポイント (p.215-217)<br>高齢者看護の実践 1章4節1項 活動と休息 (p.83-91)  |
|                |                  | b 生活リズムの調整                    | 高齢者看護の実践 1章4節1項 活動と休息 (p.83-91)   |
|                | H 性〈セクシュアリティ〉    | a セクシュアリティのアセスメント             | 高齢者の健康と障害 6章3節1項 高齢者にとっての「性」 (p.255-256)  |
|                |                  | b 健康なセクシュアリティへの援助             | 高齢者の健康と障害 6章3節5項 「高齢者の性」への対応 (p.259-260)  |

| 大項目                  | 中項目       | 小項目                    | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|----------------------|-----------|------------------------|---|
| 5 高齢者の生活を支える看護       | I 社会参加    | a 社会参加のアセスメント          | ヘルスアセスメント 4章3節7項 高齢者を対象としたフィジカルアセスメント (p.217-223)<br>高齢者の健康と障害 6章11節2項 高齢者と社会参加 (p.283-285)                         |
|                      |           | b 生きがいもてる身近な場所への参加の援助  | 高齢者の健康と障害 6章11節2項 高齢者と社会参加 (p.283-285), 3項 地域における高齢者の社会参加 (p.285-288)   |
| 6 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護 | A 廃用症候群   | a 加齢による廃用症候群の病態と要因     | 高齢者看護の実践 1章5節2項 廃用症候群 (p.123-128)   |
|                      |           | b 廃用症候群予防のためのアセスメント    | 高齢者看護の実践 1章5節2項 廃用症候群 (p.123-128)   |
|                      |           | c 廃用症候群予防のための援助        | 高齢者看護の実践 1章5節2項 廃用症候群 (p.123-128)   |
|                      | B 脱水症     | a 加齢による脱水症の病態と要因       | 高齢者看護の実践 1章1節2項 脱水 (p.19-23)  |
|                      |           | b 脱水症のアセスメント           | ヘルスアセスメント 4章3節7項 高齢者を対象としたフィジカルアセスメント (p.219)<br>高齢者看護の実践 1章1節2項 脱水 (p.19-23)                                       |
|                      |           | c 脱水症の予防と援助            | 臨床栄養学 3章3節6項 高齢期 (p.126-133)<br>高齢者看護の実践 1章1節2項 脱水 (p.19-23)  |
|                      | C 摂食・嚥下障害 | a 加齢による摂食・嚥下障害の病態と要因   | 高齢者看護の実践 1章1節3項 摂食嚥下障害 (p.23-31)  |
|                      |           | b 摂食・嚥下障害のアセスメント       | 高齢者看護の実践 1章1節3項 摂食嚥下障害 (p.23-31)  |
|                      |           | c 摂食・嚥下障害を有する高齢者の看護    | 臨床栄養学 3章3節6項 高齢期 (p.126-133)<br>高齢者看護の実践 1章1節3項 摂食嚥下障害 (p.23-31)  |
|                      |           | d 誤嚥性肺炎の予防と援助          | 高齢者看護の実践 1章1節3項 摂食嚥下障害 (p.23-31), 6節1項 肺炎 (p.146-149)   |
|                      | D 低栄養     | a 加齢による低栄養状態の病態と要因     | 臨床栄養学 3章3節6項 高齢期 (p.126-133)<br>高齢者看護の実践 1章1節4項 低栄養 (p.31-37)   |
|                      |           | b 低栄養状態のアセスメント         | ヘルスアセスメント 4章3節6項 高齢者への健康歴聴取時のポイント (p.215-217), 7項 高齢者を対象としたフィジカルアセスメント (p.217-223)<br>高齢者看護の実践 1章1節4項 低栄養 (p.31-37) |
|                      |           | c 他職種との協働による栄養管理       | 高齢者看護の実践 1章1節4項 低栄養 (p.31-37)   |
|                      | E 掻痒症     | a 加齢による掻痒症の病態と要因       | 高齢者看護の実践 1章3節2項 そう痒 (かゆみ) (p.69-73)   |
|                      |           | b 掻痒症の症状と生活への影響のアセスメント | ヘルスアセスメント 4章3節7項 高齢者を対象としたフィジカルアセスメント (p.217-223)<br>高齢者看護の実践 1章3節2項 そう痒 (かゆみ) (p.69-73)                            |
|                      |           | c 掻痒症の予防と援助            | 高齢者看護の実践 1章3節2項 そう痒 (かゆみ) (p.69-73)   |
|                      | F 尿失禁     | a 加齢による尿失禁の病態と要因       | 高齢者看護の実践 1章2節2項 尿失禁 (p.44-50)   |
|                      |           | b 尿失禁のアセスメント           | ヘルスアセスメント 4章3節6項 高齢者への健康歴聴取時のポイント (p.215-217)<br>高齢者看護の実践 1章2節2項 尿失禁 (p.44-50)                                      |
|                      |           | c 尿失禁を有する高齢者への援助       | 高齢者看護の実践 1章2節2項 尿失禁 (p.44-50)   |

| 大項目                  | 中項目     | 小項目                     | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|----------------------|---------|-------------------------|---|
| 6 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護 | G 便秘・下痢 | a 加齢による便秘・下痢の病態と要因      | 高齢者看護の実践 1章2節3項 便秘・下痢 (p.50-57)   |
|                      |         | b 便秘・下痢のアセスメント          | 高齢者看護の実践 1章2節3項 便秘・下痢 (p.50-57)   |
|                      |         | c 便秘・下痢の予防と援助           | 高齢者看護の実践 1章2節3項 便秘・下痢 (p.50-57)   |
|                      | H 睡眠障害  | a 加齢による睡眠の特徴と睡眠障害の病態と要因 | 高齢者看護の実践 1章4節6項 睡眠 (p.100-108), 7項 睡眠障害 (p.108-116)   |
|                      |         | b 睡眠障害のアセスメント           | 病態生理学 2章46節3項 アセスメント (p.323-326)<br>高齢者看護の実践 1章4節7項 睡眠障害 (p.108-116)  |
|                      |         | c 睡眠障害を有する高齢者への援助       | 高齢者看護の実践 1章4節7項 睡眠障害 (p.108-116)  |
|                      | I 視覚障害  | a 加齢による視覚障害の病態と要因       | 高齢者看護の実践 1章4節2項 視覚・聴覚の障害 (p.91-95)  |
|                      |         | b 視覚障害の程度と生活への影響のアセスメント | ヘルスアセスメント 4章3節7項 高齢者を対象としたフィジカルアセスメント (p.217-223)<br>高齢者の健康と障害 6章1節2項 高齢者の視覚機能 (p.247-248)<br>高齢者看護の実践 1章4節2項 視覚・聴覚の障害 (p.91-95)          |
|                      |         | c 視覚障害を有する高齢者の援助        | 高齢者の健康と障害 6章1節2項 高齢者の視覚機能 (p.247-248)<br>高齢者看護の実践 1章4節2項 視覚・聴覚の障害 (p.91-95)   |
|                      | J 聴覚障害  | a 加齢による聴覚障害の病態と要因       | 高齢者看護の実践 1章4節2項 視覚・聴覚の障害 (p.91-95)  |
|                      |         | b 聴覚障害の程度と生活への影響のアセスメント | ヘルスアセスメント 4章3節7項 高齢者を対象としたフィジカルアセスメント (p.217-223)<br>高齢者の健康と障害 6章1節1項 高齢者の聴覚機能 (p.246-247)<br>高齢者看護の実践 1章4節2項 視覚・聴覚の障害 (p.91-95)          |
|                      |         | c 聴覚障害を有する高齢者の援助        | 高齢者の健康と障害 6章1節1項 高齢者の聴覚機能 (p.246-247)<br>高齢者看護の実践 1章4節2項 視覚・聴覚の障害 (p.91-95)   |
|                      | K 骨粗鬆症  | a 加齢による骨粗鬆症の病態と要因       | 病態生理学 1章6節2項 細胞の傷害・適応の分類 (p.62-69)<br>運動機能障害 5章5節2項 主な疾患 (p.77-78) / 7章5節1項 運動機能障害のアセスメント (p.126-129)<br>高齢者看護の実践 1章5節3項 骨粗鬆症 (p.128-131) |
|                      |         | b 骨粗鬆症の症状と生活への影響のアセスメント | 運動機能障害 5章5節3項 治療・看護 (p.78-81) / 7章5節1項 運動機能障害のアセスメント (p.126-129)<br>高齢者看護の実践 1章5節3項 骨粗鬆症 (p.128-131)                                      |
|                      |         | c 骨粗鬆症予防のための援助          | 運動機能障害 5章5節3項 治療・看護 (p.78-81)<br>高齢者看護の実践 1章5節3項 骨粗鬆症 (p.128-131)   |
|                      |         | d 骨粗鬆症の治療と援助            | 運動機能障害 5章5節3項 治療・看護 (p.78-81)<br>高齢者看護の実践 1章5節3項 骨粗鬆症 (p.128-131), 4項 骨折 (p.131-138)  |
|                      | L 骨折    | a 加齢による骨折の特徴と要因         | 運動機能障害 5章5節2項 主な疾患 (p.77-78)<br>高齢者看護の実践 1章5節4項 骨折 (p.131-138)  |
|                      |         | b 骨折の症状と生活への影響のアセスメント   | 運動機能障害 5章5節3項 治療・看護 (p.78-81)<br>ヘルスアセスメント 4章3節7項 高齢者を対象としたフィジカルアセスメント (p.217-223)<br>高齢者看護の実践 1章5節4項 骨折 (p.131-138)                      |
|                      |         | c 骨折の治療と援助              | 運動機能障害 1章4節1項 骨折の治療法 (p.26-28) / 5章5節3項 治療・看護 (p.78-81)<br>高齢者看護の実践 1章5節4項 骨折 (p.131-138)   |



| 大項目                                 | 中項目                    | 小項目   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-------------------------------------|------------------------|---|---|
| 6 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護                | M うつ病                  | a 加齢によるうつ病の特徴と要因  | 高齢者看護の実践 2章2節1項 高齢者のうつ病の背景と特徴 (p.230-232)   |
|                                     |                        | b うつ病の症状と生活への影響のassessment  | ヘルスアセスメント 4章3節7項 高齢者を対象としたフィジカルアセスメント (p.217-223)<br>高齢者看護の実践 2章2節2項 高齢者のうつ病の看護のポイント (p.232-236)  |
|                                     |                        | c うつ病の治療と援助   | 高齢者看護の実践 2章2節2項 高齢者のうつ病の看護のポイント (p.232-236)   |
|                                     | N せん妄                  | a 加齢によるせん妄の病態と要因  | 高齢者看護の実践 2章3節1項 高齢者のせん妄 (p.236), 2項 せん妄を引き起こす要因とアセスメント (p.236-238) / 5章3節8項 学生に学んでほしいポイント (p.316-319)<br>情緒発達と看護の基本 10章8節2項 せん妄 (p.192-195) |
|                                     |                        | b せん妄のassessment  | 高齢者看護の実践 2章3節2項 せん妄を引き起こす要因とアセスメント (p.236-238)  |
|                                     |                        | c せん妄予防のための援助   | 高齢者看護の実践 2章3節3項 せん妄の予防 (p.238-239)  |
|                                     |                        | d せん妄発生時の治療と援助  | 高齢者看護の実践 2章3節4項 せん妄を発症した高齢者への援助 (p.239-240)   |
|                                     | O 認知症                  | a 加齢による認知症の病態と要因  | 臨床看護総論 2章3節5項 サービスを受けながらの在宅生活 (p.94-98)<br>情緒発達と看護の基本 10章8節1項 認知症 (p.188-192)   |
|                                     |                        | b 認知機能の評価方法   | 高齢者看護の実践 2章1節3項 認知機能の評価方法 (p.213-215)   |
|                                     |                        | c 認知症の高齢者に対するコミュニケーション方法  | 高齢者看護の実践 2章1節5項 認知症高齢者とのコミュニケーションの基本 (p.220-222)  |
|                                     |                        | d 行動・心理症状と生活への影響  | 臨床看護総論 2章3節5項 サービスを受けながらの在宅生活 (p.94-98)<br>高齢者看護の実践 2章1節2項 認知症の症状の理解とケア (p.204-213)   |
|                                     |                        | e 認知症高齢者の権利擁護のための社会的支援・制度   | 高齢者の健康と障害 2章3節7項 成年後見制度 (p.89-91)<br>高齢者看護の実践 2章1節8項 認知症高齢者の人権と権利擁護 (p.228-230)   |
|                                     |                        | f 認知症の予防  | 高齢者の健康と障害 5章4節 認知症予防 (p.238-239)<br>高齢者看護の実践 2章1節4項 認知症の予防と治療 (p.215-220)   |
| g 認知症の治療と援助                         |                        | 臨床薬理学 4章4節 アルツハイマー型認知症治療薬 (p.102-103)<br>臨床看護総論 2章3節5項 サービスを受けながらの在宅生活 (p.94-98)<br>高齢者看護の実践 2章1節4項 認知症の予防と治療 (p.215-220)                   |   |
| h 認知症の療法的アプローチ                      |                        | 高齢者看護の実践 2章1節6項 認知症の療法的アプローチ (p.222-225)  |   |
| i 認知症高齢者の家族への支援とサポートシステム            |                        | 臨床看護総論 2章3節5項 サービスを受けながらの在宅生活 (p.94-98)<br>高齢者看護の実践 2章1節7項 認知症高齢者の家族への支援とサポートシステム (p.225-228)<br>地域療養を支えるケア 7章2節 被虐待が疑われる認知症高齢者 (p.247-250) |   |
| P Parkinson (パーキンソン) 症候群 (パーキンソニズム) | a 加齢によるパーキンソン症候群の病態と要因 | 高齢者看護の実践 1章7節4項 パーキンソン病 (p.187-192)   |   |

| 大項目   | 中項目                               | 小項目                          | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|---|-----------------------------------|------------------------------|--|
| 6 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護                                | P Parkinson〈パーキンソン〉症候群 (パーキンソニズム) | b パーキンソン症候群の症状と生活への影響のアセスメント | 高齢者看護の実践 1章7節4項 パーキンソン病 (p.187-192)  |
|   |                                   | c パーキンソン症候群の治療と援助            | 臨床薬理学 4章3節 パーキンソン病治療薬 (p.96-102)<br>高齢者看護の実践 1章7節4項 パーキンソン病 (p.187-192)  |
|   | Q 感染症                             | a 加齢による感染症の病態と要因             | 高齢者看護の実践 1章3節4項 感染症 (p.76-82)<br>災害看護 6章1節2項 感染症対策の実践 (p.160-171)  |
|   |                                   | b 感染症の罹患予防と感染拡大の防止           | 高齢者看護の実践 1章3節4項 感染症 (p.76-82)  |
| 7 治療を受ける高齢者への看護                                     | A 薬物療法を受ける高齢者の看護                  | a 加齢に伴う薬物動態の変化               | 高齢者看護の実践 3章1節1項 加齢による生理学的変化 (薬物動態, 薬理学) (p.242-243)  |
|   |                                   | b 服薬管理とリスクマネジメント             | 高齢者看護の実践 3章1節2項 薬物療法による有害反応 (p.243-244), 3項 服薬行動・服薬管理 (p.244-247)  |
|   | B リハビリテーションを受ける高齢者の看護             | a 高齢者に対するリハビリテーションの意義と特徴     | リハビリテーション看護 1章4節5項 小児, 高齢者のリハビリテーションの特殊性 (p.19-20)<br>高齢者看護の実践 3章3節1項 リハビリテーションの対象者とは (p.259), 2項 加齢とリハビリテーション (p.260), 4項 リハビリテーションのまとめ (p.264) |
|   |                                   | b 生活機能向上につなぐ看護               | 高齢者看護の実践 3章3節4項 経過別リハビリテーションの特徴 (p.263-264), 5項 身体と心の休息の効果 (p.264) / 5章7節 リハビリテーション看護実習 (p.346-357)  |
|   | C 受療形態に応じた高齢者への看護                 | a 入院時の看護                     | 高齢者看護の実践 3章5節 入院 (p.270-275), 1項 入院に伴う生活変化 (p.270), 2項 対象理解 (p.270-271)  |
|   |                                   | b 外来診療時の看護                   | 高齢者看護の実践 3章4節1項 高齢者の診察 (p.266)   |
|   |                                   | c 検査時の看護                     | 高齢者看護の実践 3章4節2項 高齢者の検査 (p.267)   |
|   |                                   | d 手術療法時の看護                   | 高齢者看護の実践 3章2節1項 高齢者の手術 (p.247) / 5章3節 周手術期看護実習 (p.308-319), 4節 急性期看護実習 (p.319-328)   |
|   |                                   | e 地域連携における退院時の看護             | 臨床看護総論 2章3節3項 急性期病院退院時の再発予防指導 (p.85-88)<br>高齢者看護の実践 3章6節 退院 (p.275-280), 1項 退院を取り巻く社会状況 (p.275)  |
|   | 8 高齢者の終末期の看護                      | A 高齢者の死にかかわる権利の擁護            | a 終末期の捉え方  |
| b 終末期における生き方や死の迎え方の意向 (アドバンスディレクティブ〈事前指示〉, リビングウィル) |                                   |                              | 高齢者の健康と障害 4章3節3項 高齢者の自己決定を尊重するために (p.166-168), 4項 高齢者の死と医療・ケア (p.168-176)  |
| c 家族の参加と家族への支援                                      |                                   |                              | 高齢者の健康と障害 4章3節4項 高齢者の死と医療・ケア (p.168-176)   |
| d 多専門職種からなる医療・ケアチームによる終末期支援の意義と役割                   |                                   |                              | 高齢者の健康と障害 4章3節4項 高齢者の死と医療・ケア (p.168-176)   |
| B 終末期看護の実践  |                                   | a 身体徴候のアセスメントと看護             | 高齢者の健康と障害 4章3節4項 高齢者の死と医療・ケア (p.168-176)<br>高齢者看護の実践 4章1節1項 身体的アセスメントと看護 (p.286-287)   |
|   |                                   | b 苦痛の緩和と安楽への看護               | 高齢者看護の実践 3章5節6項 終末期における入院 (p.274-275) / 4章1節1項 身体的アセスメントと看護 (p.286-287)  |

| 大項目              | 中項目            | 小項目                | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|------------------|----------------|--------------------|--|
| 8 高齢者の終末期の看護     | B 終末期看護の実践     | b 苦痛の緩和と安楽への看護     | 地域療養を支えるケア 6章10節 ターミナル期の援助 (p.236-240)   |
|                  |                | c 精神的苦痛や混乱に対する看護   | 高齢者看護の実践 3章5節6項 終末期における入院 (p.274-275) / 4章1節2項 精神的苦痛や不安・混乱に対する看護 (p.287)   |
|                  |                | d 臨死期の評価と看護        | 高齢者の健康と障害 4章3節4項 高齢者の死と医療・ケア (p.168-176)<br>高齢者看護の実践 4章1節1項 身体的アセスメントと看護 (p.286-287)                                       |
|                  |                | e 家族への援助           | 高齢者の健康と障害 4章3節4項 高齢者の死と医療・ケア (p.168-176)<br>高齢者看護の実践 4章3節1項 家族の心理と看護 (p.291-292)<br>地域療養を支えるケア 6章10節 ターミナル期の援助 (p.236-240) |
| 9 高齢者を介護する家族への看護 | A 介護する家族の生活と健康 | a 要介護高齢者と家族の役割     | 高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.68-77)  |
|                  |                | b 介護者の健康と介護力       | 高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.68-77)  |
|                  |                | c 家族生活への影響         | 高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.68-77)<br>地域療養を支えるケア 2章5節3項 介護によって家族にもたらされる影響 (p.64)                                      |
|                  | B 介護する家族への看護   | a 家族介護状況の把握と分析     | 高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.68-77)  |
|                  |                | b 援助対象としての家族の視点と看護 | 高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.68-77)  |
|                  |                | c 介護力の評価           | 高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.68-77)<br>地域療養を支えるケア 2章5節 家族介護者の個性に応じた支援 (p.61-64)  |
|                  |                | d 介護への適応のための看護     | 高齢者の健康と障害 2章1節4項 要介護高齢者と家族介護者 (p.68-77)<br>地域療養を支えるケア 2章5節4項 介護力に応じた家族支援 (p.64)  |

### 目標Ⅲ. 保健医療福祉制度における看護の役割について基本的な理解を問う。

| 大項目               | 中項目                | 小項目               | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|-------------------|--------------------|-------------------|--|
| 10 介護保険・医療保険と老年看護 | A 高齢者の施設サービスにおける看護 | a 介護療養型医療施設の特徴と看護 | 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)<br>高齢者の健康と障害 3章1節3項 介護療養型医療施設 (療養病床) (p.112-114)<br>地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-162)  |
|                   |                    | b 介護老人保健施設の特徴と看護  | 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)<br>高齢者の健康と障害 3章1節2項 介護老人保健施設 (p.111-112)<br>高齢者看護の実践 5章5節 老人保健施設実習 (p.328-335)<br>地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-162)                |
|                   |                    | c 介護老人福祉施設の特徴と看護  | 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)<br>高齢者の健康と障害 3章1節1項 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) (p.108-111)<br>高齢者看護の実践 5章6節 特別養護老人ホーム実習 (p.335-346)<br>地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-162) |

| 大項目               | 中項目                | 小項目                                 | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|-------------------|--------------------|-------------------------------------|--|
| 10 介護保険・医療保険と老年看護 | B 高齢者の居宅サービスにおける看護 | a 認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）の特徴と看護 | <p>医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)</p> <p>高齢者看護の実践 5章8節 グループホーム（認知症対応型共同生活保護）実習 (p.357-366)</p>   |
|                   |                    | b 小規模多機能型居宅介護の特徴と看護                 | <p>医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)</p> <p>臨床看護総論 2章3節5項 サービスを受けながらの在宅生活 (p.94-98)</p> <p>高齢者の健康と障害 3章2節2項 小規模多機能型居宅介護 (p.120-125)</p> <p>高齢者看護の実践 5章9節 デイサービス（通所介護）実習 (p.366-372)</p> <p>地域療養を支えるケア 3章2節7項 今後の方向性 (p.76-79)</p> |

# 小児看護学

目標Ⅰ. 小児の成長・発達と健康増進のための小児と家族への看護について基本的な理解を問う。

| 大項目                  | 中項目            | 小項目                 | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |  |
|----------------------|----------------|---------------------|--|--|
| 1 小児と家族を取り巻く環境・医療・看護 | A 小児医療と小児看護の特徴 | a 小児医療の変遷と課題        | 小児の発達と看護 1章2節1項 小児看護の歴史 (p.17-19)  |  |
|                      |                | b 小児看護の変遷と課題        | 小児の発達と看護 1章2節1項 小児看護の歴史 (p.17-19)  |  |
|                      |                | c 諸統計からみた小児と家族の健康課題 | 小児の発達と看護 2章4節4項 学童によくみられる健康問題 (p.141-144)  |  |
|                      | B 小児の人権        | a 小児の権利と変遷          | 小児の発達と看護 1章2節1項 小児看護の歴史 (p.17-19), 3節1項 子どもの権利とは (p.22-25) / 資料1 子どもの権利条約 (国際教育法研究会訳) (p.391-399)  |  |
|                      |                | b 児童の権利に関する条約       | 小児の発達と看護 1章3節1項 子どもの権利とは (p.22-25)   |  |
|                      |                | c 権利擁護 (アドボカシー)     | 小児の発達と看護 1章2節2項 小児看護の課題 (p.19-20)  |  |
|                      |                | d インフォームドアセント       | 小児の発達と看護 3章4節5項 終末期にある子どもの家族への援助 (p.238-241), 5節5項 事例紹介 (1) (p.247-249), 6項 事例紹介 (2) (p.250-251)   |  |
|                      | C 健康生活と法律・制度   | a 母子保健と子育て支援        | 医療関係法規 8章1節 母子保健法 (p.124-129), 6節 子ども・子育て支援法 (p.137-140)<br>小児の発達と看護 1章4節2項 母子保健施策 (p.52-53), 3項 小児に関する法律 (p.53-57)  |  |
|                      |                | b 小児の福祉と虐待防止        | 医療関係法規 9章1節 児童福祉法 (p.142-155), 4節 児童虐待の防止に関する法律 (p.159-162)<br>小児の発達と看護 1章4節 小児看護と法律・施策 (p.34-57)<br>災害看護 5章1節4項 親子 (母子・父子および妊産褥婦含む) の心理的特徴と援助 (p.132-138) |  |
|                      |                | c 学校保健              | 医療関係法規 9章2節 学校保健安全法 (p.155-157)<br>小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.134-141)   |  |
|                      |                | d 予防接種              | 医療関係法規 7章4節 予防接種法 (p.118-121)<br>小児の発達と看護 2章2節7項 乳児のいる家族への看護 (p.97-99)   |  |
|                      | 2 小児の成長と発達     | A 成長・発達の原則と影響因子     | a 成長・発達の概念   | 小児の発達と看護 2章1節 成長・発達の原則 (p.78-79)   |
|                      |                |                     | b 成長・発達の原則   | ヘルスアセスメント 4章2節3項 成長・発達のアセスメントに必要な基礎知識 (p.196-200)<br>小児の発達と看護 2章1節1項 成長・発達の一般的原則 (p.78-79) |
| c 成長・発達に影響する因子       |                |                     | ヘルスアセスメント 4章2節3項 成長・発達のアセスメントに必要な基礎知識 (p.196-200)<br>小児の発達と看護 2章1節2項 成長・発達に影響する要因 (p.79)   |  |
| B 形態的・機能的発達          |                | a 各発達段階の形態的特徴と成長    | 運動機能障害 7章3節 小児の運動機能障害のアセスメント (p.121-123)<br>小児の発達と看護 2章2節2項 形態的成長・発達の特徴 (p.80-82), 4節2項 身体的成長 (p.131-134), 5節2項 身体的成長 (p.147-150)                          |  |

| 大項目             | 中項目                | 小項目                 | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |  |
|-----------------|--------------------|---------------------|---|--|
| 2 小児の成長と発達      | B 形態的・機能的発達        | b 各発達段階の機能的特徴と発達    | 小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.82-88), 4節3項 機能的発達 (p.134-141), 5節3項 機能的発達 (p.150-152)  |  |
|                 |                    | C 心理社会的発達           | a 認知  | 小児の発達と看護 2章2節4項 心理・社会的発達 (p.88-91), 4節3項 機能的発達 (p.134-141), 5節3項 機能的発達 (p.150-152) |
|                 | b 情緒               |                     | 小児の発達と看護 2章2節4項 心理・社会的発達 (p.88-91), 4節3項 機能的発達 (p.134-141), 5節3項 機能的発達 (p.150-152)  |  |
|                 | c 社会性              |                     | 小児の発達と看護 2章2節4項 心理・社会的発達 (p.88-91), 4節3項 機能的発達 (p.134-141), 5節3項 機能的発達 (p.150-152)  |  |
|                 | d コミュニケーション能力      |                     | 小児の発達と看護 2章2節4項 心理・社会的発達 (p.88-91), 3節2項 家族とその機能 (p.103-104), 4節3項 機能的発達 (p.134-141), 5節3項 機能的発達 (p.150-152)  |  |
|                 | e 遊びと学習            |                     | 小児の発達と看護 2章2節6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.92-97), 3節7項 遊びの意義 (p.126-128), 4節3項 機能的発達 (p.134-141)  |  |
|                 | f 発達課題             |                     | 小児の発達と看護 2章3節1項 幼児期とは (p.100-103), 4節1項 学童期とは (p.131), 5節1項 思春期とは (p.147)   |  |
|                 | D 発育・発達の評価         | a フィジカルアセスメント       | 運動機能障害 7章3節1項 小児の運動機能障害の特徴と代表的な疾患 (p.121-122)<br>ヘルスアセスメント 4章2節3項 成長・発達のアセスメントに必要な基礎知識 (p.196-200), 6項 一般状態の観察とバイタルサイン (p.207-210)<br>小児の発達と看護 2章6節1項 形態的成長の観察と評価 (p.162-167) |  |
|                 |                    | b 身体発育の評価           | 運動機能障害 7章3節1項 小児の運動機能障害の特徴と代表的な疾患 (p.121-122)<br>ヘルスアセスメント 4章2節4項 身体発育に関するアセスメント (p.200-207)  |  |
|                 |                    | c 精神・運動機能の評価        | 運動機能障害 7章3節1項 小児の運動機能障害の特徴と代表的な疾患 (p.121-122), 2項 運動機能障害がある小児の日常生活の観察 (p.122-123)<br>ヘルスアセスメント 4章2節3項 成長発達のアセスメントに必要な基礎知識 (p.196-200)   |  |
|                 |                    | d 養育環境のアセスメント       | 運動機能障害 7章3節2項 運動機能障害がある小児の日常生活の観察 (p.122-123)   |  |
|                 | 3 新生児の健康増進のための看護   | A 新生児の健康増進と安全な環境の提供 | a 授乳と栄養   | 臨床栄養学 3章3節1項 乳幼児期 (p.112-117)  |
|                 |                    |                     | b 感染予防  | 母性看護実践の基本 9章4節2項 出生後24時間以内のケア (p.220-223)  |
|                 |                    |                     | c 事故防止  | 母性看護実践の基本 9章4節2項 出生後24時間以内のケア (p.220-223)  |
| B 新生児と家族        |                    | a 親子関係              | 小児の発達と看護 1章5節4項 親子関係論 (p.67-70)   |  |
|                 |                    | b 母子保健サービスの活用       | 公衆衛生 6章3節 地域母子保健対策の体系 (p.105-109)   |  |
|                 |                    |                     |   |  |
| 4 乳児の健康増進のための看護 | A 乳児の健康増進と安全な環境の提供 | a 離乳と栄養             | 臨床栄養学 3章3節1項 乳幼児期 (p.112-117)<br>小児の発達と看護 2章2節6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.92-97) / 資料2 離乳の支援のポイント (「授乳・離乳の支援ガイド」より) (p.400-401)<br>小児看護技術 3章1節3項 乳幼児の食事の援助技術 (p.64-72)               |  |
|                 |                    | b 運動と遊び             | 小児の発達と看護 2章2節6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.92-97)  |  |
|                 |                    | c 予防接種              | 医療関係法規 7章4節 予防接種法 (p.118-121)   |  |

| 大項目             | 中項目                | 小項目             | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |   |
|-----------------|--------------------|-----------------|---|---|
| 4 乳児の健康増進のための看護 | A 乳児の健康増進と安全な環境の提供 | c 予防接種          | 小児の発達と看護 2章3節6項 清潔行動 (p.115-125)<br>災害看護 6章1節2項 感染症対策の実際 (p.160-171)  |   |
|                 |                    | d 感染予防          | 小児の発達と看護 2章3節6項 清潔行動 (p.117-125)  |   |
|                 |                    | e アタッチメント, 分離不安 | 小児の発達と看護 2章2節6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.92-97) / 3章1節2項 健康障害に伴う子どものストレスと対処 (p.176-180)  |   |
|                 |                    | f 事故防止と安全対策     | 小児の発達と看護 2章2節5項 乳児によくみられる健康問題 (p.91)<br>小児看護技術 2章4節 事故を防止する環境づくり (p.45-51)  |   |
|                 | B 乳児と家族            | a 親子関係          | 小児の発達と看護 2章2節6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.92-97)  |   |
|                 |                    | b 母子保健サービスの活用   | 小児の発達と看護 1章4節3項 小児に関する法律 (p.53-57)  |   |
| 5 幼児の健康増進のための看護 | A 幼児の健康増進と安全な環境の提供 | a 基本的生活習慣の確立    | 小児の発達と看護 2章3節1項 幼児期とは (p.100-103)   |   |
|                 |                    | b 食生活と栄養        | 小児の発達と看護 2章3節3項 食行動 (p.104-111)   |   |
|                 |                    | c 自我の発達と遊び      | 小児の発達と看護 2章3節7項 遊びの意義 (p.126-128)   |   |
|                 |                    | d 予防接種          | 臨床薬理学 5章6節 予防接種薬 (p.140-142)<br>医療関係法規 7章4節 予防接種法 (p.118-121)<br>小児の発達と看護 2章3節6項 清潔行動 (p.117-125)<br>災害看護 6章1節2項 感染症対策の実際 (p.160-171) |   |
|                 |                    | e 感染予防          | 小児の発達と看護 2章3節6項 清潔行動 (p.117-125)  |   |
|                 |                    | f 事故防止と安全対策     | 小児の発達と看護 2章3節8項 安全の確保と現状 (p.128-130)<br>小児看護技術 2章4節 事故を防止する環境づくり (p.45-51)  |   |
|                 | B 幼児と家族            | a 家族関係と社会化      | 小児の発達と看護 2章3節2項 家族とその機能 (p.103-104)   |   |
|                 |                    | b 食育            | 小児の発達と看護 2章3節3項 食行動 (p.104-111)   |   |
|                 |                    | c 母子保健サービスの活用   | 小児の発達と看護 1章4節3項 小児に関する法律 (p.53-57)  |   |
|                 |                    |                 |   |   |
|                 |                    |                 |   |   |
|                 |                    |                 |   |   |
| 6 学童の健康増進のための看護 | A 学童の健康増進とセルフケアの発達 | a セルフケアと保健教育    | 小児の発達と看護 1章1節3項 子どもの最善の利益を目指した看護 (p.13-16) / 2章4節5項 学童期の子どものセルフケアの発達と看護 (p.144-146)   |   |
|                 |                    | b 食生活と食育        | 臨床栄養学 3章3節2項 学童期 (p.117-119)<br>小児の発達と看護 2章4節4項 学童によくみられる健康問題 (p.141-144)   |   |
|                 |                    | c 学校への適応        | 小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.134-141)   |   |
|                 |                    | d 学習と遊び         | 小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.134-141)   |   |
|                 |                    | e 生活習慣病の予防      | 臨床栄養学 3章3節2項 学童期 (p.117-119)<br>小児の発達と看護 2章4節4項 学童によくみられる健康問題 (p.141-144)   |   |
|                 |                    | f 第二次性徴         | 小児の発達と看護 2章4節2項 身体的成長 (p.131-134)   |   |
|                 |                    | g 事故防止と安全教育     | 医療関係法規 9章2節 学校保健安全法 (p.155-157)   |   |
|                 |                    | B 学童と家族         | a 学童の情緒と仲間や家族との関係   | 小児の発達と看護 2章4節5項 学童期の子どものセルフケアの発達と看護 (p.144-146) |
|                 |                    |                 | b 学童をとりまく社会環境   | 小児の発達と看護 2章4節1項 学童期とは (p.131)                   |
|                 | c 学童の問題行動と対応       |                 | 小児の発達と看護 2章4節4項 学童によくみられる健康問題 (p.141-144), 5項 学童期の子どものセルフケアの発達と看護 (p.144-146)   |   |
|                 |                    |                 |   |   |
|                 |                    |                 |   |   |
|                 |                    |                 |   |   |

| 大項目                 | 中項目                       | 小項目                        | ナーシング・グラフィカ 該当箇所                               |
|---------------------|---------------------------|----------------------------|--|
| 7 思春期の小児の健康増進のための看護 | A 思春期の小児の健康増進とアイデンティティの確立 | a セルフケアと保健教育               | 小児の発達と看護 2章5節5項 思春期の人々のセルフケアの発達と看護 (p.158-161) |
|                     |                           | b 食生活                      | 小児の発達と看護 2章5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.152-158)  |
|                     |                           | c 親からの自立                   | 小児の発達と看護 2章5節3項 機能的発達 (p.150-152)              |
|                     |                           | d 異性への関心                   | 小児の発達と看護 2章5節2項 身体的成長 (p.147-150)              |
|                     |                           | e 生活習慣病の予防                 | 小児の発達と看護 2章5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.152-158)  |
|                     |                           | f 第二性徴                     | 小児の発達と看護 2章5節2項 身体的成長 (p.147-150)              |
|                     | B 思春期の小児と家族               | a 情緒的变化と家族関係               | 小児の発達と看護 2章5節3項 機能的発達 (p.150-152)              |
|                     |                           | b 小児をとりまく社会環境              | 小児の発達と看護 2章5節5項 思春期の人々のセルフケアの発達と看護 (p.158-161) |
|                     |                           | c 小児の性〈セクシュアリティ〉意識の変化と逸脱行動 | 小児の発達と看護 2章5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.152-158)  |
|                     |                           | d 小児の問題行動と対応               | 小児の発達と看護 2章5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.152-158)  |

**目標Ⅱ. 健康障害のある小児と家族が生活・療養するための看護について基本的な理解を問う。**

| 大項目                      | 中項目                 | 小項目                    | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|--------------------------|---------------------|------------------------|--|
| 8 病気や入院が小児と家族に与える影響とその看護 | A 小児看護における倫理        | a 医療を受ける小児の権利          | 小児の発達と看護 1章1節 小児看護とは (p.12-16), 3節3項 小児医療と子どもの権利 (p.28-31), 4項 小児看護と倫理的配慮 (p.31-33)  |
|                          |                     | b 小児の権利と必要な看護行為        | 小児の発達と看護 1章1節 小児看護とは (p.12-16), 3節3項 小児医療と子どもの権利 (p.28-31), 4項 小児看護と倫理的配慮 (p.31-33)  |
|                          | B 病気や入院が小児と家族に与える影響 | a 小児の病気の理解と説明          | 小児の発達と看護 3章1節1項 子どもの病気の理解 (p.174-176)<br>小児の疾患と看護 1章 新生児疾患 (p.12-51)/2章 遺伝性疾患・染色体異常 (p.54-70)/3章 代謝・内分泌疾患 (p.74-92)/4章 免疫・アレルギー・膠原病 (p.94-113)/5章 感染症 (p.116-147)/6章 循環器疾患 (p.150-166)/7章 腎・泌尿器疾患 (p.168-182)/8章 消化器疾患 (p.186-199)/9章 血液・腫瘍疾患 (p.202-218)/10章 神経・筋・精神疾患 (p.220-237)                                    |
|                          |                     | b 病気や入院に伴う小児の反応        | 小児の発達と看護 3章1節1項 子どもの病気の理解 (p.174-176), 2項 健康障害に伴う子どものストレスと対処 (p.176-180)<br>小児の疾患と看護 1章 新生児疾患 (p.12-51)/2章 遺伝性疾患・染色体異常 (p.54-70)/3章 代謝・内分泌疾患 (p.74-92)/4章 免疫・アレルギー・膠原病 (p.94-113)/5章 感染症 (p.116-147)/6章 循環器疾患 (p.150-166)/7章 腎・泌尿器疾患 (p.168-182)/8章 消化器疾患 (p.186-199)/9章 血液・腫瘍疾患 (p.202-218)/10章 神経・筋・精神疾患 (p.220-237) |
|                          |                     | c 病気や入院が小児の成長・発達に及ぼす影響 | 小児の発達と看護 3章1節2項 健康障害に伴う子どものストレスと対処 (p.176-180)<br>小児の疾患と看護 1章 新生児疾患 (p.12-51)/2章 遺伝性疾患・染色体異常 (p.54-70)/3章 代謝・内分泌疾患 (p.74-92)/4章 免疫・アレルギー・膠原病 (p.94-113)/5章 感染症 (p.116-147)/6章 循環器疾患 (p.150-166)/7章 腎・泌尿器疾患 (p.168-182)/8章 消化器疾患 (p.186-199)/9章 血液・腫瘍疾患 (p.202-218)/10章 神経・筋・精神疾患 (p.220-237)                           |
|                          |                     |                        |  |



| 大項目                      | 中項目                 | 小項目                      | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|--------------------------|---------------------|--------------------------|--|
| 8 病気や入院が小児と家族に与える影響とその看護 | B 病気や入院が小児と家族に与える影響 | d 小児の病気や入院が同胞・家族に及ぼす影響   | 小児の発達と看護 3章1節4項 子どもの健康障害に伴う家族のストレス (p.184-186)   |
|                          |                     | e 小児の病気や入院がもたらす影響を左右する因子 | 小児の発達と看護 3章1節1項 子どもの病気の理解 (p.174-176)  |
|                          | C 病気になった小児と家族       | a 各病期にある小児と家族への援助        | 小児看護技術 1章4節2項 家族との援助関係を形成する技術の活用 (p.23-24)   |
|                          |                     | b 緊急入院時の小児と家族への援助        | 小児の発達と看護 3章2節6項 急性期にある子どもの家族への援助 (p.211-214)   |
| 9 健康障害の病期別の小児と家族の看護      | A 急性症状のある小児と家族      | a 急性的な経過をたどる疾患の特徴と治療     | 小児の発達と看護 3章2節 急性期にある子どもと家族への看護 (p.189-214)<br>小児の疾患と看護 1章3節 新生児仮死 (p.17-20), 5節 先天性食道閉鎖症 (p.23-25), 10節 髄膜瘤／二分脊椎 (p.35-38), 13節 新生児黄疸 (p.44-47)／3章3節 糖尿病 (1型・2型) (p.78-80), 5節 甲状腺機能亢進症 (p.82-84)／4章1節 小児気管支喘息 (p.94-96), 4節 リウマチ熱 (p.100-102), 8節 川崎病 (p.109-111)／5章1節 急性喉頭蓋炎 (p.116-117), 2節 中耳炎 (p.118-120), 13節 溶連菌感染症 (p.145-147)／6章7節 心筋炎 (p.165-166)／7章1節 腎炎 (p.168-169), 5節 急性腎障害 (p.176-177)／8章2節 急性虫垂炎 (p.189-190), 5節 肝炎 (p.195-197)／9章2節 特発性血小板減少性紫斑病 (p.204-205), 4節 白血病 (p.208-210)／10章2節 熱性けいれん (p.222-223), 4節 急性脳症／脳炎／インフルエンザ脳症 (p.226-228) |
|                          |                     | b 発熱時の援助                 | 小児の発達と看護 3章2節1項 発熱時のアセスメントと看護 (p.189-193)  |
|                          |                     | c 脱水時の援助                 | 小児の発達と看護 3章2節2項 脱水時のアセスメントと看護 (p.193-195)  |
|                          |                     | d 下痢・嘔吐があるときの援助          | 小児の発達と看護 3章2節5項 嘔吐・下痢時のアセスメントと看護 (p.200-206)   |
|                          |                     | e 呼吸困難があるときの援助           | 小児の発達と看護 3章2節4項 呼吸困難時のアセスメントと看護 (p.197-200)  |
|                          |                     | f けいれんがあるときの援助           | 小児の発達と看護 3章2節3項 痙攣時のアセスメントと看護 (p.195-197)  |
|                          |                     | g 生命徴候が危険な状況にある小児と家族への援助 | 小児の発達と看護 3章2節5項 生命徴候が危険な状況のアセスメントと看護 (p.207-211), 6項 急性期にある子どもの家族への援助 (p.211-214)  |
|                          | B 救急救命処置が必要な小児と家族   | a 小児の事故・外傷と虐待の特徴         | 小児の発達と看護 2章2節5項 乳児によくみられる健康問題 (p.91), 3節8項 安全の確保と現状 (p.128-130)  |
|                          |                     | b 小児救急におけるトリアージと対応       | 小児の発達と看護 3章7節2項 外来における子どもと家族への援助 (p.266-269)   |
|                          |                     | c 主な誤飲物質と処置              | 小児看護技術 8章3節1項 気道異物の除去 (p.196-201), 2項 消化管異物および中毒 (p.201-203)   |
|                          |                     | d 小児の熱傷の特徴・重症度および処置      | 小児の発達と看護 3章2節5項 生命徴候が危険な状況のアセスメントと看護 (p.207-211)<br>小児看護技術 8章3節3項 熱傷 (p.203-204)   |
|                          |                     | e 溺水と処置                  | 小児の発達と看護 3章2節5項 生命徴候が危険な状況のアセスメントと看護 (p.207-211)<br>小児看護技術 8章3節4項 溺水 (p.204-205)   |
|                          |                     | f 小児の一次救命処置              | 小児の発達と看護 3章2節5項 生命徴候が危険な状況のアセスメントと看護 (p.207-211)<br>小児看護技術 8章2節1項 一次救命処置 (心肺蘇生法) (p.177-187)   |
|                          |                     | g 乳幼児・小児の意識レベル           | 小児の発達と看護 3章2節5項 生命徴候が危険な状況のアセスメントと看護 (p.207-211)   |

| 大項目                 | 中項目               | 小項目                      | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|---------------------|-------------------|--------------------------|--|
| 9 健康障害の病期別の小児と家族の看護 | B 救急救命処置が必要な小児と家族 | g 乳幼児・小児の意識レベル           | 小児看護技術 8章2節1項 一次救命処置 (心肺蘇生法) (p.177-187)   |
|                     |                   | h 吸引                     | 小児看護技術 8章2節2項 二次救命処置 (p.188-194), 3節4項 溺水 (p.204-205)  |
|                     |                   | i 酸素療法                   | 小児の発達と看護 3章2節4項 呼吸困難時のアセスメントと看護 (p.197-200)  |
|                     |                   | j 救急処置を受ける小児と家族の不安の緩和    | 小児の発達と看護 3章2節6項 急性期にある子どもの家族への援助 (p.211-214)   |
|                     | C 周手術期における小児と家族   | a 小児の手術の特徴               | 運動機能障害 1章4節2項 小児骨折の治療法 (p.28)<br>小児の発達と看護 3章6節1項 手術を受ける子どもの特徴 (p.252-254) / 4章1節1項 基礎知識 (p.304-307)  |
|                     |                   | b 手術を要する健康障害と手術の時期       | 小児の発達と看護 3章6節2項 手術の時期と種類 (p.254-256)   |
|                     |                   | c 計画手術と緊急手術              | 小児の発達と看護 3章6節2項 手術の時期と種類 (p.254-256)   |
|                     |                   | d 日帰り手術                  | 小児の発達と看護 3章6節2項 手術の時期と種類 (p.254-256)   |
|                     |                   | e 術前準備の説明                | 小児の発達と看護 3章6節3項 手術を受ける子どものプレパレーション (p.256-259)   |
|                     |                   | f 小児と家族の準備状態の把握とプレパレーション | 小児の発達と看護 3章6節3項 手術を受ける子どものプレパレーション (p.256-259)   |
|                     |                   | g 小児の安全・安楽への看護と家族の援助     | 小児の発達と看護 3章6節4項 手術を受ける子どもの身体面の術前看護 (p.260-261), 6項 手術を受ける子どもの家族への看護 (p.264)  |
|                     |                   | h 手術後の身体状態のアセスメントと看護     | 小児の発達と看護 3章6節5項 手術を受ける子どもの術後看護 (p.261-264)   |
|                     |                   | i 退院に向けての看護              | 周手術期看護 6章2節 術後の継続看護の実際 (p.98-105)  |
|                     | D 慢性期にある小児と家族     | a 慢性的な経過をたどる疾患の特徴と治療     | 小児の発達と看護 3章3節1項 慢性期の特徴 (p.216)<br>小児の疾患と看護 1章13節 新生児黄疸 (p.44-47) / 3章3節 糖尿病 (1型・2型) (p.78-80) / 4章1節 小児気管支喘息 (p.94-96), 2節 アトピー性皮膚炎 (p.96-98), 5節 若年性特発性関節炎 (p.102-104), 7節 若年性皮膚筋炎 / 多発筋炎 (p.106-109) / 5章2節 中耳炎 (p.118-120) / 7章1節 腎炎 (p.168-169), 6節 慢性腎障害 (p.178-180) / 8章1節 胃・十二指腸潰瘍 (p.186-188), 3節 炎症性腸疾患 (p.191-193), 5節 肝炎 (p.195-197) / 9章2節 特発性血小板減少性紫斑病 (p.204-205), 4節 白血病 (p.208-210) / 10章1節 てんかん (p.220-221) |
|                     |                   | b 小児慢性特定疾患治療研究事業         | 公衆衛生 6章3節3項 療養援助など (p.108-109)<br>医療関係法規 9章1節 児童福祉法 (p.142-155)<br>小児の発達と看護 3章3節1項 慢性期の特徴 (p.216)  |
|                     |                   | c 病気の時間的経緯と急性増悪          | 小児の発達と看護 3章3節1項 慢性期の特徴 (p.216)   |
|                     |                   | d 病気による小児と家族の生活の変化       | 小児の発達と看護 3章3節2項 慢性期にある子どもと家族 (p.217-221)   |
|                     |                   | e 学習支援と復学支援              | 小児の発達と看護 3章3節3項 慢性期にある子どもと家族のエンパワーメントを支援する看護 (p.221-226)   |
|                     |                   | f 小児の発達とセルフケアの獲得への援助     | 小児の発達と看護 3章3節3項 慢性期にある子どもと家族のエンパワーメントを支援する看護 (p.221-226)   |

| 大項目                  | 中項目                    | 小項目                   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |  |
|----------------------|------------------------|-----------------------|---|--|
| 9 健康障害の病期別の小児と家族の看護  | D 慢性期にある小児と家族          | g 家族への看護              | 小児の発達と看護 3章3節3項 慢性期にある子どもと家族のエンパワーメントを支援する看護 (p.221-226)  |  |
|                      |                        | h 地域との連携・調整           | 地域療養を支えるケア 7章7節 重度心身障害をもちながら地域で生活をする小児 (p.266-271)  |  |
|                      | E 終末期にある小児と家族          | a 小児の死の概念             | 小児の発達と看護 3章4節1項 子どもの死の概念発達 (p.227-230)  |  |
|                      |                        | b 死に対する小児の反応と援助       | 小児の発達と看護 3章4節2項 終末期にある子どもと家族の心理 (p.230-234) / 4章6節1項 基礎知識 (p.366-368)   |  |
|                      |                        | c 小児への病気の説明           | 小児の発達と看護 3章4節2項 終末期にある子どもと家族の心理 (p.230-234) / 4章6節2項 事例による看護過程の展開 (p.369-375)   |  |
|                      |                        | d 終末期にある小児の心身の状態と緩和ケア | 小児の発達と看護 3章4節3項 終末期にある子どもの身体徴候 (p.234-236), 4項 緩和ケア (p.236-238) / 4章6節1項 基礎知識 (p.366-368)   |  |
|                      |                        | e 小児の死を看取る家族の反応と援助    | 小児の発達と看護 3章4節5項 終末期にある子どもの家族への援助 (p.238-241) / 4章6節2項 事例による看護過程の展開 (p.369-375)  |  |
|                      | 10 さまざまな状況にある小児と家族への看護 | A 外来における小児と家族         | a 緊急度の把握・トリアージ  | 小児の発達と看護 3章7節2項 外来における子どもと家族への援助 (p.266-269)                         |
|                      |                        |                       | b 虐待への気づきと重症化予防に向けての対応  | 医療関係法規 9章4節 児童虐待の防止に関する法律 (p.159-162)                                |
|                      |                        |                       | c 安全の確保 (事故防止, 感染症対策)   | 小児の発達と看護 3章7節2項 外来における子どもと家族への援助 (p.266-269), 3項 小児外来の環境 (p.269-271) |
| d 受診時の小児と家族の緊張と不安の軽減 |                        |                       | 小児の発達と看護 3章5節3項 子どもの力を引き出す援助 (p.244-245), 4項 検査や処置を受ける子どもの家族への援助 (p.245-247), 7節2項 外来における子どもと家族への援助 (p.266-269), 3項 小児外来の環境 (p.269-271) |  |
| e 健康診査・育児相談          |                        |                       | 小児の発達と看護 3章7節1項 外来看護の果たす役割 (p.266), 4項 外来看護の現状の課題と今後の展望 (p.271-272)   |  |
| B 検査や処置を受ける小児と家族     |                        | a 発達に応じたプレレーション       | 小児の発達と看護 3章5節1項 子どもへの説明と同意 (p.242-243), 5項 事例紹介 (1) (p.247-249), 6項 事例紹介 (2) (p.250-251)  |  |
|                      |                        | b 安全・安楽への援助           | 小児の発達と看護 3章5節 検査や処置を受ける子どもと家族への看護 (p.242-251)<br>小児看護技術 2章3節3項 検査・治療処置時の睡眠導入のための環境づくり (p.43-45)   |  |
|                      |                        | c バイタルサインの測定          | 小児看護技術 9章1節 バイタルサインの測定 (p.210-225)  |  |
|                      |                        | d 身体計測                | 小児看護技術 9章4節 身体計測 (p.243-248)  |  |
|                      |                        | e 採血                  | 小児看護技術 9章2節1項 採血 (p.226-228)  |  |
|                      |                        | f 採尿                  | 小児看護技術 9章2節2項 尿採取 (p.228-231)   |  |
|                      |                        | g 骨髄穿刺                | 小児看護技術 9章3節3項 骨髄穿刺 (p.238-241)  |  |
|                      |                        | h 腰椎穿刺                | 小児看護技術 9章3節4項 腰椎穿刺 (p.241-243)  |  |
|                      |                        | i 与薬                  | 小児看護技術 7章 与薬の技術 (p.154-172)   |  |
|                      |                        | j 注射                  | 小児看護技術 7章4節 注射 (p.161-166)  |  |
|                      |                        | k 輸液療法                | 小児看護技術 7章5節 輸液管理 (p.166-168)  |  |
|                      |                        | C 活動制限が必要な小児と家族       | a 活動制限の目的   | 小児看護技術 10章3節 安全・安楽を考慮した行動制限 (p.258-265)                              |

| 大項目                    | 中項目                       | 小項目                        | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |  |
|------------------------|---------------------------|----------------------------|---|--|
| 10 さまざまな状況にある小児と家族への看護 | C 活動制限が必要な小児と家族           | b 身体的・心理社会的影響              | 小児看護技術 10章3節 安全・安楽を考慮した行動制限 (p.258-265)   |  |
|                        |                           | c 小児の発達段階に応じた援助            | 小児看護技術 10章3節 安全・安楽を考慮した行動制限 (p.258-265)   |  |
|                        |                           | d 小児の日常生活にかかわる家族の援助        | 小児看護技術 1章2節 家族との援助関係を形成する技術 (p.15-17), 4節2項 家族との援助関係を形成する技術の活用 (p.23-24)  |  |
|                        | D 感染対策上隔離が必要な小児と家族        | a 隔離の目的・方法                 | 小児の発達と看護 3章7節2項 外来における子どもと家族への援助 (p.266-269)<br>小児看護技術 2章5節3項 子どもと家族への十分な説明 (p.52-53)   |  |
|                        |                           | b 身体的・心理社会的影響              | 小児の発達と看護 3章7節2項 外来における子どもと家族への援助 (p.266-269)<br>小児看護技術 2章5節4項 隔離, 逆隔離を要する子どもへのサポート (p.53)   |  |
|                        |                           | c 小児の身体・情緒・発達面を考慮した日常生活の援助 | 小児看護技術 2章5節3項 子どもと家族への十分な説明 (p.52-53), 4項 隔離, 逆隔離を要する子どもへのサポート (p.53)   |  |
|                        |                           | d 家族の面会や付き添いにおける援助         | 小児の発達と看護 3章7節2項 外来における子どもと家族への援助 (p.266-269)<br>小児看護技術 2章5節3項 子どもと家族への十分な説明 (p.52-53), 4項 隔離, 逆隔離を要する子どもへのサポート (p.53)             |  |
|                        | E 痛みを表現している小児と家族          | a 小児の痛みの受け止め方              | 小児の発達と看護 4章5節1項 基礎知識 (p.354-360)  |  |
|                        |                           | b 痛みの表現方法                  | 小児の発達と看護 4章5節1項 基礎知識 (p.354-360)  |  |
|                        |                           | c 痛みの客観的評価                 | 小児の発達と看護 4章5節1項 基礎知識 (p.354-360)  |  |
|                        |                           | d 痛み緩和への援助                 | 小児の発達と看護 4章5節1項 基礎知識 (p.354-360)  |  |
|                        | F 医療的ケアを必要として退院する小児と家族    | a 入院生活から在宅への移行に向けた支援       | 小児の発達と看護 3章8節4項 在宅療養を行う子どもと家族への看護 (p.278-280)   |  |
|                        |                           | b 他職種との連携と社会資源の活用          | 小児の発達と看護 3章8節4項 在宅療養を行う子どもと家族への看護 (p.278-280), 5項 在宅療養の継続における看護 (p.281-283)<br>地域療養を支えるケア 7章7節 重度心身障害をもちながら地域で生活をする小児 (p.266-271) |  |
|                        |                           | c 在宅療養中の小児と家族の支援           | 小児の発達と看護 3章8節 在宅における子どもと家族への看護 (p.274-283)  |  |
|                        |                           | d 小児のセルフケア行動の促進            | 小児の発達と看護 3章8節5項 在宅療養の継続における看護 (p.281-283)   |  |
|                        | G 災害時の小児と家族               | a 災害による小児への影響とストレス         | 小児の発達と看護 3章9節2項 災害を受けた子どもの心と身体への影響 (p.285-287)<br>災害看護 5章1節4項 親子(母子・父子および妊産褥婦含む)の心理的特徴と援助 (p.132-138)                             |  |
|                        |                           | b 災害時の小児と家族への援助            | 小児の発達と看護 3章9節3項 災害時の子どもと家族への看護 (p.287-293)<br>災害看護 1章3節3項 災害時要援護者への対応のあり方 (p.35-38)   |  |
|                        | 11 小児期特有の症状や疾患を持つ小児と家族の看護 | A ハイリスク新生児と家族              | a 低出生体重児の特徴   | 小児の疾患と看護 1章5節 先天性食道閉鎖症 (p.23-25), 9節 臍帯ヘルニア/腹壁破裂 (p.33-35) |
|                        |                           |                            | b ハイリスク新生児の集中治療と援助  | 小児の発達と看護 4章2節1項 基礎知識 (p.314-320)                           |
| c 親子・家族関係の促進           |                           |                            | 小児の発達と看護 4章2節1項 基礎知識 (p.314-320)  |  |

| 大項目                       | 中項目             | 小項目                         | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|---------------------------|-----------------|-----------------------------|---|
| 11 小児期特有の症状や疾患を持つ小児と家族の看護 | B 先天的疾患のある小児と家族 | a 先天異常の種類と特徴                | 臨床生化学 7章1節 先天性代謝異常の概念 (p.130-134)<br>病態生理学 1章8節3項 先天異常の分類 (p.80-83)<br>運動機能障害 7章4節1項 小児の代表的な運動器疾患の治療に伴う観察点と看護 (p.123-125)<br>小児の疾患と看護 1章4節 先天性横隔膜ヘルニア (p.20-23), 5節 先天性食道閉鎖症 (p.23-25), 14節 先天性内反足 (p.47-49), 15節 先天性股関節脱臼 (p.49-51) / 3章6節 先天性甲状腺機能低下症 (p.84-86) / 6章1節 心室中隔欠損症 (p.150-152), 2節 心房中隔欠損症 (p.152-154), 3節 房室中隔欠損症 (p.155-157), 5節 ファロー四徴症 (p.160-162), 6節 完全大血管転位症 (p.162-164) |
|                           |                 | b 小児の発達段階に応じた援助             | 病態生理学 1章8節6項 先天異常の看護 (p.85-86)<br>運動機能障害 7章4節2項 運動機能障害がある小児への日常生活の援助 (p.125)<br>小児の発達と看護 4章3節1項 基礎知識 (p.326-327)  |
|                           |                 | c 小児の先天的な問題に対する家族の理解と受容への援助 | 病態生理学 1章8節6項 先天異常の看護 (p.85-86)<br>栄養代謝機能障害 4章3節4項 先天代謝異常のある患者の看護 (p.184)<br>運動機能障害 7章4節3項 運動機能障害がある小児の家族への生活指導 (p.126)<br>小児の発達と看護 4章3節1項 基礎知識 (p.326-327)  |
|                           |                 | d 小児の養育とケア技術獲得に対する家族の援助     | 栄養代謝機能障害 4章3節4項 先天代謝異常のある患者の看護 (p.184)<br>運動機能障害 7章4節3項 運動機能障害がある小児の家族への生活指導 (p.126)<br>小児の発達と看護 4章3節2項 事例による看護過程の展開 (1) (p.327-332), 3項 事例による看護過程の展開 (2) (p.332-338)   |
|                           | C 心身障害のある小児と家族  | a 心身障害の定義と種類                | 小児の発達と看護 4章4節1項 基礎知識 (p.339-342)<br>小児の疾患と看護 10章3節 脳性麻痺 (p.224-226)   |
|                           |                 | b 発達障害                      | 医療関係法規 11章7節 発達障害者支援法 (p.236-238)<br>小児の発達と看護 4章4節1項 基礎知識 (p.339-342)<br>小児の疾患と看護 10章1節 てんかん (p.220-221), 3節 脳性麻痺 (p.224-226), 6節 自閉スペクトラム症 (p.231-234)<br>情緒発達と看護の基本 5章4節1項 愛着の形成 (p.91)   |
|                           |                 | c 障害の受容                     | 小児の発達と看護 4章4節1項 基礎知識 (p.339-342)  |
|                           |                 | d 経管栄養法                     | 小児看護技術 3章2節1項 経管栄養法 (p.73-79)   |
|                           |                 | e 小児と家族の日常生活にかかわる社会資源活用と援助  | 小児の発達と看護 3章8節5項 在宅療養の継続における看護 (p.281-283)   |



# 母性看護学

## 目標 I. 母性看護の概念及び人間の性と生殖について基本的な理解を問う。

| 大項目                | 中項目             | 小項目   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|--------------------|-----------------|---|---|
| 1 母性看護の概念          | A 母性看護の主な概念     | a 母性・父性, 母性看護の概念  | 母性看護実践の基本 1章1節 母性とは (p.14), 2節 母性看護の視点 (p.15-17)  |
|                    |                 | b リプロダクティブ・ヘルス/ライツ  | 成人看護学概論 10章1節2項 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (p.168-169), 2節1項 リプロダクティブ・ヘルスの指標の国際比較 (p.170)<br>母性看護実践の基本 1章4節1項 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (p.24) |
|                    |                 | c 家族の発達・機能  | 母性看護実践の基本 1章3節1項 家族の発達 (p.18-20)  |
|                    | B 母子の健康生活と法律・制度 | a 母子保健の統計指標   | 母性看護実践の基本 2章2節 母子保健統計 (p.30)  |
|                    |                 | b 女性のリプロダクティブ・ヘルスにかかわる社会的要因   | 母性看護実践の基本 1章4節2項 女性のリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関わる社会的要因 (p.25)  |
|                    |                 | c 母子保健法   | 医療関係法規 8章1節 母子保健法 (p.124-129)<br>母性看護実践の基本 2章3節1項 母子保健法 (p.38)  |
|                    |                 | d 子育て支援施策   | 医療関係法規 8章6節 子ども・子育て支援法 (p.137-140)<br>母性看護実践の基本 2章4節 子育て支援に関する施策 (p.39-42)  |
|                    |                 | e 母性保護の関係法規   | 医療関係法規 8章2節 母体保護法 (p.130-131)<br>母性看護実践の基本 2章3節2項 女性の保護および就労に関する法律 (p.38-39)  |
|                    |                 | f 女性の就労の関係法規  | 医療関係法規 15章3節 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律 (p.301-302)<br>母性看護実践の基本 2章3節2項 女性の保護および就労に関する法律 (p.38-39)                     |
|                    |                 | g 外国人妊産婦と家族への支援   | 母性看護実践の基本 15章4節 外国人妊産婦 (p.368-371)<br>災害看護 5章1節5項 外国人被災者の心理的特徴と援助 (p.139-143)   |
|                    |                 | h 災害時の妊産婦と家族への支援  | 母性看護実践の基本 15章5節 災害時の妊産婦 (p.372-374)<br>災害看護 1章3節3項 災害時要援護者への対応のあり方 (p.35-38)/5章1節4項 親子(母子・父子および妊産婦含む)の心理的特徴と援助 (p.132-138)  |
|                    | C 母性看護と倫理       | a 対象の権利と擁護  | 母性看護実践の基本 2章1節2項 対象となる人々の権利の擁護 (p.29-30)  |
|                    |                 | b 自己決定の尊重   | 成人看護学概論 10章1節5項 自己決定ということ (p.170)<br>母性看護実践の基本 2章1節1項 倫理規定における看護者の使命と母性看護 (p.28)  |
|                    |                 | c プライバシーの保護   | 母性看護実践の基本 2章1節1項 倫理規定における看護者の使命と母性看護 (p.28)   |
| d 人間の性と生殖や医療における倫理 |                 | 母性看護実践の基本 2章1節1項 倫理規定における看護者の使命と母性看護 (p.28), 2項 対象となる人々の権利の擁護 (p.29-30) |   |
| 2 人間の性と生殖          | A 性の概念          | a 性的健康の概念   | 成人看護学概論 10章1節3項 セクシュアル・ヘルス/ライツ (p.169)<br>母性看護実践の基本 3章1節2項 性の多面性 (p.46)   |

| 大項目       | 中項目             | 小項目                     | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|-----------|-----------------|-------------------------|--|
| 2 人間の性と生殖 | A 性の概念          | b セックス, ジェンダー, セクシュアリティ | 成人看護学概論 10章1節1項 セクシュアリティ (p.168), 4項 ジェンダー (p.169-170)<br>母性看護実践の基本 3章1節2項 性の多面性 (p.46)  |
|           |                 | c ヒトの発生・性的分化のメカニズム      | 母性看護実践の基本 3章4節 性分化のメカニズム (p.55-57)   |
|           | B 性と生殖の機能のメカニズム | a 性周期                   | ヘルスアセスメント 4章1節1項 母性のアセスメント: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.186-189)<br>母性看護実践の基本 3章5節 性周期 (p.57-61) |
|           |                 | b 性行動・性反応               | 母性看護実践の基本 3章6節 性行動・性反応 (p.61-64)   |
|           |                 | c 受胎のメカニズム              | 母性看護実践の基本 6章2節1項 妊娠の成立 (p.110-112)   |
|           |                 |                         |  |

## 目標Ⅱ. 女性のライフサイクル各期における看護について基本的な理解を問う。

| 大項目                  | 中項目             | 小項目                        | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|----------------------|-----------------|----------------------------|--|
| 3 女性のライフサイクル各期における看護 | A 思春期女性の健康課題と看護 | a 第二性徴                     | ヘルスアセスメント 4章1節1項 母性のアセスメント: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.186-189)<br>母性看護実践の基本 4章1節1項 身体的特徴 (p.66-67)   |
|                      |                 | b 性意識・性行動の発達               | 母性看護実践の基本 3章6節1項 性行動 (p.61-62) / 4章1節2項 心理社会的特徴 (p.67-68)  |
|                      |                 | c 月経異常                     | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 2章6節1項 問診・視診・触診 (p.53-60) / 11章1節2項 性ホルモンの障害と看護 (p.241-245)<br>母性看護実践の基本 4章3節1項 月経の異常 (p.69-70)  |
|                      |                 | d 性感染症 (STD)               | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 10章4節2項 女性の性器感染症 (p.215-217)<br>母性看護実践の基本 4章4節1項 性感染症 (p.78-79)  |
|                      | B 成熟期女性の健康課題と看護 | a 家族計画                     | 母性看護実践の基本 4章4節2項 受胎調整と家族計画 (p.79-82)   |
|                      |                 | b 不妊症, 不育症                 | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 10章5節2項 男性不妊 (p.218-219), 3項 女性不妊 (p.219-221)<br>母性看護実践の基本 4章4節4項 不妊 (p.86-92) / 11章2節2項 不育症 (p.254-255)   |
|                      |                 | c 女性生殖器の疾患                 | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 10章2節2項 女性生殖器の障害を引き起こす主な疾患 (p.200-210)<br>母性看護実践の基本 4章3節3項 女性の生殖器の良性疾患 (p.72-74), 4項 女性の生殖器の悪性疾患 (p.74-77)   |
|                      |                 | d 性暴力, DV (ドメスティック・バイオレンス) | 医療関係法規 8章4節 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (p.132-136)<br>成人看護学概論 10章2節4項 性暴力 (p.172-174), 3項 性に関連する健康障害の予防および対応 (p.175-179)<br>母性看護実践の基本 4章4節3項 ドメスティック・バイオレンスと性暴力 (p.83-85)  |
|                      | C 更年期女性の健康課題と看護 | a ホルモンの変化と閉経               | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 10章1節1項 加齢によるホルモンバランスの障害 (p.186-193)<br>母性看護実践の基本 5章1節1項 身体的特徴 (p.96-97)   |
|                      |                 | b 更年期症状                    | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 10章1節1項 加齢によるホルモンバランスの障害 (p.186-193) / 11章1節1項 更年期障害の治療と看護 (p.236-241), 4節4項 更年期障害および自律神経失調症患者への看護 (p.274-278)<br>成人看護学概論 12章 更年期にみられる健康障害 (p.192-199)<br>母性看護実践の基本 5章1節1項 身体的特徴 (p.96-97), 2項 心理社会的特徴 (p.97), 2節1項 更年期障害 (p.98-100) |



| 大項目                  | 中項目             | 小項目          | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|----------------------|-----------------|--------------|--|
| 3 女性のライフサイクル各期における看護 | D 老年期女性の健康課題と看護 | a 骨盤臓器脱      | ヘルスアセスメント 3章11節2項 女性生殖器に関する問診 (p.136)<br>母性看護実践の基本 5章4節1項 骨盤臓器脱 (p.106-107) / 8章5節2項 早期離床と褥婦のセルフケア能力 (p.201-204) |
|                      |                 | b 老人性膣炎, 外陰炎 | ヘルスアセスメント 3章11節2項 女性生殖器に関する問診 (p.136)<br>母性看護実践の基本 5章4節2項 萎縮性膣炎 (p.107-108)                                      |

### 目標Ⅲ. 周産期における看護について基本的な理解を問う。

| 大項目             | 中項目           | 小項目             | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|-----------------|---------------|-----------------|--|
| 4 周産期にある人と家族の看護 | A 妊娠の生理と妊婦の看護 | a 妊娠の経過と胎児の発育   | 母性看護実践の基本 6章2節2項 胎盤形成と胎児の発育 (p.112-117), 3項 妊娠に伴う母体の変化 (p.117-123)<br>母性看護技術 1章1節 妊婦のヘルスアセスメント (p.12-20), 2節 内診時の援助 (p.21-23), 3節 乳房のアセスメント (p.24-25), 4節 超音波診断法: 胎児の発育とwell-beingの評価 (p.26-29), 5節 超音波ドプラ法 (p.30), 6節 NST (p.31-33), 7節 BPS (p.34-35)                                     |
|                 |               | b 妊婦の心理         | 母性看護実践の基本 6章3節 妊婦の心理的变化と親となることへの支援 (p.125-129)   |
|                 |               | c 妊娠と不快症状       | 母性看護実践の基本 6章6節 妊娠中のマイナートラブル (p.144-148)<br>母性看護技術 1章8節 つわりのケア (p.36-37), 9節 下肢静脈瘤の予防 (p.38-39)   |
|                 |               | d 妊婦の日常生活とセルフケア | 母性看護実践の基本 6章5節 妊婦の日常生活とセルフケアを支える看護 (p.132-143)<br>母性看護技術 1章10節 日常生活動作 (p.40-44), 11節 妊娠中の運動 (p.45-50)  |
|                 |               | e 出産・育児の準備      | 母性看護実践の基本 6章7節 出産と育児の準備 (p.149-152)  |
|                 | B 分娩の生理と産婦の看護 | a 分娩の経過と胎児の健康状態 | 母性看護実践の基本 7章3節 分娩経過と胎児の健康状態 (p.161-175)<br>母性看護技術 2章1節 入院までのケア (p.56-58), 2節 入院時の観察 (p.59-61), 3節 胎児の健康状態の観察: ドプラ法, 分娩監視装置 (p.62-65), 4節 分娩進行状態の観察と記録 (p.66-68), 7節 破水の観察 (p.80-81), 10節 分娩体位 (p.88-89), 11節 分娩に向けた産婦の準備とケア (p.90-94), 12節 分娩直後の母体の観察 (p.95-97), 16節 分娩後2時間の観察 (p.110-112) |
|                 |               | b 産婦の基本的ニーズと看護  | 母性看護実践の基本 7章4節1項 基本的ニーズの変化と看護 (p.176-177)<br>母性看護技術 2章5節 産婦の基本的ニーズのケア (食事・活動と休息・排泄・清潔) (p.69-72)   |
|                 |               | c 産痛の緩和         | 母性看護実践の基本 7章4節2項 心理的ニーズ (p.177)<br>母性看護技術 2章6節 産痛緩和法 (p.73-79)   |
|                 |               | d 産婦と家族の心理      | 母性看護実践の基本 7章5節 産婦と家族の心理 (p.181-183)  |
|                 | C 産褥の生理と褥婦の看護 | a 退行性変化         | 母性看護実践の基本 8章2節3項 生殖器の変化 (p.190-193), 3節3項 子宮復古 (p.194-196), 4項 会陰と肛門 (p.196) / 10章3節1項 乳房の構造と機能 (p.231-232)<br>母性看護技術 3章3節 子宮復古のアセスメントと子宮底の輪状マッサージ (p.118-122), 4節 悪露のアセスメントとケア (p.123-126), 5節 外陰部・肛門部の創傷のアセスメントとケア (p.127-128)   |
|                 |               | b 進行性変化         | 母性看護実践の基本 10章3節 乳房の構造と機能・乳汁分泌メカニズム (p.231-235)   |

| 大項目             | 中項目           | 小項目                                       | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|-----------------|---------------|---|--|
| 4 周産期にある人と家族の看護 | C 産褥の生理と褥婦の看護 | c 褥婦の心理                                   | 母性看護実践の基本 8章4節 褥婦の心理社会的変化のアセスメントと看護 (p.197-200)  |
|                 |               | d 褥婦の日常生活とセルフケア                           | 母性看護実践の基本 8章5節 褥婦の日常生活とセルフケアを支える看護 (p.200-204)<br>母性看護技術 3章7節 産褥体操 (p.132-133), 13節 骨盤底筋体操 (p.153-154)   |
|                 |               | e 母乳育児への支援                                | 母性看護実践の基本 10章4節 新生児の生理機能と乳汁分泌メカニズムに基づいた母乳育児支援 (p.236-239), 5節 母親・新生児・授乳の観察と評価 (p.239-242), 6節 母親へのエモーショナルサポートとエンパワメント (p.242), 7節 母乳育児支援に役立つ情報提供とケア (p.243-248)<br>母性看護技術 3章8節 授乳姿勢 (ポジショニング) (p.134-141), 9節 吸着 (ラッチ・オン) (p.142-144), 9節 授乳しやすくするためのソフトマッサージ (p.145-147), 11節 乳頭・乳輪部の浮腫を軽減させる方法 (RPS) (p.148-149), 12節 搾乳 (p.150-152) |
|                 | f 親役割への支援     | 母性看護実践の基本 8章6節 親役割への支援 (p.204-206)        |  |
|                 | D 新生児の生理と看護   | a 新生児の生理                                  | 母性看護実践の基本 9章2節 新生児の生理 (p.209-213)<br>母性看護技術 4章1節 アプガースコア (p.158), 2節 出生直後の皮膚乾燥 (p.159-161), 3節 新生児の計測 (p.162-165), 4節 バイタルサイン・チェックと全身の観察 (p.166-175)   |
|                 |               | b 新生児の栄養                                  | 母性看護実践の基本 9章4節3項 出生後24時間以降から退院に向けたケア (p.223-224) / 10章2節1項 母乳育児の恩恵 (p.229-230)   |
| c 新生児の保育環境      |               | 母性看護実践の基本 9章4節2項 出生後24時間以内のケア (p.220-223) |  |
| 5 周産期の異常と看護     | A 妊娠の異常と看護    | a 流産, 早産                                  | 母性看護実践の基本 11章2節1項 流産・切迫流産 (p.253-254), 3項 早産・切迫早産 (p.255-256)<br>母性看護技術 1章12節 切迫早産入院中のケア (p.51-53)   |
|                 |               | b 感染症                                     | 母性看護実践の基本 11章6節 妊娠期の感染症 (p.268)  |
|                 |               | c 常位胎盤早期剥離                                | 母性看護実践の基本 12章8節2項 常位胎盤早期剥離 (p.303-304)   |
|                 |               | d 前置胎盤                                    | 母性看護実践の基本 12章8節1項 前置胎盤 (p.302-303)   |
|                 |               | e 妊娠高血圧症候群                                | 母性看護実践の基本 11章3節2項 妊娠高血圧症候群 (PIH) (p.258-259)   |
|                 |               | f 妊娠糖尿病                                   | 母性看護実践の基本 11章3節3項 妊娠糖尿病 (GDM) (p.259-261)  |
|                 |               | g 出生前診断                                   | 母性看護実践の基本 15章1節 出生前診断の適応妊婦 (p.358-361)   |
|                 | B 分娩の異常と看護    | a 前期破水                                    | 母性看護実践の基本 11章7節 羊水量の異常 (p.275-276)   |
|                 |               | b 帝王切開術                                   | 母性看護実践の基本 12章9節2項 帝王切開 (p.307-311)   |
|                 |               | c 産科出血                                    | 母性看護実践の基本 12章8節 異常出血 (p.300-306)   |
|                 |               | d 胎児機能不全                                  | 母性看護実践の基本 12章6節 胎児機能不全 (p.289-297)   |
|                 | C 産褥の異常と看護    | a 肺塞栓                                     | 母性看護実践の基本 13章1節3項 血栓塞栓症 (p.315-316)  |
|                 |               | b 子宮復古不全                                  | 母性看護実践の基本 13章1節1項 子宮復古不全 (p.314)<br>母性看護技術 3章3節 子宮復古のアセスメントと子宮底の輪状マッサージ (p.118-122)  |
|                 |               | c 産褥熱                                     | 母性看護実践の基本 13章2節1項 産褥熱 (p.316)  |
|                 |               | d 乳腺炎                                     | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 10章6節2項 乳腺の主な疾患 (p.222-227)<br>母性看護実践の基本 13章3節2項 乳房のトラブル (p.318-323)   |

| 大項目         | 中項目         | 小項目                  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-------------|-------------|----------------------|---|
| 5 周産期の異常と看護 | C 産褥の異常と看護  | e 産後うつ               | 母性看護実践の基本 13章4節 産後うつ病 (p.325)   |
|             |             | f 帝王切開術後             | 母性看護実践の基本 13章5節 帝王切開術後 (p.326-328)  |
|             |             | g 死産, 障害をもつ新生児を出産した親 | 母性看護実践の基本 13章6節 流産・死産後の看護 (p.329-330), 7節 先天異常, 障害をもつ新生児の家族へのケア (p.332-335)                       |
|             | D 新生児の異常と看護 | a 新生児の健康逸脱           | 母性看護実践の基本 14章2節 出生直後の新生児にみられやすい病態・疾患 (p.341-344), 3節 出生後の新生児にみられやすい病態・疾患 (p.344-347)              |
|             |             | b 早産児, 低出生体重児        | 母性看護実践の基本 14章1節 早産・低出生体重児にみられやすい疾患 (p.338-341), 6節 早産・低出生体重児と家族への看護 (p.351-354)                   |
|             |             | c 先天異常, 障害をもつ新生児     | 母性看護実践の基本 14章2節2項 外表奇形 (p.342), 3節1項 循環器疾患 (p.344-345), 2項 外科的疾患 (p.345-346), 5節 先天異常 (p.349-350) |



# 精神看護学

## 目標Ⅰ. 精神の健康と保持・増進に向けた看護について基本的な理解を問う。

| 大項目    | 中項目             | 小項目                        | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|--------|-----------------|----------------------------|---|
| 1 精神保健 | A 精神の健康         | a 精神の健康の概念                 | ヘルスアセスメント 5章1節1項 精神状態のアセスメント (p.226), 2項 正常と異常のはざま (p.226-228)<br>情緒発達と看護の基本 1章1節 ころの健康とは (p.12-13)   |
|        |                 | b 精神障害の第一次予防, 第二次予防, 第三次予防 | 情緒発達と看護の基本 10章2節2項 症状と診断 (p.164)  |
|        | B 心の健康に関する普及啓発  | a 偏見・差別・ステイグマ              | 情緒発達と看護の基本 1章5節 対象理解の難しさ (p.23), 6節 精神障害とともに生きるということ (p.24-26)  |
|        |                 | b 精神保健医療福祉の改革ビジョン          | 精神障害と看護の実践 4章5節 地域生活における権利擁護 (p.100-103)  |
|        | C 危機〈クライシス〉     | a 危機の概念                    | 臨床看護総論 3章2節2項 急性期 (p.109-111)<br>情緒発達と看護の基本 2章2節7項 ころの危機 (p.46-48)  |
|        |                 | b 危機介入                     | 情緒発達と看護の基本 2章2節7項 ころの危機 (p.46-48)   |
|        |                 | c 危機と予防                    | 情緒発達と看護の基本 2章2節7項 ころの危機 (p.46-48)   |
|        |                 | d ストレスと対処                  | 情緒発達と看護の基本 1章2節2項 精神障害は悩みや葛藤の延長線上にある (p.13-14) / 2章2節3項 ストレスとストレッサー (p.37-39), 4項 適応と不適応 (p.39-41), 5項 不安とその対処法: コーピング (p.41-43), 6項 ころの防衛機制 (p.43-46) / 4章1節 ライフサイクルとストレス (p.62)<br>精神障害と看護の実践 2章4節 ストレスマネジメント (p.50-54) / 5章1節1項 入院する精神障害者がもつ特徴 (p.106-107) |
|        |                 | e 適応理論                     | 成人看護学概論 17章 適応 (p.248-258)  |
|        | D 災害時地域精神保健医療活動 |                            | 情緒発達と看護の基本 2章2節7項 ころの危機 (p.46-48)   |
|        |                 | a 災害時の精神保健医療活動             | 災害看護 5章1節1項 災害が被災者の心に及ぼす影響 (p.118-124), 2項 成人 (壮年期・中年期)・高齢者の心理的特徴と援助 (p.125-129)  |
|        |                 | b 災害時の精神保健初期対応             | 災害看護 5章1節1項 災害が被災者の心に及ぼす影響 (p.118-124), 2項 成人 (壮年期・中年期)・高齢者の心理的特徴と援助 (p.125-129)  |
|        |                 | c 災害時の精神障害者への治療継続への援助      | 災害看護 5章1節3項 心身障害者の心理的特徴と援助 (p.130-132)  |

目標Ⅱ. 精神看護の基盤となる援助について基本的な理解を問う。

| 大項目            | 中項目                      | 小項目  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|----------------|--------------------------|--|--|
| 2 精神看護の基盤となる援助 | A 精神疾患・精神症状への援助          |  | 情緒発達と看護の基本 10章1節 精神疾患総論 (p.158-163)  |
|                |                          | a 症状性を含む器質性精神障害                              | 情緒発達と看護の基本 6章 ストレスに対する身体的反応—心身症 (p.96-98) / 10章8節 認知障害 (p.188-195)   |
|                |                          | b 精神作用物質使用による精神・行動の障害                        | 情緒発達と看護の基本 10章2節 精神作用物質による精神障害 (p.163-167)   |
|                |                          | c 統合失調症, 統合失調症型障害, 妄想性障害                     | 情緒発達と看護の基本 10章3節 統合失調症 (p.168-172)<br>精神障害と看護の実践 3章1節 統合失調症(急性期)のケース (p.60-66), 2節 統合失調症(慢性期)のケース (p.66-70)  |
|                |                          | d 気分(感情)障害                                   | 情緒発達と看護の基本 10章4節 気分障害 (p.172-176)<br>精神障害と看護の実践 3章4節 うつ病のケース (p.75-79)   |
|                |                          | e 神経症性障害, ストレス関連障害, 身体表現性障害                  | 臨床栄養学 3章3節3項 青年期 (p.119-120)<br>情緒発達と看護の基本 10章5節 神経症性障害 (p.176-181), 6節 心的外傷後ストレス障害(PTSD) (p.181-184)<br>精神障害と看護の実践 3章5節 神経症のケース (p.79-82)<br>災害看護 5章1節1項 災害が被災者の心に及ぼす影響 (p.118-124) |
|                |                          | f 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群                      | 情緒発達と看護の基本 4章2節3項 思春期(12~18歳頃) (p.66-67)<br>精神障害と看護の実践 3章6節 若年性障害: 摂食障害のケース (p.83-87)  |
|                |                          | g 成人の人格・行動の障害                                | 情緒発達と看護の基本 10章7節 人格(パーソナリティ)障害 (p.184-188)<br>精神障害と看護の実践 3章3節 人格(パーソナリティ)障害 (p.71-75)  |
|                |                          | h 精神遅滞                                       | 情緒発達と看護の基本 10章8節1項 認知症 (p.188-192)   |
|                |                          | i 心理的発達の障害                                   | 小児の発達と看護 2章6節2項 心理社会的発達の評価法 (p.168-170)<br>精神障害と看護の実践 3章7節 若年性障害: 被虐待児のケース (p.87-90)   |
|                | j 小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害 | 情緒発達と看護の基本 4章2節 ライフサイクル各期における特徴と危機 (p.62-74) |  |
|                | B セルフケアの援助               | a 食物・水分の摂取                                   | 精神障害と看護の実践 2章2節 日常生活行動の援助 (p.26-41)  |
|                |                          | b 呼吸   | 精神障害と看護の実践 2章2節 日常生活行動の援助 (p.26-41)  |
|                |                          | c 排泄   | 精神障害と看護の実践 2章2節 日常生活行動の援助 (p.26-41)  |
|                |                          | d 清潔と身だしなみ                                   | 精神障害と看護の実践 2章2節 日常生活行動の援助 (p.26-41)  |
|                |                          | e 活動と休息                                      | 精神障害と看護の実践 2章2節 日常生活行動の援助 (p.26-41)  |
|                |                          | f 対人関係                                       | 精神障害と看護の実践 7章3節 病棟内の人間関係 (p.160-164)   |
|                |                          | g 安全   | 精神障害と看護の実践 7章1節5項 実習の記録 (p.148-158)  |
|                | C 生きる力と強さに着目した援助         | a ストレングス(強み・力)                               | 情緒発達と看護の基本 2章2節8項 回復ということ (p.48-49)  |
|                |                          | b リカバリ(回復)                                   | 情緒発達と看護の基本 2章2節8項 回復ということ (p.48-49)  |

| 大項目            | 中項目              | 小項目                      | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|----------------|------------------|--------------------------|--|
| 2 精神看護の基盤となる援助 | C 生きる力と強さに着目した援助 | c エンパワメント                | 情緒発達と看護の基本 2章2節8項 回復ということ (p.48-49)                          |
|                |                  | D 援助関係の構築                | a 信頼関係の基礎作り  |
|                | b 患者－看護師関係の発展    |                          | 精神障害と看護の実践 7章1節5項 実習の記録 (p.148-158), 3節 病棟内の人間関係 (p.160-164) |
|                | c 患者－看護師関係の終結    |                          | 精神障害と看護の実践 7章3節 病棟内の人間関係 (p.160-164)                         |
|                | d プロセスレコードの活用    |                          | 精神障害と看護の実践 7章1節5項 実習の記録 (p.148-158)                          |
|                | E リエゾン精神看護       | a 心身相関と健康                | 精神障害と看護の実践 5章1節 治療の場としての精神科病棟 (p.106-112)                    |
|                |                  | b 身体疾患をもつ人の精神の健康         | 情緒発達と看護の基本 6章 ストレスに対する身体的反応－心身症 (p.96-98)                    |
|                |                  | c 精神疾患をもつ人の身体の健康         | 情緒発達と看護の基本 10章 精神症状と精神疾患 (p.158-196)                         |
|                |                  | d 患者と家族の精神の健康            | 情緒発達と看護の基本 7章4節 精神疾患と家族 (p.114-118)                          |
|                |                  | e 看護職員の精神の健康             | 精神障害と看護の実践 2章4節 ストレスマネジメント (p.50-54)                         |
|                |                  | f 支持的面接                  | 精神障害と看護の実践 2章5節4項 リエゾン精神看護専門看護師 (p.56)                       |
|                |                  | g 心身相関の考え方に基づくホリスティックケア  | 精神障害と看護の実践 5節4項 リエゾン精神看護専門看護師 (p.56)                         |
|                |                  | h リラクセーション               | 精神障害と看護の実践 5節4項 リエゾン精神看護専門看護師 (p.56)                         |
|                |                  | i 患者、家族、保健医療福祉の専門職間の連携促進 | 精神障害と看護の実践 2章5節6項 リエゾン精神看護専門看護師の今後の課題 (p.57)                 |

目標Ⅲ. 精神疾患をもつ人の生物・心理・社会的側面への看護について基本的な理解を問う。

| 大項目             | 中項目          | 小項目               | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|-----------------|--------------|-------------------|--|
| 3 生物学的側面に注目した援助 | A 脳の仕組みと精神機能 | a 脳の部位と精神機能       | 情緒発達と看護の基本 2章1節1項 こころを脳の構造から理解する (p.30)                                |
|                 |              | b 神経伝達物質と精神機能     | 情緒発達と看護の基本 10章8節 認知障害 (p.188-195)                                      |
|                 |              | c ストレス脆弱性仮説       | 情緒発達と看護の基本 1章4節 精神障害が生じるきっかけとプロセス (p.20-22)                            |
|                 |              | d 脳と免疫機能          | 脳・神経機能障害 / 感覚機能障害 2章8節 免疫性神経疾患 (p.74-79)                               |
|                 |              | e 睡眠障害とサーカディアンリズム | 病態生理学 2章46節3項 アセスメント (p.323-326)<br>情緒発達と看護の基本 12章2節4項 睡眠薬 (p.217-219) |
|                 | B 臨床検査       | a 脳波検査            | 情緒発達と看護の基本 11章1節2項 検査を知る (p.200-205)                                   |
|                 |              | b 脳の画像検査          | 情緒発達と看護の基本 11章1節2項 検査を知る (p.200-205)                                   |

| 大項目             | 中項目             | 小項目            | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |   |
|-----------------|-----------------|----------------|---|---|
| 3 生物学的側面に注目した援助 | B 臨床検査          | c 脳脊髄液検査       | 情緒発達と看護の基本 11章1節2項 検査を知る (p.200-205)  |   |
|                 |                 | C 薬物療法         |   | 情緒発達と看護の基本 10章1節 精神疾患総論 (p.158-163)<br>精神障害と看護の実践 2章3節 服薬治療に関わる援助 (p.42-50) |
|                 | a 抗精神病薬         |                | 臨床薬理学 4章5節2項 抗精神病薬 (p.104-108)<br>情緒発達と看護の基本 12章2節1項 抗精神病薬 (p.212-215)  |   |
|                 | b 抗うつ薬          |                | 臨床薬理学 4章5節3項 抗うつ薬 (p.109-112)<br>情緒発達と看護の基本 12章2節2項 抗うつ薬 (p.215-217)  |   |
|                 | c 気分安定薬         |                | 臨床薬理学 4章5節6項 気分安定薬 (抗躁薬) (p.121-122)  |   |
|                 | d 抗不安薬          |                | 臨床薬理学 4章5節5項 抗不安薬 (p.119-121)<br>情緒発達と看護の基本 12章2節3項 抗不安薬 (p.217)  |   |
|                 | e 睡眠薬           |                | 病態生理学 2章46節4項 ケア (p.326-328)<br>臨床薬理学 4章5節4項 睡眠薬 (p.113-118)<br>情緒発達と看護の基本 12章2節4項 睡眠薬 (p.217-219)                        |   |
|                 | f 抗てんかん薬        |                | 病態生理学 2章26節4項 ケア (p.227-228)<br>臨床薬理学 4章2節 抗てんかん薬 (p.91-95)   |   |
|                 | D 症状マネジメント      |                | 情緒発達と看護の基本 10章1節 精神疾患総論 (p.158-163)   |   |
|                 |                 | a 服薬自己管理への支援   | 情緒発達と看護の基本 12章2節5項 服薬指導上の注意点 (p.219-220)  |   |
|                 |                 | b 心理教育         | 情緒発達と看護の基本 7章4節2項 家族によくみられる状況 (p.115-117)   |   |
|                 | 4 心理学的側面に注目した援助 | A 心の機能と発達      | a 精神情緒の発達   | 情緒発達と看護の基本 2章1節3項 ころをころの構造に関する仮説から理解する (p.31-33)                            |
|                 |                 |                | b 自我の機能   | 情緒発達と看護の基本 2章1節3項 ころをころの構造に関する仮説から理解する (p.31-33), 2節2項 心理的成熟 (p.36-37)      |
| c 防衛機制          |                 |                | 情緒発達と看護の基本 2章2節6項 ころの防衛機制 (p.43-46)   |   |
| d 精神力動          |                 |                | 基礎看護技術 2章2節2項 主なカウンセリングと特徴 (p.48-50)  |   |
| e 集団力動          |                 |                | 情緒発達と看護の基本 1章2節5項 人と集団 (p.15-18)  |   |
| f 転移感情          |                 |                | 情緒発達と看護の基本 12章3節1項 精神療法に用いる用語 (p.221-223)   |   |
| B 精神療法          |                 | a 個人精神療法       | 情緒発達と看護の基本 12章3節2項 個人精神療法 (p.223)   |   |
|                 |                 | b 集団精神療法       | 情緒発達と看護の基本 12章3節3項 集団精神療法 (p.223-224)   |   |
|                 |                 | c 認知行動療法       | 情緒発達と看護の基本 10章1節 精神疾患総論 (p.158-163) / 12章3節6項 認知行動療法 (p.226)  |   |
| C リハビリテーション療法   |                 | a 作業療法         | 臨床看護総論 3章4節12項 リハビリテーション療法 (p.140-141)<br>情緒発達と看護の基本 12章4節3項 具体的な方法 (p.229-231)<br>精神障害と看護の実践 2章2節3項 治療としての生活援助 (p.32-33) |   |
|                 |                 | b 芸術療法         | 情緒発達と看護の基本 12章3節7項 芸術療法 (p.226-227)<br>精神障害と看護の実践 2章2節5項 社会学習への援助 (p.36-41)   |   |
|                 |                 | c 生活技能訓練 (SST) | 情緒発達と看護の基本 12章4節3項 具体的な方法 (p.229-231)   |   |



| 大項目             | 中項目                | 小項目                         | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-----------------|--------------------|-----------------------------|---|
| 4 心理学的側面に注目した援助 | C リハビリテーション療法      | c 生活技能訓練 (SST)              | 精神障害と看護の実践 2章2節5項 社会学習への援助 (p.36-41)  |
| 5 社会的側面に注目した援助  | A 家族               | a 家族のストレスと健康状態のアセスメント       | 情緒発達と看護の基本 7章2節 家族をみる視点 (p.105-110)   |
|                 |                    | b 家族の対処力とソーシャルサポートのアセスメント   | 情緒発達と看護の基本 7章4節 精神疾患と家族 (p.114-118)   |
|                 |                    | c 家族システムのアセスメント             | 情緒発達と看護の基本 7章2節 家族をみる視点 (p.105-110)   |
|                 |                    | d 家族への教育的介入と支援              | 情緒発達と看護の基本 7章2節 家族をみる視点 (p.105-110)<br>精神障害と看護の実践 3章1節 統合失調症 (急性期) のケース (p.60-66)   |
|                 |                    | e 患者-家族関係                   | 情緒発達と看護の基本 7章4節 精神疾患と家族 (p.114-118)<br>精神障害と看護の実践 1節 統合失調症 (急性期) のケース (p.60-66)   |
|                 | B 社会復帰・社会参加の基本     | a リハビリテーションの概念              | 臨床看護総論 3章4節12項 リハビリテーション療法 (p.140-141)<br>精神障害と看護の実践 6章1節 精神科リハビリテーションの考え方 (p.124-134)  |
|                 |                    | b 国際生活機能分類 (ICF)            | 情緒発達と看護の基本 1章6節3項 疾病と障害 (p.25-26)   |
|                 |                    | c 長期入院患者の退院支援               | 情緒発達と看護の基本 1章6節2項 地域で支える精神障害を目指して (p.24-25)   |
|                 | C 保健医療に関する資源の活用と調整 | a 保健所、市町村、精神保健福祉センター        | 公衆衛生 10章2節2項 関係機関の役割 (p.168-173)<br>医療関係法規 11章5節 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (p.219-231)<br>情緒発達と看護の基本 資料2 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (抄) (p.250-264)  |
|                 |                    | b 精神科デイケア、精神科ナイトケア          | 情緒発達と看護の基本 8章2節4項 現代 (昭和・戦後～平成) (p.135-138)<br>精神障害と看護の実践 6章2節1項 治療を継続するためのリハビリテーションの場 (p.135-136)  |
|                 |                    | c 訪問看護、精神科訪問看護              | 精神障害と看護の実践 6章2節1項 治療を継続するためのリハビリテーションの場 (p.135-136)<br>地域療養を支えるケア 7章6節 在宅での生活を希望する精神障害者 (p.263-265)   |
|                 | D 社会資源の活用とケアマネジメント | a 精神障害者ケアマネジメントの基本的考え方      | 精神障害と看護の実践 6章1節 精神科リハビリテーションの考え方 (p.124-134)  |
|                 |                    | b 社会資源の活用とソーシャルサポート (エコマップ) | 情緒発達と看護の基本 12章4節 社会療法 (p.229-231)<br>精神障害と看護の実践 6章 精神保健活動とリハビリテーション (p.124-142)   |
|                 |                    | c 自立支援医療                    | 医療関係法規 11章2節 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (p.205-214)<br>情緒発達と看護の基本 8章2節4項 現代 (昭和・戦後～平成) (p.135-138) / 9章1節8項 「障害者自立支援法」から「障害者総合支援法」へ (p.150-152) / 資料2 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (抄) (p.250-264)<br>精神障害と看護の実践 4章5節 地域生活における権利擁護 (p.100-103) / 6章 精神保健活動とリハビリテーション (p.124-142)<br>地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172) |
|                 |                    | d 居宅介護 (ホームヘルプ)、同行援助および行動援助 | 医療関係法規 11章2節 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (p.205-214)<br>精神障害と看護の実践 6章2節2項 障害者総合支援法に伴うサービス (p.136-138)  |

| 大項目            | 中項目  | 小項目                        | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|----------------|--|----------------------------|--|
| 5 社会的側面に注目した援助 | D 社会資源の活用とケアマネジメント   | d 居宅介護（ホームヘルプ）、同行援護および行動援護 | 地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)   |
|                |  | e 重度訪問介護                   | 医療関係法規 11章2節 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (p.205-214)<br>精神障害と看護の実践 6章2節2項 障害者総合支援法に伴うサービス (p.136-138)   |
|                |  | f 生活介護                     | 医療関係法規 11章2節 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (p.205-214)<br>精神障害と看護の実践 6章2節2項 障害者総合支援法に伴うサービス (p.136-138)<br>地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)   |
|                |  | g 短期入所（ショートステイ）            | 医療関係法規 11章2節 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (p.205-214)<br>精神障害と看護の実践 6章2節2項 障害者総合支援法に伴うサービス (p.136-138)<br>地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)   |
|                |  | h 共同生活介護（ケアホーム）            | 医療関係法規 11章2節 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (p.205-214)<br>精神障害と看護の実践 6章2節2項 障害者総合支援法に伴うサービス (p.136-138)<br>地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)   |
|                |  | i 生活訓練                     | 医療関係法規 11章2節 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (p.205-214)<br>精神障害と看護の実践 6章2節2項 障害者総合支援法に伴うサービス (p.136-138)<br>地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)   |
|                |  | j 就労移行支援                   | 医療関係法規 11章2節 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (p.205-214)<br>精神障害と看護の実践 6章2節2項 障害者総合支援法に伴うサービス (p.136-138)<br>地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)   |
|                |  | k 就労継続支援 A型・B型             | 医療関係法規 11章2節 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (p.205-214)<br>精神障害と看護の実践 6章2節2項 障害者総合支援法に伴うサービス (p.136-138)<br>地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)   |
|                |  | l 共同生活援助（グループホーム）          | 医療関係法規 11章2節 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (p.205-214)<br>情緒発達と看護の基本 1章6節2項 地域で支える精神障害を目指して (p.24-25)<br>精神障害と看護の実践 6章2節2項 障害者総合支援法に伴うサービス (p.136-138), 3項 住むための精神障害者社会復帰施設 (p.138)<br>地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172) |
|                |  | m 地域生活支援事業                 | 医療関係法規 11章2節 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (p.205-214)<br>精神障害と看護の実践 4章5節 地域生活における権利擁護 (p.100-103) / 6章1節 精神科リハビリテーションの考え方 (p.124-134)<br>地域療養を支えるケア 5章4節4項 障害者総合支援法 (p.167-172)  |
| n 精神障害者保健福祉手帳  | 公衆衛生 10章2節2項 関係機関の役割 (p.168-173)<br>医療関係法規 11章5節 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (p.219-231) |                            |  |

| 大項目            | 中項目                | 小項目           | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|----------------|--------------------|---------------|--|
| 5 社会的側面に注目した援助 | D 社会資源の活用とケアマネジメント | n 精神障害者保健福祉手帳 | 情緒発達と看護の基本 9章2節2項 精神保健指定医 (p.153)<br>地域療養を支えるケア 5章4節3項 障害者手帳 (p.166) |

目標Ⅳ. 精神疾患をもつ人の人権と安全を守り、回復を支援する看護について基本的な理解を問う。

| 大項目               | 中項目                   | 小項目                           | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-------------------|-----------------------|-------------------------------|---|
| 6 安全な治療環境の提供      | A 安全管理〈セーフティマネジメント〉   | a 病棟環境の整備と行動制限                | 精神障害と看護の実践 4章2節2項 倫理的視点からみた閉鎖病棟と解放病棟 (p.95) / 5章1節 治療の場としての精神科病棟 (p.106-112), 2節 治療的環境 (p.112-118), 3節 精神科病棟でのミーティング: 事例から考える (p.118-122) |
|                   |                       | b 自殺・自殺企図・自傷行為                | 情緒発達と看護の基本 5章2節1項 自殺 (p.77-78), 4項 自傷行為 (p.79-80)   |
|                   |                       | c 攻撃的行動, 暴力, 暴力予防プログラム        | 精神障害と看護の実践 3章7節 若年性障害: 被虐待児のケース (p.87-90) / 5章2節 治療的環境 (p.112-118)  |
|                   |                       | d 災害時の精神科病棟の安全の確保             | 精神障害と看護の実践 5章3節 精神科病棟でのミーティング: 事例から考える (p.118-122)  |
| 7 精神保健医療福祉の歴史と法制度 | A 患者の権利擁護〈アドボカシー〉     | a 当事者の自己決定の尊重                 | 精神障害と看護の実践 4章1節1項 アドボカシー (p.94), 4節1項 本人の保護と自己決定のバランス (p.98)  |
|                   |                       | b 入院患者の基本的な処遇                 | 精神障害と看護の実践 4章2節 生活の場としての治療環境 (p.95-96) / 5章1節1項 入院する精神障害者がもつ特徴 (p.106-107)  |
|                   |                       | c 精神医療審査会                     | 医療関係法規 11章5節 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (p.219-231)<br>情緒発達と看護の基本 資料2 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (抄) (p.250-264)  |
|                   |                       | d 隔離, 身体拘束                    | 精神障害と看護の実践 4章3節 さまざまな拘束の形 (p.96-97)   |
|                   | B 精神保健医療福祉の歴史と看護      | a 諸外国における精神医療の歴史              | 情緒発達と看護の基本 8章1節 欧米の精神医療の歴史 (p.122-127), 3節2項 欧米における精神医療の変革と問題 (p.139-140)   |
|                   |                       | b 日本における精神医療の歴史               | 情緒発達と看護の基本 8章2節 日本の精神保健医療看護の歴史 (p.127-138), 3節4項 日本の先進医療の現状と課題 (p.140-141) / 9章1節 精神保健医療に関わる法制度の変遷 (p.144-152)                            |
|                   |                       | c 精神保健医療福祉における看護師の役割          | 情緒発達と看護の基本 9章1節7項 精神医療の現状と課題 (p.149-150) / 13章3節4項 看護師に求められる役割 (p.241-242)  |
|                   | C 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 | a 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の基本的な考え方 | 医療関係法規 11章5節 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (p.219-231)<br>情緒発達と看護の基本 9章1節1項 精神医療の法的な始まり (p.144), 2節1項 法律改正の背景 (p.152)                               |
|                   |                       | b 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律による入院の形態 | 医療関係法規 11章5節 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (p.219-231)<br>情緒発達と看護の基本 9章1節3項 法律の整備と入院制度の乱用 (p.145), 3節 精神保健福祉法による入院形態 (p.153-154)                    |
|                   |                       | c 精神保健指定医・特定医師                | 医療関係法規 11章5節 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (p.219-231)<br>情緒発達と看護の基本 9章2節2項 精神保健指定医 (p.153)   |
|                   |                       | d 保護者                         | 情緒発達と看護の基本 7章1節2項 家族の法律上の役割 (p.102)   |

| 大項目               | 中項目                | 小項目              | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|-------------------|--------------------|------------------|--|
| 7 精神保健医療福祉の歴史と法制度 | D 精神保健医療福祉に関連する法制度 | a 自殺対策基本法        | 公衆衛生 8章3節4項 自殺対策 (p.139), 4節4項 自殺予防 (p.143)<br>医療関係法規 12章6節 自殺対策基本法 (p.259)<br>情緒発達と看護の基本 8章2節4項 現代(昭和・戦後～平成) (p.135-138)  |
|                   |                    | b 犯罪被害者等基本法      | 医療関係法規 12章5節 犯罪被害者等基本法 (p.258)   |
|                   |                    | c 精神の健康を守る行政システム | 医療関係法規 12章5節 犯罪被害者等基本法 (p.258)<br>情緒発達と看護の基本 9章1節4項 事件と精神衛生法改正 (p.146-147), 5項 新たな事件と精神保健法の成立 (p.147-148), 6項 精神保健法から精神保健福祉法への改正 (p.148-149)<br>精神障害と看護の実践 4章5節 地域生活における権利擁護 (p.100-103) |
| 8 精神保健医療福祉におけるチーム | A 精神科チーム医療と看護      | a 保健師            | 精神障害と看護の実践 6章2節8項 精神科チーム医療におけるそれぞれの役割 (p.141-142)  |
|                   |                    | b 精神保健福祉士        | 医療関係法規 5章14節 精神保健福祉士法 (p.77-78)<br>精神障害と看護の実践 6章2節8項 精神科チーム医療におけるそれぞれの役割 (p.141-142)   |
|                   |                    | c 作業療法士          | 精神障害と看護の実践 6章2節8項 精神科チーム医療におけるそれぞれの役割 (p.141-142)  |
|                   |                    | d 精神保健福祉相談員      | 医療関係法規 11章5節 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (p.219-231)<br>情緒発達と看護の基本 資料2 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(抄) (p.250-264)<br>精神障害と看護の実践 6章2節8項 精神科チーム医療におけるそれぞれの役割 (p.141-142)                                   |
|                   |                    | e セルフヘルプグループ     | 情緒発達と看護の基本 1章6節2項 地域で支える精神障害を目指して (p.24-25)<br>精神障害と看護の実践 6章2節6項 人的社会資源 (p.140-141)  |
|                   |                    | f ピアサポーター        | 災害看護 5章1節4項 親子(母子・父子および妊産褥婦含む)の心理的特徴と援助 (p.132-138)  |
|                   |                    | g 薬剤師            | 情緒発達と看護の基本 12章2節5項 服薬指導上の注意点 (p.219-220)<br>精神障害と看護の実践 6章2節8項 精神科チーム医療におけるそれぞれの役割 (p.141-142)  |
|                   |                    | h 栄養士            | 精神障害と看護の実践 6章2節8項 精神科チーム医療におけるそれぞれの役割 (p.141-142)  |
|                   |                    | i 心理専門職          | 情緒発達と看護の基本 2章2節8項 回復ということ (p.48-49)  |
|                   |                    | j チーム医療          | 臨床看護総論 3章6節1項 多職種連携と協働が必要なこと (p.153-154)<br>情緒発達と看護の基本 12章1節1項 チームで行う精神科医療 (p.212)   |

# 在宅看護論

## 目標 I. 在宅看護の特徴、在宅療養者及び家族について基本的な理解を問う。

| 大項目                | 中項目           | 小項目                   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |  |
|--------------------|---------------|-----------------------|---|--|
| 1 在宅看護が必要とされる背景と根拠 | A 社会的背景       | a 人口構成の変化             | 地域療養を支えるケア 1章1節2項 在宅看護の社会背景 (p.13-19)<br>医療安全 6章1節2項 在宅看護をとりまく現状 (p.166-168)  |  |
|                    |               | b 国民の価値観              | 地域療養を支えるケア 1章1節2項 在宅看護の社会背景 (p.13-19)   |  |
|                    |               | c 療養の場                | 地域療養を支えるケア 1章2節1項 在宅看護とは (p.19-20)<br>医療安全 6章1節1項 在宅看護とは (p.166)  |  |
|                    |               | d 社会保障費 (医療費・介護費)     | 地域療養を支えるケア 5章 在宅ケアを支える制度と社会資源 (p.142-183)   |  |
|                    | B 在宅医療・介護と制度  | a 在宅医療・介護に関する仕組み      | 地域療養を支えるケア 3章2節 在宅ケアを支える訪問看護ステーション (p.74-79) / 5章 在宅ケアを支える制度と社会資源 (p.142-183)   |  |
|                    |               | b 疾病や障害を抱えた人の社会参加     | ヘルスアセスメント 5章2節2項 イラストから情報を読み取ってみよう (p.235-236), 4項 居宅等で生活する対象者のヘルスアセスメントの注意点 (p.241-242)<br>地域療養を支えるケア 1章1節2項 在宅看護の社会背景 (p.13-19)<br>災害看護 4章5節2項 在宅の人々の背景 (p.104-107)   |  |
| 2 在宅看護の対象と生活       | A 在宅看護の対象者と生活 | a 疾病をもつ人と家族           | 地域療養を支えるケア 2章2節1項 療養者・家族側の条件 (p.46-47), 5節 家族介護者の個性に応じた支援 (p.61-64)   |  |
|                    |               | b 障害をもつ人と家族           | 地域療養を支えるケア 2章2節1項 療養者・家族側の条件 (p.46-47), 5節 家族介護者の個性に応じた支援 (p.61-64)   |  |
|                    | B 対象者の生活      | a 生活の場の種類             | 地域療養を支えるケア 2章1節6項 生活の場からみた対象者 (p.43)<br>医療安全 6章1節1項 在宅看護とは (p.166)  |  |
|                    |               | b 生活様式と価値観            | 地域療養を支えるケア 1章2節2項 個人と家族を対象とする在宅看護 (p.20-21)   |  |
|                    | C 在宅看護の提供方法   | a 外来看護                | 地域療養を支えるケア 2章3節 在宅療養者への看護活動 (p.48-52)   |  |
|                    |               | b 訪問看護                | 臨床看護総論 2章3節5項 サービスを受けながらの在宅生活 (p.94-98)<br>地域療養を支えるケア 1章2節2項 個人と家族を対象とする在宅看護 (p.20-21) / 3章1節2項 訪問看護の制度と現状 (p.68-70), 2節1項 訪問看護ステーションの設置と管理運営 (p.74), 3項 対象者 (p.74-75)<br>医療安全 6章1節2項 在宅看護をとりまく現状 (p.166-168) |  |
|                    |               | c 入所施設での看護            | 地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-162)  |  |
|                    |               | d 通所施設での看護            | 地域療養を支えるケア 3章1節2項 訪問看護の制度と現状 (p.68-70)  |  |
|                    | 3 在宅看護の目的     | A 自立・自律支援とQOL向上のための支援 | a QOLの理解  | 地域療養を支えるケア 1章2節1項 在宅看護とは (p.19-20)     |
|                    |               |                       | b セルフケア   | 地域療養を支えるケア 1章4節3項 在宅ケアにおける看護の特徴 (p.33) |

| 大項目          | 中項目                   | 小項目                                     | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|--------------|-----------------------|---|--|
| 3 在宅看護の目的    | A 自立・自律支援とQOL向上のための支援 | c 社会参加への援助                              | 地域療養を支えるケア 1章1節2項 在宅看護の社会背景 (p.13-19)  |
|              | B 病状・病態の予測と予防         | a ヘルスアセスメント                             | ヘルスアセスメント 5章2節3項 アセスメントの視点 (p.236-241)<br>地域療養を支えるケア 2章3節1項 健康管理 (p.48-49)   |
|              |                       | b 病状経過の予測                               | 地域療養を支えるケア 2章3節3項 病状・病態の予測と予防 (p.49-50)  |
| c 在宅での感染予防対策 |                       | 地域療養を支えるケア 2章3節3項 病状・病態の予測と予防 (p.49-50) |  |
| 4 在宅看護の役割と機能 | A 生活の中で必要となる安全管理      | a 家屋環境の整備                               | 地域療養を支えるケア 2章3節4項 療養上のリスクマネジメント (p.50-52)  |
|              |                       | b 転倒・転落の防止                              | 地域療養を支えるケア 2章3節4項 療養上のリスクマネジメント (p.50-52) / 4章4節1項 在宅ケアにおける危機管理 (リスクマネジメント) (p.133-137)<br>医療安全 5章2節4項 転倒転落 (p.137-146)  |
|              |                       | c 誤嚥・窒息の防止                              | 地域療養を支えるケア 3章1節3項 訪問看護における看護職 (p.70-73)<br>医療安全 5章2節5項 誤嚥 (p.147-148)  |
|              |                       | d 熱傷・凍傷の防止                              | 医療安全 5章2節7項 皮膚障害 (p.149-152) / 9章3節5項 清潔・衣生活援助技術に伴うリスクと安全 (p.233-234)  |
|              |                       | e 熱中症の防止                                | 内部環境調節機能障害 / 性・生殖機能障害 9章1節1項 熱中症の予防 (p.180-181)  |
|              |                       | f 閉じこもりの防止                              | 地域療養を支えるケア 3章1節3項 訪問看護における看護職 (p.70-73)  |
|              |                       | g 独居高齢者等と火災予防                           | 地域療養を支えるケア 2章3節4項 療養上のリスクマネジメント (p.50-52)  |
|              | B 家族への支援              | a 家族のアセスメント                             | 地域療養を支えるケア 2章4節2項 家族と看護 (p.58-60), 5節4項 介護力に応じた家族支援 (p.64)   |
|              |                       | b 家族関係の調整                               | 地域療養を支えるケア 2章4節2項 家族と看護 (p.58-60)  |
|              |                       | c ケア方法の指導                               | 地域療養を支えるケア 2章4節2項 家族と看護 (p.58-60), 5節4項 介護力に応じた家族支援 (p.64)   |
|              |                       | d 介護者の健康                                | 地域療養を支えるケア 2章5節 家族介護者の個性に応じた支援 (p.61-64)   |
|              |                       | e レスパイトケア                               | 地域療養を支えるケア 2章5節4項 介護力に応じた家族支援 (p.64)   |
|              | C 療養の場の移行に伴う看護        | a 入退院に関する患者・家族の意思決定支援                   | 臨床看護総論 2章2節4項 再発時の看護：症状緩和 (p.64-67), 3節4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92)<br>地域療養を支えるケア 1章3節1項 療養者中心の医療・看護 (p.23)  |
|              |                       | b 退院支援・退院調整のプロセス、仕組み                    | 臨床看護総論 2章2節4項 再発時の看護：症状緩和 (p.64-67), 3節4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92)<br>地域療養を支えるケア 4章1節1項 継続看護と退院調整 (p.94-101)  |
|              |                       | c 退院調整にかかわる職種とその役割                      | 臨床看護総論 2章2節4項 再発時の看護：症状緩和 (p.64-67), 3節4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92)<br>地域療養を支えるケア 4章1節1項 継続看護と退院調整 (p.94-101)<br>医療安全 6章3節2項 他職種との協働と今後の課題 (p.179-180) |

| 大項目          | 中項目                  | 小項目                      | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |   |
|--------------|----------------------|--------------------------|---|---|
| 4 在宅看護の役割と機能 | C 療養の場の移行に伴う看護       | d 入退所に関する患者・家族の意思決定支援・調整 | 地域療養を支えるケア 1章3節1項 療養者中心の医療・看護 (p.23)  |   |
|              |                      | D 医療機関との連携               | a 地域連携パスの理解   | 臨床看護総論 2章3節2項 病棟における日常生活動作再獲得のためのリハビリテーション (p.80-84)<br>リハビリテーション看護 4章3節2項 地域医療連携における情報共有 (p.71-74) |
|              |                      |                          | b 外来・地域連携部門との看看連携   | 地域療養を支えるケア 4章2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120)   |
|              | c 他職種との連携・協働         |                          | 臨床看護総論 2章2節5項 在宅療養と在宅での看取り (p.68-72), 3節4項 再発からADL低下・認知機能低下による在宅調整 (p.89-92) / 3章6節2項 医療チームにおける各職種の役割 (p.154-157)<br>地域療養を支えるケア 4章1節1項 継続看護と退院調整 (p.94-101), 2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120), 3節2項 地域包括ケアと保健・医療・福祉の連携 (p.126-129)<br>医療安全 6章3節2項 他職種との協働と今後の課題 (p.179-180)<br>災害看護 4章5節3項 在宅における看護師の役割 (p.107) |   |
|              | E 在宅におけるチームケア        | a 地域包括ケア                 | 社会福祉と社会保障 4章4節5項 地域における高齢者保健福祉の課題 (p.127-130)<br>高齢者の健康と障害 2章5節1項 地域包括ケアシステムとは (p.102-104)<br>地域療養を支えるケア 4章3節1項 地域包括ケアシステム (p.123-126)  |   |
|              |                      | b チームケアの意義               | 高齢者の健康と障害 4章7節1項 チームアプローチとは (p.214-216)<br>地域療養を支えるケア 1章4節1項 在宅チームケアの意義 (p.30-31) / 4章2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120)  |   |
|              |                      | c 多職種との連携・協働             | 臨床看護総論 3章1節3項 チーム医療の機会 (p.105-108)<br>高齢者の健康と障害 4章7節2項 チームアプローチと専門職連携 (p.216-221)<br>地域療養を支えるケア 4章2節3項 連携・協働を推進する方法 (p.122-123)   |   |
|              |                      | d チームケアの実際               | 高齢者の健康と障害 4章7節2項 チームアプローチと専門職連携 (p.216-221)<br>地域療養を支えるケア 4章2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120), 2項 地域におけるシステムとネットワーク (p.120-122), 3項 連携・協働を推進する方法 (p.122-123), 3節2項 地域包括ケアと保健・医療・福祉の連携 (p.126-129)  |   |
|              |                      | e チームケアにおける看護の役割         | 高齢者の健康と障害 3章4節3項 在宅医療を支える看護活動 (p.133-138) / 4章7節1項 チームアプローチとは (p.214-216)<br>地域療養を支えるケア 1章4節5項 在宅ケアチームにおける訪問看護師と保健師の役割 (p.34) / 4章2節3項 連携・協働を推進する方法 (p.122-123), 3節1項 地域包括ケアシステム (p.123-126), 3項 地域包括ケアと地域ケア会議 (p.129-133)  |   |
|              | F ケアマネジメント・ケースマネジメント | a ケアマネジメント・ケースマネジメントの概念  | 社会福祉と社会保障 3章1節5項 実践方法の中の諸技術 (p.62-65)<br>地域療養を支えるケア 4章1節2項 ケアマネジメントの展開 (p.101-114)  |   |
|              |                      | b ケアマネジメント・ケースマネジメントの過程  | 地域療養を支えるケア 4章1節2項 ケアマネジメントの展開 (p.101-114)   |   |
|              |                      | c ケアマネジメント・ケースマネジメントの実際  | 地域療養を支えるケア 4章1節2項 ケアマネジメントの展開 (p.101-114)   |   |

| 大項目          | 中項目                               | 小項目                          | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|--------------|-----------------------------------|------------------------------|---|
| 4 在宅看護の役割と機能 | F ケアマネジメント・ケースマネジメント              | d 社会資源の理解と活用                 | 運動機能障害 8章4節2項 社会資源の活用 (p.163-166)<br>高齢者の健康と障害 2章4節3項 社会資源を活用するために (p.99-102)<br>地域療養を支えるケア 4章1節2項 ケアマネジメントの展開 (p.101-114) / 5章 在宅ケアを支える制度と社会資源 (p.142-183) |
|              | G 在宅看護における倫理的課題                   | a 自己決定支援                     | 地域療養を支えるケア 1章3節1項 療養者中心の医療・看護 (p.23), 5項 エンパワメントによる支援 (p.26-27) / 7章 5節 事故により中途障害となった成人男性 (p.259-262)   |
|              |                                   | b 対象者の権利擁護 (アドボカシー) (成年後見制度) | 地域療養を支えるケア 1章3節4項 アドボカシー (p.25-26) / 5章7節 在宅療養者の権利を擁護する制度と社会資源 (p.180-183)  |
|              |                                   | c サービス提供者の権利擁護               | 看護学概論 9章4節2項 看護師が働く場としての安全・健康 (p.202)   |
|              |                                   | d 虐待の防止                      | 地域療養を支えるケア 5章 在宅ケアを支える制度と社会資源 (p.185-186), 7節6項 高齢者虐待防止法 (高齢者虐待防止, 高齢者の養護者に対する支援等に関する法律) (p.182-183)  |
| e 情報管理       | 地域療養を支えるケア 1章3節2項 看護の倫理 (p.23-24) |                              |   |

## 目標Ⅱ. 在宅における看護について基本的な理解を問う。

| 大項目       | 中項目            | 小項目                    | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|-----------|----------------|------------------------|---|
| 5 訪問看護の概要 | A 訪問看護制度の理解    | a 訪問看護の変遷              | 地域療養を支えるケア 1章1節1項 日本の在宅看護の変遷と社会背景 (p.12-15)   |
|           |                | b 訪問看護の提供方法と種類         | 地域療養を支えるケア 3章1節2項 訪問看護の制度と現状 (p.68-70), 3項 訪問看護における看護職 (p.70-73), 2節 在宅ケアを支える訪問看護ステーション (p.74-79)   |
|           |                | c 訪問看護制度の課題            | 地域療養を支えるケア 3章2節7項 今後の方向性 (p.76-79)  |
|           | B 訪問看護制度の法的枠組み | a 健康保険法                | 医療関係法規 14章1節 健康保険法 (p.270-274)<br>看護学概論 10章3節3項 多職種で取り組む保健・医療・福祉 (p.218-222)<br>地域療養を支えるケア 3章1節2項 訪問看護の制度と現状 (p.68-70) / 5章2節 在宅ケアを支える医療保険制度 (p.144-147)  |
|           |                | b 介護保険法                | 医療関係法規 10章2節 介護保険法 (p.172-191)<br>看護学概論 10章3節3項 多職種で取り組む保健・医療・福祉 (p.218-222)<br>地域療養を支えるケア 3章1節2項 訪問看護の制度と現状 (p.68-70) / 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-162)  |
|           |                | c 障害者総合支援法 (旧障害者自立支援法) | 医療関係法規 11章2節 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (p.205-214)<br>看護学概論 10章3節3項 多職種で取り組む保健・医療・福祉 (p.218-222)<br>地域療養を支えるケア 5章4節1項 障害者に対する施策の歴史 (p.163-164), 4項 障害者総合支援法 (p.167-172)<br>医療安全 6章2節3項 在宅看護における介護事故とその対応 (p.172-173) |
|           |                | d 高齢者の医療の関係法規          | 医療関係法規 14章3節 高齢者の医療の確保に関する法律 (p.276-279)<br>地域療養を支えるケア 3章1節2項 訪問看護の制度と現状 (p.68-70) / 5章3節 高齢者を支える制度と社会資源 (p.148-163)  |
|           |                | e その他関係法規              | 地域療養を支えるケア 3章1節2項 訪問看護の制度と現状 (p.68-70)  |



| 大項目            | 中項目               | 小項目                                  | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|----------------|-------------------|--------------------------------------|--|
| 5 訪問看護の概要      | C 訪問看護サービスの仕組みと提供 | a 訪問看護ステーションの開設基準                    | 地域療養を支えるケア 3章1節2項 訪問看護の制度と現状 (p.68-70), 2節1項 訪問看護ステーションの設置と管理運営 (p.74)   |
|                |                   | b 訪問看護サービス開始までの流れ                    | 地域療養を支えるケア 3章2節5項 サービスの流れ (p.75-76)  |
|                |                   | c 訪問看護サービスの展開                        | 臨床看護総論 2章3節5項 サービスを受けながらの在宅生活 (p.94-98)<br>地域療養を支えるケア 3章2節3項 対象者 (p.74-75), 4項 サービス内容 (p.75), 3節2項 訪問看護過程の実際 (p.80-86) |
|                |                   | d 訪問看護サービスの質保証                       | 地域療養を支えるケア 3章3節2項 訪問看護過程の実際 (p.80-86)  |
|                |                   | e 訪問看護サービスの管理・経営                     | 地域療養を支えるケア 3章1節2項 訪問看護の制度と現状 (p.68-70)   |
| 6 生活を支える在宅看護技術 | A 食事・栄養の援助        | a 食事摂取能力のアセスメント                      | 地域療養を支えるケア 6章1節1項 食へのアセスメントと援助 (p.188)   |
|                |                   | b 摂食・嚥下能力障害時のアセスメント                  | 地域療養を支えるケア 6章1節1項 食へのアセスメントと援助 (p.188)   |
|                |                   | c 嚥下障害時の援助                           | 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)   |
|                |                   | d 口腔ケア                               | 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)   |
|                |                   | e 食事内容の選択, 食材の調達の方法に関する援助            | 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)   |
|                |                   | f 栄養を補う食品の種類と選択方法に関する援助              | 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)   |
|                | B 排泄の援助           | a 排泄障害のアセスメント                        | 地域療養を支えるケア 6章4節1項 排泄のアセスメントと援助 (p.204-205)   |
|                |                   | b 排泄補助用具の種類と選択方法                     | 地域療養を支えるケア 6章4節2項 援助の実際と技術 (1) (p.205-208)   |
|                |                   | c 尿失禁の予防と援助                          | 地域療養を支えるケア 6章4節2項 援助の実際と技術 (1) (p.205-208)   |
|                |                   | d 便失禁への援助                            | 地域療養を支えるケア 6章4節2項 援助の実際と技術 (1) (p.205-208)   |
|                |                   | e 便秘の予防と援助                           | 地域療養を支えるケア 6章4節2項 援助の実際と技術 (1) (p.205-208)   |
|                |                   | f ストーマケア                             | 地域療養を支えるケア 6章4節3項 援助の実際と技術 (2) (p.209-211)   |
|                | C 清潔の援助           | a 清潔のアセスメント                          | 地域療養を支えるケア 6章2節1項 清潔のアセスメントと援助 (p.195)   |
|                |                   | b 在宅での清潔方法の種類と方法                     | 地域療養を支えるケア 6章2節2項 援助の実際と技術 (p.196-198)   |
|                | D 移動の援助           | a 日常生活動作〈ADL〉・手段的日常生活動作〈IADL〉のアセスメント | 運動機能障害 8章4節1項 APDL/IADLの障害 (p.163)<br>地域療養を支えるケア 6章3節1項 移動のアセスメントと援助 (p.198-199)                                       |
|                |                   | b 移動時の安全確保                           | 地域療養を支えるケア 6章3節2項 援助の実際と技術 (p.199-203)   |
|                |                   | c 移動補助用具の種類と選択方法                     | 地域療養を支えるケア 6章3節2項 援助の実際と技術 (p.199-203)   |

| 大項目                  | 中項目                           | 小項目   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|----------------------|-------------------------------|---|---|
| 6 生活を支える在宅看護技術       | D 移動の援助                       | d 自立歩行に必要な筋力評価と強化方法   | 地域療養を支えるケア 6章3節 移動の援助 (p.198-203)   |
| 7 在宅療養者の状態・状況にあわせた看護 | A 日常生活活動の低下予防及び疾病の再発予防が必要な療養者 | a 状態のアセスメントと環境整備  | 地域療養を支えるケア 2章2節 在宅看護の対象者と在宅療養の成立要件 (p.46-48)  |
|                      |                               | b 療養者・家族のセルフマネジメント力を維持・高める支援  | 地域療養を支えるケア 2章2節2項 サービス提供者側の条件 (p.47-48), 5節4項 介護力に応じた家族支援 (p.64) / 6章3節 移動の援助 (p.198-203)   |
|                      |                               | c 異常の早期発見と対応  | 地域療養を支えるケア 4章3節2項 地域包括ケアと保健・医療・福祉の連携 (p.120-122)  |
|                      |                               | d 社会資源の活用・調整  | 運動機能障害 8章4節2項 社会資源の活用 (p.163-166)<br>臨床看護総論 2章3節5項 サービスを受けながらの在宅生活 (p.94-98)<br>地域療養を支えるケア 5章 在宅ケアを支える制度と社会資源 (p.142-183) / 7章3節 在宅での生活に不安を抱きつつ退院する ALS 療養者 (p.251-254)   |
|                      | B 回復期（リハビリテーション期）にある療養者       | a 在宅リハビリテーション   | 臨床看護総論 3章4節12項 リハビリテーション療法 (p.140-141)<br>地域療養を支えるケア 5章3節4項 介護保険制度 (p.151-162)  |
|                      |                               | b 機能障害と在宅での生活のアセスメント  | 地域療養を支えるケア 6章 在宅における援助技術 (p.188-240)  |
|                      |                               | c 合併症の予防と対応   | 地域療養を支えるケア 6章 在宅における援助技術 (p.188-240)  |
|                      |                               | d 居住環境のアセスメント   | 地域療養を支えるケア 2章2節1項 療養者・家族側の条件 (p.46-47)  |
|                      |                               | e 社会資源の活用・調整  | 運動機能障害 8章4節2項 社会資源の活用 (p.163-166)<br>地域療養を支えるケア 3章2節6項 利用料 (p.75-76)  |
|                      | C 慢性期にある療養者（難病・認知症）           | a 状態のアセスメントと状態に合わせた対応・調整  | 地域療養を支えるケア 7章2節 被虐待が疑われる認知症高齢者 (p.247-250)  |
|                      |                               | b 難病療養者・家族のセルフマネジメント力を高める支援   | 地域療養を支えるケア 2章1節7項 状態別・状況別対象者 (p.43-45)  |
|                      |                               | c 急性増悪の早期発見と対応  | 地域療養を支えるケア 3章2節3項 対象者 (p.74-75)   |
|                      |                               | d 社会資源の活用・調整  | 運動機能障害 8章4節2項 社会資源の活用 (p.163-166)<br>地域療養を支えるケア 4章2節1項 在宅ケアにおける関係機関・関係職種 (p.118-120) / 5章3節3項 高齢者保健福祉施策 (p.149-151), 5節2項 難病療養者に対する制度 (p.175-178), 6節 子どもの在宅療養を支える制度と社会資源 (p.178-180) / 7章2節2項 状況1（初回訪問時の状況） (p.247-250), 3節 在宅での生活に不安を抱きつつ退院する ALS 療養者 (p.251-254) |
|                      | D 終末期にある療養者                   | a 症状マネジメント  | 地域療養を支えるケア 6章10節 ターミナル期の援助 (p.236-240) / 7章4節 最期まで自宅で過ごしたいターミナル期のがん療養者 (p.255-258)  |
|                      |                               | b 終末期緩和ケアの実際  | 地域療養を支えるケア 6章10節 ターミナル期の援助 (p.236-240) / 7章4節 最期まで自宅で過ごしたいターミナル期のがん療養者 (p.255-258)  |
|                      |                               | c 看取りの看護  | 臨床看護総論 2章2節5項 在宅療養と在宅での看取り (p.68-72)<br>地域療養を支えるケア 6章10節 ターミナル期の援助 (p.236-240) / 7章4節4項 状況3（その後の経過） (p.257-258)   |
| d 家族へのグリーフケア         |                               | 地域療養を支えるケア 6章10節 ターミナル期の援助 (p.236-240) / 7章4節4項 状況3（その後の経過） (p.257-258) |   |

| 大項目                    | 中項目                 | 小項目                               | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|------------------------|---------------------|-----------------------------------|--|
| 8 在宅における医療管理を必要とする人と看護 | A 薬物療法              | a 服薬状況の把握                         | 地域療養を支えるケア 6章9節1項 服薬管理 (p.230-232)   |
|                        |                     | b 医師および薬剤師との連携                    | 地域療養を支えるケア 6章10節 ターミナル期の援助 (p.236-240)   |
|                        |                     | c 外来通院中の在宅療養者に対するケア (麻薬投与・外来化学療法) | 臨床看護総論 2章2節3項 術後化学療法：外来化学療法中の看護 (p.59-63)<br>地域療養を支えるケア 6章9節 その他の医療的援助と技術 (p.230-235)                                      |
|                        |                     | d 放射線治療・検査に関するケア                  | 地域療養を支えるケア 7章4節 最期まで自宅で過ごしたいターミナル期のがん療養者 (p.255-258)   |
|                        | B 酸素療法              | a 対象者                             | 地域療養を支えるケア 6章5節 呼吸の援助 (p.212-221)  |
|                        |                     | b 機器の種類                           | 呼吸機能障害／循環機能障害 4章4節5項 在宅酸素療法 (HOT) (p.110-112)<br>基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-334)<br>地域療養を支えるケア 6章5節2項 援助の実際と技術 (p.213-221) |
|                        |                     | c 合併症の予防                          | 地域療養を支えるケア 6章5節2項 援助の実際と技術 (p.213-221)   |
|                        |                     | d 在宅における安全管理と支援                   | 地域療養を支えるケア 6章5節2項 援助の実際と技術 (p.213-221)   |
|                        | C 人工呼吸療法 (非侵襲的換気療法) | a 対象者                             | 地域療養を支えるケア 6章5節2項 援助の実際と技術 (p.213-221)   |
|                        |                     | b 人工呼吸器の原理・構造                     | 基礎看護技術 15章5節5項 人工呼吸 (p.334-335)  |
|                        |                     | c 気道浄化のケア                         | 地域療養を支えるケア 6章5節2項 援助の実際と技術 (p.213-221)   |
|                        |                     | d 合併症の予防                          | 地域療養を支えるケア 6章5節2項 援助の実際と技術 (p.213-221)   |
|                        |                     | e 在宅における安全管理と支援                   | 地域療養を支えるケア 6章5節2項 援助の実際と技術 (p.213-221)<br>医療安全 6章2節2項 在宅看護における医療事故とその対応 (p.168-172)  |
|                        | D 膀胱留置カテーテル法        | a 対象者                             | 地域療養を支えるケア 6章4節3項 援助の実際と技術 (2) (p.209-211)   |
|                        |                     | b 合併症の予防                          | 地域療養を支えるケア 6章4節3項 援助の実際と技術 (2) (p.209-211)   |
|                        |                     | c 在宅における安全管理と支援                   | 地域療養を支えるケア 6章4節3項 援助の実際と技術 (2) (p.209-211)   |
|                        | E 胃婁・経管栄養法          | a 対象者                             | 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)   |
|                        |                     | b 栄養剤の種類と特徴                       | 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)   |
|                        |                     | c 栄養評価                            | 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)   |
|                        |                     | d 合併症の予防                          | 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)   |
|                        |                     | e 在宅における安全管理と支援                   | 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)   |
|                        | F 中心静脈栄養法           | a 対象者                             | 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)   |

| 大項目                    | 中項目       | 小項目                   | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|------------------------|-----------|-----------------------|---|
| 8 在宅における医療管理を必要とする人と看護 | F 中心静脈栄養法 | b 栄養剤の注入方法            | 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)  |
|                        |           | c 栄養評価                | 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)  |
|                        |           | d 合併症の予防              | 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)  |
|                        |           | e 在宅における安全管理と支援       | 地域療養を支えるケア 6章1節2項 援助の実際と技術 (p.189-194)<br>医療安全 6章2節2項 在宅看護における医療事故とその対応 (p.168-172) |
|                        | G 褥瘡管理    | a 褥瘡発生のリスクアセスメント・発生予防 | 地域療養を支えるケア 6章8節1項 褥瘡の予防とケア (p.225-227)  |
|                        |           | b 褥瘡のアセスメントと処置        | 地域療養を支えるケア 6章8節1項 褥瘡の予防とケア (p.225-227)  |
|                        |           | c 除圧・体位交換に関する器具の種類と選択 | 地域療養を支えるケア 6章2節 清潔の援助 (p.225-229)   |
|                        |           | d 在宅における安全管理と支援       | 地域療養を支えるケア 6章2節1項 清潔のアセスメントと援助 (p.225-227)  |

# 看護の統合と実践

## 目標Ⅰ. 看護におけるマネジメントについて基本的な理解を問う。

| 大項目            | 中項目        | 小項目 | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|----------------|------------|-----|--|
| 1 看護におけるマネジメント | A 看護専門職の役割 |     | <b>看護管理</b> 1章 人々の生活と看護 (p.14-39) / 2章 3節 看護師の仕事とその管理 (p.57-74)  |
|                | B 看護の質保証   |     | <b>看護管理</b> 3章 看護の質保証と看護管理 (p.78-112)  |
|                | C 情報の管理    |     | <b>看護管理</b> 2章 3節 4項 情報を管理する (p.64-66)   |
|                | D チームアプローチ |     | <b>リハビリテーション看護</b> 4章 チームアプローチと看護の役割 (p.58-76)<br><b>看護管理</b> 3章 1節 2項 チーム医療—他職種との協働 (p.81-84)   |
|                | E 医療安全     |     | <b>看護管理</b> 4節 安全管理体制 (p.97-104)<br><b>医療安全</b> 1章 医療安全と看護の理念 (p.12-28) / 2章 医療安全への取り組みと医療の質の評価 (p.30-59) / 3章 事故発生のメカニズムとリスクマネジメント (p.62-98) / 4章 患者・家族との協同と安全文化の醸成 (p.100-120) / 5章 看護における医療事故と安全対策 (p.122-163) / 6章 在宅看護における医療事故と安全対策 (p.166-180) / 7章 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策 (p.182-200) / 8章 医療事故後の対応 (p.202-216) / 9章 看護学生の実習と安全 (p.218-239) |

## 目標Ⅱ. 災害看護について基本的な理解を問う。

| 大項目     | 中項目       | 小項目 | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|---------|-----------|-----|--|
| 2 災害と看護 | A 災害医療と看護 |     | <b>看護管理</b> 1章 2節 3項 災害時の看護活動はどのようなものか (p.36-39)<br><b>災害看護</b> 1章 1節 2項 災害の種類と疾病構造：自然災害 (p.13-20), 3項 災害の種類と疾病構造：人為災害 (p.20), 6項 災害関連死 (p.23-25), 3節 1項 災害時要援護者とは (p.34-35), 2項 災害時要援護者とは誰を指すか (p.35), 3項 災害時要援護者への対応のあり方 (p.35-38), 4項 治療内容に合わせた対応 (p.38-39), 5項 帰宅困難者 (p.39-40) / 2章 1節 1項 災害情報の類型 (p.44-45), 2項 災害医療活動のための情報体制 (p.46-47), 3項 情報の伝達手段 (p.47-49), 4項 情報収集と分析 (p.49-52), 2節 1項 医療従事者と患者の法律関係 (p.53-55), 2項 救急業務 (p.55), 3項 災害時の医療体制 (p.55-56), 4項 トリアージと法律上の問題 (p.56-58), 10項 被災者支援体制 (p.60-63), 3節 1項 法制度と災害医療 (p.64-65), 2項 防災計画と医療計画 (p.66), 3項 教訓から生まれた施策 (p.66-67), 4項 これからの災害医療 (p.68) / 3章 1節 4項 医療・看護でのネットワーク (p.73), 2節 3項 ネットワークを円滑にするための人材育成とは (p.78-79) / 4章 1節 3項 被災した医療現場での情報収集と情報伝達 (p.85-87), 2節 1項 医療救護所とは (p.88), 2項 医療救護チームの業務 (p.88-89), 3項 医療救護所で看護師が把握しておくべきこと (p.89-90), 4項 地域医療との連携 (p.90-91), 6項 医療救護所における看護師の役割 (p.91-92), 3節 1項 避難所の定義 (p.93), 2項 福祉避難所とは (p.93-94), 3項 避難所の特徴と避難してくる人々の背景 (p.94-95), 4項 避難生活における不満や悩み (p.95), |

| 大項目     | 中項目            | 小項目 | ナーシング・グラフィカ 該当箇所  |
|---------|----------------|-----|---|
| 2 災害と看護 | A 災害医療と看護      |     | <p>6項 避難所で必要な看護の視点 (p.99), 4節1項 仮設住宅の定義 (p.100), 3項 仮設住宅での看護活動 (p.102-104), 5節2項 在宅の人々の背景 (p.104-107), 3項 在宅における看護師の役割 (p.107), 6節1項 復興住宅とは (p.108), 2項 復興住宅に居住する人々の背景 (p.108), 3項 復興住宅における看護師の役割 (p.109), 7節1項 災害からの復旧と復興 (p.111), 2項 災害復興の目標と課題 (p.111-112) / 5章1節1項 災害が被災者の心に及ぼす影響 (p.118-124), 3項 心身障害者の心理的特徴と援助 (p.130-132), 4項 親子(母子・父子および妊産褥婦含む)の心理的特徴と援助 (p.132-138), 5項 外国人被災者の心理的特徴と援助 (p.139-143), 6項 遺族の心理的特徴と援助 (p.144-148), 2節1項 支援者の心理過程 (p.148-151), 2項 被災地における医療者の心理—医師と看護師を中心に (p.151-154) / 6章1節1項 災害時における感染症対策の重要性と意義 (p.160), 2項 感染症対策の実際 (p.160-171) / 7章1節1項 CSCATTTとは (p.176-180), 2項 後方支援(ロジスティクス)(p.180-181), 3項 災害看護を学ぶ人たちへ (p.181-182), 2節1項 トリアージとは (p.183-184), 2項 トリアージによる判定区分 (p.184-185), 3項 トリアージの実際 (p.185-187), 4項 トリアージタグ (p.187-188), 5項 トリアージを行う看護師に必要な視点 (p.188), 3節1項 心肺蘇生 (p.189-194), 2項 搬送技術 (p.194-197) / 8章1節1項 防災の新しい考え方: 減災と危機管理 (p.202), 2項 減災の考え方と対策の総合化 (p.202-203), 3項 危機管理の考え方とリスクマネジメント (p.203-204), 2節1項 減災・防災計画の立案とマニュアルの作成 (p.204-207), 2項 教育・啓発活動(人的マネジメント)(p.207-208), 3項 災害訓練 (p.208), 4項 合同災害訓練の実際 (p.208-210), 5項 その他の知っておきたい防災対策の知識 (p.211), 6項 平時の防災対策 (p.212) / 9章1節4項 グローバリゼーションからみた環境問題 (p.221), 5項 国際的に活動している代表的な組織とそのシステム (p.222-224), 6項 国際機関の関わり (p.224), 2節2項 ミレニアム開発目標とレジリエンス (p.225-226), 3項 異文化への配慮 (p.226-227), 5項 グローバリゼーションの発展による多文化看護 (p.228), 7項 カルチャーショック (p.229-230), 8項 これから期待される災害看護とは (p.230) / 10章1節2項 災害看護における倫理原則 (p.236-238), 3項 看護実践上の倫理的概念 (p.238-239), 2節1項 災害看護を学ぶ意味 (p.242-243)</p> |
|         | B 災害の種類と災害サイクル |     | <p><b>災害看護</b> 1章1節1項 災害の種類 (p.12-13), 2項 災害の種類と疾病構造: 自然災害 (p.13-20), 3項 災害の種類と疾病構造: 人為災害 (p.20), 4項 災害の種類と疾病構造: 特殊災害 (p.21-22), 5項 災害の種類と疾病構造: 複合災害 (p.22-23), 2節1項 災害サイクルとは (p.27-28), 2項 静穏期・準備期: 災害発生前—いざという時に慌てないように (p.28-30), 3項 超急性期: 発災直後～72時間—まずはいのちを救おう! (p.30), 4項 急性期: 発災直後～1週間—組織の初動体制確立と傷病者の救出・搬送 (p.30-31), 5項 亜急性期: ～1カ月—避難所の衛生環境を整え不安と混乱の軽減を目指す (p.31-33), 6項 復旧復興期: ～3年—心身ともに健康な生活, そして夢と希望を取り戻すための活動 (p.33-34) / 9章2節1項 世界の自然災害の状況 (p.225)</p>  |
|         | C 災害各期の看護支援    |     | <p><b>災害看護</b> 1章2節2項 静穏期・準備期: 災害発生前—いざという時に慌てないように (p.28-30), 3項 超急性期: 発災直後～72時間—まずはいのちを救おう! (p.30), 5項 亜急性期: ～1カ月—避難所の衛生環境を整え不安と混乱の軽減を目指す (p.31-33), 6項 復旧復興期: ～3年—心身ともに健康な生活, そして夢と希望を取り戻すための活動 (p.33-34) / 4章1節1項 初動時のタイムスケールと看護 (p.84), 2項 発災時の医療活動における初動ポイント (p.85), 4項 初動時における災害時要援護者へのトリアージ (p.87-88), 2節5項 救護活動の終了と撤収 (p.91), 3節5項 避難所における看護師の役割 (p.95-99), 4節2項 避難所から仮設住宅への転居初期の支援: 実例をもとに (p.101-102), 6節4項 心と身体の復興を支援する (p.109-110) / 5章1節2項 成人(壮年期・中年期)・高齢者の心理的特徴と援助 (p.125-129) / 7章1節3項 災害看護を学ぶ人たちへ (p.181-182)</p>  |

目標Ⅲ. 国際社会における看護について基本的な理解を問う。

| 大項目      | 中項目         | 小項目 | ナーシング・グラフィカ 該当箇所   |
|----------|-------------|-----|--|
| 3 国際化と看護 | A 看護のグローバル化 |     | 災害看護 5章1節5項 外国人被災者の心理的特徴と援助 (p.139-143) / 9章1節1項 国際看護の概念 (p.220), 2項 国際看護学の定義 (p.220), 3項 国際看護学の位置付け (p.220-221), 4項 グローバリゼーションからみた環境問題 (p.221), 5項 国際的に活動している代表的な組織とそのシステム (p.222-224), 2節2項 ミレニアム開発目標とレジリエンス (p.225-226), 6項 異文化理解能力とは (p.228-229), 8項 これから期待される災害看護とは (p.230) |
|          | B 多様な文化と看護  |     | 災害看護 1章3節2項 災害時要援護者とは誰を指すか (p.35), 3項 災害時要援護者への対応のあり方 (p.35-38) / 2章3節4項 これからの災害医療 (p.68) / 5章1節5項 外国人被災者の心理的特徴と援助 (p.139-143) / 9章2節3項 異文化への配慮 (p.226-227), 4項 看護学の中の異文化看護 (p.227-228), 5項 グローバリゼーションの発展による多文化看護 (p.228), 6項 異文化理解能力とは (p.228-229), 8項 これから期待される災害看護とは (p.230)  |
|          | C 看護の国際協力活動 |     | 災害看護 1節6項 国際機関の関わり (p.224)   |

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

